

## 取扱説明書

### AVN-Z02*i*

メモリーナビゲーション内蔵 SD/DVD/Bluetooth/地上デジタルTV 7型WVGA AVシステム

### AVN-ZX02*i*

メモリーナビゲーション内蔵 SD/DVD/Bluetooth/地上デジタルTV 9型WVGA AVシステム

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。  
また、お読みになった後も必要なときに  
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。



この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 取り扱い上のご注意

### 測位状態が安定してから走行する

- GPS マークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

### 走行中は、一部の細街路を消去します

- 安全のため、走行中は細街路を地図に表示しません。(ただし、細街路を走行している場合は除きます)

※本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期・種類などによって異なることがあります。

### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

### 重要

機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと  
機器が故障したときにしていただきたいこと

### ワンポイント

知っておいていただきたいこと

### チェック

操作する前に知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。  
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

本書はやさしく取り扱ってください。  
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。  
やさしい取り扱いをお願いします。

### 注意

表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。

# CONTENTS

まずはじめに—My Page に登録しよう—	2
お使いになる前に	3

本機の操作	23	
-------	----	---

GPS ボイスナビゲーション	66	
----------------	----	---

オーディオ&ビジュアル	230	
-------------	-----	---

情報	368	
----	-----	---

周辺モニター	372	
--------	-----	---

ETCシステム	381	
---------	-----	---

ハンズフリー	387	
--------	-----	---

ご参考に	425	
------	-----	---

## まずはじめに—My Page に登録しよう—

「My Page」は、ECLIPSE 製品を購入いただいたお客様に、各種情報を提供する WEB サービスです。



### ■My Page 登録のおすすめ

「My Page」では、お客様のカーライフをサポートするため、ご利用製品に関する便利なサポート情報のお知らせや、ご登録いただいたお客様限定のキャンペーンなどを実施しております。ぜひ、「My Page」にご登録をお願いいたします。

## 「My Page」にご登録いただくと



ご利用製品に関連する製品・サービス・サポートの情報をお知らせいたします。



ご登録いただいたお客様限定のキャンペーンにご応募いただけます。



アンケート（不定期に実施）にお答えいただいたお客様には、プレゼントを差し上げます。

## 登録の方法

「My Page」には、次の方法でご登録いただけます。ご登録いただいたお客様の情報は「My Page」で確認・変更することができます。

ECLIPSE ホームページから

「お客様サポート」から「My Page」にアクセスしてください。

URL を入力する

<https://www.e-iserv.com/jp/MyPage/Index.do> を入力してアクセスしてください。

### ⚠ 重要

当社は、お客様個人に関する情報の重要性を認識し、厳重な管理を行っております。

# お使いになる前に

## 画面について

本書では、一部を除きオプション機器が接続されている AVN-Z02i の画面で説明しています。

ナビゲーションは、一部を除きノースアップ 1 画面・2D のリアルワイドマップ表示の画面で説明しています。また、GPS マーク、VICS 情報が表示されていない地図画面を使用しています。

## スイッチ表示について

	本機（画面外）のスイッチ名称を表示しています。 （ <b>現在地</b> ・ <b>MENU</b> など）
	画面のスイッチ（タッチスイッチ）の名称を表示しています。 （ <b>広域</b> ・ <b>詳細</b> など）
	画面のタブ（タッチスイッチ）の名称を表示しています。 （ <b>ナビ</b> ・ <b>オーディオ</b> など）

## その他の表示

→ 000	参照するページを表示しています。
★	システムアップ製品（別売）です。

本書では、操作を開始する画面を表示するまでのガイドとして、下記のように記載しています。操作開始画面の表示方法がわからないときにご利用ください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **運転支援** → **安全・快適走行設定** →  
安全・快適走行設定画面

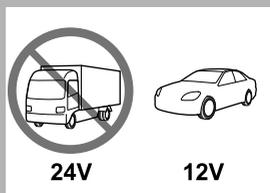
この場合は、次の操作を意味しています。

- 1 画面外の **MENU** を押す。
- 2 画面内の **設定・編集** にタッチ。
- 3 画面内の **運転支援** にタッチ。
- 4 画面内の **安全・快適走行設定** にタッチ。
- 5 安全・快適走行設定画面が表示される。  
この画面から、操作を開始する。

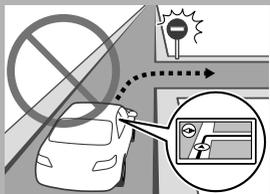
# お使いになる前に

## 警告

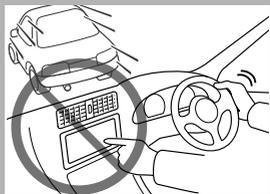
・ 本機は DC12V-アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。



・ ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。



・ 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。



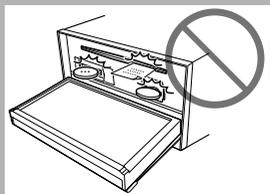
・ 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

・ 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

・ 運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

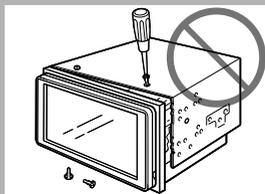
・ 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。

・ ディスクやSDメモリーカードの差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。

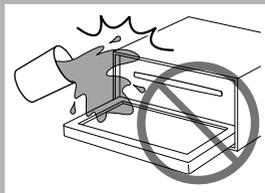


**警告**

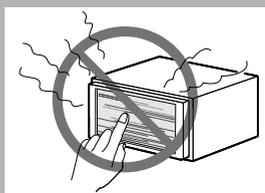
・ 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



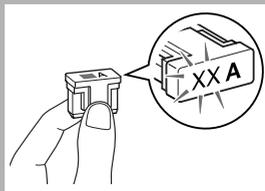
・ 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



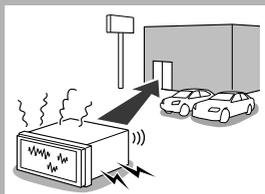
・ 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



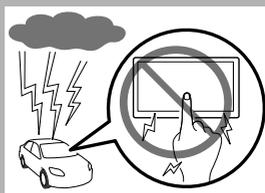
・ ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



・ 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがあるなど異常が起きたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。



・ 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。



**⚠ 警告**

- ・ 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- ・ 車内に直射日光が差し込んだ場合、製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転頂きますようお願い致します。
- ・ 運転中は、絶対にヘッドホン・イヤホンを使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- ・ 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- ・ 走行中のリモコン操作は大変危険ですので、運転者は絶対に操作しないでください。

**⚠ 注意**

- ・ 本機はエンジンスイッチが ON または ACC のとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- ・ 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- ・ 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ・ 電源 ON 時は、ボリュームに注意してください。電源 ON 時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ・ ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ・ ディスプレイの角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ・ 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- ・ 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- ・ 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- ・ 極端な高温や低温での使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- ・ 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。

**⚠ 重要**

- ・ ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。
- < A / T 車の場合 >**
- ・ ディスク等を取り出す際、P レンジで干渉する場合は N レンジに切り替えてから操作してください。(コラム A / T の場合は P または N レンジで操作してください。)
  - ・ チルト位置を設定する際、P または r、N レンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)
- < M / T 車の場合 >**
- ・ ディスク等を取り出す際、1・3・5・® ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
  - ・ チルト位置を設定する際、1・3・5・® ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

## ワンポイント

- ・ 本機は、ロウイコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。
- ・ 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- ・ 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- ・ 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- ・ 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
- ・ お客様が SD メモリーカード内に保存したデータは、いかなる記録媒体にも転送できません。
- ・ 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。
- ・ 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクおよび SD メモリーカードのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- ・ 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD および DVD 読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは 1 時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- ・ 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくすると GPS の測位によって表示位置などが修正されます。
- ・ 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が SD メモリーカードに記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
- ・ なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
  - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録された SD メモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
  - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、SD メモリーカード内の地図データや基本プログラム、お客様が SD メモリーカードに記録されたデータ等が変化・消失した場合。
  - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録された SD メモリーカード内のデータ等が変化・消失した場合。
- ※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
- ・ 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。
- ・ 本システムではエラーコード等の情報を記録しています。  
富士通テン(株)では、取得したデータは当社ナビの品質向上の為に利用する事があります。

# 目次

## 本機の操作

### 本機について 23

- 本機でできること 23  
本機でできること .....23

- 作動条件 24  
作動条件 .....24

- 各部の名称とおもな働き 25  
パネルスイッチ .....25  
タッチスイッチ .....26

- スライドタッチ操作について 27  
スライドタッチ操作について .....27

- メニューバーとカスタムバー 28  
メニューバーと  
カスタムバーについて .....28  
メニューバーの表示 .....28  
カスタムバーの表示 .....29  
本機を初めてご使用いただくとき .....30

- 電源を入れる・切る 32  
電源を入れる・切る .....32

### メディアについて 32

- メディアについて 32  
メディアの出し入れ .....32  
USB メモリの接続（取りはずし） .....36  
使用できるメディアについて .....36  
プレーヤーについて .....39  
文字情報の表示について .....39

### ヒント機能 39

- ヒント機能を使う 39  
ヒント機能の使い方 .....39

### 文字の入力操作 40

- 文字の入力操作について 40  
入力画面の各スイッチの使い方 .....40

### リスト画面 42

- リスト画面について 42  
リスト画面の切り替え方 .....42  
文字の表示範囲の変更 .....43

### 画面の調整・設定 44

- 画面の調整・設定をする 44  
ディスプレイの角度調整 .....44  
画質調整画面の表示 .....45  
画質の調整 .....45  
自動で画面の明るさを変える  
（直射日光補正機能） .....46  
昼画表示・夜画表示について .....47  
手動で夜画・昼画表示に  
切り替える .....47  
画面を消す .....48  
画面モードについて .....48

### カンタン初期設定 49

- カンタン初期設定で設定する 49  
カンタン初期設定の開始 .....49

## 本機の設定 50

- 本機の設定をする 50
  - 本機の設定 ..... 50
  - BEEP 音通知の設定 ..... 50
  - 操作画面継続表示の設定 ..... 51
  - ESN の設定 ..... 51
  - 個人情報の初期化 ..... 56
  - ナビゲーション音声の
    - 出力位置切り替え ..... 57
  - メニューデザインの変更 ..... 57
  - オープニング画面の設定 ..... 57
  - カスタムへの画像の登録 ..... 58
  - ラジオアンテナの設定 ..... 59

## E-iSERV 59

- E-iSERV について 59
  - ケータイリンクのアプリを  
ダウンロードする ..... 60

## ステアリングスイッチ 61

- ステアリングスイッチ 61
  - ステアリングスイッチを設定する ..... 61
  - オーディオ・ハンズフリー機能
    - 共通の操作 ..... 63
    - オーディオ機能の操作 ..... 63
    - 設定を初期化する ..... 65

## GPS ボイス ナビゲーション

### お使いになる前に 66

- GPS ボイスナビゲーションに  
ついて 66
  - GPS ボイスナビゲーションを  
お使いになる前に ..... 66
  - ナビゲーション画面の見方 ..... 67
  - 音声案内について ..... 69

### 地図の操作 69

- 地図の表示 69
  - 現在地の表示 ..... 69
  - スイッチの表示 ..... 70
  - 地図の移動
    - (スライドタッチスクロール/  
ワンタッチスクロール) ..... 71
  - 地図縮尺の切り替え ..... 73
  - 地図向き of 切り替え ..... 74
  - フロントワイド表示 ..... 75
  - 2 画面表示 (地図) ..... 75
  - 2 画面表示 (地図 / エコ情報) ..... 77
  - 3D 表示 ..... 77
  - 地図の表示色の切り替え ..... 79
  - 自車マークの切り替え ..... 79
  - 地図の名称 (文字) サイズの  
切り替え ..... 80
  - 時計表示の切り替え ..... 80
  - 市街図表示 ..... 80

■ 地図表示画面の設定	82	■ 地図の呼び出し方法	98
施設の表示	82	地図の呼び出し方法	98
近くの施設の検索	83	名称で地図を呼び出す	100
周辺施設走行中呼出		住所で地図を呼び出す	103
ジャンルの変更	84	施設で地図を呼び出す	103
リアルワイドマップ表示	85	電話番号で地図を呼び出す	104
3D ランドマークの表示	85	Yahoo! JAPAN で登録した	
一時停止案内	86	地点の地図を呼び出す	105
注意地点案内	86	ジャンルで地図を呼び出す	106
事故多発地点案内	88	郵便番号で地図を呼び出す	107
学校存在案内	88	マップコードで地図を呼び出す	108
季節規制区間の表示	89	携帯電話で地図を呼び出す	108
走行軌跡の表示	89	履歴で地図を呼び出す	109
シーズンレジャーランドマークの			
表示	90	■ 呼び出した地図の操作	110
県境案内	90	ピンポイント検索	110
		位置の変更	110
		施設の内容の表示	110
		提携駐車場の検索	111
		住所の検索	111
■ 高速道路・都市高速道路表示	91		
シティドライブモード	91	■ 目的地案内	113
高速路線マップ	92		
高速分岐案内（ジャンクション		■ 目的地案内について	113
レーンアシスト）	94	目的地案内について	113
都市高マップ	95		
		■ 目的地の設定・ルート探索	114
		目的地の設定	114
		自宅を目的地に設定	116
		ルート探索	116
		全ルート図表示	117
		■ 目的地案内の開始	121
		目的地案内の開始	121
		目的地案内の中止	122
■ 音声の設定	96		
音量設定	96		
操作説明音声	96		
ハートフル音声	96		
注意喚起設定をする	97		

■ 目的地への案内	122	■ 目的地画面の設定	147
音声案内	122	目的地画面のスイッチ設定（目的地 メニューカスタマイズ）	147
交差点案内	124		
到着予想時刻の表示	128	<b>地点の登録</b>	<b>148</b>
料金案内	130		
料金所レーン案内	131	■ メモリ地点の登録	148
フェリー航路の案内	132	メモリ地点について	148
		メモリ地点の登録	148
■ 案内中の操作	132	メモリ地点の修正・入力	149
オンルートスクロール	132	メモリ地点の消去	154
オンルートスクロールの設定	133		
全ルート図を表示するには	135	■ 迂回メモリ地点の登録	155
到着予想時刻・残距離表示を 切り替えるには	135	迂回メモリ地点について	155
		迂回メモリ地点の登録	155
		迂回メモリ地点の修正・入力	156
		迂回メモリ地点の消去	156
■ ルートの再探索	136		
自動再探索	136	■ メモリ地点の移行	157
ルートの再探索	136	メモリ地点の移行とは	157
		登録した場所のデータを SDメモリーカードに移す	157
		パスワードの設定	158
		登録した場所のデータを 本機に移す	159
■ ルート変更	139		
ルート変更画面の表示	139	<b>ナビを使いこなすために</b>	<b>160</b>
探索条件の変更	139		
目的地の追加	140	■ 補正が必要なとき	160
目的地の並び替え	140	補正について	160
目的地の消去	141	現在地の修正	160
出入口IC（インターチェンジ） の指定	142	距離の補正	161
通過道路の指定	144		
通過道路の修正	145	■ ナビの設定を記憶したいとき	162
通過道路指定の解除	145	各種ナビ設定の記憶	162
季節規制区間の迂回ルートの探索	146	記憶の呼び出し	162
		名称の変更	163
		各種ナビ設定の記憶の消去	163
■ 目的地履歴の消去	146		
目的地履歴の消去	146		

■ ナビ詳細設定一覧	163	地図について	183
ナビ詳細設定一覧 .....	163	■ 地図について	183
地図表示設定 .....	164	地図データについて .....	183
自動表示切替設定 .....	165	地図データの情報を見るには .....	183
案内表示設定 .....	165	地図データベースについて .....	184
音声設定 .....	166	地図のスケール表示について .....	186
ルート系設定 .....	166		
その他 .....	167		
<hr/>			
■ 安全・快適走行設定一覧	168	■ VICS・交通情報	187
安全・快適走行設定一覧 .....	168	■ VICS・交通情報の表示	187
<hr/>		VICS・交通情報の表示 .....	187
■ メンテナンス機能	169	VICS・交通情報の表示設定 .....	189
メンテナンス機能について .....	169	<hr/>	
メンテナンスの項目設定 .....	169	■ VICS・交通情報の活用	190
メンテナンスの詳細設定 .....	171	渋滞・規制音声案内 .....	190
販売店の設定 .....	172	VICS 図形情報・文字情報の表示 .....	191
<hr/>		2メディア / 3レベル対応	
■ エコ機能	173	VICSユニットについて .....	191
エコ機能について .....	173	割込情報（ビーコン即時案内）の	
燃費の計算 .....	173	表示 .....	192
ルート案内時の燃費設定 .....	176	割込情報の表示設定 .....	193
エコ情報の表示 .....	176	渋滞考慮探索 .....	194
エコドライブインフォメーションの		<hr/>	
設定 .....	177	■ VICS 放送局の選択	196
<hr/>		放送局の選択 .....	196
■ 精度と誤差	178	<hr/>	
測位精度について .....	178	■ VICS の概要	198
GPS 衛星の電波の性質と		VICS について .....	198
受信状態について .....	178	VICS のメディア概要 .....	199
現在地表示の誤差について .....	179	VICS 特有の事項 .....	199
タイヤによる誤差について .....	179	VICS 情報提供内容と	
マップマッチングによる		表示について .....	202
自車位置検出の補正について .....	179	VICS 記号・表示について .....	205
現在地表示、ルート案内の		<hr/>	
精度について .....	180		
道路、地名データについて .....	181		
ルート案内について .....	181		

## 携帯連携 206

- 携帯連携について 206
  - 携帯連携とは .....206
  - 情報を携帯電話へ送信する .....206
  - 情報を本機へ送信する .....207
  - Yahoo! JAPAN と連携した機能を使用する .....208

## スマートフォンナビ連携 216

- スマートフォンナビ連携について 216
  - Bluetooth® 機器使用上の注意事項 .....217
  - スマートフォンを登録する .....217
  - スマートフォンを接続する .....219
  - スマートフォンナビ連携を利用する .....220
  - 使用するスマートフォンを選択する .....220
  - スマートフォン連携の接続確認案内を設定する .....221
  - スマートフォン機器情報を表示する .....221
  - スマートフォン機器の登録を削除する .....222
  - NaviCon アプリを起動する .....223
  - smart nAVVi Link アプリを起動する .....223
  - スマートフォンナビ連携の操作について .....224

## アプリ連携 224

- アプリ連携について 224
  - アプリ連携のご紹介 .....224
  - アプリ画面を表示する .....225
  - アプリ連携案内音声を設定する .....225

## 地図更新について 226

- 地図を更新する 226
  - 差分更新（マップオンデマンド）と全更新について .....226
  - 専用のアプリケーションソフトについて .....227

# オーディオ & ビジュアル

## はじめに 230

- 基本操作 230
  - オーディオの ON・OFF .....230
  - 音量を調整する .....230
  - 操作画面を表示する .....231
  - ソースの切り替え .....231
  - オーディオの情報を見る .....232
  - 音の設定をする .....232

## ラジオ 241

- ラジオの操作 241
  - ラジオを聞く .....241
  - 放送局を選ぶ .....241
  - 放送局を記憶する .....242
  - 自動で放送局を記憶する .....242
  - エリアスイッチについて .....243
  - 交通情報放送を受信する .....243

## DVD プレーヤー 244

- 音楽 CD の操作 244
  - CD を聞く .....244
  - 聞きたい曲を選ぶ .....245
  - 早送り、早戻しする .....245
  - 同じ曲を繰り返し聞く .....245
  - 曲の順番をランダムに聞く .....246
  - 曲を探す .....246

- MP3/WMA ディスクの操作 247
  - MP3/WMA ディスクを聞く .....247
  - 聞きたいフォルダを選ぶ .....247
  - 聞きたい曲（ファイル）を選ぶ .....248
  - 早送り、早戻しする .....248
  - 同じ曲（ファイル）を
    - 繰り返し聞く .....248
  - 同じフォルダを繰り返し聞く .....249
  - フォルダの中から
    - ランダムに聞く .....249
  - 全フォルダの中から
    - ランダムに聞く .....249
  - フォルダの中から
    - 曲（ファイル）を探す .....249
  - フォルダを探す .....250
  - MP3/WMA について .....251

- DVD (DVD-Video、  
DVD-VR)の操作 252
  - DVD を再生する .....253
  - 映像を一時停止する .....254
  - 映像を止める .....254
  - 早送り、早戻しする .....254
  - スロー再生する .....254
  - 静止画を切り替える .....254
  - 見たい場所を選ぶ .....254
  - メニュー画面を操作する .....255
  - 音声を切り替える .....256
  - 字幕を切り替える .....256
  - アングルを切り替える .....257
  - 音声モードを切り替える .....257
  - 再生モードを切り替える .....257
  - ディスクで指定された位置まで
    - 戻って見る .....258
  - 画面モードを切り替える .....258
  - プレーヤーの設定をする .....258

■ 知っておいて		
いただきたいこと	265	
DVD ビデオ再生中の		
操作について	265	
DVD ビデオについて	265	
<b>SD メモリーカード</b>	<b>269</b>	
■ お使いになる前に	269	
SD メモリーカードの概要	269	
■ パソコンで記録した		
音楽ファイルを再生する	270	
音楽ファイルを聞く	270	
聞きたいフォルダを選ぶ	270	
聞きたい曲（ファイル）を選ぶ	271	
早送り、早戻しする	271	
同じ曲（ファイル）を		
繰り返し聞く	271	
同じフォルダを繰り返し聞く	271	
フォルダの中からランダムに		
聞く	272	
全フォルダの中から		
ランダムに聞く	272	
フォルダの中から		
曲（ファイル）を探す	272	
フォルダを探す	272	
MP3/WMA/AAC について	273	
■ SD メモリーカードに		
録音する	274	
データベースについて	274	
録音した音楽の構成について	274	
録音について	278	
録音する	279	
録音を中止する	280	
録音設定	280	
録音したデータ容量を確認する	281	
タイトルデータベースを更新する	281	
■ SD メモリーカードに録音した		
音楽を聞く	283	
SD メモリーカードに録音した		
音楽を聞く	283	
聞きたいアルバムを選ぶ	283	
聞きたい曲（トラック）を選ぶ	285	
早送り、早戻しする	285	
同じ曲（トラック）を		
繰り返し聞く	285	
同じアルバムを繰り返し聞く	286	
アルバムの中から		
ランダムに聞く	286	
全アルバムの中から		
ランダムに聞く	286	
アルバムの中から		
曲（トラック）を探す	286	
アルバムを探す	286	
■ SD メモリーカードの編集	287	
サウンドライブラリ		
編集メニュー画面について	287	
お気に入りの楽曲集		
（マイベスト）を作成する	288	
マイベストを編集する	288	
アルバム情報を編集する	290	
アルバムを削除する	293	
曲（トラック）を削除する	294	

## デジタルテレビ 295

- 地上デジタルテレビの操作 295
  - miniB-CAS カードについて .....297
  - miniB-CAS カードの出し入れ .....299
  - 地上デジタルテレビを見る .....302
  - チャンネルを選ぶ .....303
  - 番組を選ぶ .....304
  - プリセットモードを切り替える .....305
  - テレビ放送の受信方法を  
設定する .....306
  - 放送局（系列局／中継局）  
サーチを設定する  
（ネットワークフォロー）.....307
  - EPG（電子番組表）を見る .....308
  - データ放送を見る .....309
  - データ放送を操作する .....310
  - 画面表示・音声を切り替える .....312
  - 緊急警報放送（EWS）について .....314
  - 初期設定をする .....314

## AUX 319

- AUX の操作 319
  - ポータブルオーディオを  
お使いになる前に .....320
  - ポータブルオーディオを接続する  
（取りはずす） .....321
  - ポータブルオーディオを聞く .....321
  - ポータブルオーディオを終わる .....321

## VTR 322

- VTR の操作 322
  - VTR を再生する .....323
  - 音声の出力方法を切り替える .....323
  - 画面モードを切り替える .....323

## iPod 324

- iPod の操作 324
  - iPod を接続する .....325
  - iPod を取りはずす .....325
  - 再生する .....326
  - プレイモードを選ぶ .....327
  - 再生したいファイルを選ぶ .....327
  - 一時停止をする .....328
  - 早送り、早戻しする .....328
  - 同じファイルを  
繰り返し再生する .....329
  - プレイモードのリストの中から  
ランダムに再生する .....329
  - 全リストの中からランダムに  
再生する .....329

## USB 330

- USB の操作 330
  - 再生する .....330
  - 聞きたいフォルダを選ぶ .....331
  - 聞きたい曲（ファイル）を選ぶ .....331
  - 早送り、早戻しする .....332
  - 同じ曲（ファイル）を  
繰り返し聞く .....332
  - 同じフォルダを繰り返し聞く .....332
  - フォルダの中から  
ランダムに聞く .....332
  - 全フォルダの中から  
ランダムに聞く .....332
  - フォルダの中から曲  
（ファイル）を探す .....333
  - フォルダを探す .....333
  - MP3/WMA/AAC について .....333
  - MP3/WMA ファイルの作り方、  
楽しみ方 .....334

**Bluetooth® オーディオ 335**

- はじめに 335
  - Bluetooth® オーディオとは.....335
  - 各種表示について.....336
  - Bluetooth® 機器使用上の  
注意事項.....337

- Bluetooth® オーディオの  
操作 339
  - Bluetooth® オーディオを聞く.....339
  - 一時停止する.....340
  - 聞きたいアルバムを選ぶ.....340
  - 聞きたい曲を選ぶ.....341
  - 早送り、早戻しする.....341
  - 同じ曲を繰り返し聞く.....341
  - 曲の順番をランダムに聞く.....341
  - ライブラリから曲を選ぶ.....342
  - 再生リストから曲を選ぶ.....342

- Bluetooth® オーディオの  
設定 343
  - Bluetooth® 対応機器を登録する.....343
  - Bluetooth® 対応機器を接続する.....344
  - 使用する Bluetooth® 対応機器を  
選択する.....347
  - Bluetooth® 対応機器の  
詳細情報を表示する.....348
  - 接続方法を変更する.....349
  - 本機の Bluetooth® 設定を  
変更する.....349
  - Bluetooth® 対応機器の登録を  
削除する.....350

**マルチウィンドウ 351**

- マルチウィンドウ機能 351
  - マルチウィンドウについて.....351
  - マルチウィンドウ画面の表示.....351
  - マルチウィンドウ画面の操作.....351

**デジタルフォトフレーム 353**

- デジタルフォトフレームの  
操作 353
  - デジタルフォトフレームについて..353
  - 写真を見る.....353
  - 写真を選ぶ.....354
  - デジタルフォトフレームの設定.....354

**リモコンの操作 357**

- リモコンについて 357
  - リモコンの使い方.....358
  - リモコンの電池のセット方法.....362

**DS モード 363**

- DS モードの操作 363
  - DS モードについて.....363
  - DS を登録する.....363
  - DS を接続する.....364
  - DS で目的地を設定する.....366
  - DS との通信を切断する.....366
  - DS の登録を削除する.....366

## 情報

<b>情報</b>	<b>368</b>
■ 情報画面	368
情報画面の表示 .....	368
■ SYSTEM CHECK 機能	369
SYSTEM CHECK 画面の表示 .....	369
■ 交通・ナビ関連情報	370
交通・ナビ関連情報の表示 .....	370
■ カレンダー機能	371
カレンダー画面 .....	371

## 周辺モニター

<b>周辺モニター</b>	<b>372</b>
■ バックアイカメラの操作	372
バックアイカメラの映像を映す .....	373
ガイド線の設定・調整 .....	373
画面の見方について .....	375
ガイド線の表示／解除 .....	375
視点の切り替え .....	376
■ フロントアイカメラの操作	378
フロントアイカメラの	
映像について .....	378
フロントアイカメラ映像の	
切り替え .....	379

## ETC システム

<b>ETC システム</b>	<b>381</b>
■ ETC システムについて	381
ETC システムについて .....	381
■ ETC 画面の使い方	382
ETC 画面の表示 .....	382
ETC 割込表示 .....	383
ETC マーク表示 .....	383
走行中の表示 .....	383
履歴表示 .....	385
統一エラーコードの表示 .....	385
ETC 登録情報の表示 .....	386
ETC の通知設定 .....	386

## ハンズフリー

<b>お使いになる前に</b>	<b>387</b>
■ ハンズフリーについて	387
ハンズフリーとは .....	387
マイクについて .....	389
音声について .....	389
各種表示について .....	390
お車を手放すとき .....	391
Bluetooth® 機器使用上の 注意事項 .....	392
<b>ハンズフリーの基本操作</b>	<b>393</b>
■ ハンズフリーの準備をする	393
ハンズフリーの準備をする .....	393
携帯電話を登録する .....	393
携帯電話を接続する .....	394
Bluetooth® 接続の再接続に ついて .....	396
■ 電話をかける	397
ダイヤル発信する .....	397
電話を切る .....	398
■ 電話を受ける	398
電話を受ける .....	398
自動で電話を受ける .....	399
■ 通話中に操作する	399
通話中に 10 キー入力する .....	399
通話を終了する .....	399

## ハンズフリーの便利な使い方 400

- 電話をかける 400
  - 電話をかける .....400
  - 電話帳発信する .....401
  - 履歴発信する .....401
  - ワンタッチ発信する .....403
  - ナビから発信する .....404
  - 携帯電話本体から発信する .....404

- 電話を受ける 405
  - 着信中画面で操作する .....405

- 通話中に操作する 406
  - 通話中画面で操作する .....406

- 簡易画面で操作する 408
  - 簡易画面で操作する .....408

## ハンズフリーの設定 408

- 設定・編集画面を表示する 408
  - 設定・編集画面を表示する .....408

- 音量の設定をする 409
  - 音量の設定をする .....409

- 携帯電話を選択する 410
  - 使用する携帯電話を選択する .....410
  - 携帯電話の情報を表示する .....411

- 電話帳を編集する 412
  - 電話帳について .....412
  - 電話帳を編集する .....412
  - 携帯電話の電話帳データを
    - 転送する .....412
  - 電話帳に新規データを追加する .....415
  - 電話帳のデータを修正する .....416
  - 電話帳のデータを削除する .....416
  - ワンタッチダイヤルを登録する .....416
  - ワンタッチダイヤルを削除する .....417

- Bluetooth® の設定をする 418
  - Bluetooth® の設定について .....418
  - 携帯電話を登録する .....418
  - Bluetooth® 電話機の登録を
    - 削除する .....418
  - 本機の Bluetooth® 設定を
    - 変更する .....418

- ハンズフリーの詳細設定をする 421
  - 電話詳細設定画面を表示する .....421
  - セキュリティの設定をする .....421
  - 自動着信応答 .....423
  - 着信割り込み表示 .....424
  - 電話詳細設定を初期化する .....424

## ご参考に

### 参考情報 425

- 知っておいて  
 いただきたいこと 425  
 こんなメッセージが  
 表示されたときは .....425  
 故障とお考えになる前に .....438

---

- アフターサービスについて 446  
 お問い合わせに関するお知らせ .....446

---

- バッテリーの交換について 448  
 バッテリー交換をする前に .....448  
 バッテリーを交換した後に .....449

---

- お手入れについて 450  
 本機のお手入れ .....450  
 アンテナのお手入れ .....450

---

- 市街図収録都市リスト 451

---

- VICS 情報有料放送サービス  
 契約約款 454

---

- 本機で使用できるメディア／  
 データについて 456  
 メディアについて .....456  
 データの仕様について .....461  
 Bluetooth® について .....466

---

- 仕様について 467  
 本機の仕様について .....467

---

- 凡例 469

### さくいん 470

- 50 音さくいん 470

---

- アルファベットさくいん 479

# 本機について

## 本機でできること

### 本機でできること

モード	主な機能	記載場所
共通	<ul style="list-style-type: none"><li>・ カンタン初期設定</li><li>・ セキュリティ (ESN)</li><li>・ ステアリングスイッチの操作</li></ul>	23 ~ 65
GPS ボイスナビゲーション	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在地の表示</li><li>・ 目的地への案内</li><li>・ メモリ地点の登録</li><li>・ メンテナンス機能の設定</li><li>・ エコ機能</li><li>・ VICS・交通情報の地図への表示</li><li>・ 携帯連携</li><li>・ スマートフォンナビ連携</li><li>・ 地図更新</li></ul>	66 ~ 229
情報	<ul style="list-style-type: none"><li>・ SYSTEM CHECK 機能</li><li>・ 交通・ナビ関連情報の表示</li><li>・ カレンダー機能</li></ul>	368 ~ 371
	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ハンズフリー</li></ul>	387 ~ 424
オーディオ&ビジュアル	<ul style="list-style-type: none"><li>・ サブウーファーの設定 ★</li><li>・ AM・FM 放送の受信</li><li>・ DVD プレーヤーの操作</li><li>・ SD メモリーカードの操作</li><li>・ デジタルテレビ放送の受信</li><li>・ AUX の操作 ★</li><li>・ VTR の操作 ★</li><li>・ iPod の操作 ★</li><li>・ USB メモリの操作</li><li>・ Bluetooth オーディオの操作</li><li>・ マルチウィンドウ機能</li><li>・ デジタルフォトフレームの操作</li><li>・ リモコンの操作 ★</li><li>・ DS モードの操作</li></ul>	230 ~ 367
周辺モニター	<ul style="list-style-type: none"><li>・ バックアイカメラ ★</li><li>・ フロントアイカメラ ★</li></ul>	372 ~ 380

★印はシステムアップ製品 (別売) です。

## 作動条件

### 作動条件

本機の各機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により操作できるときと、できないときがあります。

○：操作できます。

×：操作できません。

機能	エンジンスイッチ OFF (LOCK)	ACC	ON 停車中	ON 走行中	ディスプレ イが オープン 状態
GPS ボイス ナビゲーション ／情報	×	○	○	走行中は安全 上の配慮など から、操作で きなくなる機 能があります。	×
オーディオ	×	○	○	走行中は安全 上の配慮など から、操作で きなくなる機 能があります。	×
デジタルテレビ DVD ビデオ DVD- VR VTR iPod video	×	○ 映像の表示は パーキングブ レーキがかか っているとき のみ。	○ 映像の表示は パーキングブ レーキがかか っているとき のみ。	走行中は安全 上の配慮など から、音声だ けになります。	×
ハンズフリー	×	○	○	走行中は安全 上の配慮など から、操作で きなくなる機 能があります。	×
ディスクおよび SD メモリー カードの出し入 れ／ディスプレ イの角度調整	ディスプレ イ部を閉じ ることができます。	○	○	○	ディスプレ イの角度調 整はできま せん。

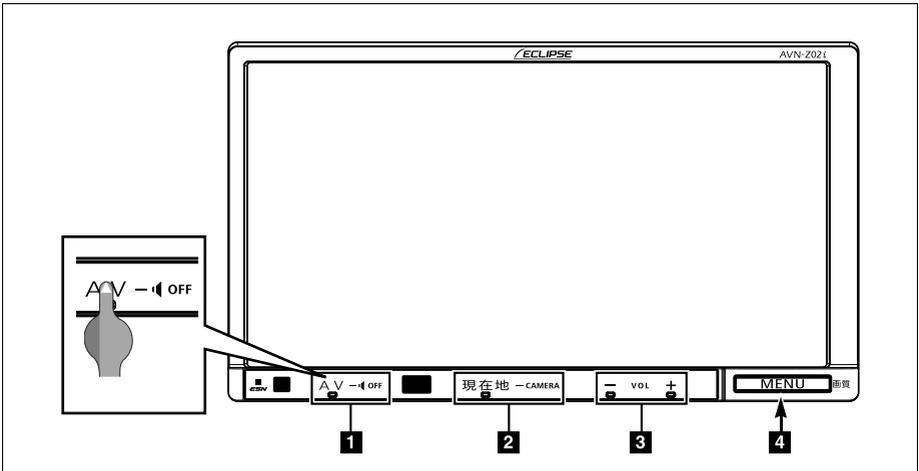
### ワンポイント

- ・ - 20℃以下の低温時には、通信ができなくなったり、SDメモリーカードへの書き込みができなくなることがあります。
- ・ 操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。



## 各部の名称とおもな働き

### パネルスイッチ



※本書は AVN-Z02i のパネルイラストで説明しています。

スイッチ	機能
1 <b>AV</b>	オーディオの操作画面を表示するとき、オーディオの電源を入れるとき／切るとき、ディスプレイを閉じるときに押します。
2 <b>現在地</b>	ナビゲーション画面／現在地を表示するときに押します。 別売のフロントカメラ装着時は、音が鳴るまで押すと、フロントカメラ映像が表示されます。
3 <b>-</b> 、 <b>+</b>	オーディオやハンズフリー機能を使用しているときの受話音や着信音の音量を調整するときに押します。
4 <b>MENU</b>	いろいろな設定をするときや、画質の調整をしたり画面を消すときに押します。

#### ワンポイント

- ・ パネルスイッチは、上記イラストの様に、突起部のみを押さずにスイッチ全体（文字）を押してください。
- ・ 画面のよごれは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。  
手で強く押ししたり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

- ・ 液晶画面は、斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりします。
- ・ 太陽の光などの外光が画面に当たると画面が見にくくなります。
- ・ 偏光レンズを使用したサングラスなどを装着すると、画面が暗く見えたり、見にくくなりましたりします。

## タッチスイッチ

### 重要

- ・ タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。

本機は、おもに画面のスイッチ（タッチスイッチ）に直接タッチして操作します。一部の画面で、タッチする指の動きに合わせて画面が移動またはスクロールするスライドタッチ操作（→27）をすることができます。

- タッチスイッチは "ピッ" という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものや、作動表示灯が点灯するものがあります。

1 つ前の画面に戻すときは、**戻る** にタッチします。

タッチすると、タッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものもあります。）

### ワンポイント

- ・ 液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けしないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。



## スライドタッチ操作について

### スライドタッチ操作について

本機では、通常のタッチ操作に加え、タッチする指の動きに合わせて、地図画面の移動やスクロールをすることができます。

スライドタッチ操作には次の方法があります。

- スライド操作
- フリック操作
- ドラッグ操作

地図スライド操作のする / しないを設定できます。(→ 164)

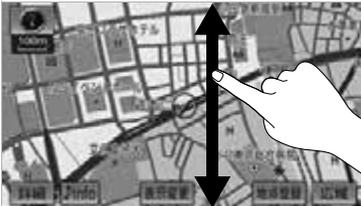
#### ワンポイント

- ・ 走行中は操作できません。

### スライド操作について

一部の地図画面で操作できます。

画面にタッチしたまま指をずらすと、指の動きに合わせて、画面が移動します。

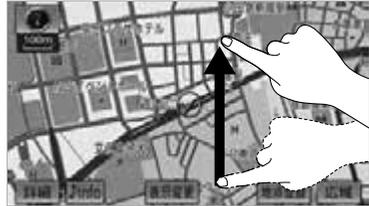


### フリック操作について

一部の地図画面で操作できます。

画面をタッチした状態で、軽く指を払うと、払った方向に画面がスクロールします。スクロールする量は、払う速度により変わります。

スクロールは、自動で止まります。スクロール中に画面にタッチしても止めることができます。



### ドラッグ操作について

カスタム機能の登録画面で操作できます。

アイコンにタッチしたまま指をずらすと、スイッチが移動します。



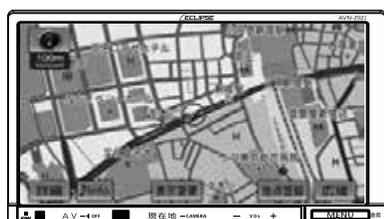
#### ワンポイント

- ・ カスタム機能の登録については、「カスタム機能の登録」(→ 29)をご覧ください。

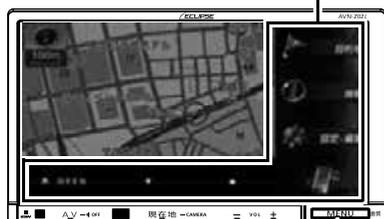
## メニューバーとカスタムバー

### メニューバーとカスタムバーについて

現在地の表示・オーディオ画面の表示・画質調整以外の操作は、すべてメニューバーのスイッチから行います。また、よく使う機能をカスタムバーに登録しておく、カスタムバーから簡単に操作することができます。



**MENU** を押す

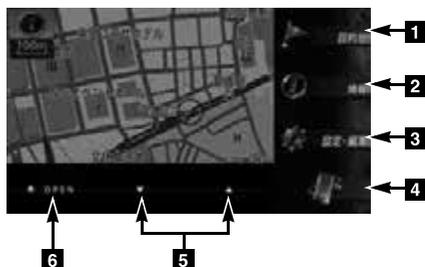


**MENU** を押す



### メニューバーの表示

- MENU** (画面外) を押す。
- メニューバーのスイッチから次の操作を行うことができます。



#### 1 目的地スイッチ

目的地を設定する。(→ 114)

#### 2 情報スイッチ

情報画面を表示する。(→ 368)

#### 3 設定・編集スイッチ

設定・編集画面を表示する。

#### 4 アプリ連携スイッチ

アプリ画面を表示する (→ 225)

#### 5 選曲・選局スイッチ

曲の切り替えやラジオ・デジタルテレビの放送局を切り替えるなど。

#### 6 ▲ OPEN スイッチ

ディスク・SDメモリーカードを出し入れする。(→ 32)  
ディスプレイの角度調整をする。(→ 44)

## カスタムバーの表示

- MENU** (画面外) を 2 回押す。
  - カスタムバーに登録した機能を実操作することができます。

## カスタム機能の登録

お好みの機能を 4 つまでカスタムバーに登録することができます。よく使う機能を登録しておく便利です。

**MENU** (画面外) × 2 回 →  
カスタムバー表示画面

- カスタム機能の登録** にタッチ。



- はい** にタッチ。
  - **今後表示しない** にタッチすると、次からメッセージが表示されません。
- 登録したい機能のスイッチを選択。



- **ナビ**・**オーディオ**・**情報**・**設定**・**編集** のいずれかにタッチしてジャンルを切り替えることができます。
- **次ページ** または **前ページ** にタッチすると、ページを切り替えることができます。

- 選択したスイッチをカスタムバーエリアまでドラッグし、指を離す。



- 次の項目をカスタムバーに登録することができます。

ジャンル	項目	ページ
ナビ	周辺施設	82
	全ルート	117
	地図&エコ情報	77
	自宅に帰る	116
	案内中止 / 案内再開*	122
	目的地消去	141
オーディオ	AM	241
	FM	241
	CD/DVD	244
	SD	270
	TV	295
	DS	363
	Bluetooth	339
	iPod	324
	USB	330
	VTR	322
	交通情報	243
	AUDIO-OFF	230
	AUX	319

ジャンル	項目	ページ
情報	VICS	187
	エコナビ情報	173
	電話	400
	カレンダー	371
	ETC	382
設定・編集	音設定	232
	ナビ音量変更	96
	画面消し	47
	フロントカメラ	378

※ルート案内中の場合のみ表示されます。

## 5 **完了** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 走行中は操作できません。
- ・ 登録したスイッチは、カスタムバー内の他のエリアに移動することができます。すでに登録されているスイッチの位置に移動すると、前に登録されていたスイッチは削除されます。

## カスタム機能の登録解除

**MENU** (画面外) × 2回 →

**カスタム機能の登録** → カスタム機能の登録画面

- 1 解除したいスイッチをカスタムバーエリア外へドラッグし、指を離す。



### ワンポイント

- ・ 走行中は操作できません。

## 本機を初めてご使用いただくとき

本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときは、次の手順で同梱の地図SDカードを本機に差し込んでください。

### 注意

- ・ ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくで故障するおそれがあります。
- ・ 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- ・ 地図SDカードの差し込み途中に、**[CLOSE]** にタッチ、または **AV** (画面外) のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ・ ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ・ モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。ケガをしたり、故障の原因となります。
- ・ 地図SDカードは▲マークを奥にして、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- ・ ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ・ プログラム読み込み中は、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしないでください。

**⚠ 重要**

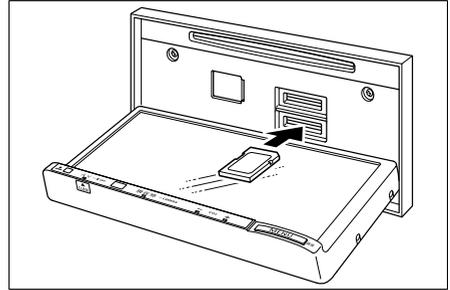
- ・ 同梱の地図 SD カード以外は使用することができません。(地図データをコピーした SD メモリーカードは使用することができません。)
- ・ 本機以外での地図 SD カードのご使用は絶対に行わないでください。その際、破損した場合は保証できませんのでご容赦ください。(デジタルカメラへの挿入、パソコンでのフォーマット(初期化)などを行うと、地図データが全て消失します。)
- ・ 同梱している地図 SD カードのフォーマット(初期化)は絶対に行わないでください。地図データが使用できなくなります。
- ・ デジタルカメラや携帯音楽プレイヤーなど、他の機器に同梱されている SD メモリーカードは使用しないでください。

**🔍 チェック**

- ・ 地図 SD カードは、ロックせずに挿入してください。

- 1 エンジンスイッチを ON にする。  
(エンジンをかける)
- 2 **MENU** (画面外) を押す。
- 3 **▲ OPEN** にタッチ。
- 4 **▲ SD** にタッチ。

- 5 挿入口に、地図 SD カードを“カチッ”と音がするまで差し込む。



- 6 **CLOSE** にタッチ。
  - **AV** (画面外) を押してもディスプレイは閉じます。



## 電源を入れる・切る

### 電源を入れる・切る

- 1 車両のエンジンスイッチを ACC、または ON にする。
  - オープニング画面を表示し、その後自動でナビゲーション画面、またはオーディオ画面に切り替わります。
  - 車両のエンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、本機の電源が切れます。

#### ワンポイント

- 電源が入っている状態で **MENU** (画面外) を 10 秒以上押し続けると、本機が再起動します。自車マークが動かないなど本機が動作不良を起こした場合は行ってください。本機を再起動すると、エンジンスイッチを ACC、または ON した場合と同じ状態となります。

## メディアについて

## メディアについて

### メディアの出し入れ

本機では、CD、DVD および SD メモリーカードを使用します。

#### ワンポイント

- インクジェットプリンタでのレーベル印刷に対応しているディスクは、正常に出し入れできない場合があります。

### メディアの入れかた

#### 注意

- 本機は 8cm CD および 8cm DVD を再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。
- SD メモリーカードは ▶ マークを奥にして、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。
- miniSD カード、microSD カード、miniSDHC カード、microSDHC カードを差し込むときは、必ず、専用のアダプターを取り付けてから差し込んでください。(miniSD カード、micro SD カード、miniSDHC カード、microSDHC カードのみを差し込むと取り出せないことがあります。)
- ディスプレイの開閉時にオートマチックチェンジレバー (“P” 位置) もしくはシフトレバー (1・3・5・® 位置) やカップホルダー上の缶などに干渉する場合は、チェンジレバーもしくはシフトレバーを “N” または “ニュートラル” 位置にするか缶などを取り除いて開閉を行ってください。
- ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。

**注意**

- ・ ディスプレイ部にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくこと故障するおそれがあります。
- ・ 熱やホコリからディスプレイを保護するため、出し入れするとき以外は、ディスプレイ部を閉じておいてください。
- ・ ディスクまたは SD メモリーカードの差し込み途中に、**[CLOSE]** にタッチ、または **[AV]** (画面外) のいずれかのスイッチを押さないでください。
- ・ ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

**チェック**

- ・ 音楽用 SD メモリーカード、デジタルフォトフレーム用 SD カードと地図 SD カード (同梱) では、挿入口が異なります。
- ・ 地図 SD カードは、ロックせずに挿入してください。

**1** **[MENU]** (画面外) を押す。

**2** **[▲ OPEN]** にタッチ。

**3** 挿入したいメディアを選択する。

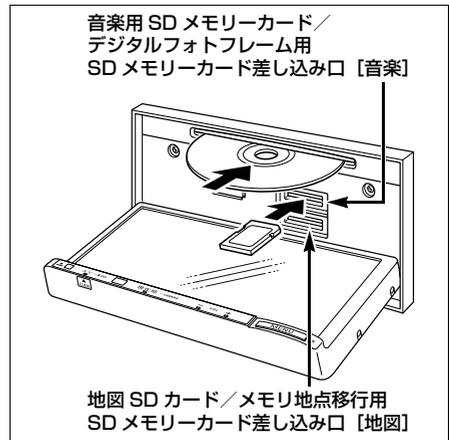
- **[▲ DISC]** …CD または DVD を挿入する
- **[▲ SD]** ……SD メモリーカードを挿入する



- ディスプレイが開きます。

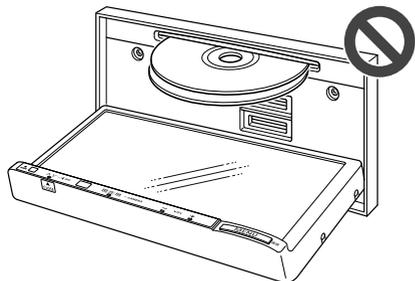
**4** メディアを挿入口に差し込む。

- ディスクは途中まで差し込むと自動的に引き込まれます。
- ディスクを差し込んだ場合、自動的にディスプレイが閉じます。
- SD メモリーカードは奥まで挿入したことを確認します。
- SD メモリーカードを挿入した場合、**[CLOSE]** にタッチすると、ディスプレイが閉じます。**[AV]** (画面外) を押してもディスプレイは閉じます。
- 地図 SD カードは“カチッ”と音がするまで差し込んでください。



### ワンポイント

- ・ 音楽 CD と音楽用 SD メモリーカードを差し込んだ場合、音楽を SD メモリーカードに録音することができます。(→ 283)
- ・ CD または DVD を挿入するときは、2 枚以上重ねて挿入しないでください。ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となります。



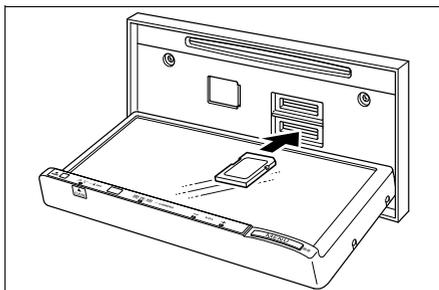
### ■バッテリーとの接続が断られたとき

地図 SD カードを取り出した状態で、エンジンスイッチを ACC、または ON にすると、「AV スイッチを「ピッ」と鳴るまで押してディスプレイを開き地図 SD カードを入れて下さい」のメッセージが表示されます。その場合、次の手順で地図 SD カードを挿入します。

### チェック

- ・ 地図 SD カードは、ロックせずに挿入してください。

- 1 **AV** (画面外) を「ピッ」と音がするまで押し続ける。
  - ディスプレイが開きます。
- 2 地図 SD カードを「カチッ」と音がするまで差し込む。
  - プログラムの読み込みを開始します。完了するとオープニング画面→TILT EJECT 画面の順に表示されます。



- 3 **CLOSE** にタッチ。
  - ディスプレイが閉じます。
  - **AV** (画面外) を押してもディスプレイは閉じます。

### メディアの取り出しかた

#### 注意

- ・ ディスプレイ部を手で閉めないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。

**△ 注意**

- ・ ディスク、SD メモリーカードを取り出す際、下記に注意してください。
  - ・ A/T 車はディスク、SD メモリーカードを取り出す際、P レンジで干渉する場合は、N レンジに切り替えてから操作してください。(コラム A/T の場合は P または N レンジで操作してください。)
  - ・ M/T 車はディスク、SD メモリーカードを取り出す際、1・3・5・⑥ ポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- ・ SD メモリーカードやディスクを取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機および SD メモリーカードやディスクにキズがつくおそれがあります。
- ・ 本機からディスクまたは SD メモリーカードを取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。ディスクに傷がつき、音とびをしたり、SD メモリーカードを破損するおそれがあります。
- ・ ディスプレイ部を開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ・ ディスプレイ部の上にジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。故障の原因となります。
- ・ メディアが押し出された状態でディスプレイ部を閉めると、ディスクを傷つけるおそれがあります。
- ・ 熱やホコリなどからディスプレイ部を守るため、ディスクを挿入する、または取り出すとき以外はディスプレイ部を閉めておいてください。
- ・ SD メモリーカードの再生中や録音中は、絶対に取り出さないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▲ OPEN** にタッチ。
- 3 取り出したいメディアを選択する。
  - **▲ DISC** … CD または DVD を取り出す
  - **▲ SD** …… SD メモリーカードを取り出す



- **▲ DISC** にタッチした場合、ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- SD メモリーカードはカードを軽く押しして取り出します。

- 4 メディアを取り出したあと、**CLOSE** にタッチ。

- ディスプレイが閉じます。**AV** (画面外) を押してもディスプレイは閉じます。

**📖 ワンポイント**

- ・ ディスプレイ部を開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時などに開いたディスプレイ部に体が当たるなどして思わぬけがをするおそれがあります。
- ・ **▲ DISC** にタッチして CD または DVD が取り出せない場合は、**AV** (画面外) を 5 秒以上押しと取り出すことができます。

**■ ディスプレイ開警告ブザー**

ディスプレイ部を開いたままエンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、“ピピピピピピピ” というブザー音でお知らせします。

**AV** (画面外) を押すと、ディスプレイを閉じることができます。



## USB メモリの接続（取りはずし）

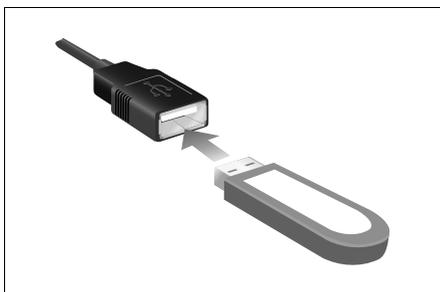
### 重要

- 必ず本機に同梱されている「USB 接続コード」をご使用ください。
- 本機で USB メモリを使用しているときに USB メモリ内のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- USB メモリを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。その場合、弊社は補償することができません。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。また、車を離れるときは、車内に放置しないでください。
- オーディオソースが USB のとき、USB メモリを取りはずさないでください。USB メモリ内のデータが破損するおそれがあります。

### チェック

- 接続した USB メモリが本機で正しく認識できないことがあります。USB メモリを取り外し再度接続してください。
- 使用する USB メモリによって本機で正しく認識できない場合があります。別の USB メモリで再度接続してください。

## 1 USB メモリを接続します。（取りはずします。）



### ワンポイント

- 本機で使用できる USB メモリは以下のフォーマットです。
  - 対応クラス：マストレージクラス（SCSI 対応）
  - 対応 USB Ver：USB2.0、USB1.1
  - 最大消費電流：1A 未満
  - ファイルフォーマット：FAT 16/32（Windows®）
- 上記以外の USB メモリは、正常な動作が行えないため接続しないでください。また、上記を満たしている USB メモリでも、正常に動作しないことがあります。
- USB 接続コードに、iPod や iPhone を接続しても認識させることはできません。
- 本機は市販の USB ハブやマルチカードリーダー、外付けのハードディスク、USB 端子付ポータブルオーディオプレーヤーには対応していません。
- USB メモリ以外（USB 扇風機や USB クリーナーなど）は接続しないでください。接続して使用すると、ノイズなどが発生する場合があります。
- 本機は市販の USB 充電コード（携帯電話充電コード）を使用することができませんが、コードの種類によっては正しく認識できない場合があります。

## 使用できるメディアについて

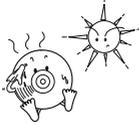
本機で使用できる CD、DVD、SD メモリーカードについては、「本機で使用するメディア／データについて」（→ 456）をご覧ください。

## CD、DVD について

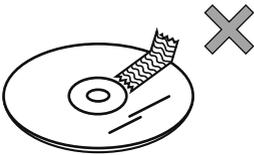
### ワンポイント

#### ■ディスクの取扱いについて

- ・ ディスクは直射日光をさげ、必ずケースに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



- ・ 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



- ・ ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



- ・ 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。

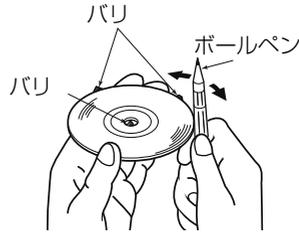


- ・ 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



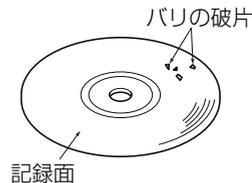
#### ■新しいディスクについて

- ・ 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



#### ■レンタルディスクについて

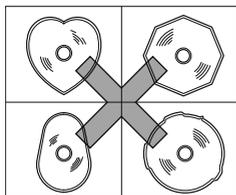
- ・ ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。





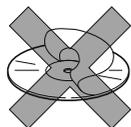
### ■特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないください。

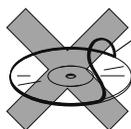


### ■ディスクのアクセサリについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、CD ラベルなどは使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となります。
- 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリ（CD リング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となります。



CD リング



### SD メモリーカードの取り扱いについて

#### ワンポイント

- 定期的にはカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



- ラベルははがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある SD メモリーカードは使用しないでください。



- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。SD メモリーカードが使用できなくなることがあります。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



# ヒント機能

## ヒント機能を使う

- ・ 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ・ 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、SD メモリーカードを放置しないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。
- ・ 音楽用 SD メモリーカードの再生中は、音楽用 SD メモリーカードを抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

### プレーヤーについて

- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。画面に表示されたメッセージにしたがって操作しても、なお機能が停止しているときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売店で点検を受けてください。
- 寒いときや雨降りときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）が生ずることがあります。この場合、音が飛んだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びをすることがあります。

### 文字情報の表示について

各種画面で情報として表示できる文字数には制限があるため、すべてを表示できないことがあります。また、記録されている内容によっては正しく表示されなかったり、表示ができないことがあります。

### ヒント機能の使い方

**[?]** が表示されている場合、その画面に表示されているスイッチの機能がわからないときに、スイッチの説明を表示させることができます。

**[?]** が表示されている画面

1 **[?]** にタッチ。



2 使い方を知りたいスイッチにタッチ。

3 使い方の確認後、ヒント画面を解除する。  
画面にタッチ、または約 6 秒以上操作しない。

4 ヒントモードを解除する。

→ **[?戻る]** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 走行を開始すると、ヒントモードは解除されます。
- ・ 走行中は操作できません。
- ・ ヒント機能を操作中は通常の操作ができませんので **[?戻る]** にタッチしてから操作してください。
- ・ 機能説明を表示しないタッチスイッチもあります。



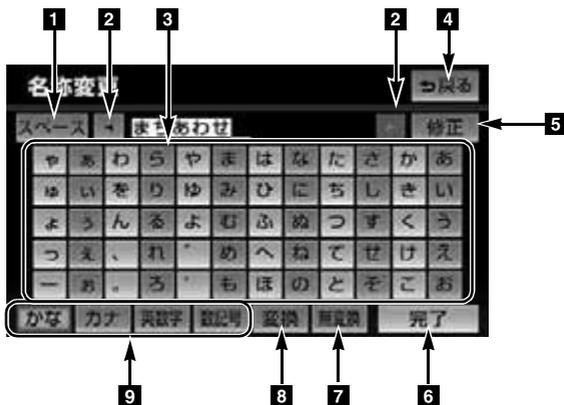
# 文字の入力操作

## 文字の入力操作について

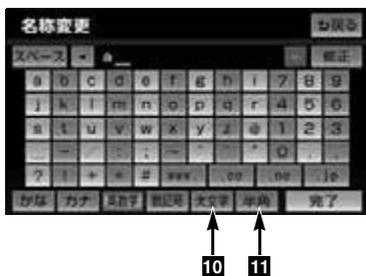
### 入力画面の各スイッチの使い方

ここではメモリ地点名称変更画面で文字の入力操作について説明しています。  
入力する画面によって意匠が異なったり、入力方法が限定されたりします。

#### ■かな・漢字入力時



#### ■英字・数字入力時



#### ■数字・記号入力時





スイッチ	働 き
<b>1</b> スペーススイッチ	カーソル位置に空白を入力する。
<b>2</b> カーソル移動スイッチ	カーソルを移動する。 ・ 未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動。 確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
<b>3</b> 文字入力スイッチ	各種文字を入力する。
<b>4</b> 戻るスイッチ	入力した文字を入力しないで、入力画面を終了する。
<b>5</b> 修正スイッチ	文字を消去する。 ・ カーソルが文字の下にあるときは、カーソルの上の文字を消去。 ・ カーソルが最後尾の文字の後にあるときは、カーソルの直前の文字を消去。 タッチし続けると、カーソルの位置から 1 文字ずつ順に消去する。
<b>6</b> 完了スイッチ	入力を終了する。 入力画面が表示される前の画面にもどり、文字が入力される。
<b>7</b> 無変換スイッチ	かな入力時、ひらがなのままで確定する。
<b>8</b> 変換スイッチ	かな入力時、漢字などに変換する。
<b>9</b> 入力モード切り替え スイッチ	文字の入力モードを切り替える。 <b>かな</b> …… ひらがな、漢字を入力 <b>カナ</b> …… カタカナを入力 <b>英数字</b> …… アルファベット、数字を入力 <b>数記号</b> …… 数字、記号を入力
<b>10</b> 大文字／小文字スイッチ	大文字入力と小文字入力を切り替える。
<b>11</b> 全角／半角スイッチ	半角入力と全角入力を切り替える。
<b>12</b> ページ切り替えスイッチ	ページを切り替える。



## 漢字変換

1 かな入力状態で、文字を入力する。

2 **変換** にタッチ。



3 文字を確定する。

- そのままの状態でもよいとき  
→ **全確定** にタッチ。
- 変換範囲のみ変換するとき  
→ 希望の候補を選択しタッチ。
- 変換範囲（文節）が間違っているとき  
→ **◀** または **▶** にタッチして変換範囲を修正する。

4 変換範囲のみ変換する場合は、確定すると、次の変換範囲に移動する。  
すべての文字の変換が終わるまで、手順 3 の操作を繰り返す。

## リスト画面

### リスト画面について

#### リスト画面の切り替え方

地図を呼び出すときなどに複数の候補（選択項目）がある場合、リスト画面が表示されます。希望の候補が表示されているリストにないときは、リストを切り替え、希望の候補を選択します。

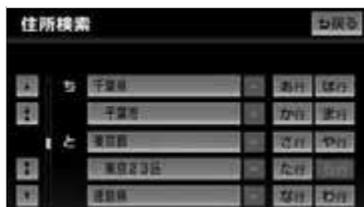
#### 項目／ページの切り替え表示

- 1 **▲**・**▼**・**▲**・**▼** のいずれかにタッチ。
- **▲**・**▼** …1 項目ずつリストが動きます。
  - **▲**・**▼** …1 ページずつリストが動きます。



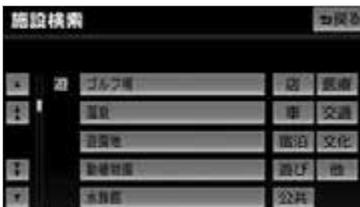
#### 行の切り替え表示

- 1 **あ行**・**か行**・**さ行**・**た行**・**な行**・**は行**・**ま行**・**や行**・**ら行**・**わ行** のいずれかにタッチ。
- 「あ行→か行」というように行ごとにもリストが動きます。
  - 「あ行」の場合、**あ行** にタッチすることにより、「あ→い」というようにリストが動きます。



## 地域／施設項目の切り替え表示

- 1 地域（北海道／東北／関東／中部／近畿／中四国／九州）や施設項目（店／車／宿泊／遊び／公共／医療／交通／文化／他）にタッチ。
  - 地域／施設項目ごとにリストが動きます。



## マーク／種類の切り替え表示

- 1 **▲マーク**・**▼マーク**・**▲種類**・**▼種類** のいずれかにタッチ。
  - 次のマーク／種類に飛ばして、リストが動きます。



## 文字の表示範囲の変更

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、すべて表示されないことがあります。

次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

- 1 **▶** にタッチ。



- 先頭に戻るとき → **◀** にタッチ。



# 画面の調整・設定

## 画面の調整・設定をする

### ディスプレイの角度調整

車外からの光などで画面が見にくいときは画面の角度を調整できます。

#### ⚠ 注意

- ・ディスプレイの角度調整をするときは手などをさわらないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。

#### ⚠ 重要

- ・ディスプレイが TILT 状態のときに上部のすき間からディスクを差し込まないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ・ディスプレイの角度調整をする際、下記に注意してください。

#### < A / T 車 >

チルト位置を設定する際、P または Ⓜ、N レンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

#### < M / T 車 >

チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓜポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定をしないでください。)

1 **MENU** (画面外) を押す。

2 **▲ OPEN** にタッチ。

3 TILT の **▼** または **▲** にタッチ。



- **▼** …斜め下方に傾ける
- **▲** …傾きを戻す
  - ・タッチすることにより 1 段階 (5°) ずつ傾きます。最大 6 段階 (30°) まで傾けることができます。

4 本機 (画面外) のいずれかのスイッチを押す。

#### 📖 ワンポイント

- ・ディスプレイを傾けた状態でも、ディスプレイを開くことができます。ディスプレイを閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ・ディスプレイ部を傾けた状態で車両のエンジンスイッチを OFF (LOCK) にすると、自動で傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチを ACC、または ON にした場合、元の傾いた状態に戻ります。





## 画質調整画面の表示

- 1 **MENU** (画面外) を押し続ける。  
(約 1 秒間)

### 画質調整画面の表示例

#### ナビゲーション画面



#### DVD 画面



- ・ 画質調整画面を解除するとき  
→ **完了** にタッチ。
- ・ 約 20 秒以上操作しなかったときも解除されます。

## 画質の調整

### チェック

- ・ 操作画面、設定画面を表示している時は「色合い」、「色の濃さ」を調整することができません。

**MENU** (画面外) (約 1 秒間押す) →  
画質調整画面

- 1 各項目を設定する。

### ■色合い\*

- 緑** … 緑色を強くする
- 赤** … 赤色を強くする

### ■色の濃さ\*

- 濃** … 色を濃くする
- 淡** … 色を淡くする

### ■コントラスト

- 強** … 強くする
- 弱** … 弱くする

### ■明るさ

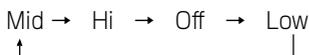
- 明** … 明るくする
- 暗** … 暗くする



## ■Vivid View

**Vivid View** … 画質全体を同時に補正する

- タッチスイッチにタッチするごとに、下図の順に補正レベルを切り替えることができます。



※ 色合い、色の濃さは、DVD などの映像を表示しているときに調整できます。  
ナビゲーション画面やオーディオ操作画面などは、コントラスト、明るさのみ調整できます。

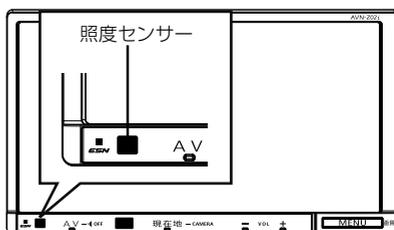
## 2 **完了** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

## 自動で画面の明るさを変える (直射日光補正機能)

ディスプレイに光が直接当たると画面が白っぽくなり、見えにくくなります。この現象を解消するために、元の画像の色味や明るさを自動補正して、見やすくすることができます。



**MENU** (画面外) (約 1 秒間押す) → 画質調整画面

## 1 **画質補正** にタッチ。

- 作動表示灯が点灯します。
- 再度タッチすると、設定が解除されます。

## 2 **完了** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 照度センサーの近くで赤外線リモコンなどを操作すると、誤作動することがあります。
- ・ ディスプレイ前面にある照度センサーへ光が入った時に効果を発揮します。

## 昼画表示・夜画表示について

夜間など、周囲が暗いと画面が明るすぎて映像が見えにくくなることがあります。そのため、必要に応じて<昼画表示>と<夜画表示>を切り替えて画面を見やすくすることができます。

### ■ 昼画表示と夜画表示の画面例

昼画表示（ライト消灯時）



夜画表示（ライト点灯時）



### ■ 昼画表示・夜画表示の切り替え

昼画表示と夜画表示を切り替えるタイミングを次の中から選択することができます。

- ・ 時刻連動・・・季節ごとの日の出・日の入り時刻に合わせて表示を切り替えます。
- ・ イルミ連動・・・ライト（車幅灯、尾灯、番号等）の点灯・消灯によって表示を切り替えます。
- ・ 強制昼画・・・常に昼画表示で表示します。

MENU (画面外) → **設定・編集** →  
ナビ詳細設定 → **地図表示設定** →  
ナビ詳細設定画面

- 1 地図色切り替えタイミング設定の **変更する** にタッチ。



- 2 **時刻連動** ・ **イルミ連動** ・ **強制昼画** のいずれかにタッチ。

手動で夜画・昼画表示に切り替える

MENU (画面外) (約1秒間押す) →  
画質調整画面

- 1 昼画（夜画）表示のときに **夜画面**（**昼画面**）にタッチ。
- タッチすることにより、昼画表示と夜画表示が切り替わります。
- 2 **完了** にタッチ。

### 📖 ワンポイント

- ・ 本機の電源を入れると、パネルスイッチは常時点灯します。



本機の操作

## 画面を消す

音声を消さずに、画面だけを消すことができます。

**MENU** (画面外) (約 1 秒間押す) → 画質調整画面

- 1 **画面消** にタッチ。
  - ・画面を表示させるとき
    - 画面外の **現在地** または **AV** を押す。

## 画面モードについて

DVD などの映像は、通常の映像とワイド映像を切り替えることができます。

### ■標準画モード (Normal)

たて 3 : よこ 4 の割合の画面 (普通のテレビ画面の大きさ) で両端が黒く表示されます。



### ■ワイド 1 画モード (Wide 1)

たて 3 : よこ 4 の割合の画面 (普通のテレビ画面の大きさ) を左右方向に均等に拡大して表示します。



### ■ワイド 2 画モード (Wide 2)

たて 3 : よこ 4 の割合の画面 (普通のテレビ画面の大きさ) を上下左右方向に均等に拡大して表示します。



\*お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

## 画面モードの切り替え

各映像の画面モードの切り替え方法については、次のページをご覧ください。

映像	ページ
DVD	258
VTR	323

# カンタン初期設定

## カンタン初期設定で設定する

初めて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、カンタン初期設定画面が表示されます。最初に設定しておくことと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます。

### カンタン初期設定の開始

#### チェック

- ・ 地図 SD カードを差し込む必要があります。(→ 32)

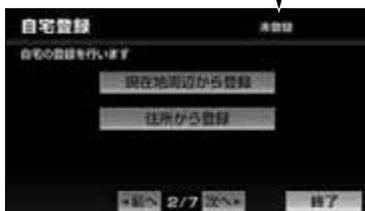
#### 1 **カンタン初期設定を開始する** にタッチ。

- ・ **次回起動時に設定する** にタッチすると、カンタン初期設定を終了します。次に本機を起動したとき、カンタン初期設定画面が再度表示されます。
- ・ **設定しない** にタッチすると、カンタン初期設定を終了します。次に本機を起動しても、カンタン初期設定画面は表示されません。

#### 2 自宅の地図を呼び出す。

- **現在地周辺から登録** にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- **住所から登録** にタッチすると、住所から地図を呼び出すことができます。(→ 103)
- 項目によって、設定状況を表示します。

設定状況



#### 3 **セット** にタッチ。

#### 4 **次へ** にタッチ。

#### 5 案内音量を設定する。

- 設定については、「音量設定」(→ 96) を参照してください。

#### 6 **次へ** にタッチ。

#### 7 車両情報を設定する。

- 設定については、「車両情報の設定」(→ 130)、「ラジオアンテナの設定」(→ 59) を参照してください。

#### 8 **次へ** にタッチ。

#### 9 ECO 設定をする。

- 設定については、「燃費を手動で設定する」(→ 176) を参照してください。

#### 10 **次へ** にタッチ。

#### 11 Bluetooth を設定する。

- 設定については、「携帯電話を登録する」(→ 393) を参照してください。

#### 12 **次へ** にタッチ。

#### 13 スキンチェンジの設定をする。

- 設定については、「メニューデザインの変更」(→ 57) を参照してください。

#### 14 **完了** にタッチ。

#### 15 **はい** にタッチ。





## ワンポイント

- ・ 設定の途中で **終了** にタッチし、**はい** にタッチすると、カンタン初期設定を終了することができます。次に本機を起動したとき、カンタン初期設定画面は表示されません。設定の続きは、設定・編集画面（ナビ）の **ナビ詳細設定** から行ってください。（→ 167）
- ・ 設定の途中でパネルスイッチにタッチして他の画面に切り替えた場合、そこまでの設定が反映されます。次に本機を起動したとき、カンタン初期設定画面が再度表示されます。
- ・ **前へ** にタッチすると、前の画面に戻ることができます。
- ・ カンタン初期設定は、設定・編集画面（ナビ）の **ナビ詳細設定** から行うことができます。（→ 167）

## 本機の設定

## 本機の設定をする

## 本機の設定

- 1 **MENU**（画面外）を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **共通設定** にタッチ。



- 4 各項目の設定をし、**完了** にタッチ。

- 共通設定画面から、次の項目を設定できません。

項目	ページ
BEEP 音通知の設定	50
操作画面継続表示の設定	51
セキュリティ (ESN) の設定	51
個人情報の初期化	56
ナビゲーション音声の出力位置切り替え	57
メニューデザインの変更	57

## BEEP 音通知の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの "ピッ" という操作音を設定することができます。

**MENU**（画面外） → **設定・編集** → **共通設定** → 共通設定画面

- 1 BEEP 音通知の **1** ・ **2** ・ **3** ・ **4** ・ **OFF** のいずれかにタッチ。



## 操作画面継続表示の設定

オーディオ操作画面の継続表示のする／しないを設定することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**共通設定** → 共通設定画面

1 操作画面継続表示の **する** または **しない** にタッチ。

- 「しない」に設定すると、約 20 秒以上操作しなかった場合、もとの画面にもどります。

### ワンポイント

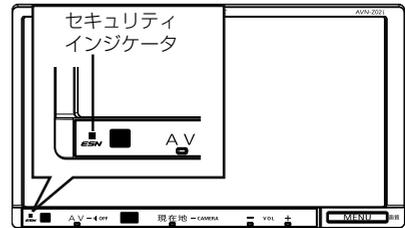
- ・ バックアイカメラなどの割り込み画面が表示されたときは、継続表示されないことがあります。
- ・ 操作画面継続表示の **しない** にタッチすると、オーディオ操作画面を表示しても自動でもとの画面に切り替わります。オーディオ操作画面を再度表示させる場合は、**AV** (画面外) を押してください。
- ・ 操作画面継続表示の **しない** にタッチしても、オーディオ操作画面の表示中に割り込み画面が表示、解除された場合、もとの画面にもどらないことがあります。

## ESN の設定

ESN (ECLIPSE Security Network) は、バッテリーターミナルをはずして再度接続した場合に、本機をロックする（操作できなくする）セキュリティ機能です。

ESN 作動中はセキュリティインジケータを点滅させて、盗難を抑止することができます。

また、ACC セキュリティを作動させると、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にするたびに本機をロックすることができます。



## ESN 設定画面を表示する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
設定・編集画面

- 1 **共通設定** にタッチ。
  - 2 ESN の **設定する** にタッチ。
- ESN 設定画面が表示されます。



## ESN を作動する

ESN は 4 桁の暗証番号を本機に登録することで作動します。

- 暗証番号の初期設定は「0000」です。暗証番号は他人にわかりにくい番号にしてください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**共通設定** → ESN の **設定する** →  
ESN 設定画面

### 1 **コード設定** にタッチ。

- 表示されるシリアル No. は、保証書に記載されている製造番号と同一の、機器固有の番号です。



### 2 現在の暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。

- 入力した暗証番号は「\*」で表示されます。
- 初期設定は「0000」です。
- 間違えたときは、**修正** にタッチすると、1 番号ずつ消去されます。



### 3 新しい暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。

### 4 もう一度、手順 3 で入力した暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。

### 5 **はい** にタッチ。

- ESN が作動します。

#### ワンポイント

- 登録した暗証番号は、セキュリティの解除や暗証番号の変更を行うときに必要になります。登録した暗証番号を忘れたときの確認用にメモなどをしておくことをおすすめします。

## ESN のロックを解除する

バッテリーターミナルをはずした後、エンジンスイッチを ON にすると、セキュリティがロックされた状態で起動します。ロックを解除するには、設定した 4 桁の暗証番号を入力します。

### 1 **OK** にタッチ。

- 暗証番号入力画面が表示されます。

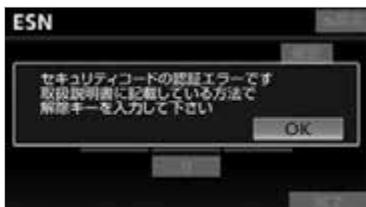


### 2 設定した4桁の暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1 文字ずつ消去されます。

## ワンポイント

- ACC セキュリティを **する** に設定していた場合、ESN のロックを解除しても、ACC セキュリティの設定は **する** のまま保持されますが、ESN の設定をキャンセルした場合は、ACC セキュリティの設定もキャンセルされます。
- 5 回照合できなかった場合、次の画面が表示されます。その場合、「ESN / ACC セキュリティのロック解除に 5 回連続で失敗したとき」(→ 53) を参照してください。



## ESN / ACC セキュリティの ロック解除に 5 回連続で失敗したとき

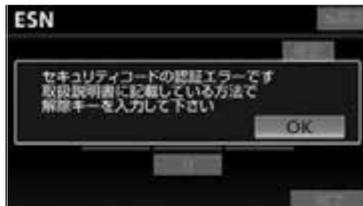
ロックを解除するには、解除キーの入力が必要です。  
解除キーは携帯電話から E-iSERV にメールを送ると取得することができます。

## チェック

- ロックを解除するとき使用する解除キーは、ESN 作動時に設定した 4 桁の暗証番号とは異なります。

## 1 **OK** にタッチ。

- 解除キー入力画面が表示されます。



## 2 携帯電話で 2 次元バーコードを読み取り、メーカーを立ち上げる。

- 2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開しておりません。製品に同梱されている「取扱説明書」の 53 ページを参照してください。
- 携帯電話に、宛先アドレスを入力済みのメール作成画面が表示されます。

## 3 メールタイトルにシリアル No. (8 桁)、本文に前回のキー No. (6 桁) を入力する。



## 4 メールを送信する。

- 今回のキー No. が記載されたメールが E-iSERV より返信されます。





## 5 メールに記載されている、今回のキー No. を入力し、**完了** にタッチ。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



- 入力したキー No. が5回照合できなかった場合、"お客様相談窓口へお問い合わせ下さい" のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お客様相談窓口 (0120-022210) までご連絡ください。

### ワンポイント

- ・ 本機能は NTT docomo、au、SoftBank の3キャリアに対応しています。(一部の携帯電話やドメインには対応していません。) 対応機種の詳細は、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご確認ください。
- ・ 携帯電話以外 (パソコンなど) から送信されたメールや、ファイルが添付されているメール (デコメールや HTML メールなど) には対応していません。
- ・ メールにはシリアル No. や前回のキー No. 以外の文字を入力しないでください。桁数が違う場合や、英数字以外の文字が入力されている場合、エラーメールが返信されます。
- ・ 携帯電話が E-iSERV (esn\_admin@eismail.ten.fujitsu.com) からのメールを受信できるよう設定しておいてください。

- ・ メールサーバーの通信状況やメンテナンス状況によっては、メールの返信に時間がかかる場合があります。
- ・ E-iSERV のメンテナンス等サービスに関する情報は、ホームページでご確認ください。 <http://www.e-iserv.jp/top/index.html>
- ・ ESN では、解除コード取得の際、お客様の携帯電話から送られたメールや個人情報については、厳重管理のもとサーバーに保存致しますが、警察からの捜査協力依頼があった場合、保存している個人情報を提供します事をご了承ください。

## ESN の設定を解除する

### チェック

- ・ ESN を解除した場合、ACC セキュリティも解除されます。ACC セキュリティのみを解除したい場合は、「ACC セキュリティのロックを解除する」(→ 55) を参照してください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **共通設定** → ESN の **設定する** → ESN 設定画面

- 1 **キャンセル** にタッチ。
- 2 暗証番号を入力し、**完了** にタッチ。
- 3 **はい** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などを行うと、ESN のロックがかかります。バッテリーを交換などを行う際は、事前に ESN の設定を解除してください。



## ACC セキュリティを作動する

ACC セキュリティを作動させると、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にするたびに、本機をロックすることができます。

### チェック

- ACC セキュリティの作動は、ESN の作動中のみ行うことができます。

### 1 ESN を作動する。

- 「ESN を作動する」(→ 52) を参照してください。

### 2 ESN 設定画面で、ACC セキュリティの **する** にタッチ。

## ACC セキュリティのロックを解除する

ACC セキュリティが作動しているときは、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ON にするたびに、認証画面が表示されます。認証画面で暗証番号を入力するとロックを解除することができます。

### 1 設定した 4 桁の暗証番号を入力する。

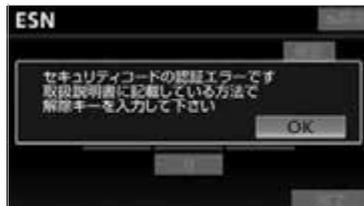
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1 番号ずつ消去されます。



### 2 **完了** にタッチ。

## ワンポイント

- 5 回照合できなかった場合、次の画面が表示されます。その場合、「ESN / ACC セキュリティのロック解除に 5 回連続で失敗したとき」(→ 53) を参照ください。



## ACC セキュリティを解除する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **共通設定** → ESN の **設定する** → ESN 設定画面

### 1 ACC セキュリティの **しない** にタッチ。

## セキュリティインジケータの表示を設定する

ESN を作動させているときに点滅するセキュリティインジケータ表示を ON (点滅する) または OFF (点滅しない) で切り替えることができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **共通設定** → ESN の **設定する** → ESN 設定画面

### 1 インジケータの **ON**、または **OFF** にタッチ。

## 個人情報の初期化

本機の設定や保存されている情報を初期化することができます。  
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。

次の情報を、削除または初期設定の状態にすることができます。

項目	情報
GPS ボイスナビゲーション	走行軌跡
	目的地履歴
	メモリ地点
	迂回メモリ地点
	ユーザーカスタマイズ
	メンテナンス機能の各種設定項目
	メンテナンス自動通知の設定
	販売店の設定
	エコ機能の設定および履歴
	オーディオ&ビジュアル
デジタルテレビの地域の設定	
Bluetooth オーディオの登録情報	
DS ソフトの情報	
ハンズフリー	
	発信履歴および着信履歴
	ワンタッチダイヤル
	Bluetooth 電話機の登録情報
	ロック No. の設定
	ハンズフリー関連の設定・編集項目

項目	情報
Yahoo! JAPAN と連携機能	携帯電話から送信したドライブルート情報
	携帯電話から送信した地点情報
	保存した走行軌跡の履歴
	ロック No. の設定
オープニング画面	オープニング画面の設定
ステアリングスイッチ	ステアリングスイッチの設定
運転弱者サポート機能	リバースシフトアラーム
	速度超過アラーム

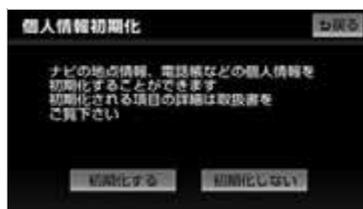
### ワンポイント

- 一度初期化されたデータはもとに戻せません。十分注意して初期化してください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **共通設定** → 共通設定画面

1 個人情報初期化の **初期化する** にタッチ。

2 **初期化する** にタッチ。



3 **はい** にタッチ。

4 **OK** にタッチ。



## ワンポイント

- ・セキュリティを設定している場合は、個人情報初期化できません。事前にセキュリティを解除してください。(→ 54)
- ・一度初期化(消去)された内容(データ)は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。
- ・初期化中はオーディオの出力が停止します。初期化後、自動で音声は出力されません。
- ・Bluetooth オーディオ、ハンズフリー機能を使用している場合、Bluetooth 接続が切断されます。

## ナビゲーション音声の出力位置切り替え

ルート案内中の音声案内など、ナビ音声を出力するスピーカーの位置を前席左側、または前席右側に切り替えることができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **共通設定** → 共通設定画面

- 1 ナビ音声設定の **左側スピーカー**、または **右側スピーカー** にタッチ。
- 2 **はい** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ルート案内中にナビゲーション音声の出力位置を切り替えると、現在のルート案内が終了するまで音声案内などが聞こえなくなります。(新しく目的地を設定すると、音声案内などを聞くことができます。)

## メニューデザインの変更

メニューバー(→ 28)などのデザインを変更することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **共通設定** → 共通設定画面

- 1 メニューデザインの **クール**・**フレンドリー**・**モダン** のいずれかにタッチ。

## オープニング画面の設定

本機の電源を入れたときに表示される画面をお好みに合わせて切り替えることができます。

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **画像設定** にタッチ。
- 4 **オープニング画像変更** にタッチ。
- 5 **1**・**2**・**3**・**カスタム** のいずれかにタッチ。



- **カスタム** は画像が登録してあるときのみタッチできます。(→ 58)
- 6 **完了** にタッチ。



## カスタムへの画像の登録

SDメモリーカードに記録されている画像データを取り込み、カスタムに登録することができます。本機で使用できるSDメモリーカードや画像データについては、「本機で使用できるメディア/データについて」(→456)をご覧ください。

### チェック

- ・画像データ以外のデータがSDメモリーカード内に混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- ・SDメモリーカードに音楽を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。「録音する」(→279)

MENU (画面外) → **設定・編集** → **画像設定** → **オープニング画像変更** → オープニング画像変更画面

1 **カスタムの変更** にタッチ。



2 SDメモリーカードを地図SDカード挿入口に挿入する。(→32)

- 画像データの読み込み中は本機およびエンジンスイッチの操作をしないでください。

3 **カスタムの変更** にタッチ。

4 設定したい画像を選択し、**決定** にタッチ。



- ・選択した画像のプレビュー画面を見たいとき

→ **プレビュー** にタッチ。



- ・次の画像を見たいとき  
→ **→** にタッチ
- ・前の画像を見たいとき  
→ **←** にタッチ

5 **決定** にタッチ。

6 **完了** にタッチ。

## ラジオアンテナの設定

お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、ラジオ受信時以外にもラジオアンテナが上がったままになります。このときは、本機から強制的にラジオアンテナを下げるすることができます。

## 重要

- ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げるときは、設定画面で、**上げる** にタッチしてください。

## チェック

- 目的地が設定されているときは、車両情報の設定ができません。

MENU (画面外) → **設定・編集** →

**ナビ詳細設定** → **その他** →  
ナビ詳細設定画面

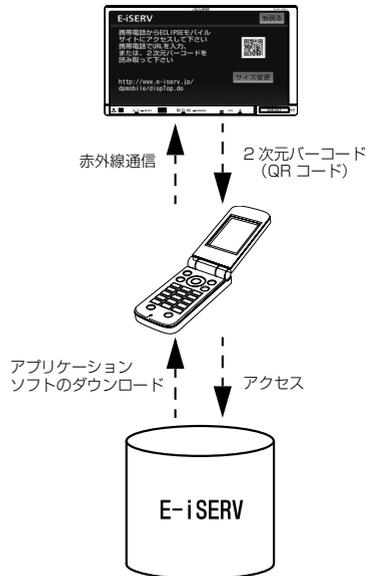
- 車両情報設定の **変更する** にタッチ。
- ラジオアンテナの **上げる**、または **下げる** にタッチし、**完了** にタッチ。



- 下げる** にタッチしたときは、メッセージを確認後、**表示消去** にタッチします。

携帯電話を使って E-iSERV (ECLIPSE information SERVICE) にアクセスすると、ケータイリンク機能のアプリケーションソフトをダウンロードすることができます。ダウンロードした機能は、赤外線通信を使って本機に読み込むことができます。ダウンロードされるケータイリンク機能は以下です。

- **モクテキチネット**  
本機は対応していません。
- **Pic-CLIP**  
本機は対応していません。
- **助手席リモコン**  
専用のアプリケーションソフトを用いることにより、携帯電話を使ってリモコン操作ができます。





## ケータイリンクのアプリをダウンロードする

E-iSERV にアクセスして、アプリケーションソフトをダウンロードします。ダウンロードしたあとは、ケータイリンク機能の助手席リモコンのサービスを利用できます。

### 警告

- ・ 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

### チェック

- ・ 2次元バーコード（QRコード）の読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。
- ・ 携帯電話の動作確認機種は、弊社ホームページおよび E-iSERV を参照してください。
- ・ ケータイリンク、ケータイ版 E-iSERV は、スマートフォン対象外です。

**MENU**（画面外） → **設定・編集** → 設定・編集画面

## 1 **E-iSERV** にタッチ。

## 2 携帯電話でバーコードを読み込む、または URL を入力して E-iSERV にアクセスする。



- URL : <http://www.e-iserv.jp/dpmobile/dispTop.do>
- 2次元バーコード :



### ワンポイント

- ・ 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ・ 2次元バーコードの読み取りは、携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- ・ 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- ・ 携帯電話の通信料金はおお客様のご負担になります。
- ・ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・ ケータイリンクは富士通テン株式会社の登録商標です。

**ケータイリンク**®

# ステアリングスイッチ

## ステアリングスイッチ

### ステアリングスイッチを設定する

お車がステアリングスイッチ設定車の場合、オーディオ・ビジュアルの主要機能や、ハンズフリーの音量調整機能をステアリングスイッチで操作することができます。

ステアリングスイッチは次の方法で設定することができます。

- 自動車メーカーを指定して設定（お客様のお車がトヨタ / ダイハツ / ホンダ / スバル / マツダ製の場合）（→ 61）
- 自動車メーカーを指定しないで設定（→ 61）

#### チェック

- ・ 対応車両につきましては、ECLIPSE のホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご確認ください。

### 自動車メーカーを指定して設定する

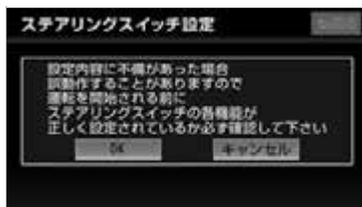
**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**運転支援** → 設定・編集画面

1 **ステアリングスイッチ設定** にタッチ。

2 お車の自動車メーカーにタッチ。



3 **OK** にタッチ。



#### ワンポイント

- ・ 自動車メーカーを設定しても、車種によっては設定値が合わず、ステアリングスイッチが動作不良を起こす場合があります。その場合、「自動車メーカーを指定しないで設定する」（→ 61）の手順でステアリングスイッチを設定してください。

### 自動車メーカーを指定しないで設定する

#### チェック

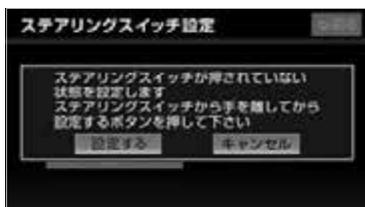
- ・ ステアリングスイッチの操作を本機に記憶させることができます。記憶させることができるスイッチは以下です。
  - ・ 音量スイッチ
  - ・ モード切替スイッチ
  - ・ 選局（選曲）スイッチ

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**運転支援** → 設定・編集画面

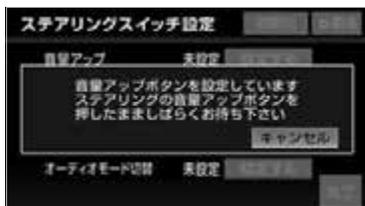
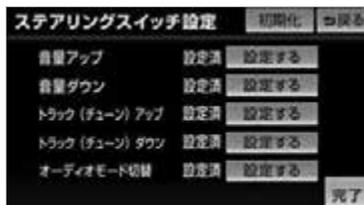
1 **ステアリングスイッチ設定** にタッチ。

2 **その他** にタッチ。

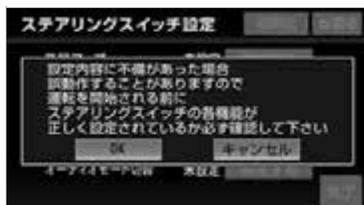
- すでにステアリングスイッチを設定している場合、確認のメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、ステアリングスイッチを設定することができます。

3 **設定する** にタッチ。4 各項目の **設定する** にタッチ。

## 5 画面の案内にしたがい、ステアリングスイッチを操作する。

6 各項目の設定が終わったら、**完了** にタッチ。

- ステアリングスイッチ設定を初期化する方法については「設定を初期化する」(→65) をご覧ください。

7 **OK** にタッチ。



## オーディオ・ハンズフリー機能共通の操作

スイッチ名称	スイッチ	機能
音量スイッチ	(+)・(-)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに1ステップずつ音量が変わります。</li> <li>・ 長押しすると、押し続けている間、音量が連続して変わります。</li> </ul>

## オーディオ機能の操作

## 共通操作

## チェック

- ・ ハンズフリー機能使用中は、(MODE) スイッチを操作することができません。

スイッチ名称	スイッチ	機能
モード切替 スイッチ	(MODE)	<b>■ オーディオ電源が OFF のとき</b> オーディオの電源が ON になります。
		<b>■ オーディオ電源が ON のとき</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとにモードが切り替わります。            FM → (CD) → (DVD) → (SD リッピング※<sup>1</sup>) →            (SD 音楽再生※<sup>2</sup>) → TV → DS → Bluetooth オーディオ            → (AUX) → (iPod) → (USB) → VTR → AM → FM            に戻ります。            ( ) : 再生または視聴できないときは、切り替わりません。</li> <li>・ 長押しすると、オーディオの電源が OFF になります。</li> </ul>

※1 本機で録音した音楽を再生します。

※2 パソコンで記録した音楽ファイルを再生します。

## 各オーディオ機能の操作

## チェック

・ハンズフリー機能使用中は、(Λ)・(V) スイッチを操作することができません。

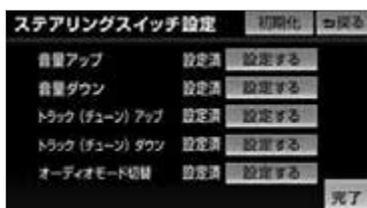
操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
ラジオ	選局スイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局が切り替わります。(→ 241)</li> <li>・ 長押しすると、受信中の周波数に一番近い放送局が自動で選局されます。(→ 242)</li> </ul>
CD	選曲スイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに曲が切り替わります。(→ 245)</li> </ul>
DVD	チャプター切り替えスイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとにチャプターが切り替わります。(→ 255)</li> </ul>
MP3・WMA	選曲スイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに音楽ファイルが切り替わります。(→ 248)</li> <li>・ 長押しすると、音楽フォルダが切り替わります。(→ 247)</li> </ul>
SD リッピング	選曲スイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに曲 (トラック) が切り替わります。(→ 285)</li> <li>・ 長押しすると、アルバムが切り替わります。(→ 283)</li> </ul>
SD メモリーカード	選曲スイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに音楽ファイルが切り替わります。(→ 271)</li> <li>・ 長押しすると、音楽フォルダが切り替わります。(→ 270)</li> </ul>
TV	選局スイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに、プリセットスイッチに記憶させた放送局が切り替わります。(→ 303)</li> </ul>
Bluetoothオーディオ	選曲スイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに曲が切り替わります。(→ 341)</li> <li>・ 長押しすると、アルバムが切り替わります。(→ 340)</li> </ul>
iPodプレーヤー	選曲スイッチ	(Λ) ・ (V)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに曲が切り替わります。(→ 327)</li> <li>・ 長押しすると、選択中のプレイモード内でリストが切り替わります。(→ 328)</li> </ul>



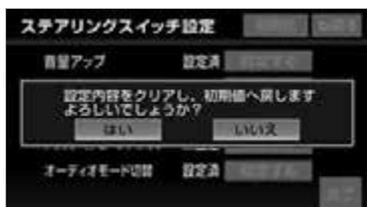
操作項目	スイッチ名称	スイッチ	機能
USB メモリ	選曲スイッチ	(∧) . (∨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押すごとに音楽ファイルが切り替わります。(→ 331)</li> <li>・ 長押しすると、音楽フォルダが切り替わります。(→ 331)</li> </ul>

## 設定を初期化する

- 1 ステアリングスイッチ設定画面で、**初期化** にタッチ。



- 2 **はい** にタッチ。



## お使いになる前に

### GPS ボイスナビゲーションについて

目的地を設定することによって、自動的にルートが探索され、音声と画面表示による目的地案内が行われます。

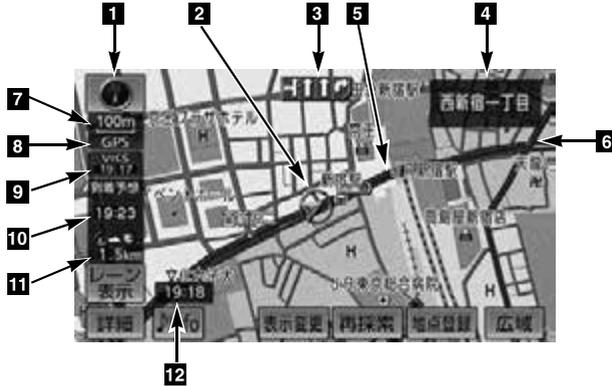
#### GPS ボイスナビゲーションをお使いになる前に

- 地図データに情報が無い場合は、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などを行うことができません。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際とは異なる場合があります。
- 到着予想時刻は、走行条件などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なる場合があります。また、まれに誤った案内が行われる場合があります。



## ナビゲーション画面の見方

### 目的地案内中の現在地画面



表示	機能
<b>1</b> 方位マーク（ヘディングアップ時は  ）	地図の方角を表示する。 ・ 地図向きの切り替えについて →「地図向きの切り替え」(→ 74)
<b>2</b> 自車マーク	現在位置と車が向いている方角を表示する。
<b>3</b> レーン（車線）表示	通過・分岐する交差点の車線を表示する。（地図データに情報のある交差点のみ） ・ 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示。
<b>4</b> 名称表示	状況により次のものを表示する。（地図データに情報のある地点のみ） ・ 通過・分岐する交差点の名称 ・ 走行している道路の名称、または路線番号 ・ 通過する IC・SA・PA の名称（高速道路を走行しているときのみ） ・ 分岐する IC・JCT の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）
<b>5</b> ルート表示	目的地を設定したとき、目的地までのルートを表示する。 (→ 119)
<b>6</b> 案内ポイント	目的地案内中に通過・分岐する交差点を表示する。(→ 125)
<b>7</b> スケール表示	表示させている地図の縮尺を表示する。 ・ 詳しくは、「地図縮尺の切り替え」(→ 73)・「地図のスケール表示について」(→ 186) をご覧ください。



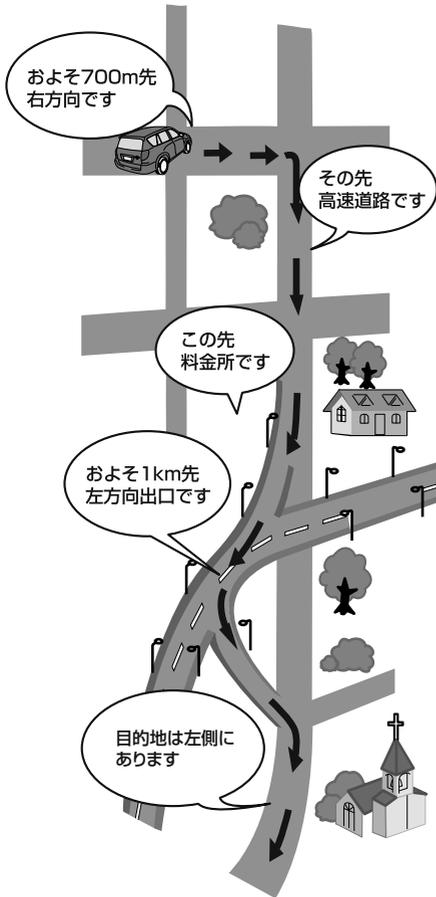
表示	機能
<b>8</b> GPS マーク	<p>GPS 衛星からの位置情報が利用されているときに、表示されます。</p> <p>ただし、GPS マークが表示されているときでも、GPS 衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。GPS は次のようなときに利用できないことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビル、トンネル、高架道路などで GPS 衛星からの電波が遮断されるとき</li> <li>・ GPS アンテナのまわりに遮へい物があるなど電波が遮断されるとき</li> <li>・ GPS 衛星が電波を出していないとき（米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）</li> <li>・ デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき</li> </ul>
<b>9</b> VICS タイムスタンプ	<p>VICS・交通情報が発信されている地域で、VICS・交通情報が提供された時刻を表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ルート上に情報があるときは、情報に応じて、タイムスタンプの色が変わります。（→ 188）</li> </ul>
<b>10</b> 到着予想時刻表示／ 目的地方向マーク	<p>状況により次のマークを表示する。</p> <p>■ 到着予想時刻表示  / </p> <p>目的地への到着予想時刻を表示する。（→ 128）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 到着予想時刻表示の切り替えについて →「到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには」 （→ 135）</li> </ul> <p>■ 目的地方向マーク </p> <p>ルートからはずれたとき、目的地の方向を表示する。</p>
<b>11</b> 残距離表示	<p>現在地から目的地までの距離を表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表示されているルートを通っての距離を表示する。（ルートからはずれたときは、直線距離を表示する。）</li> <li>・ 残距離表示の切り替えについて →「到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには」 （→ 135）</li> </ul>
<b>12</b> 時計表示	<p>現在の時刻を表示する。（→ 80）</p>

## 地図の操作

### 地図の表示

#### 音声案内について

目的地案内中は、分岐する交差点・目的地などが近づくと、音声が出力されます。(→122)



#### 現在地の表示

エンジンスイッチを ACC、または ON にすると、現在地画面になります。地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。



#### チェック

- エンジンスイッチを OFF (LOCK) にするとき、TV や DVD などの映像画面を表示していた場合や、オーディオ操作画面の継続表示を **する** に設定していた場合 (→51)、エンジンスイッチを ACC、または ON にしても現在地が表示されません。

#### 1 現在地(画面外)を押す。

- 走行中は表示される道路が制限されます。(幅 5.5m 未満の道路などは表示されません。)ただし、幅 5.5m 未満の道路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。(→119)

#### ワンポイント

- 初めて本機を起動したときやバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マーク  が表示されている (自車マーク  がずれている) ことがあります。

ただし、地図の自車マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(→160)



- 現在地画面で、**現在地**（画面外）を押すと、画面上部に現在地付近の地名・付近の路線名・路線番号が表示されます。



### ワンポイント

- ・ 以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  - ・ 地図データに情報のないとき
  - ・ 200m 図より広域な地図を表示しているとき
- ・ また、高速路線マップ（→ 92）を表示しているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

### 緯度経度の表示

現在地の緯度や経度を確認することができます。



現在地の地図表示中

- 1 **現在地**（画面外）を押す。
- 2 **座標** にタッチ。



- 現在地の住所と緯度経度の座標が表示されます。

### ワンポイント

- ・ 緯度経度は、世界測地系と日本測地系の両方の座標が表示されます。

### スイッチの表示

地図上のスイッチ類の表示を少なくすることができます。



地図表示中

- 1 **Info** にタッチ。
- 2 **Off** にタッチ。



- ・ **Off** のときに表示するスイッチ類を設定するとき
  - ➔ 「スイッチ表示設定」（→ 71）
- ・ スイッチ類を表示するとき
  - ➔ **On** にタッチ。

## スイッチ表示設定

◀◀ Off にタッチしたときに、表示するスイッチ類の設定をすることができます。

MENU (画面外) → 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

- 1 スイッチ表示設定の **変更する** にタッチ。



- 2 表示設定を変更したいスイッチにタッチし、**完了** にタッチ。
  - 文字または記号が灰色になっているスイッチは **◀◀ Off** にタッチしたとき表示されません。
    - ・ 初期設定の状態にもどすとき → **初期状態** にタッチ。
- 3 **完了** にタッチ。(手順 1 の画面)

### 📖 ワンポイント

- ・ **広域**、および **詳細** の表示設定は同じになります。別々の表示設定にすることはできません。

## 地図の移動

(スライドタッチスクロール  
／ワンタッチスクロール)

### スライドタッチスクロール

地図スライド操作を「する」に設定 (→ 165) したときは、スライドおよびフリック操作で地図を動かすことができます。

#### 地図表示中

- 1 地図上にタッチし、スライドまたはフリック操作をする。(→ 27)



- スライド操作のときは、指の動きに合わせて地図が動きます。
- フリック操作をしたときは、指を払った方向に地図がスクロールします。
  - ・ スクロールする量は、払う速度により変化します。
  - ・ スクロールは、自動で止まります。スクロール中に画面にタッチしても止めることができます。

### 📖 ワンポイント

- ・ 次のときは、スライドタッチスクロールができません。
  - ・ 走行中
  - ・ 3D 地図を表示しているとき



## ワンタッチスクロール

地図スライド操作を「しない」に設定（→165）したときは、タッチして指を離れた地点を画面の中心として、地図を動かすことができます。



地図表示中

### 1 地図上にタッチ。

- 地図左下に現在地からの直線距離が表示されます。

### ワンポイント

- ・ 走行中は安全のため、一定の距離しか移動しません。また、走行中で市街図（→80）を表示しているときは、地図を移動することはできません。
- ・ ワンタッチスクロールで地図を動かすと、走行しても地図は動かなくなります。この場合、**現在地**（画面外）を押し現在地の表示にすると、地図が動くようになります。
- ・ 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（→74）ができないことがあります。

## 地図スクロール時の地名表示

地図を移動しているとき、画面上部に画面中心付近の地名・付近の路線名・路線番号を表示させることができます。



- ・ 地図の移動をやめると、約6秒後自動的に消去されます。

地図スクロール時の地名表示のする／しないを設定できます。（→164）

### ワンポイント

- ・ 以下のときは、路線名・路線番号は表示されません。
  - ・ 地図データに情報のないとき
  - ・ 200m 図より広域な地図を表示しているとき
- ・ また、高速路線マップ（→92）を表示しているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

## 地図縮尺の切り替え

地図を 1/2048 万図～ 1/5 千図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

地図表示中

**広域** …… 地図の範囲を広くする

**詳細** …… 地図の範囲を狭くする



スケールバー

- 13 段階に切り替えることができます。（→ 186）
- タッチするごとに、1 段階ずつ切り替わります。
- **広域** または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、縮尺が切り替わります。
- **広域** または **詳細** に約 1 秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。希望の縮尺になったら手をはなします。

## ワンポイント

- ・ 走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺をかえることはできません。
- ・ 3D 表示にしているときはスケール表示の「」を表示しません。また、バーチャタウンマップ表示中は REAL と表示します。
- ・ 最大範囲（200km スケール図）にすると **広域** が消去されます。また、最小範囲（50m スケール図）にすると **詳細** が **市街図**（→ 80）に切り替わります。（市街図が収録されている地域のみです。市街図が収録されていない地域は **詳細** が消去されます。）



## 縮尺切替メッセージ表示

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージが画面に表示されます。



縮尺切替メッセージのする／しないを設定できます。(→ 165)

### ワンポイント

- ・ 縮尺切替メッセージ表示を「しない」に設定したときは、以下のメッセージは表示されなくなります。
  - ・ 「都市高マップは 200m 図より詳細な地図では表示できません」
  - ・ 「都市高マップは 1.6km 図より広域な地図では表示できません」
  - ・ 『施設情報 VICS・交通情報は 広域の地図には表示されません』
  - ・ 『施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません』
  - ・ 『VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません』
  - ・ 『市街図を表示します』
  - ・ 『リアル市街図を表示します』

## 地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

● または ● にタッチ。

- ・ タッチするごとに、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。

### ノースアップ表示



車の進行方向に関係なく、常に北が上になるように地図を表示する。



### ヘディングアップ表示



車の進行方向が常に上向きになるように地図を表示する。



### ワンポイント

- ・ 3D 表示 (→ 77) にさせているときは、常にヘディングアップ表示されるため地図向きを切り替えることはできません。



## フロントワイド表示

通常は自車マーク  が画面の中心に表示されますが、フロントワイド表示にすると、進行方向の地図を広く表示させることができます。



フロントワイド表示のする／しないを設定できます。(→ 164)

## 2画面表示(地図)

画面を左右に2分割して表示させることができます。



- ・ 左画面の操作は、1画面表示のときと同じです。

### ワンポイント

- ・ 2画面表示にさせているときは、左画面のみスライドタッチスクロール／ワンタッチスクロールで地図を動かすことができます。

次の表示をさせることができます。

【例】

- ・ 左右異なる縮尺で表示
- ・ ヘディングアップ表示とノースアップ表示
- ・ 施設表示のONとOFF
- ・ 3D表示のONとOFF

### チェック

- ・ シティドライブモード画面(→ 91)、ターンリスト図(→ 127)などの案内図表示中は2画面に切り替えることができません。

地図表示中

1 **表示変更** にタッチ。

2 **地図表示** にタッチ。



3 **2Dツイン**(通常の2画面表示) または **3Dツイン**(2画面3D表示) にタッチ。

- ・ 解除するとき  
→ **2D**(通常の表示) または **3D**(通常の3D表示) にタッチ。

## 右画面の設定

次の2通りの方法で、右画面の設定をすることができます。

設定方法	ページ
地図画面から設定する	76
設定・編集画面から設定する	76

■地図画面からの設定方法

2 画面表示中 (→ 75)

- 1 右画面の地図上にタッチ。
- 2 右画面の設定をする。



作動表示灯

■設定・編集画面からの設定方法

MENU (画面外) → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **地図表示設定** →  
 ナビ詳細設定画面

- 1 右画面設定の **変更する** にタッチ。



- 2 右画面の設定をし、**完了** にタッチ。

- 3 **完了** にタッチ。(1の画面)

● 右画面設定画面から、次の設定を変更することができます。

<地図縮尺の切り替え> (→ 73)

- 1 **詳細** または **広域** にタッチ。

<地図向きの変更> (→ 74)

- 1 または にタッチ。

● 2 画面表示画面でも、切り替えることができます。

<3D表示> (→ 77)

- 1 **3D表示** にタッチ。

● 3D表示のときは、作動表示灯が点灯します。

<施設の表示> (→ 82)

左画面に施設の記号を表示させているとき、右画面でも施設の記号を表示させることができます。

- 1 **周辺施設表示** にタッチ。

● 施設が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

<VICS・交通情報の表示> (→ 189)

左画面にVICS・交通情報を表示させているとき、右画面でもVICS・交通情報を表示させることができます。

- 1 **VICS表示** にタッチ。

● VICS・交通情報が表示されているときは、作動表示灯が点灯します。

ワンポイント

- ・ 2画面にしたときの右画面については、前回は設定した表示方法が記憶されています。
- ・ 施設の表示、VICS・交通情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。

## 2画面表示 (地図 / エコ情報)

地図画面の右側にエコ情報画面を表示させることができます。



地図表示中

- 1 **表示変更** にタッチ。
- 2 **地図表示** にタッチ。



- 3 **地図&エコ情報** にタッチ。
  - 解除するとき
    - **2D** または **3D** にタッチ。

## 3D 表示

地図を立体的に表示させることができます。



ワンポイント

- ・ 3D 表示は、フロントワイド・ヘディングアップ表示で表示されます。

地図表示中 → **表示変更** → **地図表示** → 地図表示画面

- 1 **3D**(通常の 3D 表示) または **3D ツイン**(2 画面 3D 表示) にタッチ。



- ・ 解除するとき
  - **2D**(通常の表示) または **2D ツイン**(通常の 2 画面表示) にタッチ。



## 3D 表示の角度調整

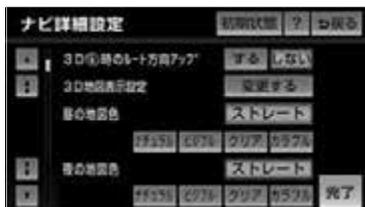
3D 表示の角度を設定することができます。

### チェック

- ・ 走行中は、見下ろす角度の調整は操作できません。

MENU (画面外) → 設定・編集 →  
 ナビ詳細設定 → 地図表示設定 →  
 ナビ詳細設定画面

- 1 3D 地図表示設定の **変更する** にタッチ。



- 2 角度を調整し、**セット** にタッチ。

- …… 角度を上げる
- …… 角度を下げる
- ・ 初期設定の状態にもどすとき  
 → **初期状態** にタッチ。

## バーチャタウンマップ表示

3D 表示中、25m スケールの市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャタウンマップ表示になります。



- 通常の市街図 (→ 80) は、表示されません。

- 1 50m スケールの 3D 市街図表示で、**詳細** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 市街図表示からバーチャタウンマップ表示にすると、 (一方通行) の表示が (進入禁止) の表示にかわります。

### ■ 視点の調整

バーチャタウンマップの表示視点を切り替えることができます。

**広域** …… 視点を上げる

**詳細** …… 視点を下げる



スケールバー

- すぐに手を離れたときは 3 段階、そのままタッチし続けたときは 9 段階に切り替えることができます。
- **広域** または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーにタッチしても視点を切り替えることができます。

### ワンポイント

- ・ 最高角度の地図にさせているとき、**広域** にタッチすると、バーチャタウンマップ表示は解除されます。
- ・ バーチャタウンマップの視点 (角度と高さ) が最小 (低) のとき、**詳細** は表示されません。

## 地図の回転

### チェック

- ・ 走行中は、地図向きを回転することができません。

3D 表示中 (→ 77)

### 1 地図上にタッチ。

### 2 地図を回転する。

- タッチすることにより、次の方向に地図が回転します。
-  ……時計まわり
-  ……反時計まわり



### ワンポイント

- ・ 現在地画面にすると、もとの表示状態 (回転前の状態) に復帰します。

## 3D 時ルート方向アップ表示

目的地案内中は、ルートを表示している方向の地図を広く表示することができます。



3D 時ルート方向アップ表示のする/しないを設定できます。(→ 164)

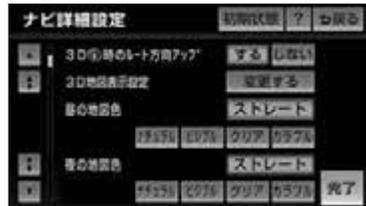
- ・ 3D 時ルート方向アップ表示を「する」に設定したとき、 (方位マーク) が青色になります。

## 地図の表示色の切り替え

昼画・夜画それぞれの地図色を切り替える (5 種類) ことができます。

MENU (画面外) → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **地図表示設定** →  
 ナビ詳細設定画面

- 1 昼の地図色・夜の地図色それぞれで、希望の地図色にタッチし、**完了** にタッチ。



## 自転車マークの切り替え

地図上に表示される自転車マークを切り替える (5 種類) ことができます。

MENU (画面外) → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **地図表示設定** →  
 ナビ詳細設定画面

- 1 自転車マーク変更のいずれかのマークを選択し、**完了** にタッチ。



## 地図の名称（文字）サイズの切り替え

地図上に表示される名称（文字）の大きさを切り替える（3種類）ことができます。

**MENU**（画面外）→ **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **地図表示設定** →  
 ナビ詳細設定画面

- 1 地図の文字サイズ変更の **大**・**中**・**小**のいずれかを選択し、**完了**にタッチ。



### ワンポイント

- ・3D表示（→77）にしている場合、手前側から大きい文字で表示されます。

## 時計表示の切り替え

地図上に現在時刻を表示させることができます。



時計表示のする／しないを設定できます。（→167）

### ワンポイント

- ・時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（手動で調整することはできません。）

## 市街図表示

地図データに市街図の情報がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。



- 1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図**にタッチ。



- ・市街図表示には1/5千市街図（50mスケール図）と1/2500市街図（25mスケール図）があります。  
**広域**または**詳細**にタッチして切り替えます。

## ワンポイント

- 市街図のデータがある地域のみ、50m スケール図を表示すると、「市街図」が表示され、市街図表示に切り替えることができます。(市街図がない地域に地図または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。)
- 25m スケールの市街図にすると  (一方通行) を表示します。
- 走行中、市街図で地図の移動(ワンタッチスクロール)はできません。
- 3D 表示中、25m スケールの市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャタウンマップ表示(→78)になります。(通常の市街図は、表示されません。)
- 市街図については「市街図収録都市リスト」(→451)を参照してください。

## 市街図表示の解除

- 50m スケールの市街図表示中、**広域** にタッチ。

## 施設の内容の表示

市街図表示中(→80)

- 施設** にタッチ。



-  にタッチして、内容を表示する施設がある建物に地図を動かし、**施設情報** にタッチ。
    - 選んだ建物の階数・施設の件数が表示されます。
    - 選んだ建物に1つしか施設がないときは、その施設の内容が表示されます。

## ワンポイント

- 地図データに情報のない建物は、内容が表示されません。

- 施設名称にタッチ。



## 地図表示画面の設定

### 施設の表示

地図上に施設の記号を表示させることができます。



#### ワンポイント

- ・ または が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。
- ・ 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- ・ 800m スケール以下の詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面を除く)
- ・ 表示することができる施設は、 または から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)
- ・ 高速路線マップ (→ 92) を表示しているときは、施設情報を表示することはできません。
- ・ 通常の地図画面での施設表示と、オンルートスクロールでの施設の選択 (→ 134) は別の設定のため、通常の地図画面で施設を変更しても、オンルートスクロールの施設は変更されません。

次の 2 通りの方法で、施設の記号を表示することができます。

表示方法	ページ
地図画面から表示する	82
設定・編集画面から表示する	83

### 地図画面からの表示方法

走行中に簡易操作で施設ランドマークを表示することができます。

#### チェック

- ・ 高速路線マップを表示させているときは、施設ランドマークを表示させることはできません。

地図表示中

1 **表示変更** にタッチ。

2 **周辺施設** にタッチ。



3 施設のジャンルにタッチ。

- ・ 5つまで選択することができます。
  - ・ 表示されている以外のジャンルを選択するとき
    - **全ジャンル** にタッチ。

#### ワンポイント

- ・ 走行中に表示することができる施設ランドマークを変更することができます。「周辺施設走行中呼出 ジャンルの変更」(→ 84)



## 設定・編集画面からの表示方法

複数（5ジャンルまで）の施設ランドマークを表示させることができます。

**MENU**（画面外） → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **地図表示設定** →  
 ナビ詳細設定画面

- 1 周辺施設表示の **変更する** にタッチ。



- 2 施設のジャンルを選択し、**完了** にタッチ。
  - 施設のジャンルの選択方法は、「地図画面からの表示方法」(→ 82) の手順 **3** と同様です。
- 3 **完了** にタッチ。(手順 **1** の画面)

## 施設表示の消去

周辺施設画面 (→ 82) または  
 周辺施設表示設定画面 (→ 83)

### 個別に消去

- 1 選択済みの施設のジャンルにタッチ。

### すべて消去

- 1 **表示解除** にタッチ。

## 近くの施設の検索

地図上に施設の記号を表示させているときに、 または  の位置の近くにある施設の名称と  または  からの直線距離・方向を表示させることができます。

### ワンポイント

- 検索することができる施設は、 または  から半径約 10km 以内にある施設のみです。(最大 200 件まで)

地図表示中 → **表示変更** → **周辺施設** →  
 周辺施設画面

- 1 **施設検索** にタッチ。
- 2 施設名称にタッチ。



- 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの距離が表示されます。
- 表示されている矢印は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを示しています。
- スライドタッチスクロール／ワンタッチスクロールで地図を動かしたとき、矢印は表示されません。

### ワンポイント

- 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。
- 施設のリストは、以下の 2 種類の表示方法があります。

**距離順** …  または  から近い施設の順

**種類順** … 施設の記号の種類順

### 3 **情報** にタッチ。

- 施設の内容が表示されます。(→ 110)

#### ルートを考慮したリストの表示

目的地が設定されているとき、距離・方向をルート表示に連動したものにすることができます。

地図表示中 → **表示変更** → **周辺施設** → **施設検索** → 周辺施設検索画面

### 1 **ルート沿い考慮** にタッチ。

作動表示灯



- 設定しているルートを通っての道なり距離とルートに対して左右、後ろのどちらの方向にあるかを表示します。
- ルートを考慮したリストを表示しているときは、作動表示灯が点灯します。

#### ワンポイント

- ・ 表示していた地図にルートが表示されていないときは、ルートを考慮したリストは表示されません。
- ・ 表示することができる施設は、ルート沿いにある施設のみです。

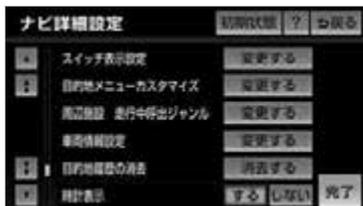
## 周辺施設走行中呼出ジャンルの変更

走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更することができます。

初期状態は **GS**、**コンビニ**、**レストラン**、**駐車場**、**銀行**、**郵便局** が設定されています。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ詳細設定画面

### 1 周辺施設 走行中呼出ジャンルの変更する にタッチ。



### 2 変更したい施設のジャンルにタッチ。初期設定の状態にもどすとき → **初期状態** にタッチ。

### 3 走行中呼出ジャンルに登録したい施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。

### 4 **完了** にタッチ。

### 5 **完了** にタッチ。(手順 1 の画面)

## リアルワイドマップ表示

リアルワイドマップでは表示する地図を行政区画ごとに塗り分け、地図マークをイラスト的に表示します。また、道路の太さをより実際に近づけて表示します。(初期状態は表示する設定になっています。)



リアルワイドマップ表示のする／しないを設定できます。(→ 164)

## 3D ランドマークの表示

地図上に立体的な施設マーク(3D ランドマーク)を表示させることができます。

3D ランドマーク表示



立体ランドマークのする／しないを設定できます。(→ 164)

## ワンポイント

- ・ 地図データに情報のない施設は、表示されません。
- ・ 800m スケール図より詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面、バーチャタウンマップを除く)

## 3D ランドマークの内容の表示

地図表示中

- 1 3D ランドマークにタッチ。
  - 名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- 2 **情報** にタッチ。



- 施設の内容が表示されます。(→ 110)



## 一時停止案内

一時停止交差点に近づくと、地図右上に  が表示され、音声案内されます。



一時停止案内のする／しないを設定できます。(→ 168)

### ワンポイント

- ・ 以下のようなときは、一時停止案内が行われない場合があります。
  - ・ 地図データに情報のない地点
  - ・ 自車位置が正確に特定できないとき
  - ・ 進入した道路の一時停止交差点までの距離が短いとき
- ・ 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - ・ 一時停止交差点が連続するとき
  - ・ 他のナビ音声案内などと重なるとき
- ・ 50～800m スケール図の地図で表示することができます。(バーチャタウンマップ、全ルート図表示画面を除く)
- ・ 一時停止案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

## 注意地点案内

踏切・合流道路・急カーブ・レーン数減少※の注意地点案内地点に近づくと、地図右上に案内マークが表示され、音声案内されます。踏切案内マークは地図上にも表示されます。

※都市高速道路走行中のみ案内されます。一般道路は音声のみの案内になります。

- ・ 踏切案内のする／しないを設定できます。(→ 168)
- ・ 合流案内のする／しないを設定できます。(→ 168)
- ・ カーブ案内のする／しないを設定できます。(→ 168)
- ・ レーン警告のする／しないを設定できます。(→ 168)

### 注意地点案内マーク



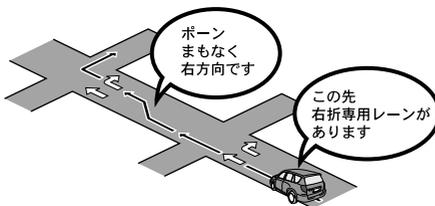
形状		案内マーク
踏切		
合流道路		 
急カーブ		   
レーン	レーン数減少	 
	右折・左折専用	なし

## ■右折・左折専用レーン案内の例

直進する交差点に右折（左折）専用レーンがある場合、その交差点に近づくと「この先 右折（左折）専用レーンがあります」と音声案内されます。

目的地案内中で、右折（左折）する交差点では右折・左折専用レーン案内はされません。

（この場合は「ポーン まもなく右方向（左方向）です」と音声案内されます。）



## 📖ワンポイント

- ・ 地図データに情報のない地点では、注意地点案内は行われません。
- ・ 以下のようなときは、注意地点案内が行われない場合があります。
  - ・ 目的地案内開始直後
  - ・ 再探索直後
  - ・ 目的地周辺
- ・ 現在地から注意地点案内地点までの距離が短い、注意地点案内地点近くで分岐が連続するなど、周辺の道路状況によっても、案内が行われない場合があります。
- ・ 注意地点案内は、遅れたり早くなることがあります。
- ・ 次の注意地点案内マークが表示されている地点が短いときは、続けて注意地点案内が行われます。
- ・ 50～800mスケール図の地図で表示することができます。（バーチャタウンマップ、全ルート図表示画面を除く）
- ・ 踏切案内、合流案内のマークが表示される地点は地図上に■（黄色）で表示されます。
- ・ 高速路線マップを表示している場合は、地図上に■（黄色）は表示されません。
- ・ 注意地点案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。



## 事故多発地点案内

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

事故多発地点案内のする／しないを設定できます。(→ 168)

### ■事故多発地点案内マーク

- 一般道路上では交通事故が多発している地点に、が表示されます。



- 高速道路上では交通事故が多発している地点に近づくとき、地図右上にが表示され、音声案内されます。



### ワンポイント

- ・ 50～800m スケール図の地図で表示することができます。(バーチャタウンマップ、全ルート図表示画面を除く)
- ・ この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。
- ・ 事故多発地点案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。

## 学校存在案内

学校に近づくとき、地図右上にが表示され、音声案内されます。



学校存在案内のする／しないを設定できます。(→ 168)

### ■案内できる学校について

全国の小学校・中学校・養護学校（聾学校・盲学校含む）・外国人学校\*の小学校・中学校。

\*専有校舎物件のみ。

### ワンポイント

- ・ 以下のようなときは、学校存在案内が行われない場合があります。
  - ・ 地図データに情報のない地点
  - ・ 土曜日、日曜日
  - ・ 午後7時～午前7時
  - ・ 自宅登録時の自宅周辺
  - ・ 一部の有料道路や自動車専用道路を走行中
- ・ 以下のようなときは、音声案内が行われない場合があります。
  - ・ 案内表示中に別の学校に近づいたとき
  - ・ 他のナビ音声案内などと重なるとき
- ・ 50～800m スケール図の地図で表示することができます。(バーチャタウンマップ、全ルート図表示画面を除く)
- ・ 学校存在案内は、主に全国の小学校、中学校を対象としています。また、通学時間帯以外は案内しない場合があります。
- ・ 学校存在案内はあくまでも補助機能です。案内を過信せず、常に道路状況に注意し、安全運転に心がけてください。



## 季節規制区間の表示

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが （橙色）で表示されます。また、このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



季節規制メッセージ表示のする／しないを設定できます。(→ 166)

- ・ 季節規制区間を迂回するルートを探したとき
  - ▶ 「季節規制区間の迂回ルートの探索」(→ 146)

### ワンポイント

- ・ 地図データに情報のない規制区間では、ルートの色はかわらず、メッセージも表示されません。

## 走行軌跡の表示

走行した道路を約 1000km 分保存し、軌跡を表示することができます。



走行軌跡

- ・ 保存できる距離を越えて走行したとき
  - ▶ 古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存します。

### ワンポイント

- ・ 25 ~ 50km スケール図で表示することができます。
- ・ バーチャタウンマップ (→ 78) または高速路線マップ (→ 92) を表示しているときは、走行軌跡を表示することはできません。

地図表示中 → **表示変更** → 表示変更画面

1 **走行軌跡表示** にタッチ。



## 走行軌跡の消去

地図表示中 → **表示変更** → 表示変更画面

1 **走行軌跡解除** にタッチ。



2 **はい** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

## シーズンレジャーランドマークの表示

シーズンレジャーランドマーク（桜の名所や紅葉の名所）を時期に合わせて表示させることができます。



内容	マーク
桜の名所	
紅葉の名所	

シーズンレジャーランドマーク表示のする／しないを設定できます。(→ 164)

### ワンポイント

- ・ 地図データに情報のない名所は、表示されません。
- ・ 800m スケール図より詳細な地図で表示することができます。(全ルート図表示画面、バーチャタウンマップを除く)
- ・ マークが表示される時期は、名所ごとに異なります。

## 県境案内

都道府県境を通過したとき、地図右上にその都道府県のマークが表示され、音声案内されます。

県境案内表示



県境案内のする／しないを設定できません。(→ 165)

### ワンポイント

- ・ 県境案内は、遅れたり早くなる場合があります。

## 高速道路・都市高速道路表示

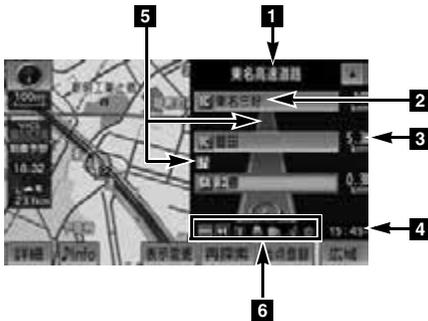
### シティドライブモード

高速道路（都市高速を除く）にはいると、自動的にシティドライブモード表示に切り替わります。

#### ワンポイント

- 目的地点内中は、都市高速や有料道路にはいっても、自動的にシティドライブモード表示に切り替わります。

- ▲・▼ または施設名称（IC・SA・PA）にタッチ。



- 選ばれる施設が切り替わります。
- 施設を選んだとき、**現区間** にタッチすると、現在地から最寄りの施設が選ばれます。

#### 1 道路名称表示

最寄りまたは選んだ施設（SA・PA・IC）の道路の名称を表示。

#### 2 施設名称表示

施設（SA・PA・IC）の名称を表示。  
（目的地点内をさせていないときは、最大10カ所まで）

#### 3 距離表示

現在地からの距離を表示。

#### 4 通過予想時刻表示

選んだ施設（SA・PA・IC）への通過予想時刻を表示。

#### 5 VICS 記号・表示（→ 205）

VICS・交通情報を受信したとき表示。

#### 6 設備マーク表示

選んだ施設（SA・PAのみ）にある設備が、ガソリンスタンドを除き最大6つまで表示。  
 ・ガソリンスタンドは先頭に表示されます。  
 ・6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークがあります。

記号	内容
—※	ガソリンスタンド
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠休憩施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便ポスト
	FAX サービス
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ
	ハイウェイオアシス
	スマート IC (ETC 専用インターチェンジ)

※固有のロゴマークが表示されます。



## ワンポイント

- ・ 反対車線の情報は表示されません。
- ・ 通過予想時刻\*は設定した平均车速(→129)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ※ 通過予想時刻には、VICS 情報および渋滞統計データは考慮されません。
- ・ SA・PA にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、シティドライブモード表示が解除されることがあります。
- ・ 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、高速分岐案内画面(→94)が自動的に表示され、シティドライブモードが解除されます。(高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。) JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にシティドライブモードに復帰します。
- ・ 「VICS・交通情報の表示設定」(→189)で、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
- ・ ターンリスト図(→127)は、同時に表示することができません。

## シティドライブモードの解除

地図表示中 → **表示変更** → **地図表示** → 地図表示画面

1 **高速略図解除** にタッチ。

- ・ シティドライブモードにもどすとき → **高速略図表示** にタッチ。

## 高速路線マップ

高速道路にはいると、自動で高速路線マップを表示させることができます。一般道路を走行中でも表示させることができます。

## 高速道路走行中



## 一般道路走行中



高速路線マップの自動表示のする／しないを設定できます。(→165)

## ワンポイント

- ・ 高速路線マップを表示しているときは、常にノースアップ表示されるため、3D 表示(→77)に切り替えることや、地図向きを切り替えることはできません。
- ・ 目的地案内中のとき、出口 IC・SA・PA または分岐する JCT の手前では、地図の右側に高速分岐案内画面(→94)が表示されます。(高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定しているときは表示されません。) JCT のときはその後、高速分岐案内画面が終了すると、自動的にもとの画面に復帰します。
- ・ 高速路線マップ自動表示を「しない」に設定していても、**表示変更** から高速路線マップを表示することができます。

- ・都市高マップ（→95）は、同時に表示することができません。
- ・高速路線マップでは、画面に表示されている道路のみのルートが表示されます。（一度高速道路から出て再度、高速道路にはいるルートが探索された場合は、ルートが途切れて表示されます。）

## 高速路線マップの表示・解除

地図表示中 → **表示変更** → **地図表示** → 地図表示画面

走行している道路の種類により、次のいずれかの操作をする。

### ■高速道路走行中のとき

#### 1 **高速路線マップ表示** にタッチ。



- ・高速路線マップを1画面で表示したいとき
  - **表示変更** → **地図表示** → **高速略図解除** の順にタッチ。
- ・解除するとき
  - **高速路線マップ解除** にタッチ。

### ■一般道路走行中のとき

#### 1 **高速路線マップ** にタッチ。



- ・解除するとき
  - **現在地** (画面外) を押す。

## 高速路線マップの縮尺の切り替え

### 🔍 チェック

- ・走行中はスケールバーにタッチして縮尺を切り替えることができません。

**広域** ……表示範囲を広くする

**詳細** ……表示範囲を狭くする



スケールバー

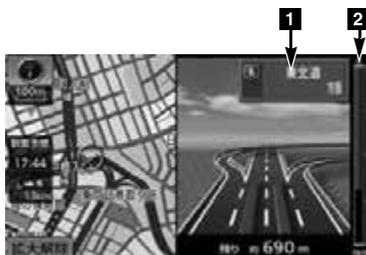
- 4段階に切り替えることができます。
- タッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- 広域** または **詳細** にタッチしたあとは、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。



## 高速分岐案内 (ジャンクションレーンアシスト)

目的地案内中の地図表示画面で、現在地がルート上にあり、高速道路を走行しているとき、分岐点 (出口 IC・SA・PA・JCT) が近づくと、高速分岐案内画面を表示させることができます。

高速分岐モード図自動表示のする／しないを設定できます。(→ 165)



### 1 分岐点名称表示

IC の出口名称、SA・PA 名称または JCT の方面名称を表示。

### 2 残距離表示

分岐点までの距離を表示。  
(分岐点に近づくとともに **■** が短くなります。)

## ワンポイント

- ・ 地図データに情報のない分岐点では、高速分岐案内画面は表示されません。また、高速分岐案内画面が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- ・ 分岐点名称表示、車線数が実際の分岐点と異なることがあります。
- ・ 以下のようなときは、高速分岐案内が行われない場合があります。
  - ・ 目的地案内開始直後
  - ・ 目的地周辺

- ・ 高速分岐案内画面は、遅れたり早くなることがあります。
- ・ 次の分岐点に近いときは、続けて高速分岐案内画面が表示されます。
- ・ 高速分岐モード図自動表示を「しない」に設定していても、**現在地**(画面外)を押すと高速分岐案内画面を表示することができます。

## 高速分岐案内画面の解除

1 **拡大解除** にタッチ。

- ・ 高速分岐案内画面にもどすとき  
→ **現在地**(画面外)を押す。

## 都市高マップ

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、都市高速にはいると、自動的に都市高マップを表示させることができます。

都市高マップの自動表示のする／しないを設定できます。（→ 165）



### チェック

- ・ 200m ~ 1.6km スケール図の地図で表示することができます。
- ・ 各種設定の高速路線マップ自動表示が **する** に設定されているときは、都市高マップを自動で表示することができません。

### ワンポイント

- ・ サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高マップが解除されることがあります。
- ・ 都市高マップは、2画面表示しているとき、左画面に表示されます。
- ・ 高速路線マップ（→ 92）は、同時に表示することができません。



## 音声の設定

### 音量設定

操作の手引きを説明する音声やルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

1 **MENU** (画面外) を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **音量設定** にタッチ。



4 設定したい音量にタッチし、**完了** にタッチ。

- 音声を OFF にするとき  
→ **消音** にタッチ。

### 高速時の自動音量切替

車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。(車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **音量設定** → 音量設定画面

1 **高速時の自動音量切替** にタッチし、**完了** にタッチ。

- 自動で 1 段階上がる設定にしているときは、作動表示灯が点灯します。

### 操作説明音声

操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

操作説明音声のする／しないを設定できます。(→ 166)

### ハートフル音声

通常のナビゲーションの音声案内とは別に日付、あいさつなどの音声を出力させることができます。その日に初めてエンジンスイッチを ACC、または ON にし、ナビゲーション画面を表示したとき日付、曜日などをお知らせします。

〔ハートフル音声の例〕

■ 自宅を目的地に設定して、目的地に到着したとき  
「お疲れさまでした」

■ ナビゲーション画面が表示される時  
「今日は○月○日○曜日です」

ハートフル音声の発声する／しないを設定できます。(→ 166)

### ワンポイント

- ・ 状況などにより異なった音声出力されたり、他のナビ音声案内などと重なったときは、出力されないことがあります。
- ・ 以下の場合、ハートフル音声は 2 回出力されます。
  - ・ 午前 5 時までにナビゲーションを起動する
  - ・ 1 回目の音声出力
  - ・ 再度、午前 5 時以降にナビゲーションを起動する
  - ・ 2 回目の音声出力

## 注意喚起設定をする

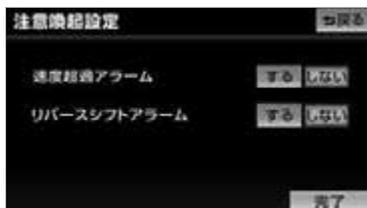
注意喚起設定では、運転中に車両の状態を音声で案内させることができます。

## 速度超過アラームを設定する

走行時、車速が約 100km/h になったとき、速度に注意するよう音声で案内させることができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**運転支援** → 設定・編集画面

- 1 **注意喚起設定** にタッチ。
- 2 速度超過アラームの **する**、または **しない** にタッチし、**完了** にタッチ。



## リバースシフトアラームを設定する

バックギアにシフトしたときに、画面表示と音声で案内させることができます。



**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**運転支援** → 設定・編集画面

- 1 **注意喚起設定** にタッチ。
- 2 リバースシフトアラームの **する**、または **しない** にタッチし、**完了** にタッチ。



### ワンポイント

- ・バックアイカメラ接続時は音声のみ案内されます。



## 地図の呼び出し方法

### 地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により地図を呼び出し、表示させることができます。

表示された画面で、地図の呼び出し方法を選びます。

・呼び出し方法の特徴については、表(→99)をご覧ください。

#### ● 目的地の設定のとき

**MENU** (画面外) → **目的地** → 目的地画面 (→ 114)

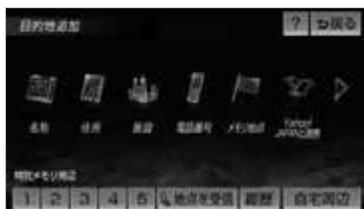


その他の方法



#### ● 目的地の追加のとき

ルート変更画面 (→ 139) → 目的地・通過目的地の **追加** → 目的地追加画面 (→ 140)



その他の方法



#### ● 目的地の設定・追加以外のとき※

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **メモリ地点登録編集** → メモリ地点の **登録** → メモリ地点登録画面 (→ 148)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **メモリ地点登録編集** → 迂回メモリの **登録** → 迂回メモリ登録画面 (→ 155)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **メンテナンス** → **販売店設定** → 販売店設定画面 (→ 172)



※画面はメモリ地点の登録時のものです。  
迂回メモリ地点の登録・販売店の設定のときも表示される項目は同じです。





項目 (タッチスイッチ)	機能	ページ
名称	名称で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した地名がある地域の地図を表示する。	100
住所	地名、番地で指定した地点または地域の地図を表示する。	103
施設	さまざまなジャンルから検索した施設がある地点の地図を表示する。	103
電話番号	電話番号で検索した施設がある地点の地図を表示する。 入力した電話番号が使用されている地域の地図を表示する。	104
メモリ地点	メモリ地点にタッチすると、その地点の地図を表示する。 ・メモリ地点を登録しているときのみ。(→ 148)	—
Yahoo! JAPANと連携	Yahoo! JAPANのサービスで登録した施設や場所の地図を表示する。	105
ジャンル	現在地または目的地周辺などの施設がある地点の地図を表示する。	106
郵便番号	郵便番号で検索した地域の地図を表示する。	107
先程の地図	地図を呼び出す画面にする前にご覧になっていた地図を表示する。	—
マップコード	入力したマップコードが使用されている地域の地図を表示する。	108
地点を受信	Bluetooth 携帯電話で検索した施設や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の地図を表示する。	108
履歴／目的地履歴	目的地履歴 (過去に設定した目的地) の地点の地図を表示する。 ・目的地履歴が登録されているときのみ。(→ 146) ・前回目的地案内を行ったときの出発地点の地図を表示する。 ・一度目的地案内を行ったときのみ。	109
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示する。	—
自宅に帰る	自宅を目的地としてルート探索を開始する。 ・自宅を登録していない場合は、ここから登録することができます。(→ 116)	—
特別メモリに行く ①/②/③/④/⑤	特別メモリ地点を目的地としてルート探索を開始する。 ・特別メモリ地点を登録しているときのみ。(→ 150)	—
自宅周辺	自宅周辺の地図を表示する。 ・自宅を登録しているときのみ。(→ 150)	—
特別メモリ周辺 ①/②/③/④/⑤	特別メモリ地点周辺の地図を表示する。 ・特別メモリ地点を登録しているときのみ。(→ 150)	—
特別メモリ周辺		—

### ワンポイント

- ・目的地設定画面、目的地追加画面の1ページ目に表示するスイッチを設定することができます。(→ 147)

## 名称で地図を呼び出す

施設名称または地名を入力し、地図を呼び出すことができます。

また全国リスト画面(→100)に表示された件数が多い場合は、エリア(→101)・ジャンル(→102)を指定することにより件数を絞り込むことができます。

### ワンポイント

- ・入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国施設リスト画面が表示されます。

## 名称読み入力

目的地画面(→98) → **名称** → 名称/読み検索画面

### 1 名称を入力し、**完了** にタッチ。

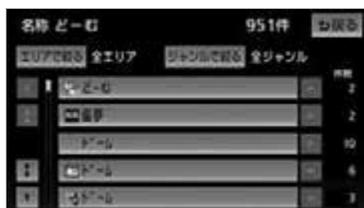


- 入力するごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。
  - ・間違えたとき → **修正** にタッチ。
- 検索された施設名称または地名の全国リスト画面(→100)が表示されます。

## 全国リスト画面

目的地画面(→98) → **名称** → **(名称入力)** → **完了** → 全国リスト画面

### 1 表示させる施設名称または地名にタッチ。



- 選択した施設の地図が表示されます。
- 同じ施設名称、または施設名称に複数の店舗(チェーン店など)があるときは、まとめてリストに表示されます。この場合、施設名称の右側に検索された施設の件数が表示されます。
- エリア(→101)またはジャンル(→102)を指定することにより、リストに表示されている施設名称または地名を絞り込むことができます。
- まとめて表示されたリストにタッチしたとき
  - 施設名称にタッチ。

### ワンポイント

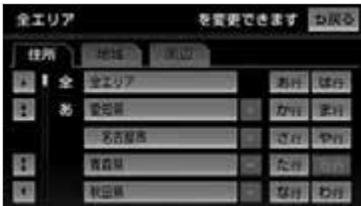
- ・ 施設名称のリストは、以下の2種類の表示方法があります。
  - 距離順** ※ … ①から近い施設または地名の順
  - 名称順** …… 50音順
- ※ 検索された施設名称または地名の件数が多い場合は、距離順に表示できない場合があります。

## ■エリア別検索

エリアを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。

全国リスト画面 (→ 100)

- 1 **エリアで絞る** にタッチ。
- 2 エリアの指定方法を選択する。



- 次の3通りの方法で、エリアを指定することができます。

スイッチ	項目	ページ
<b>住所</b>	住所で絞り込む	101
<b>地域</b>	地域で絞り込む	101
<b>周辺</b>	周辺で絞り込む	102

## <住所選択時>

全国リスト画面 (→ 100) →  
**エリアで絞る** → **住所** → 住所リスト画面

- 1 都道府県名にタッチ。



- リスト画面にもどるとき  
 → **全エリア** にタッチ。

- 2 市区町村名にタッチ。

- 都道府県を指定してリスト画面を表示するとき  
 → **〇〇全域** にタッチ。

## 📖ワンポイント

- エリアを選択する場合は、**住所**、**地域**、または**周辺**のどれか1つのみの設定になります。
- 設定したエリアに該当する施設がない場合、リストは表示されません。別のエリアを設定してください。

## <地域選択時>

全国リスト画面 (→ 100) →  
**エリアで絞る** → **地域** → 地域リスト画面

- 1 地域名にタッチ。



- リスト画面にもどるとき  
 → **全エリア** にタッチ。



<周辺選択時>

全国リスト画面 (→ 100) →  
**エリアで絞る** → **周辺** → 周辺リスト画面

- 1 **現在地周辺**・**先程の地図**・**目的地周辺** のいずれかにタッチ。



- ・ リスト画面にもどるとき  
 → **全エリア** にタッチ。
- 目的地を複数設定してある場合、**目的地周辺** にタッチしたとき  
 → 目的地にタッチ。

- 2 **セット** にタッチ。

ワンポイント

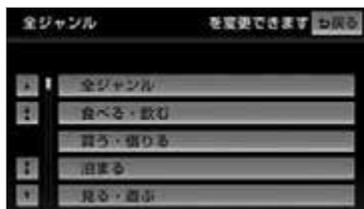
- ・ **目的地周辺** は、目的地が設定されているときに表示されます。

■施設のジャンル別検索

ジャンルを指定して、施設名称または地名を絞り込むことができます。候補数が多いときは **エリアで絞る** による絞り込みで候補数を減らしてから検索します。

全国リスト画面 (→ 100)

- 1 **ジャンルで絞る** にタッチ。
- 2 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。



- ・ リスト画面にもどるとき  
 → **全ジャンル** にタッチ。
- ・ 地名を入力したときは、**その他** → **住所** の順にタッチすると、地名のリストが表示されます。

ワンポイント

- ・ 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。
- ・ 施設ジャンルの選択は、1 ジャンルの設定になります。また、**ジャンルで絞る** で設定後、**エリアで絞る** でエリア別の絞り込みができます。

## 住所で地図を呼び出す

目的地画面 (→ 98) → **住所** →  
住所検索画面

- 1 都道府県名→市区町村名→町名→  
丁目 (字) の順にタッチ。



- **〇〇主要部** にタッチすると、広域図が表示されます。
- 2 **番地指定** にタッチ。
  - 3 番地を入力し、**完了** にタッチ。
- 入力した番地に、
    - ・ 該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
    - ・ 該当する住所がないときは、その丁目 (字) の広域図が表示されます。
    - ・ 間違えたとき → **修正** にタッチ。

## 施設で地図を呼び出す

目的地画面 (→ 98) → **施設** →  
施設検索画面

- 1 施設のジャンルにタッチ。



- 表示されている以外のジャンルを表示するとき  
→ **その他** にタッチ。

- **その他** にタッチしたとき  
→ 施設のジャンルにタッチ。

- 2 都道府県名 (路線名) にタッチ。
  - さらに市区町村名 (または路線名・販売会社名) が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名 (または路線名・販売会社名) にタッチします。
  - 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。  
このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。  
**全国の〇〇** にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が 50 音順に表示されます。

- 3 施設名称にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 施設名称の中でも、登録されていない施設があります。その際は、名称、住所、電話番号もしくはジャンルによる検索で周辺の地図を呼び出すことができます。(→ 100、103、104、106)
- ・ 高速インターチェンジ (IC) ・ サービスエリア (SA) ・ パーキングエリア (PA) は、路線別のリストがあります。
- ・ 高速インターチェンジ (IC) ・ サービスエリア (SA) ・ パーキングエリア (PA) 以外は、都道府県別のリストがあります。
- ・ 駅、有料インターチェンジ (IC) は、都道府県別のリストのあとに路線別のリストがあります。
- ・ 交差点は、都道府県別のリストのあとに市区町村別のリストがあります。



## 電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設や個人宅（ピンポイント検索）の場合は、周辺の地図を、それ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。また、メモリ地点に電話番号が設定してある場合（→153）は、メモリ地点や特別メモリ地点が呼び出せます。

目的地画面（→98）→ **電話番号** → 電話番号検索画面

### 1 電話番号を入力し、**完了** にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- 間違えたとき → **修正** にタッチ。
- 同じ電話番号で複数の地点があるとき → 施設名称にタッチ。



- 地図データに収録された「個人宅」の電話番号を入力した場合、名字を入力する画面が表示されます。（個人宅ピンポイント検索）



### ワンポイント

- ・ 同じ名前の施設名称が、複数表示されることがあります。
- ・ 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - ・ デパートの美術館・アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - ・ 一般情報誌などではホール等の電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このような施設の電話番号を入力すると、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地の地図が表示されます。
- ・ 施設の電話番号や所在地、名前などは1年間で数万件が変化します。この点に留意してご利用ください。
- ・ 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。また、表示される電話番号は途中で切れていることや省略されていることがあります。

- ・収録されていない電話番号を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。  
記憶できる件数をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。
- ・局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。
- ・収録されていない電話番号を入力して表示し、目的地・メモリ地点などに設定した地点は、最大 100 力所まで記憶されます。100 力所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。
- ・「個人宅電話番号・名称データ」は、日本ソフト販売株式会社の「Bellemax®」のデータを使用しています。

## Yahoo! JAPAN で登録した地点の地図を呼び出す

Yahoo! JAPAN のサービスで登録した施設や場所の位置情報を携帯電話から本機へ送信して地図を呼び出すことができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。詳細は次のホームページを参照してください。  
路線・地図アプリ紹介ページ

- ・ <http://transit.map.yahoo.co.jp/mobile/app/info.html> (パソコン)
- ・ <http://map.mobile.yahoo.co.jp/dl> (モバイル)

※Yahoo! JAPAN のサービスや専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

なお、2012年12月20日で「ドライブルート（ドライブルートの情報を車載機へ送信する）」、「走行軌跡（車載機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話に送信し、Yahoo! JAPAN のサービスでの活用）」のサービスは終了しました。

本機で動作確認済みの機種については ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」をご確認ください。また、携帯電話の設定や利用方法（専用のアプリケーション）については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

### 警告

- ・ 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

### ワンポイント

- ・ 本機に登録、接続された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 393、394）
- ・ 送信中に走行を開始した場合、前の画面に戻ります。ただし、携帯電話の操作が完了している場合、送信が完了してから前の画面に戻ります。
- ・ 送信中にエンジンスイッチを OFF (LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチを ACC、または ON にして再度操作します。
- ・ 送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- ・ データ送信中は、他の Bluetooth 機器の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。（機種により、再接続できないことがあります。）
- ・ 路線・地図アプリ紹介ページの情報料、アプリケーション使用料は無料です。
- ・ 本機の情報を携帯電話に送信することもできます。詳しくは、「地点情報を本機へ送信する」（→ 212）をご覧ください。



## 目的地情報で地図を呼び出す

目的地画面 (→ 98) →  
**Yahoo! JAPAN と連携** →  
 Yahoo! JAPAN と連携画面

### 1 **目的地受信** にタッチ。



### 2 携帯電話から位置情報を送信する。



- 通信を中止したいとき  
 → **中止** にタッチ。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

## 地点情報で地図を呼び出す

目的地画面 (→ 98) →  
**Yahoo! JAPAN と連携** →  
 Yahoo! JAPAN と連携画面

### 1 **地点情報** にタッチ。



### 2 **新規受信** にタッチ。

### 3 携帯電話から位置情報を送信する。



- 通信を中止したいとき  
 → **中止** にタッチ。  
 ・ 位置情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。

### 4 希望の地点情報を選択。



## ワンポイント

- ・ 本機に保存されている情報は、携帯電話から本機へ送信するごとに新しい情報に上書きされます。
- ・ 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

## ジャンルで地図を呼び出す

現在地または目的地周辺など施設を検索するエリアを変更し、変更したエリア周辺の施設を検索することができます。

目的地画面 (→ 98) → **ジャンル** → ジャンル検索画面

GPS ボイスナビゲーション

- 1 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチし、**完了** にタッチ。



- 5 つまで選択することができます。
- ・ 間違えたとき
  - ➔ **選択解除** または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

- 2 施設名称にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 施設のリストは、以下の 2 種類の表示方法があります。
  - 距離順** … ④ または ⑤ から近い施設の順
  - 種類順** … 施設の記号の種類順
- ・ **ルート沿い考慮** にタッチすると、ルート沿いの施設のみリストに表示されます。(→ 84)

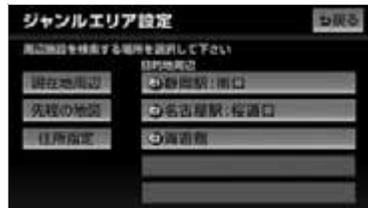
### エリア別検索

施設を検索するエリアを変更することができます。

目的地画面 (→ 98) → **ジャンル** → ジャンル検索画面

- 1 **エリア** にタッチ。

- 2 施設を検索したい地域にタッチ。



- ・ **住所指定** にタッチすると、住所から施設を検索したい地域を選択することができます。
- ・ 選択方法について
  - ➔ 「住所で地図を呼び出す」(→ 103) 手順 1 へ。

- 3 **セット** にタッチ。

### 郵便番号で地図を呼び出す

目的地画面 (→ 98) → **郵便番号** → 郵便番号検索画面

- 1 数字を 1 番号ずつタッチし、**完了** にタッチ。



- 間違えたとき ➔ **修正** にタッチ。
- 入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。**住所一覧** にタッチすると住所を検索することができます。(→ 111)
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(→ 110) を参照してください。

### ワンポイント

- ・ 郵便番号は 7 桁で入力してください。

## マップコードで地図を呼び出す

マップコード※とは、特定の位置の位置データをコード化し、1～13桁の番号でその場所を特定することができます。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定できるようになります。

※「マップコード」は、株式会社 デンソーの登録商標です。

目的地画面 (→ 98) →

**マップコード** → マップコード検索画面

- 1 マップコードを入力し、**完了** にタッチ。



- ・ 間違えたとき → **修正** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 標準マップコード (6～10桁) の後に\*を入力し、高分解能マップコード (1～2桁) を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。
- ・ マップコードについては、以下のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。  
<http://www.e-mapcode.com>
- ・ マップコードは、メモリ地点・迂回メモリ地点を登録すると、位置の名称の下に表示されます。
  - ・ メモリ地点…………… → 148
  - ・ 迂回メモリ地点…………… → 155

## 携帯電話で地図を呼び出す

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機へ送信して、その場所の地図を呼び出すことができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。

本機で動作確認済みの機種については ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」をご確認ください。また、携帯電話の設定や利用方法 (専用のアプリケーション) については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

### 警告

- ・ 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

### ワンポイント

- ・ 本機に登録、接続された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。(→ 393、394)

目的地画面 (→ 98) → **地点を受信** → 地点を受信画面

- 1 携帯電話から位置情報を送信する。



- 通信を中止したいとき → **中止** にタッチ。
- 位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

### ワンポイント

- ・ 送信中に走行を開始した場合、前の画面に戻ります。ただし、携帯電話の操作が完了している場合、送信が完了してから目的地セット画面が表示されます。
- ・ 送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- ・ データ送信中は、他の Bluetooth 機器の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。(機種により、再接続できないことがあります。)
- ・ 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

## 履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新 100 件まで自動的に記憶し、簡単に同じ地点の地図を呼び出すことができます。

目的地画面 (→ 98) → **履歴** または **目的地履歴** → 履歴検索画面

### 1 希望の目的地履歴にタッチ。



- **前回出発地** にタッチすると、前回目的地案内させたときの出発地点の地図が表示されます。

### ワンポイント

- ・ 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- ・ 携帯電話で呼び出した地図は、目的地履歴に記憶されないことがあります。また、設定したときの名称と異なる名称が記憶されることがあります。
- ・ 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。
- ・ 目的地履歴を消去するには、「目的地履歴の消去」(→ 146) をご覧ください。



## 呼び出した地図の操作

### ピンポイント検索

地図を呼び出したとき、施設によっては、ピンポイント検索されます。

#### ピンポイント検索されたとき



#### ピンポイント検索されなかったとき



### ワンポイント

- ・ 検索された施設に、詳細な情報があるときは、検索された施設の地点に  が表示されます。
- ・ 携帯電話で地図を呼び出した場合、**戻る** が表示されません。
- ・ 郵便番号で地図を呼び出したときに  マークが表示されることがありますが、施設内容の表示や提携駐車場の検索はできません。

### 位置の変更

- 1  にタッチして、地図を動かす。

### 施設の内容の表示

- 1 **情報** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 施設によっては、内容が表示されない施設もあります。



### 携帯電話から受信した情報の施設表示



- ・ 詳細な情報が表示したいとき  
→ **詳細情報** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。
- ・ 携帯電話から地図を呼び出したときは、**情報** が表示されないことがあります。

## 提携駐車場の検索

検索された施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

### ワンポイント

- ・ 地図データに情報のない駐車場は、検索されません。
- ・ 施設によっては、駐車場が検索されない施設もあります。
- ・ 検索される駐車場は、設定した車両情報（→130）により異なります。また、車両寸法が設定されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。

## 1 「提携P」にタッチ。



### ワンポイント

- ・ 「提携P」にタッチしても、駐車場が検索されないことがあります。

## 2 駐車場名称にタッチ。

- 選択した駐車場の内容が表示されます。
  - ・ 表示された画面の操作について
    - 「施設の内容の表示」（→110）
  - ・ それぞれの地点の地図を表示するとき
    - 「地図」にタッチ。
- 専用駐車場は **P**（青色）、提携駐車場は **P**（緑色）で表示されます。

## 住所の検索

### 住所一覧検索

次のときに、検索することができます。

- 「名称で地図を呼び出す」のリスト画面で、地名にタッチしたとき
- 「郵便番号で地図を呼び出す」から検索したとき
- 「電話番号で地図を呼び出す」で、該当する施設がなかったとき

## 1 「住所一覧」にタッチ。



## 2 地名にタッチ。

- 選択した地名の地図が表示されます。
  - ・ 詳細がわからないとき
    - **○主要部** にタッチし、広域図を表示。



## ■周辺住所検索

次のときに、検索することができます。

- 「住所一覧検索」(→111)で、該当する住所がなかったとき
- 「住所で地図を呼び出す」で、該当する住所がなかったとき

### チェック

- ・ **〇〇主要部** にタッチして表示した地図の場合、**周辺住所** は表示されません。

### 1 **周辺住所** にタッチ。



### 2 番地にタッチ。



### 目的地案内について

目的地案内では、目的地の設定のしかた、目的地への案内のしかた、ルートの変更のしかたについて説明しています。

まずはじめに、

①目的地を設定します。

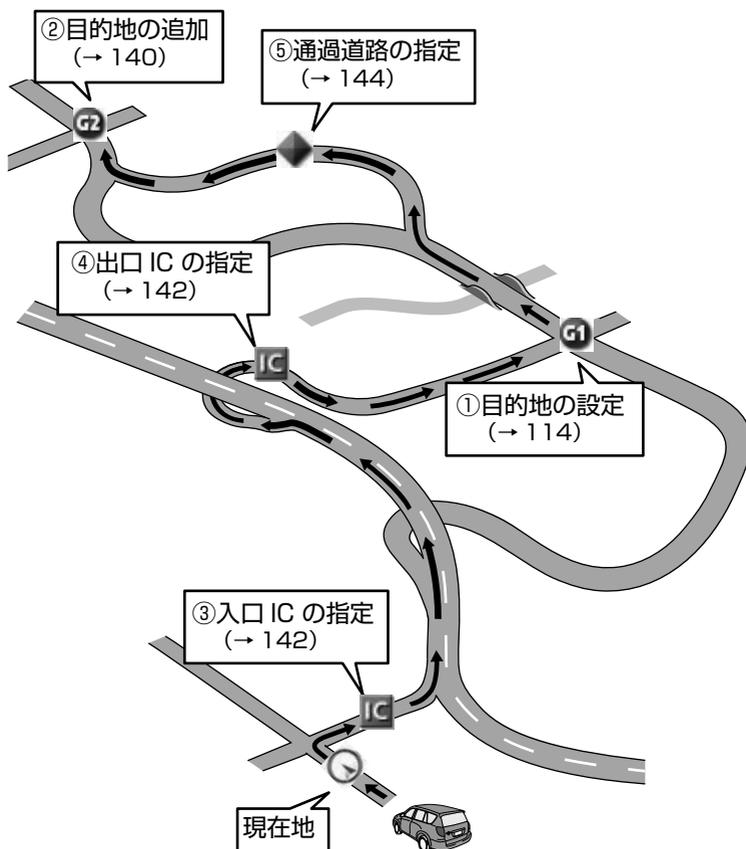
目的地をもう 1 カ所追加したいときは、

②目的地の追加をご覧ください。

希望のルートでなかったときは、

③入口 IC の指定・④出口 IC の指定・⑤通過道路の指定をご覧ください。

ルート変更は、他にも方法があります。(→ 139 ~ 146)



## 目的地の設定・ルート探索

### 目的地の設定

#### ワンポイント

- ・ 800m スケール図やより詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- ・ 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。(最大 100 力所まで) 100 力所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。(→ 146)

次の 3 通りの方法で、目的地の設定をすることができます。

設定方法	ページ
目的地画面から設定する	114
地図画面から設定する	114
携帯電話から設定する	115

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。

推奨ルート以外のルートや目的地を追加したり、インターチェンジ (IC) ・通過道路を設定するときは、ルート探索後に設定します。

#### 目的地画面からの設定方法

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **目的地** にタッチ。
- 3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示する。(→ 98、110)



#### 4 **目的地セット** にタッチ。

- の位置に目的地が 記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ 116)
- ・ 設定した目的地を消去するとき
  - ➔ 「目的地の消去」(→ 141)
- すでに目的地が設定されているとき
  - ➔ 次のいずれかにタッチ。



**新規目的地** …… 新しく目的地を設定する

**追加目的地** …… 目的地を追加する\*

※以降の設定方法について

➔ 「目的地の追加」(→ 140) 手順 4 へ。

- ・ 「地図画面からの設定方法」(→ 114) で目的地を設定した場合は、一番初めの目的地になり、ルート探索を開始します。

#### 地図画面からの設定方法

現在、表示させている地図に目的地を設定することができます。

- 1 地図上にタッチし、**目的地セット** にタッチ。



- 2 にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かし、**目的地セット** にタッチ。

- の位置に目的地が 記号で表示され、ルート探索が開始されます。(→ 116)

#### ワンポイント

- ・ すでに目的地が設定されているときに地図スクロールから追加した目的地は、一番手前の目的地になります。

## 携帯電話からの設定方法

Bluetooth 携帯電話で検索した施設の位置情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機へ送信して、目的地を設定することができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。

本機で動作確認済みの機種については ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」をご確認ください。また、携帯電話の設定や利用方法（専用のアプリケーション）については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

### 警告

- ・ 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

### ワンポイント

- ・ 本機に登録、接続された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 393、394）

1 **MENU** (画面外) を押す。

2 **情報** にタッチ。

3 **BT ナビ** にタッチ。

4 **地点を受信** にタッチ。



5 携帯電話から位置情報を送信する。



- ・ 通信を中止したいとき  
→ **中止** にタッチ。
- ・ 位置情報を取得するとメッセージが表示されます。

6 **目的地セット** にタッチ。

- ・ の位置に目的地が 記号で表示され、ルート探索が開始されます。（→ 116）

### ワンポイント

- ・ 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（→ 394）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- ・ 送信中にエンジンスイッチを OFF (LOCK) にした場合、送信が中止されます。その場合、エンジンスイッチを ACC、または ON にして再度操作します。
- ・ 送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- ・ データ送信中は、他の Bluetooth 機器の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。（機種により、再接続できないことがあります。）
- ・ 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

## 自宅を目的地に設定

**MENU** (画面外) → **目的地** →  
目的地画面

1 **自宅に帰る** にタッチ。

■ 自宅が登録されていないとき

1 **はい** にタッチ。



2 自宅の登録方法を選択する。

- 次の3通りの方法で、地図を呼び出すことができます。

機能	ページ
現在地周辺	—
目的地履歴	109
住所指定	103

3 **セット** にタッチ。

4 **自宅に帰る** にタッチ。(目的地画面)

## ルート探索

目的地の設定が終了すると、ルート探索が開始されます。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても、探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- 5000kmをこえるルートは探索することができません。
- ビーコンから受信したVICS情報(→198)を利用して交通状況を考慮したルートを探ることができます。「渋滞考慮探索」(→194)
- 目的地や出発地の周辺は、細街路(→124)を探索することがあります。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面(現在地から目的地までの全体ルート)になります。

### ワンポイント

- ・ 高速道路や有料道路のIC・SA・PA内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道路から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索(→136)を行ってください。
- ・ ルートの探索は、原則として道幅が5.5m以上の道路を対象としています。ただし、5.5m未満の主要道路でもルートを探ることがあります。

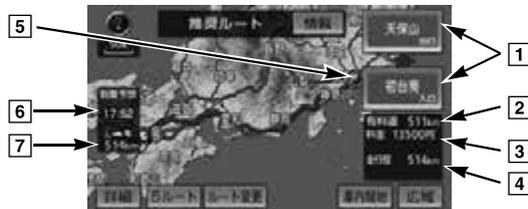
## 全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。  
全ルート図では、現在地から目的地までの到着予想時刻や距離などが表示されます。また、画面のタッチスイッチから探索されたルートを変更したり、案内の情報を表示することができます。

- ・ 全ルート図が表示されたあと、**現在地** (画面外) を押す、または走行を開始して約 3 秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。(→ 121)

### ■表示について

表示はすべて最終の目的地までのものです。



表示	機能
1 IC 名称表示	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC の名称が下に、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の名称が上に表示される。
2 有料道路距離表示	目的地までに通るすべての有料道路の距離を表示する。
3 料金案内	目的地までに通るすべての有料道路の料金を表示する。 (有料道路を通らないときは、利用する主な道路の距離が表示されます。また、料金が特定できないときは、「不明」または「〇〇〇円以上」と表示されます。) ・ 目的地案内開始後に全ルート図表示画面を表示したとき ➔ 現在地から目的地までに通る残りの有料道路の料金を表示する。
4 距離表示	目的地 (複数のときは最終目的地) までの距離を表示する。
5 IC マーク	一番最初に一般道路から有料道路に入る IC と、一番最後に有料道路から一般道路に出る IC の位置に表示する。
6 到着予想時刻表示	目的地への到着予想時刻を表示する。(→ 128) ・ ルートからはずれたときは、目的地方向マークを表示します。
7 残距離表示	表示されているルートの自転車位置から目的地までの距離を表示する。 ・ ルートからはずれたときは、目的地までの直線距離を表示します。

## ■タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、次のことができます。



スイッチ	機能
<b>1</b> 5 ルート (→ 120)	別のルートを表示して選択する。 ・ 目的地案内開始後は表示されません。
<b>2</b> ルート変更 (→ 139)	ルート変更画面を表示する。
<b>3</b> 案内開始 案内に戻る (目的地案内中) (→ 121)	目的地案内またはデモンストレーションを開始する。 目的地案内中は、現在地画面にもどる。
<b>4</b> 情報 (→ 119)	案内道路情報を表示する。
<b>5</b> IC 名称 (→ 142)	出入口 IC を指定する。
<b>6</b> 到着予想時刻・残距離表示 (→ 135)	各目的地までの到着予想時刻・残距離に切り替える。 (目的地を複数設定しているとき)

### ワンポイント

- ・ 探索されるルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート・早く行けるルート・渋滞していないルートではありません。
- ・ 料金は設定した車両情報 (→ 130) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ・ 到着予想時刻は設定した平均车速 (→ 129) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ・ 交通規制 (常時進入禁止、時間による進入禁止など) 区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に表示されることがあります。
- ・ 地図データには中央分離帯の情報が収録されていないものがあります。そのため、探索されるルートは中央分離帯を考慮したものではないことがあります。
- ・ 目的地案内開始後も全ルート図表示画面を表示することができます。(→ 135)
- ・ 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

## ■ ルート表示について



ルートの表示色は、次の4種類あります。

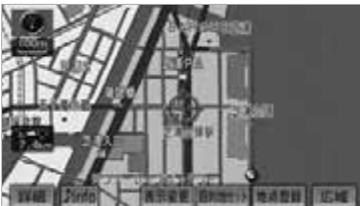
- **青色** (——)
  - 目的地を1カ所、または複数設定しているときの現区間(次の目的地まで)の表示
- **白色** (——)
  - 目的地を複数設定しているときの現区間(次の目的地まで)以外の表示
- **水色** (——)
  - 幅5.5m未満の道路表示(→119)
- **橙色** (——)
  - 季節規制区間表示(→89)

### 📖 ワンポイント

- ・ 高速路線マップのルート表示色は青色のみになります。

### <細街路(幅5.5m未満の道路)表示>

現在地または目的地周辺では、細街路(幅5.5m未満の道路)を通るルートも探索します。



## ⚠️ 警告

- ・ 細街路では、交通規制(一方通行など)により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。

## ルート情報(案内道路情報)

ルート探索終了後、ルート情報(道路名称・距離・料金・通過予想時刻)を表示させることができます。

全ルート図表示画面(→117)

- 1 **情報** にタッチ。
- 2 ルート情報画面が表示される。



- 入口IC・出口IC・JCT・目的地・道路の種類の変わり目などでルートを分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルートは、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。
  - ・ それぞれの地点の地図を表示するとき → **地図** にタッチ。



### ワンポイント

- ・ 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面に📍が表示されます。
- ・ 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- ・ 料金は設定した車両情報（→130）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ・ 通過予想時刻は設定した平均車速（→129）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ・ 携帯電話で目的地を設定した場合、検索した施設名称と表示する目的地名称が異なることがあります。
- ・ ルート案内中にも **表示変更** から全ルート図を表示してルート情報を表示することができます。

## 5 ルート表示

5つのルートから希望のルートを選ぶことができます。

### ワンポイント

- ・ 以下のときは、5 ルートを表示できません。
  - ・ 目的地を複数設定しているとき
  - ・ 通過する地点（IC・通過道路）を指定しているとき
  - ・ 目的地案内開始後

全ルート図表示画面（→117）

### 1 **5ルート** にタッチ。



- 5 つのルートが 5 色に色分けされて表示されます。
- 最もエコなルートにアイコンが表示されます。（→176）

### 2 表示したいルート名称にタッチ。

- 選択したルートの全ルート図表示画面が表示されます。

タッチスイッチ	内容
推奨	一般的なルートで案内できます。
有料優先	有料道路を優先して案内できます。
一般優先	一般道路を優先して案内できます。
距離優先	距離の短いルートで案内できます。
別ルート	他の4つのルートとは別のルートで案内できます。

## 目的地案内の開始

## ■5 ルートの詳細情報

5 つのルートと目的地までの距離・有料道路の距離・料金・所要時間を確認することができます。

全ルート図表示画面(→117)→**5ルート**  
→5ルート表示画面

- 1 **全行程一覧** にタッチ。
- 2 全行程一覧表画面が表示される。

検索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間	エコ度
最短	514m	511m	13500円	6時間50分	🍃🍃
有料道路	514m	511m	13500円	6時間50分	🍃🍃
最短料金	539m	74m		16時間43分	🍃
最短時間	497m	195m	5300円	12時間57分	🍃🍃🍃
最短エコ	549m	542m	13450円	7時間18分	🍃🍃🍃

- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートの全ルート図表示画面が表示されます。
- ルートごとにエコ度が表示されます。エコ度は、設定する燃費により変わります。(→176)
- エコ度は3段階のランクで表示されます。
  - ・ 葉っぱマーク3枚：優良
  - ・ 葉っぱマーク2枚：良
  - ・ 葉っぱマーク1枚：並

## 📖 ワンポイント

- ・ 渋滞考慮探索(→194)が**する**に設定されているときは、渋滞を考慮したルートになります。
- ・ 料金は設定した車両情報(→130)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- ・ 所要時間は設定した平均車速(→129)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

## 目的地案内の開始

全ルート図表示画面(→117)

- 1 **案内開始** にタッチ。



- 全ルート図が表示されたあと、**現在地**(画面外)を押す、または走行を開始して約3秒以上経過したときは、自動的に目的地案内を開始します。

## デモンストレーション(デモ)

ルート探索終了後、目的地案内を開始する前に、目的地案内のデモを見ることができます。



## 🔍 チェック

- ・ デモンストレーション(デモ)は、目的地設定後のルート探索終了時(案内開始前)に表示される全ルート図画面で行うことができます。また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。

全ルート図表示画面(→117)

## 1 案内開始

- 案内開始に約 3 秒以上タッチ。  
 ・ デモを終了するとき  
 → 本機（画面外）のいずれかのスイッチを押す。  
 ・ デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。

### ワンポイント

- ルート探索終了後、目的地案内を開始したあとは、デモを見ることはできません。
- オンルートスクロールを使っても、探索されたルートを確認することができます。（→ 132）

## 目的地案内の中止

### 1 MENU（画面外）を押す。

### 2 設定・編集 にタッチ。

### 3 案内中止 にタッチ。



- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。  
 ・ 目的地を消去するとき  
 → 「目的地の消去」（→ 141）  
 ・ 中止した目的地案内を再開するとき  
 → **MENU**（画面外）→ **設定・編集** → **案内再開** の順にタッチ。

## 目的地への案内

### 音声案内

次のようなときに、音声案内が出力されます。

- 音声案内は、自動音声案内が **する** に設定されているときに出力されます。（→ 166）
- カーブ・合流・踏切・レーンの音声案内は各道路形状警告が **する** に設定されているときに出力されます。（→ 168）
- 高速道路の料金案内は、料金案内が **する** に設定されているときに出力されます。（→ 165）

### 目的地案内中の音声案内の例

<分岐交差点手前>

700m 手前

「ポーン およそ 700m 先 ○○を右方向です」

300m 手前

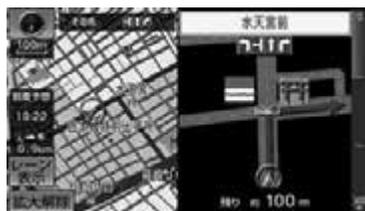
「ポーン およそ 300m 先 ○○を右方向です」

100m 手前

「ポーン まもなく右方向です」

交差点直前

「右方向です」



ポーン まもなく  
右方向です

- \* ○○（道路名称や交差点名称、目印など）は、情報のある地点のみ案内されます。

### ● 信号機案内の例

「ポーン およそ 300m 先 次の信号を  
右方向です」  
「ポーン 次の信号を右方向です」

### < 有料道路への進入時 >

「ポーン まもなく右方向です  
その先 高速道路です」  
「ポーン この先 料金所です」

### < 連続車線変更案内時 >

連続車線変更案内 (→ 126) を表示し  
たときに音声案内されます。  
「ポーン この先すぐに 左にレーン移動  
が必要です」

### < 幅 5.5m 未満の道路への進入時 >

「実際の交通規制や道幅に注意して走  
行してください」

### ■ 目的地周辺に到着したときの音声案内の例

#### < 目的地の手前 >

「ポーン まもなく目的地です」

#### < 目的地の直前 >

「ポーン 目的地は右 (左) 側にありま  
す」  
音声案内はあくまでも参考としてくだ  
さい。

**現在地** (画面外) を押すと、分岐交差点  
までの距離に応じた音声案内が出力され  
ます。

- ・ 自動音声案内を「しない」に設定してい  
ても出力されます。

自動音声案内のする／しないを設定でき  
ます。(→ 166)

### 📖 ワンポイント

- ・ 音声案内は目的地周辺までの案内をし  
ます。実際の道路状況および交通規制にし  
たがって走行してください。
- ・ 目的地に到着する直前でルートからはず  
れ再探索された後、目的地に近づくと再度、  
音声案内されることがあります。
- ・ 音声案内の音量は調節することができま  
す。(→ 96) ただし、**消音** を選んでいる  
と、音声案内されません。
- ・ 音声案内の例は一般的なものであり、道  
路の接続状況などにより異なった音声案内が  
出力されることがあります。
- ・ 自車位置が正確に特定できないときなど  
に、音声案内が出力されなかったり、まれ  
に遅れたり、誤った音声案内が出力される  
ことがあります。
- ・ 地図データに情報のある地点で案内されま  
す。
- ・ 音声案内の音量は調節することができま  
す。(→ 96)
- ・ 信号機案内は、以下のようなとき出力され  
ない場合があります。
  - ・ 信号機のある交差点を走行しているとき
  - ・ 分岐する交差点までの距離が短いとき
  - ・ 分岐する交差点までの間に別の信号機が  
あるとき

## 道幅 5.5m 未満の道路での案内

目的地周辺では、幅 5.5m 未満の道路（細街路）を通るルートも音声案内を行います。

細街路での音声案内のする／しないを設定できます。（→ 166）

### ワンポイント

- ・ 目的地が幅 5.5m 未満の道路にある場合、実際の入口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- ・ 出発時点が幅 5.5m 未満の道路にある場合、幅 5.5m 以上の道路までは、音声案内を行いません。
- ・ 交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

## 他モードでの案内

ナビゲーション画面から他モードの画面（情報画面など）に切り替えたときでも、音声案内を出力させることができます。

他モードに切り替えたときに音声案内のする／しないを設定できます。（→ 166）

### ワンポイント

- ・ 音声案内が出力されていないときも、目的地案内は継続して行われます。

## 交差点案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、分岐する交差点に近づくと、レーンリスト図（→ 124）または交差点拡大図（→ 125）に切り替わります。また、ターンリスト図（→ 127）を表示させることもできます。

## レーン（車線）リスト図表示

分岐する交差点の手前（約 700m 以内）では、レーンリスト図（走行する交差点の名称とレーン表示）を最大 4 つまで表示させることができます。

- 交差点拡大図案内…赤色
- 案内ポイント…緑色、桃色、橙色
- 地図上の案内ポイント ■ とレーンリストの ■ は同じ色で表示されません。



レーンリスト自動表示のする／しないを設定できます。（→ 165）

### ワンポイント

- ・ レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約 300m 手前では、交差点拡大図（→ 125）が自動的に表示されます。（交差点拡大図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。）
- ・ レーンリスト自動表示を「しない」に設定していても、**レーン表示** にタッチすると、レーンリスト図を表示することができます。





## ■ レーンリスト図表示の解除

1 **レーン解除** にタッチ。



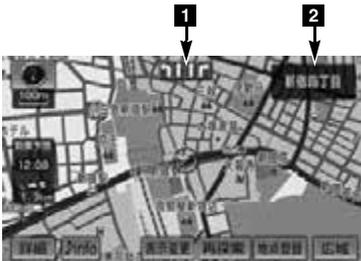
- ・ レーンリスト図にもどすと  
→ **レーン表示** にタッチ。

## ■ 交差点拡大図表示

交差点が近づくと、交差点案内が行われます。また、分岐する交差点が近く（約 300m 以内）と、交差点拡大図を表示させることができます。

交差点拡大図自動表示のする／しないを設定できます。(→ 165)

分岐しない交差点



分岐する交差点（交差点拡大図）



### 1 レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線が表示され  
ます。  
・ 走行を推奨する車線が青色で表示され  
ます。

### 2 交差点名称表示

通過・分岐する交差点の名称が表示され  
ます。

### 3 残距離表示

交差点までの距離が表示されます。  
・ 交差点に近づくとともに **■** が短くな  
り、残りの距離も少なくなります。

### 4 案内ポイント

通過・分岐する交差点に表示されます。

### ワンポイント

- ・ 地図データに情報のない交差点では、レーン表示・交差点名称表示は行われません。
- ・ レーン表示・交差点名称表示が実際の交差点と異なることがあります。
- ・ 案内ポイントの種類により、表示される画面は異なります。
  - ・  (赤) …交差点拡大図が表示されません。
  - ・  …信号機がある交差点の名称・レーンが表示されます。
  - ・  (灰) …レーンが表示されます。
- ・ 次のようなときは、交差点案内が行われなことがあります。
  - ・ 目的地案内開始直後
  - ・ 目的地周辺
- ・ 交差点拡大図表示は、遅れたり早くなる場合があります。
- ・ 次の分岐する交差点が近いときは、続けて交差点拡大図が表示されます。
- ・ 交差点拡大図が表示されているとき、レーン表示・交差点名称表示は分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。
- ・ 交差点拡大図自動表示を「しない」に設定していても、**現在地**(画面外)を押すと交差点拡大図を表示することができます。

### リアル交差点拡大図

交差点拡大図をリアルな表示に切り替えることができます。



リアル交差点拡大図表示のする／しないを設定できます。(→ 165)

### 3D 交差点拡大図表示

交差点拡大図を立体的(3D)に表示させることができます。



3D 交差点拡大図のする／しないを設定できます。(→ 165)

### 連続車線変更案内

分岐する交差点までの距離が短く、複数車線変更が必要な場合に表示されます。



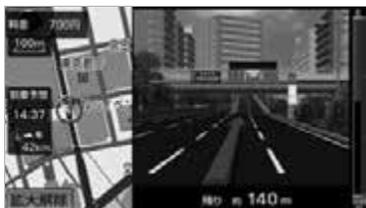
ワンポイント

- ・ 地図データに情報のある地点で表示します。

立体的な拡大図表示

目的地案内中の分岐をわかりやすくするために、交差点手前の景観にあわせた立体的な拡大図が表示されることがあります。

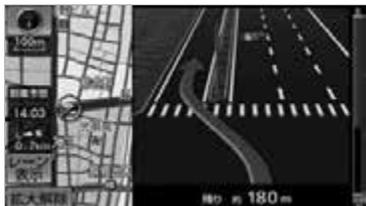
都市高速 IC 入口



立体交差点



側道案内



ワンポイント

- ・ 地図データに情報のある地点（都市高速 IC 入口、立体交差点、側道案内）で表示します。

拡大図表示の解除

- 1 **拡大解除** にタッチ。
  - ・ 拡大図にもどすとき  
➔ **現在地** (画面外) を押す。

ターンリスト図表示

分岐する交差点・IC・JCT などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号を表示させることができます。

ターンリスト自動表示のする／しないを設定できます。(→ 165)



1 案内ポイント

分岐する交差点・IC・JCT 名称が表示されます。  
現在地から次に分岐する交差点・IC・JCT までは、現在走行中の路線名が表示されます。

2 距離表示

案内ポイント区間の距離、案内ポイント通過後の路線番号が表示されます。

3 案内方向

案内ポイントでの案内する方向が表示されます。



ワンポイント

- ・一般道路走行中は、ターンリスト図を表示させていても交差点の約700m手前では、レーンリスト図(→124)・交差点の約300m手前では、交差点拡大図(→125)が自動的に表示されます。(レーンリスト自動表示・交差点拡大図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。)
- ・また、高速道路走行中は、分岐点に近づくときと高速分岐案内が表示されます。(高速分岐模式図自動表示を「しない」に設定しているときは切り替わりません。)
- ・地図データに情報のない交差点・IC・JCT名称、路線名、路線番号は表示されません。
- ・ターンリスト図表示中は、2画面表示が解除されます。(2画面表示にするときは、ターンリスト図を解除してください。)
- ・ターンリスト自動表示を「しない」に設定していても、**表示変更**からターンリスト図を表示することができます。
- ・ターンリスト図とシティドライブモード画面は同時に表示できません。

■ターンリスト図表示の解除

地図表示中 → **表示変更** → **地図表示** → 地図表示画面

1 **ターンリスト解除** にタッチ。



- ・ターンリスト図にもどるとき  
→ **ターンリスト表示** にタッチ。

到着予想時刻の表示

全ルート図表示画面(→117)と目的地案内中の現在地画面で、現在地がルート上にあるとき、地図左下に到着予想時刻を表示させることができます。



到着予想時刻表示

ワンポイント

- ・到着予想時刻は設定した平均車速(→129)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- ・ルートからはずれたときは、目的地方向マーク(●)になります。

## 到着予想時刻表示の設定

到着予想時刻の表示（アナログ／デジタル）を設定することができます。

**MENU**（画面外） → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **案内表示設定** →  
 ナビ詳細設定画面

- 1 到着予想時刻表示の **デジタル** または **アナログ** にタッチ。



- 2 **完了** にタッチ。

## 平均車速の設定

次の画面を表示したときの、時刻・時間を計算する基準である平均車速を設定することができます。

表示	ページ
現在地画面の到着予想時刻	—
全ルート図表示画面の到着予想時刻	117
シティドライブモードの通過予想時刻	91
ルート情報の通過予想時刻	119
全行程一覧表の所要時間	121

**MENU**（画面外） → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **案内表示設定** →  
 ナビ詳細設定画面

- 1 到着予想時刻表示の **設定** にタッチ。



- 2 それぞれの道路の速度を設定し、**完了** にタッチ。

- 速度を上げるときは **▶**、下げるときは **◀** にタッチ。

- 3 **完了** にタッチ。（手順 1 の画面）

### ワンポイント

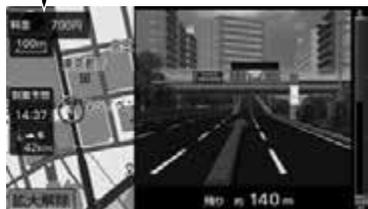
- ・ **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態（高速道路 80km/h・有料道路 60km/h・一般道路 30km/h）にもどります。
- ・ **VICS 情報考慮** にタッチし作動表示灯が点灯すると、VICS・交通情報を考慮した到着予想時刻を表示させることができます。



## 料金案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと、画面左上に料金を表示し、音声で案内することができます。

料金案内



### ワンポイント

- ・ 地図データに情報のない料金所では、料金案内は行われません。
- ・ 料金設定した車両情報（→ 130）のナンバープレートの分類番号から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。
- ・ 有料道路と一般道路が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道路へずれることがあります。このとき再探索が行なわれると、実際と異なる料金が案内されることがあります。
- ・ 出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索をしたときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは、「料金不明」と表示されます。
- ・ 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。

## 車両情報の設定

次の画面を表示したときの、料金の計算、および提携駐車場（→ 111）を検索させるときの基準である車両情報を設定することができます。

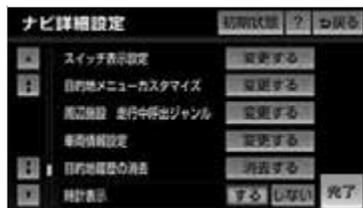
表示	ページ
現在地画面の料金案内	130
全ルート図表示画面の料金案内	117
ルート情報の料金案内	119
全行程一覧表の料金案内	121

### チェック

- ・ 目的地が設定されているときは、車両情報の設定ができません。

MENU (画面外) → 設定・編集 → ナビ詳細設定 → その他 → ナビ詳細設定画面

- 1 車両情報設定の **変更する** にタッチ。



- 2 次の項目を設定し、**完了** にタッチ。

### ■ ナンバープレートの分類番号

- 1 **1**・**3**・**5・7**・**軽** のいずれかにタッチ。

## ■車両寸法

### 1 長さ・幅・高さを設定する。

-  … 寸法を大きくする
-  … 寸法を小さくする

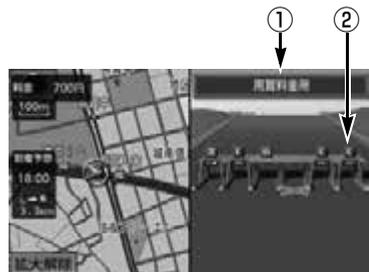
### 📖ワンポイント

- ・ 最大寸法（長さ 600cm 以上・幅 250cm 以上・高さ 300cm 以上）にすると 、最小寸法（長さ 450cm 以下・幅 160cm 以下・高さ 150cm 以下）にすると  の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
- ・ 長さ： 450～500cm（5cm 単位）、500～600cm（10cm 単位）
- ・ 幅： 160～200cm（5cm 単位）、200～250cm（10cm 単位）
- ・ 高さ： 150～200cm（5cm 単位）、200～300cm（10cm 単位）
- ・ 提携駐車場は、車両寸法、ナンバープレートから検索しています。

## 料金所レーン案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと料金所のレーン図を表示することができます。ETC レーンの位置を画面表示で案内します。

料金所レーン案内のする／しないを設定できます。（→ 165）



### ①料金所名称表示

料金所の名称が表示されます。

### ②レーンの種別表示

各レーンの種別がマークで表示されます。

- ・ ：ETC 専用の場合
- ・ ：ETC / 一般料金所混在の場合
- ・ ：一般料金所の場合
- ・ ：同じ内容のレーンが4つ以上続く場合
- ・ ：続くレーン数が10レーンを越える場合
- ・ ：不明／閉鎖



## 案内中の操作

### ワンポイント

- ・ 次の場合、料金所レーンの前に大きく“×”が表示されます。
  - ・ 閉鎖されている場合
  - ・ 料金所を通過すると案内ルートから外れる場合
- ・ 料金所、ETC レーンの車線運用は変更される場合があります。案内表示板や標識などにしたがってください。
- ・ 地図データに情報のない料金所では、料金所レーン案内図は表示されません。また、料金所レーン案内図が表示されても、料金所名称表示が表示されないことがあります。
- ・ 料金所の名称、レーン数が実際の料金所と異なることがあります。

### 料金所レーン案内図を解除する

- 1 **拡大解除** にタッチ。
- 再度、料金所レーン案内図を表示させるには、**現在地** (画面外) を押します。

### フェリー航路の案内

フェリーの航路は ----- (破線) で表示されます。



- ・ フェリーターミナルまで音声案内が出力されます。
- ・ フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。

### ワンポイント

- ・ フェリー航路を使用する全ルート図表示画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます。

### オンルートスクロール

出発した地点または目的地まで、ルートに沿って地図を自動で移動させることができます。

- ・ ルート沿いの施設や VICS・交通情報を確認することができます。

### ワンポイント

- ・ 以下のときは、オンルートスクロールをさせることはできません。
  - ・ 表示していた地図にルートが表示されていないとき
  - ・ 高速路線マップ (→ 92) を表示しているとき

### チェック

- ・ 走行中は操作できません。オンルートスクロール中に走行すると **NG**・**OK** のみ操作することができます。

地図表示中 → **表示変更** → 表示変更画面

### 1 オンルートスクロール にタッチ。



### 2 スクロールの項目 ( **▶**・**◀**・**NG**・**OK** ) にタッチ。

- 設定したスクロールの条件により、スクロールのしかたが異なります。(→ 132)
- ・ スクロールの条件または施設を変更するとき
  - **設定** にタッチ。

### ■スクロール画面

オンルートスクロール中に、次の操作をすることができます。

**||** …………… 一時停止

**▶▶** または **◀◀** … 早送り



**現在地**（画面外）を押すと、オンルートスクロールを終了します。

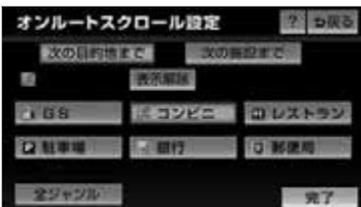
## オンルートスクロールの設定

### 条件の選択

地図表示中 → **表示変更** →  
**オンルートスクロール** →  
オンルートスクロール画面

- 1 **設定** にタッチ。
- 2 **次の目的地まで** または **次の施設まで** にタッチし、**完了** にタッチ。

オンルートスクロール設定画面



### ■次の目的地まで

**▶G** …… 次の目的地まで地図を移動

**◀◀** …… 出発した地点または前の目的地まで地図を移動

**HG** …… 次の目的地の地図を表示

**◀K** …… 出発した地点または前の目的地の地図を表示

### ■次の施設まで

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

**▶G** …… 目的地方向で、最寄りの施設まで地図を移動

**◀◀** …… 出発した地点の方向で、最寄りの施設まで地図を移動

**HG** …… 目的地方向で、最寄りの施設の地図を表示

**◀K** …… 出発した地点の方向で、最寄りの施設の地図を表示

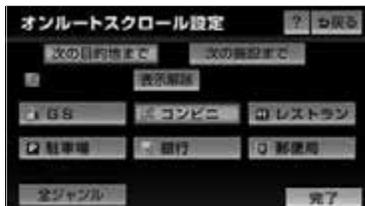
### 📖ワンポイント

- ・ 800m スケール図より広域の地図を表示していたときは、「次の施設まで」のスクロールをさせることはできません。

## 施設の選択

地図表示中 → **表示変更** →  
**オンルートスクロール** → **設定** →  
 オンルートスクロール設定画面

### 1 施設のジャンルにタッチし、**完了**にタッチ。



- 5 つまで選択することができます。
  - ・ 間違えたとき
    - ➔ **表示解除** または選択済みの施設のジャンルにタッチ。
  - ・ 表示されている以外のジャンルを選択するとき
    - ➔ **全ジャンル** にタッチ。
  - ・ **全ジャンル** にタッチしたとき
    - ➔ 施設のジャンル → さらに詳細な施設のジャンルの順にタッチ。
  - ・ 間違えたとき
    - ➔ **表示解除** または選択済みの施設のジャンルにタッチ。

## ワンポイント

- ・ オンルートスクロールでの施設の選択と、通常の地図画面での施設表示 (→ 82) は別の設定のため、オンルートスクロールで施設を変更しても、通常の地図画面の施設は変更されません。
- ・ 次の表示中は、オンルートスクロールを行うと表示が解除されますが、**現在地** (画面外) を押すともどります。
  - ・ 2画面表示をしているとき
  - ・ シティドライブモード画面を表示しているとき
  - ・ 都市高マップを表示しているとき
  - ・ 3D表示をしているとき
- ・ 施設ランドマークまで移動したときは、施設の情報を表示することができます。(→ 84)
- ・ 表示される地図によってオンルートスクロールが止まる場合があります。

## 全ルート図を表示するには

地図表示中 → **表示変更** → 表示変更画面

### 1 **全ルート** にタッチ。



- 全ルート図表示画面について  
→「全ルート図表示」(→ 117)

## 全ルート図表示縮尺切り替え

目的地を設定しているときに、現在地から目的地までの全ルートを、現在地を地図表示画面の中心にした縮尺に切り替えることができます。

### **チェック**

- ・ 3D 表示中 (→ 77)、市街図表示中 (→ 80) は  が表示されません。

地図表示中

### 1 **広域** または **詳細** にタッチ。

### 2 にタッチ。



### **ワンポイント**

- ・ 現在地と目的地の位置によっては、全ルートを表示できないことがあります。

## 到着予想時刻・残距離表示を切り替えるには

目的地を複数設定しているとき、切り替えることができます。

地図表示中

### 1 到着予想時刻・残距離表示にタッチ。



到着予想時刻・残距離表示

- 目的地が 2 か所の場合は、タッチすることにより各目的地までの到着予想時刻・残距離表示に切り替わります。

### 2 表示させたい目的地までの到着予想時刻・残距離表示にタッチ。

### **ワンポイント**

- ・ 状況により目的地までの表示が異なります。
  - ・ 現在地がルート上にあるとき  
→ 到着予想時刻と表示されているルートを通っての距離
  - ・ ルートからはずれたとき  
→ 目的地の方向と直線距離



## ルートの再探索

### 自動再探索

ルートからはずれたときに、自動的に再探索※させることができます。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

- 周辺探索

もとのルートへ復帰するルートが探索されます。

- 全ルート探索

現在地から目的地※の間で、選ばれている条件でルートが探索されます。

※現在地と次の目的地の間に IC・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されている IC・通過道路の間で、ルートが探索されます。

自動再探索のする／しないを設定できます。(→ 166)

### ワンポイント

- ・ 自動再探索は、目的地案内中にルートからはずれたときで、かつ道路を走行していると判断されたときのみ行われます。

### ルートの再探索

目的地案内中（ルートからはずれたときも含む）の現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索をすることができます。

再探索されるルートは、選んだ探索条件により異なります。

現在地（画面外）→ 現在地画面

- 1 **再探索** にタッチ。
- 2 再探索する項目にタッチ。



### ワンポイント

- ・ **次の○消去** にタッチすると、現在地の次の目的地を消去して、再探索をすることができます。
- ・ **次の➡解除** にタッチすると現在地の次の通過道路、**指定IC解除** にタッチすると IC の指定を解除して、再探索をすることができます。





探索条件 (タッチスイッチ)	機能
スマートIC考慮	スマートICを考慮したルートを探索する。
推奨	現在地から次の目的地*4の間で、一般的なルートを探索する。
有料優先	現在地から次の目的地*4の間で、有料道路を優先してルートを探索する。
一般優先	現在地から次の目的地*4の間で、一般道路を優先してルートを探索する。
距離優先	現在地から次の目的地*4の間で、距離の短いルートを探索する。
別ルート*1	現在地から次の目的地*4の間で、選ばれているルートとは別のルートを探索する。
周辺迂回*2	現在地周辺で、探索されたルートの迂回路を探索する。(探索されたルートが工事中で通れないときなどに使用します。) ・目的地案内開始前にはできません。
有料道から探索／ 一般道から探索*3	有料道路と並行している一般道路を走行中に、有料道路の方がルート表示されている、またはその逆のときに、もう一方の道路からルートを探索する。 ・目的地案内開始前にはできません。

※1 5ルート同時表示(→120)から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されません。

※2 ルートからはずれたときは表示されません。

※3 有料道路と一般道路が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは表示されません。

※4 現在地と次の目的地の間にIC・通過道路を指定しているときは、現在地から指定されているIC・通過道路の間で、ルートを探索します。

 ワンポイント

- ・「〇〇優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。遠まわりになるようなときは、**有料優先** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般優先** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- ・道路形状により再探索されないことや、条件を変更しても同じルートが探索されることがあります。
- ・ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定している目的地または指定している IC・通過道路に向かうルートが再探索されます。
- ・**スマート IC 考慮** にタッチしても、スマート IC を通るルートが探索できないことがあります。
- ・スマート IC を選択することもできます。このとき、ETC 車載器の取付有無、規制情報などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページで、ご確認の上、注意して走行してください。
- ・高架道路の下や並行している一般道路上で、ルート探索を行うと、高架有料道路や並行している有料道路上のルート案内をしてしまうことがあります。（都市高速道路下の道路を走行または駐車しているのに、高速道路のルート案内をしてしまう場合など）また、逆のケースもあります。



## ルート変更

### ルート変更画面の表示

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
設定・編集画面または全ルート図表示画面  
(→ 117)

- 1 **ルート変更** にタッチ。
- 2 ルート変更画面が表示される。



- ルート変更画面では、次のことができます。

機能	ページ
探索条件の変更	139
目的地の追加	140
目的地の並び替え	140
目的地の消去	141
出入口ICの指定・解除	142
通過道路の指定	144
通過道路の修正	145
通過道路指定の解除	145
季節規制区間の迂回ルート探索	146
スマートICを考慮したルートの探索	142

### 探索条件の変更

目的地を複数設定、または通過道路を指定しているときは、それぞれの区間で探索条件を選択することができます。

ルート変更画面 (→ 139)

- 1 **探索条件変更** にタッチ。
- 2 それぞれの区間の探索条件 (ルート名称) にタッチし、**探索開始** にタッチ。



#### ワンポイント

- ・ 探索条件の特徴について  
→「ルートの再探索」(→ 136)
- ・ 最初の目的地までの区間のみ、**別ルート**が表示されます。



## 目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して目的地を設定することができます。

- 5カ所まで設定することができます。

### ワンポイント

- ・ 800m スケール図より詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。
- ・ 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。記憶できる件数をこえると、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。(→ 146)
- ・ IC・通過道路(→ 142、144)を指定しているときは、目的地を追加すると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

ルート変更画面(→ 139)

1 目的地・通過目的地の **追加** にタッチ。

2 地図の呼び出し方法を選び、追加したい地点の地図を表示する。  
(→ 98、110)



3 **目的地セット** にタッチ。

- ④の位置に目的地が③記号で表示されません。
- ・ ここまで(手順 1 ~ 3)の操作は、目的地の設定と同じ方法で追加することもできます。(→ 114)

4 目的地を設定する区間の **設定** にタッチ。

5 ルート変更画面にもどったとき

- ➔ **探索開始** にタッチ。
- ・ さらに追加して目的地を設定するとき ➔ **追加** にタッチ。(手順 2の画面へ)

## 目的地の並び替え

ルート変更画面(→ 139)

1 目的地・通過目的地の **並び替え** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ IC・通過道路(→ 142、144)を指定しているときは、メッセージが表示されません。**はい** にタッチすると、指定されている地点によって、IC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

2 現在地の次に行く目的地から順に目的地にタッチし、**完了** にタッチ。



- ・ タッチした目的地の左側に、新しい順番が表示されます。
- ・ 間違えたとき → **解除** にタッチ。
- ・ 選択済みの目的地にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。
- ・ 最終目的地の1つ手前の目的地を選択すると、**完了** にタッチしなくても、約3秒後、自動的に最終目的地が決定され、手順**3**の画面が表示されます。
- ・ すべての目的地にタッチしないで、**完了** にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

### 3 **探索開始** にタッチ。

## 目的地の消去

### ワンポイント

- ・ 複数目的地を設定し、IC・通過道路（→ 142、144）を指定しているときは、目的地を消去すると、指定されている地点によってIC・通過道路の指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

次の3通りの方法で、目的地を消去することができます。

消去方法	ページ
ルート変更画面から消去する	141
目的地画面から消去する	142
地図画面から消去する	142

## ルート変更画面からの消去方法

ルート変更画面（→ 139）

- 1 目的地・通過目的地の**消去**にタッチ。
  - ・ 1カ所のみ設定されていたとき → 手順**3**へ
- 2 消去したい目的地にタッチ。



- ・ すべての目的地を消去するとき → **全消去** にタッチ。

- 3 **はい** にタッチ。
- 4 ルート変更画面にもどったとき → **探索開始** にタッチ。



## 目的地画面からの消去方法

**MENU** (画面外) → **目的地** → 目的地画面

### 1 **目的地消去** にタッチ。



- ・「ルート変更画面からの消去方法」(→ 141) 手順 **2** へ。
- ・1カ所のみ設定されていたとき  
→「ルート変更画面からの消去方法」(→ 141) 手順 **3** へ。

## 地図画面からの消去方法

### 1 地図上の消去したい目的地にタッチ。

### 2 **情報** にタッチ。



### 3 **消去** にタッチ。

- ・「ルート変更画面からの消去方法」(→ 141) 手順 **3** へ。

## 出入口 IC (インターチェンジ) の指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている出口 IC・入口 IC を 1カ所ずつ指定することができます。

### 注意

- ・スマート IC (ETC 専用インターチェンジ) を選択することもできます。このとき、ETC 車載器の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認のうえ、注意して走行してください。

### チェック

- ・目的地 (現在地) が高速道路上の場合は、出口 (入口) の指定はできません。

全ルート図表示画面 (→ 117) または  
ルート変更画面 (→ 139)

### 1 変更する IC 名称表示にタッチ。

- ・**ルート変更** にタッチしても指定することができます。ルート変更画面で **スマート IC 考慮** にタッチすると、スマート IC を考慮したルートを再探索することができます。

### 2 次のいずれかの操作をする。

- ・左画面で操作するとき  
→ 指定したい IC 付近に地図を動かし、**探索開始** にタッチ。
- ・右画面で操作するとき  
→ **▲**・**▼** または **次路線** にタッチして IC を切り替え、指定したい IC 名称 → **探索開始** の順にタッチ。



- ・ **次路線** は JCT があり分岐するときのみ表示されます。
- ・ スマート IC (ETC 専用インターチェンジ) を選択することもできます。  
このとき、ETC 車載器の有無、規則情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

### 3 ルート変更画面にもどったとき

→ **探索開始** にタッチ。

#### ■ 指定したインターチェンジ (IC) へ出口(または入口)が 2 カ所以上あるとき

### 1 **次候補** にタッチして、出口(または入口)を選ぶ。

- 表示されている出口(または入口)を指定するときは、**セット** にタッチします。

### 2 **セット** にタッチ。

- インターチェンジ (IC) が **IC** マークで指定されます。
- 全ルート図表示画面から設定したときは、ルートが探索され全ルート図表示画面になります。

### 3 時間規制があるインターチェンジ (IC) を選んだときにインターチェンジ (IC) 指定を続けたいときは、**はい** にタッチ。

### 4 ルート変更画面にもどったとき

→ **探索開始** にタッチ。

- ルート探索が開始されます。

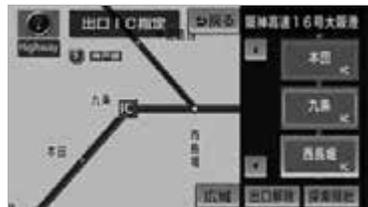
#### 📖 ワンポイント

- ・ 指定できるインターチェンジ (IC) は入口、出口とも各 1 カ所になります。
- ・ ルート案内中からでも乗降インターチェンジ (IC) を指定することができます。詳しくは「ルート変更画面の表示」(→ 139) を参照してください。
- ・ スマート IC を選択することもできます。このとき、ETC 車載器の取付有無、規制情報などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページで、ご確認の上、注意して走行してください。

#### IC 指定の解除

全ルート図表示画面 (→ 117) または  
ルート変更画面 (→ 139) → **IC 名称表示**  
→ 出口 (入口) IC 指定画面

### 1 **出口解除** または **入口解除** にタッチ。



## 通過道路の指定

目的地を設定したあと、通過する道路を指定することができます。

- ・ 2カ所まで指定することができます。

### ワンポイント

- ・ ICを指定しているとき(→142)、通過道路を指定すると、指定されている地点によって、指定が解除されることや、不適切なルートが探索されることがあります。

## 全ルート図画面から指定する

全ルート図表示画面(→117)

- 1 地図にタッチ。
- 2 **通過道路指定** にタッチ。



- 800mスケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。

- 3 **次候補** にタッチ。
  - 別の通過道路を選びます。
  - 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。

- 4 **セット** にタッチ。
  - 通過道路が◆記号で指定されます。
  - 目的地が1カ所のみ設定されていて、インターチェンジ(IC)・通過道路が指定されていなかったときは、ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。

- 5 目的地が2カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ(IC)・通過道路が指定されているときは、指定する区間の**設定**にタッチ。

- ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。

## ルート変更画面から指定する

ルート変更画面(→139)

- 1 通過点(通過道路指定)の**指定**にタッチ。
- 2 通過道路を指定する位置に地図を動かし、**通過道路セット** にタッチ。



- 3 **セット** にタッチ。
  - 通過道路が◆記号で指定されます。
    - ・ 希望の通過道路でないとき
      - ➔ **次候補** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

4 目的地を複数設定しているとき、または IC・通過道路を指定しているとき

→ 通過道路を指定する区間の **設定** にタッチ。

5 **探索開始** にタッチ。

## 通過道路の修正

ルート変更画面 (→ 139)

1 通過点 (通過道路指定) の **修正** にタッチ。

● 1 カ所のみ指定されていたとき  
→ 手順 3 へ

2 道路または地名にタッチ。

3 通過道路を指定する位置に地図を動かして、**通過道路セット** にタッチ。

4 **セット** にタッチ。

● 通過道路が **◆** 記号で指定されます。  
・ 希望の通過道路でないとき  
→ **次候補** にタッチ。

## ワンポイント

・ 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選べないことがあります。

5 **探索開始** にタッチ。

## 通過道路指定の解除

ルート変更画面 (→ 139)

1 通過点 (通過道路指定) の **解除** にタッチ。

・ 1 カ所のみ指定されていたとき  
→ 手順 3 へ

2 道路または地名にタッチ。



・ すべての通過道路指定を解除するとき  
→ **全解除** にタッチ。

3 **はい** にタッチ。

4 **探索開始** にタッチ。

## 季節規制区間の迂回ルートの探索

ルート変更画面 (→ 139)

季節規制区間の迂回ルート探索を開始するとき

1 **季節規制回避** にタッチ。



・ 季節規制区間を通るルートを探させるとき

→ **季節規制通過** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ **季節規制回避** または **季節規制通過** は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。
- ・ 規制区間を通らないと目的地に行けないようなとき（規制区間内に目的地・通過道路が設定・指定されているときなど）は、**季節規制回避** にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

## 目的地履歴の消去

### 目的地履歴の消去

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。（最大 100 力所まで）100 力所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地を選択して消去することもできます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ詳細設定画面

1 目的地履歴の消去の **消去する** にタッチ。



2 地点名称にタッチ。

- ・ すべての目的地履歴を消去するとき
- **全消去** にタッチ。

3 **はい** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 携帯電話から呼び出す (→ 108) で設定した目的地は履歴に異なる名称で登録されていることがあります。

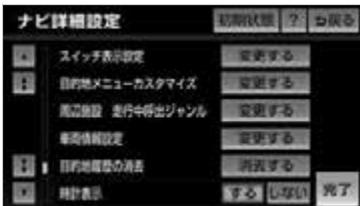
## 目的地画面の設定

### 目的地画面のスイッチ設定 (目的地メニューカスタマイズ)

目的地画面(→98)の1ページ目に表示させるスイッチを設定することができます。

**MENU**(画面外) → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **その他** →  
ナビ詳細設定画面

- 1 目的地メニューカスタマイズの **変更する** にタッチ。



- 2 設定を変更するスイッチを選択する。



- 点灯しているスイッチが、現在1ページ目に表示されているスイッチです。
- 1ページ目に表示できるタッチスイッチは6つです。入れ替えたいスイッチの数だけタッチします。

- 3 1ページ目に表示したいスイッチを選択し、**完了** にタッチ。

- 4 **完了** にタッチ。(手順1の画面)



# 地点の登録

## メモリ地点の登録

### メモリ地点について

- メモリ地点を登録しておく、
- 地図にマークで表示されます。
  - 近づいたときに音が鳴るようにすることができます。
  - 目的地の設定のときなどに、メモリ地点の地図を呼び出すことができます。(→98)

さらに、自宅または特別メモリ地点に登録しておけば、簡単な操作で地図を呼び出すことやルート探索を開始することができます。(→98)

### ワンポイント

- ・ 800m スケール図より詳細な地図で登録することができます。(現在地画面(地図画面)から登録するときを除く)
- ・ 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号も同時に表示されることがあります。

### メモリ地点の登録

次の2通りの方法で、メモリ地点の登録をすることができます。

登録方法	ページ
設定・編集画面から登録する	148
地図画面から登録する	148

### 設定・編集画面からの登録方法

1 **MENU**(画面外)を押す。

2 **設定・編集** にタッチ。

3 **メモリ地点登録編集** にタッチ。



4 メモリ地点の **登録** にタッチ。

5 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。(→98、110)

6 **セット** にタッチ。

7 **完了** にタッチ。

- ・ 自宅・特別メモリ地点に登録したいとき  
→ **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチ。(→150)

### 地図画面からの登録方法

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

1 登録したい位置に地図を動かし、**地点登録** にタッチ。



- ・ または の位置にメモリ地点が で表示されます。

## ワンポイント

- ・ 高速道路走行中、現在地に登録したときは、 (方向付きメモリ) で表示されます。
- ・ 携帯電話から受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。

## メモリ地点の修正・入力

次の2通りの方法で、メモリ地点の修正をすることができます。

修正方法	ページ
設定・編集画面から修正する	149
地図画面から修正する	149

### 設定・編集画面からの修正方法

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メモリ地点登録編集** → メモリ地点画面

- 1 メモリ地点の **修正** にタッチ。
- 2 メモリ地点にタッチ。



## ワンポイント

- ・ メモリ地点のリストは、以下の3種類の表示方法があります。

**種別順** …… 自宅、特別メモリ地点、メモリ地点

**マーク順** …… マークの種類別

**登録順** …… メモリ地点の登録順

## 3 修正・入力をする。

- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
自宅・特別メモリに種別変更	150
自宅・特別メモリの種別解除	150
マーク	150
名称	151
地図への名称表示	152
名称読み	153
位置	153
電話番号	153

## 4 **完了** にタッチ。(手順3の画面)

### 地図画面からの修正方法

- 1 地図上の修正したいメモリ地点にタッチし、**情報** にタッチ。



## 2 **修正** にタッチ。

- ・ 以降の操作方法について  
→ 「設定・編集画面からの修正方法」  
(→ 149) 手順3へ。



## 自宅・特別メモリ地点に登録

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →

**メモリ地点登録編集** →

メモリ地点の **修正** → **(メモリ地点)** →

メモリ地点修正画面

1 **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチ。

2 自宅または特別メモリ 1～5 のいずれかにタッチ。



- すでに自宅または特別メモリ地点が登録されているとき  
→変更してよければ、**はい** にタッチ。
- 登録されていた地点は、メモリ地点になります。

### ■自宅・特別メモリ地点の解除

自宅または特別メモリ地点に登録されている地点を、メモリ地点に変更することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →

**メモリ地点登録編集** →

メモリ地点の **修正** → **(メモリ地点)** →

メモリ地点修正画面

1 **自宅・特別メモリの種別解除** にタッチ。

2 **はい** にタッチ。



## メモリ地点のマーク変更

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →

**メモリ地点登録編集** →

メモリ地点の **修正** → **(メモリ地点)** →

メモリ地点修正画面

1 **マーク** にタッチ。

2 **マーク1** ・ **マーク2** ・ **マーク3** ・ **音声付き** にタッチし、希望のマークを選ぶ。

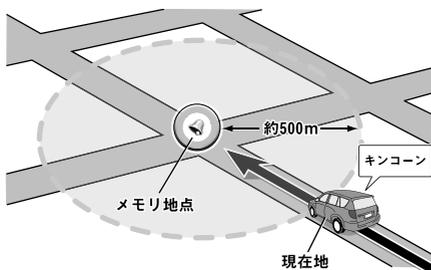


### ■音声付き

メモリ地点に約 500m まで近づくと音が鳴るようにすることができます。

音声付き



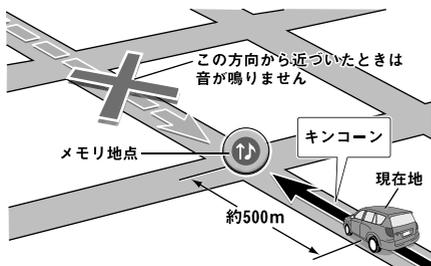


・メモリ地点に近づいたときに鳴る音を確認するとき

→ **音確認** にタッチ。

### ■方向付きメモリ (音声付き)

設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。



● **方向付きメモリ** にタッチしたとき

→ 方向を設定し、**セット** にタッチ。

● …… 反時計まわり

● …… 時計まわり



### ■地図に表示しないときは

1 **マーク3** の **マーク無し** にタッチ。

マーク3



### ■メモリ地点の名称入力

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →

**メモリ地点登録編集** →

メモリ地点の **修正** → **(メモリ地点)** →  
メモリ地点修正画面

1 **名称** にタッチ。

### ■ひらがな・漢字入力

1 **かな** にタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、**変換** にタッチ。



・入力したままの状態で確定するとき

→ **無変換** にタッチ。

・すでに名称が表示されているときや間違えたとき

→ **修正** にタッチ。

### 3 入力したい熟語にタッチ。

- ・変換範囲を修正するとき  
→ **◀**・**▶** にタッチ。
- ・そのままの状態でのとき  
→ **全確定** にタッチ。

### 4 **完了** にタッチ。(手順 2 の画面)

#### ■カタカナ・英数字・数記号入力

1 **カナ**・**英数字**・**数記号** のいずれかにタッチし、入力画面を切り替える。

2 名称を入力し、**完了** にタッチ。

カタカナ入力時



英数字入力時



数記号入力時



- 入力する文字の大きさを切り替えるとき  
→ **半角** または **全角** にタッチ。

- 英数字入力時、文字の書体を切り替えるとき  
→ **大文字** または **小文字** にタッチ。

#### ワンポイント

- ・入力することができる文字数は最大 35 文字（半角文字は 70 文字）までです。
- ・未確定状態で入力可能な文字数は最大 20 文字です。
- ・登録した地点によっては、すでにメモリ地点の名称が入力されていることがあります。

#### メモリ地点の名称表示

地図に入力したメモリ地点の名称を表示させることができます。



#### ワンポイント

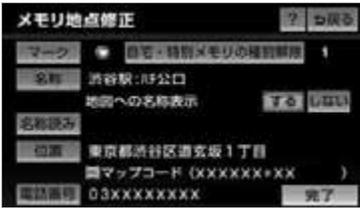
- ・800m スケール図より詳細な地図で表示することができます。

メモリ地点名称の表示／非表示を選ぶことができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メモリ地点登録編集** →  
 メモリ地点の **修正** → **(メモリ地点)** →  
 メモリ地点修正画面



- 1 地図への名称表示の **する** にタッチし、**完了** にタッチ。



- ・ 解除するとき → **しない** にタッチ。

**ワンポイント**

- ・ 地図に名称を表示できる文字数は、最大 15 文字（半角 30 文字）までです。

**メモリ地点の名称読み入力**

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **メモリ地点登録編集** →  
メモリ地点の **修正** → **(メモリ地点)** →  
メモリ地点修正画面

- 1 **名称読み** にタッチ。
- 2 名称を入力し、**完了** にタッチ。



- ・ 間違えたとき → **修正** にタッチ。

**ワンポイント**

- ・ 入力することができる名称読みの文字数は、最大 24 文字（半角のみ）までです。

**メモリ地点の位置修正**

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メモリ地点登録編集** →  
メモリ地点の **修正** → **(メモリ地点)** →  
メモリ地点修正画面

- 1 **位置** にタッチ。
- 2 **位置** にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かし、**セット** にタッチ。



- 表示されている位置の住所とマップコードも修正されます。

- 3 **完了** にタッチ。(手順 1 の画面)

**メモリ地点の電話番号入力**

メモリ地点に電話番号を入力しておくと、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→ 104)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メモリ地点登録編集** →  
メモリ地点の **修正** → **(メモリ地点)** →  
メモリ地点修正画面

- 1 **電話番号** にタッチ。

- 2 電話番号を入力し、**完了** にタッチ。



- 市外局番から入力します。
- ・ 間違えたとき → **修正** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ メモリ地点に電話番号を入力しておくと、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。(→ 104)
- ・ 登録した地点によってはすでに電話番号が入力されていることがあります。

## メモリ地点の消去

次の2通りの方法で、メモリ地点の消去をすることができます。

消去方法	ページ
設定・編集画面から消去する	154
地図画面から消去する	154

### 設定・編集画面からの消去方法

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **メモリ地点登録編集** → メモリ地点画面

- 1 メモリ地点の **消去** にタッチ。

- 2 メモリ地点にタッチ。



- ・ すべてのメモリ地点（自宅、特別メモリ地点を含む）を消去するとき → **全消去** にタッチ。

- 3 **はい** にタッチ。

### 地図画面からの消去方法

- 1 地図上の消去したいメモリ地点にタッチし、**情報** にタッチ。



- 2 **消去** にタッチ。

- 3 **はい** にタッチ。



## 迂回メモリ地点の登録

### 迂回メモリ地点について

迂回メモリ地点を登録しておく、ルートを探させるとき、登録した地点（エリア）を迂回するルートを探させることができます。工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

#### ワンポイント

- ・ 800m スケール図より詳細な地図で登録することができます。
- ・ 迂回メモリ地点を通らないと目的地に行けないようなときは、迂回メモリ地点を通るルートが探索されることがあります。
- ・ 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称も同時に表示されることがあります。

### 迂回メモリ地点の登録

MENU (画面外) → **設定・編集** →  
**メモリ地点登録編集** → メモリ地点画面

#### 1 迂回メモリの **登録** にタッチ。



#### 2 地図の呼び出し方法を選び、登録する地点の地図を表示する。 (→ 98、110)

#### 3 **セット** にタッチ。

#### 4 迂回範囲を設定し、**セット** にタッチ。

- …… 迂回範囲を広くする
- …… 迂回範囲を狭くする
- ・ の間にある数値は迂回させる範囲の一边の距離になります。

#### ワンポイント

- ・ 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回範囲内に設定しても迂回させることはできません。迂回したいときは、（迂回メモリ地点）を道路上に設定してください。

#### 5 **完了** にタッチ。

#### ワンポイント

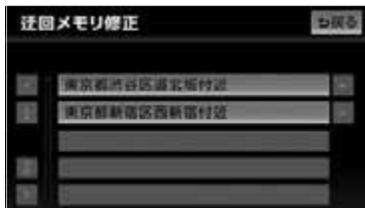
- ・ 表示される迂回メモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- ・ 目的地などを設定した位置、および現在の位置などにより迂回しない場合があります。



## 迂回メモリ地点の修正・入力

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メモリ地点登録編集** → メモリ地点画面

- 1 迂回メモリの **修正** にタッチ。
- 2 迂回メモリ地点にタッチ。



- 3 修正・入力をする。  
 ● 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
名称	151
地図への名称表示	152
位置	153
迂回エリア変更	155

- 4 **完了** にタッチ。(手順 3 の画面)

### ワンポイント

- ・ 迂回メモリ地点は専用のマークで表示され、マークを変更することはできません。

## 迂回メモリ地点の設定

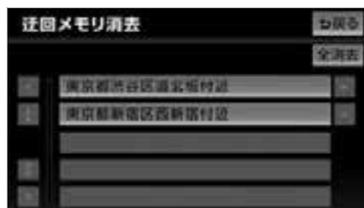
登録した地点を迂回するルートを探さる／しないを設定できます。

- 有効** … 迂回するルートを探さる
- 無効** … 迂回するルートを探さない

## 迂回メモリ地点の消去

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メモリ地点登録編集** → メモリ地点画面

- 1 迂回メモリの **消去** にタッチ。
- 2 迂回メモリ地点にタッチ。



- ・ すべての迂回メモリ地点を消去するとき  
 → **全消去** にタッチ。

- 3 **はい** にタッチ。

## メモリ地点の移行

### メモリ地点の移行とは

本機に登録したメモリ地点と迂回メモリ地点を、SDメモリーカードに保存することができます。本機から新しいナビに買い替える場合、そのナビがメモリ地点移行機能に対応していると、SDメモリーカードに保存されたメモリ地点と迂回メモリ地点を移し替えることができます。

メモリ地点の移行に使用できるSDメモリーカードは、「SDメモリーカードについて」(→458)をご確認ください。

#### チェック

- メモリ地点のデータ移行操作時は、他の操作をすることができません。

### 登録した場所のデータをSDメモリーカードに移す

本機に登録されているメモリ地点、迂回メモリ地点のデータをSDメモリーカードに保存することができます。

#### ワンポイント

- メモリ地点を保存する前に、パスワードを設定してください。(→158)
- メモリ地点をSDメモリーカードに保存すると、本機に登録しているメモリ地点は全て消去されます。また、パスワードも初期化されます。
- すでにメモリ地点のデータを保存しているSDメモリーカードを使用した場合、上書き保存となり、保存していたデータは消去されます。消去したデータは保証できませんので注意して保存してください。
- SDメモリーカードにデータを保存中はエンジンスイッチをOFF(LOCK)にしないでください。データが破損する恐れがあります。

- MENU**(画面外)を押す。
- 設定・編集** にタッチ。
- メモリ地点登録編集** にタッチ。
- メモリ地点移行** にタッチ。
- 保存の **SD** にタッチ。



- ディスプレイが開きます。
- 地図SDカードを取り出し、SDメモリーカードを挿入する。
  - OK** にタッチ。
    - ディスプレイが閉じます。
  - パスワードを入力し、**完了** にタッチ。
    - 間違えたとき
      - **修正** にタッチ。
  - はい** にタッチ。
  - OK** にタッチ。
    - 登録している全てのメモリ地点が保存されます。
    - ディスプレイが開きます。
  - SDメモリーカードを取り出し、地図SDカードを挿入する。
  - OK** にタッチ。
    - ディスプレイが閉じます。

### ワンポイント

- ・ 車両のエンジンスイッチを OFF (LOCK) にするなどして保存、読み込みが中断した場合、再度操作します。
- ・ メモリ地点移行画面 (手順 5 の画面) で画面外のスイッチを押しても、操作することができません。**[戻る]** にタッチして、メモリ地点画面から操作します。

## パスワードの設定

### パスワードを設定する

データの読み込みで使用するパスワードを設定すると、メモリ地点のデータを保存することができます。

### ワンポイント

- ・ 設定したパスワードは、SD メモリーカードからメモリ地点を読み込むときに必要です。忘れないよう控えておいてください。

**MENU** (画面外) → **[設定・編集]** → **[メモリ地点登録編集]** → **[メモリ地点移行]**  
→ メモリ地点移行画面

- 1 パスワードの **[設定]** にタッチ。



- 2 数字 4 桁のパスワードを入力し、**[完了]** にタッチ。



- ・ すでにパスワードが設定されているとき  
→ 既存のパスワードを入力後、新しいパスワードを入力。
- ・ 間違えたとき  
→ **[修正]** にタッチ。

- 3 もう一度パスワードを入力し、**[完了]** にタッチ。

### パスワードを初期化する

パスワードを忘れた場合、パスワードの初期化が必要です。初期化すると、本機に登録しているメモリ地点も消去されますのでご注意ください。

**MENU** (画面外) → **[設定・編集]** → **[メモリ地点登録編集]** → **[メモリ地点移行]**  
→ メモリ地点移行画面

- 1 パスワードの **[初期化]** にタッチ。



- 2 **[はい]** にタッチ。

- 3 **[はい]** にタッチ。

## 登録した場所のデータを本機に移す

SDメモリーカードに保存したメモリ地点や迂回メモリ地点のデータを本機に移すことができます。

### ワンポイント

- ・メモリ地点を移すには、保存するときに入力したパスワードが必要です。
- ・メモリ地点を移すと、本機に登録しているメモリ地点のデータは全て消去され、SDメモリーカードに保存したメモリ地点、迂回メモリ地点のデータに置き替えられます。
- ・メモリ地点を移すと、SDメモリーカードに保存していたメモリ地点のデータは全て消去されます。
- ・SDメモリーカードの誤消去防止スイッチがLOCKの状態になっている場合、誤消去防止スイッチのLOCKを解除してから操作します。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →

**メモリ地点登録編集** → **メモリ地点移行**

→メモリ地点移行画面

## 1 読み込みの **[SD]** にタッチ。



- ・ディスプレイが開きます。

## 2 地図SDカードを取り出し、SDメモリーカードを挿入する。

## 3 **[OK]** にタッチ。

- ・ディスプレイが閉じます。

## 4 保存したときに使用したパスワードを入力し、**[完了]** にタッチ。



## 5 **[はい]** にタッチ。

## 6 **[OK]** にタッチ。

- ・ディスプレイが開きます。

## 7 SDメモリーカードを取り出し、地図SDカードを挿入する。

## 8 **[OK]** にタッチ。

- ・ディスプレイが閉じます。

### ワンポイント

- ・データを移す機器により、保存できるメモリ地点の件数は異なります。詳しくは、データを移す機器の取扱説明書を参照してください。



# ナビを使いこなすために

## 補正が必要なとき

### 補正について

地図上の自転車マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。)

GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

### ワンポイント

- ・ 800m スケール図より詳細な地図で補正することができます。

### 現在地の修正

実際の現在地と異なる場所に自転車マーク  が表示されている (自転車マーク  がずれている) と、自転車マーク  の位置と向いている方向を修正することができます。

MENU (画面外) → 設定・編集 →

ナビ詳細設定 → その他 →

ナビ詳細設定画面

- 1 ナビ補正の **補正する** にタッチ。



- 2 **現在地修正** にタッチ。
- 3  にタッチして現在地を修正し、**セット** にタッチ。
- 4 方向を修正し、**セット** にタッチ。
  -  … 反時計まわり
  -  … 時計まわり

## 距離の補正

走行中、地図上の自転車マーク④の進み方と、実際の車の進み方が全く違っているとき、自転車マーク④の進み方を修正することができます。

### ワンポイント

- ・自動補正モード中ではないときも、距離補正の学習機能を持っているため、自転車マーク④の進み方が走行状態により、変化することがあります。
- ・自動補正モード中は、操作することはできません。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ補正の **補正する** → ナビ補正画面

- 1 **距離補正** にタッチ。
- 2 補正をし、**完了** にタッチ。
  - 実際より遅く進むとき  
→ **▶** (進める) にタッチ。
  - 実際より早く進むとき  
→ **◀** (遅らせる) にタッチ。



初期状態の位置

### ワンポイント

- ・ **初期状態** にタッチすると、自転車マーク④を適切な位置に表示できるように自動で補正します。(●(黄色)の位置が初期状態(0の位置)にもどります。)
- ・ 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。

## 自動補正

タイヤを交換したり、本機を別のお車に取り付けたときは自動補正を行ってください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **ナビ詳細設定** → **その他** → ナビ補正の **補正する** → **距離補正** → 距離補正画面

- 1 **自動補正** にタッチ。
  - GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了します。

### ワンポイント

- ・ 本機は、GPS と車速信号により、自動で距離の補正 (自動補正) をしていますが、自動補正を上回る急激な変化 (タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど) には、距離の補正が遅れることがあります。この場合は、GPS 電波の受信状態が良好な道路を約 30km 走行してください。
- ・ 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- ・ 自動補正中は自転車位置がずれることがあります。
- ・ 初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。

## ナビの設定を記憶したいとき

### 各種ナビ設定の記憶

各種ナビ設定の設定状態を3パターンまで記憶させておくことができます。

次の設定項目を記憶することができます。

項目	ページ
地図向きの設定	74
地図表示モードの設定	74～81
地図表示縮尺の設定	73
周辺施設走行中呼出ジャンルの設定	84
2画面時の右画面の設定	75
音量設定	96
メンテナンス自動通知の設定	172
ナビ詳細設定一覧の設定※ <sup>1</sup>	163
安全・快適走行設定一覧の設定	168
VICS・交通情報の表示設定	189
VICS 割込情報の表示設定※ <sup>2</sup>	193
ETC の通知設定※ <sup>3</sup>	386

※1 車両情報設定は記憶することができません。

※2 別売の2メディア/3レベル対応 VICS ユニートを装着したときのみ。

※3 別売のETC 車載器を接続しているときのみ。

### ワンポイント

・ バッテリーの交換や地図データの更新などをするとナビゲーションの各種設定で変更した内容が初期状態に戻りますので、設定内容を記憶することをおすすめします。

MENU (画面外) → 設定・編集 →  
ナビ詳細設定 → その他 →  
ナビ詳細設定画面

- 1 ユーザカスタマイズの **設定する** にタッチ。



- 2 **記憶** にタッチ。

- 3 **はい** にタッチ。

● 手順 2 ですでに記憶されている設定を選んだときは、**はい** にタッチすると上書きされます。

・ 新規で記憶するとき

➔ 名称を入力する。(→ 151)

### 記憶の呼び出し

ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

MENU (画面外) → 設定・編集 →  
ナビ詳細設定 → その他 →  
ユーザカスタマイズの **設定する** →  
ユーザーカスタマイズ画面

- 1 設定 1～3 のいずれかにタッチ。

## ナビ詳細設定一覧

### 名称の変更

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **その他** →  
 ユーザカスタマイズの**設定する** →  
 ユーザーカスタマイズ画面

- 1 **名称変更** にタッチ。
- 2 修正・入力をする。(→ 151)

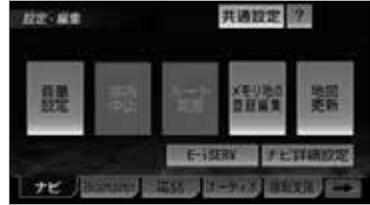
### 各種ナビ設定の記憶の消去

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **その他** →  
 ユーザカスタマイズの**設定する** →  
 ユーザーカスタマイズ画面

- 1 **消去** にタッチ。
- 2 **はい** にタッチ。

### ナビ詳細設定一覧

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **ナビ詳細設定** にタッチ。



- 4 設定したい項目にタッチ。
- 5 各項目を設定する。
  - 詳しくは、次の表をご覧ください。
    - ・ 初期設定の状態にもどすとき  
→ **初期状態** にタッチ。
- 6 **完了** にタッチ。

#### ワンポイント

- ・ ナビ詳細設定画面で **初期状態** にタッチすると、下記を除く各種設定項目がすべて初期設定の状態にもどります。
  - ・ 右画面設定
  - ・ 3D 地図表示設定
  - ・ 周辺施設表示
  - ・ 平均車速の設定
  - ・ 渋滞考慮探索設定
  - ・ 目的地メニューカスタマイズ
  - ・ スイッチ表示の設定
  - ・ 周辺施設走行中呼出ジャンル
  - ・ 車両情報設定
  - ・ ナビ補正
  - ・ VICS 割込設定
  - ・ ユーザーカスタマイズ



設定値の太字は、初期状態で選択されている設定です。

## 地図表示設定

項目名	設定値	ページ
右画面設定	「変更する」: 右画面の地図表示設定を変更する。	76
2D 時フロントワイド表示 (ノースアップ時)	「 <b>する</b> 」 : 進行方向の地図を広く表示する。 「 <b>しない</b> 」 : 地図の中心に自車マーク  を表示する。	75
右画面の地図で表示 (ノースアップ時)	「 <b>する</b> 」 : 進行方向の地図を広く表示する。 「 <b>しない</b> 」 : 地図の中心に自車マーク  を表示する。	75
2D 時フロントワイド表示 (ヘディングアップ時)	「 <b>する</b> 」 : 進行方向の地図を広く表示する。 「 <b>しない</b> 」 : 地図の中心に自車マーク  を表示する。	75
右画面の地図で表示 (ヘディングアップ時)	「 <b>する</b> 」 : 進行方向の地図を広く表示する。 「 <b>しない</b> 」 : 地図の中心に自車マーク  を表示する。	75
3D 時のルート方向アップ	「 <b>する</b> 」 : ルートが表示されている方向の地図を表示する。 「 <b>しない</b> 」 : 自車マーク  の向きが画面上向きになるように表示する。	79
3D 地図表示設定	「変更する」: 3D 表示にしたときの視点を変更する。	77
昼の地図色	昼画の地図表示色を変更する。 「 <b>ストレート</b> 」 「 <b>ナチュラル</b> 」 「 <b>ビジブル</b> 」 「 <b>クリア</b> 」 「 <b>カラフル</b> 」	79
夜の地図色	夜画の地図表示色を変更する。 「 <b>ストレート</b> 」 「 <b>ナチュラル</b> 」 「 <b>ビジブル</b> 」 「 <b>クリア</b> 」 「 <b>カラフル</b> 」	79
自車マーク変更	地図に表示される自車マークを変更する。 「 <b>ノーマル</b> 」 「  」 「  」 「  」 「  」	79
リアルワイドマップ表示	「 <b>する</b> 」 : リアルワイドマップ表示する。 「 <b>しない</b> 」 : リアルワイドマップ表示しない。	85
地図の文字サイズ変更	地図に表示される名称 (文字) の大きさを変更する。 「 <b>大</b> 」 「 <b>中</b> 」 「 <b>小</b> 」	80
周辺施設表示	「変更する」: 地図上に表示する施設の記号を変更する。	83
地図色切り替えタイミング	「変更する」: 昼画表示と夜画表示を切り替えるタイミングを変更する。	47
立体ランドマーク表示	「 <b>する</b> 」 : 3D ランドマークを表示する。 「 <b>しない</b> 」 : 3D ランドマークを表示しない。	85
シーズンレジャーランドマーク表示	「 <b>する</b> 」 : シーズンレジャーランドマークを表示する。 「 <b>しない</b> 」 : シーズンレジャーランドマークを表示しない。	90





項目名	設定値	ページ
地図スクロール時の地名表示	「する」 : 地名などを表示する。 「しない」 : 地名などを表示しない。	72
地図スライド操作	「する」 : 地図画面でスライドタッチ操作をする。 「しない」 : 地図画面でスライドタッチ操作をしない。	27

## 自動表示切替設定

項目名	設定値	ページ
交差点拡大図自動表示	「する」 : 交差点拡大図を自動的に表示する。 「しない」 : 交差点拡大図を自動的に表示しない。	125
リアル交差点拡大図自動表示	「する」 : リアルな交差点拡大図を自動的に表示する。 「しない」 : リアルな交差点拡大図を自動的に表示しない。	126
高速分岐モード図自動表示	「する」 : 高速分岐案内を自動的に表示する。 「しない」 : 高速分岐案内を自動的に表示しない。	94
レーンリスト自動表示	「する」 : レーンリスト図を自動的に表示する。 「しない」 : レーンリスト図を自動的に表示しない。	124
ターンリスト自動表示	「する」 : ターンリスト図を自動的に表示する。 「しない」 : ターンリスト図を自動的に表示しない。	127
都市高マップ自動表示	「する」 : 都市高マップを自動的に表示する。 「しない」 : 都市高マップを自動的に表示しない。	95
高速路線マップ自動表示	「する」 : 高速路線マップを自動的に表示する。 「しない」 : 高速路線マップを自動的に表示しない。	92

## 案内表示設定

項目名	設定値	ページ
縮尺切替メッセージ表示	「する」 : 縮尺切替メッセージを表示する。 「しない」 : 縮尺切替メッセージを表示しない。	74
料金案内	「する」 : 料金案内をする。 「しない」 : 料金案内をしない。	130
料金所レーン案内	「する」 : 料金所のレーンを表示する。 「しない」 : 料金所のレーンを表示しない。	131
県境案内	「する」 : 県境案内をする。 「しない」 : 県境案内をしない。	90
3D 交差点拡大図	「する」 : 交差点拡大図を立体的（3D）に表示する。 「しない」 : 交差点拡大図を立体的（3D）に表示しない。	126

項目名	設定値	ページ
到着予想時刻表示	「設定」：所要時間を計算する基準である平均車速を変更する。 「デジタル」：到着予想時刻をデジタル表示にする。 「アナログ」：到着予想時刻をアナログ表示にする。	129

## 音声設定

項目名	設定値	ページ
VICS 渋滞・規制音声 自動発声	「する」：VICS・交通情報を音声案内する。 「しない」：VICS・交通情報を音声案内しない。	190
自動音声案内	「する」：音声案内する。 「しない」：音声案内しない。	122
アプリ連携音声案内	「する」：アプリ連携音声案内を出力する。 「しない」：アプリ連携音声案内を出力しない。	225
細街路での音声案内※	「する」：幅 5.5m 未満の道路での音声案内をする。 「しない」：幅 5.5m 未満の道路での音声案内をしない。	124
他モード時の案内	「する」：ナビゲーション以外の画面でも、音声による目的地案内をする。 「しない」：他モードに切り替えたととき、音声案内しない。	124
操作説明音声	「する」：操作説明音声を出力する。 「しない」：操作説明音声を出力しない。	96
ハートフル音声	「する」：ハートフル音声を出力する。 「しない」：ハートフル音声を出力しない。	96
エコドライブインフォ メーション	「する」：エコドライブのアドバイスを音声案内する。 「しない」：エコドライブのアドバイスを音声案内しない。	177

※ルート案内中に設定を変更するとルートの再探索が行われます。

## ルート系設定

項目名	設定値	ページ
自動再探索	「する」：自動的に再探索する。 「しない」：自動的に再探索しない。	136
季節規制メッセージ表示	「する」：季節規制メッセージを表示する。 「しない」：季節規制メッセージを表示しない。	89
渋滞考慮探索設定	「変更する」：渋滞考慮探索、新旧ルート比較表示の設定を変更する。	194

## その他

項目名	設定値	ページ
スイッチ表示設定	「変更する」: <b>◀ Off</b> にタッチしたときに表示させたいスイッチ類を変更する。	71
目的地メニューカスタマイズ	「変更する」: 目的地設定画面、目的地追加画面に表示するスイッチ設定を変更する。	147
周辺施設 走行中呼出ジャンル	「変更する」: 走行中に呼び出すことのできる周辺施設のジャンルを変更する。	84
車両情報設定 <sup>※1</sup>	「変更する」: 料金の計算、および提携駐車場を検索させるときの基準である車両情報を変更する。	130
目的地履歴の消去	「消去する」: 目的地履歴を消去する。	146
時計表示	「する」 : 地図画面に時計を表示する。 「しない」 : 地図画面に時計を表示しない。	80
ナビ補正	「補正する」: 現在地の修正、距離の補正をする。	160、 161
VICS 割込設定 <sup>※2</sup>	「変更する」: VICS 自動割込情報表示の設定、自動割込表示時間を変更する。	193
ユーザカスタマイズ	「設定する」: 各種ナビ設定の記憶・呼び出し・消去をする。	162
カンタン初期設定	「設定する」: カンタン初期設定の設定、修正をする。	49

※1 目的地が設定されているときは操作することができません。

※2 別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを装着したときに操作することができません。



## 安全・快適走行設定一覧

## 安全・快適走行設定一覧



- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **運転支援** にタッチ。
- 4 **安全・快適走行設定** にタッチ。

- 5 各項目を設定する。  
 ● 詳しくは、次の表をご覧ください。

- 6 **完了** にタッチ。

項目名	設定値	ページ
一時停止案内	「する」 : 一時停止案内をする。 「しない」 : 一時停止案内をしない。	86
踏切案内	「する」 : 踏切案内をする。 「しない」 : 踏切案内をしない。	86
合流案内	「する」 : 合流案内をする。 「しない」 : 合流案内をしない。	86
カーブ案内	「する」 : カーブ案内をする。 「しない」 : カーブ案内をしない。	86
レーン警告	「する」 : レーン警告をする。 「しない」 : レーン警告をしない。	86
事故多発地点案内	「する」 : 事故多発地点案内をする。 「しない」 : 事故多発地点案内をしない。	88
学校存在案内	「する」 : 学校存在案内をする。 「しない」 : 学校存在案内をしない。	88



## メンテナンス機能

### メンテナンス機能について

メンテナンス機能とは、GPS(→178)のカレンダー機能と車速信号を利用して、オイルなどの消耗部品の交換時期・各種点検時期などのイベント時期の案内を行う機能です。

- メンテナンス機能の内容・時期の設定については、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

#### ワンポイント

- ・ お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日をもとに設定した項目をお知らせするものです。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- ・ メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

### メンテナンスの項目設定

#### メンテナンス時期の設定

#### ワンポイント

- ・ メンテナンス時期の設定をしても、メンテナンス詳細設定の自動通知を「する」に設定しないと、メンテナンス案内は行われません。(→170)

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **メンテナンス** にタッチ。

- 4 **項目設定** にタッチ。



- 5 設定する項目にタッチ。

- **任意入力** にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定することができません。(→170)
- すでに設定されている項目にタッチしたときは、手順 **6** の画面が表示されます。

#### ワンポイント

- ・ 未設定の項目は  (黒色)、すでに設定されている項目は  (緑色)、メンテナンス案内が行われる時期の項目は  (橙色) で表示されます。

- 6 **お知らせ日** または **お知らせ距離** にタッチ。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

- 7 日付・距離を入力し、**完了** にタッチ。

- ・ 間違えたとき → **修正** にタッチ。
- 「日付入力画面」で、一桁の日付を入力するときは、**年**・**月**・**日** にタッチして入力することができます。
- 2～9月と4～9日は **月**・**日** にタッチして入力する必要はありません。  
【例】2012年3月25日と入力するとき  
**1**・**2**・**0**・**3**・**2**・**5** または **1**・**2**・**3**・**2**・**5** の順にタッチします。

- 8 **設定完了** にタッチ。

## ■任意入力項目の設定のしかた

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メンテナンス** → **項目設定** →  
 メンテナンス画面

- 1 **任意入力** にタッチ。
- 2 設定するマークにタッチ。



- 3 名称を入力 (→ 151) し、**完了** にタッチ。

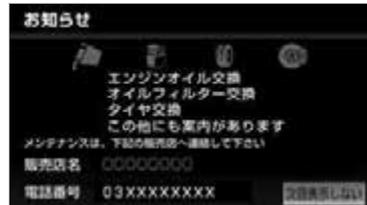


- ・ 間違えたとき  
 → **修正** にタッチ。

- 4 お知らせ日、またはお知らせ距離を設定する。(→ 169)
- 5 **設定完了** にタッチ。

## ■メンテナンスの案内

設定をした日をすぎる、または設定した距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される (立ち上がる) ととき、同時に 4 つまで案内されます。



メンテナンスの案内のする／しないを設定できます。(→ 172)

- 販売店を設定しているときは販売店名、電話番号を表示します。(→ 172)
- 5 つ以上の項目があるときは、メンテナンスメニュー画面で確認してください。
- 5 つ以上の項目があるときは、 が表示されます。
  - ・ 任意入力項目のときは、入力した名称を表示します。
- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。

### ワンポイント

- ・ メンテナンス時期に到達した後、最初にナビゲーションを立ち上げたときには、画面と音声 (初回) で案内します。

## メンテナンス設定を個別に消去

- すべて消去するとき
  - 「メンテナンス設定をすべて消去」(→ 172)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メンテナンス** → **項目設定** →  
 メンテナンス画面

### 1 設定を消去する項目にタッチ。



### 2 **設定消去** にタッチ。

### 3 **はい** にタッチ。

## メンテナンス設定を個別に更新

- すべて更新するとき
  - 「メンテナンス設定をすべて更新」(→ 172)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メンテナンス** → **項目設定** →  
 メンテナンス画面

### 1 設定を更新する項目にタッチ。

### 2 **自動更新** にタッチ。



### 3 **はい** にタッチ。

- 距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。

## ワンポイント

- 新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日と現在の日、または案内する予定だった日から自動的に計算され、変更されます。(項目により、計算方法は異なります。)

### 4 **設定完了** にタッチ。(手順 2 の画面)

## メンテナンスの詳細設定

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メンテナンス** → 設定・編集画面

### 1 **メンテナンス詳細設定** にタッチ。

### 2 各項目を設定し、**完了** にタッチ。



- メンテナンス詳細設定画面から、次の項目を設定できます。

項目	ページ
自動通知 (メンテナンス案内) の設定	172
メンテナンス設定をすべて消去	172
メンテナンス設定をすべて更新	172



## 自動通知（メンテナンス案内）の設定

自動通知のする／しないを設定できます。「する」に設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

**MENU**（画面外） → **設定・編集** → **メンテナンス** → **メンテナンス詳細設定** → メンテナンス詳細設定画面

- 1 自動通知の **する** または **しない** にタッチ。

## メンテナンス設定をすべて消去

- ・ 個別に消去するとき  
→ 「メンテナンス設定を個別に消去」  
（→ 171）

**MENU**（画面外） → **設定・編集** → **メンテナンス** → **メンテナンス詳細設定** → メンテナンス詳細設定画面

- 1 設定全消去の **消去する** にタッチ。
- 2 **はい** にタッチ。

## メンテナンス設定をすべて更新

- ・ 個別に更新するとき  
→ 「メンテナンス設定を個別に更新」  
（→ 171）

**MENU**（画面外） → **設定・編集** → **メンテナンス** → **メンテナンス詳細設定** → メンテナンス詳細設定画面

- 1 自動全更新の **全更新する** にタッチ。
- 2 **はい** にタッチ。

## 販売店の設定

### 販売店の設定

**MENU**（画面外） → **設定・編集** → **メンテナンス** → 設定・編集画面

- 1 **販売店設定** にタッチ。



- 2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示する。（→ 98、110）
- 3 **セット** にタッチ。
  - 位置に販売店が設定されます。
- 4 **完了** にタッチ。



## 販売店の修正・入力

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メンテナンス** → **販売店設定** →  
 販売店設定画面

### 1 修正・入力をする。



- ・ **販売店に行く** にタッチすると、販売店の地図が表示されます。
- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
販売店名	151
位置	153
電話番号	153

### 2 **完了** にタッチ。(手順 1 の画面)

## 販売店の消去

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**メンテナンス** → **販売店設定** →  
 販売店設定画面

### 1 **販売店の消去** にタッチ。

### 2 **はい** にタッチ。



## エコ機能

### エコ機能について

エコ機能とは、燃料消費量の少ないルートにアイコンを表示したり、運転内容をエコな観点で評価したりすることで、環境にやさしい運転をサポートする機能です。

### 燃費の計算

給油した量と給油した時点での走行距離から、燃費が計算されます。また、燃費の履歴から平均燃費が計算されます。燃費の履歴は後から編集することができます。

#### ワンポイント

- ・ 満タンに給油しない場合、燃費が正確に計算されません。

### 給油量の入力

ガソリンスタンド給油時に給油量を入力すると、それまでの燃費が計算されます。燃費の計算が終了すると、走行距離はリセット (0km) されます。

### 1 **MENU** (画面外) を押す。

### 2 **情報** にタッチ。

### 3 **エコナビ情報** にタッチ。

### 4 **燃費履歴** にタッチ。

### 5 **データ入力** にタッチ。





## 6 給油量入力 にタッチ。

- 前回給油時に給油量を入力しなかった場合、給油量を入力しても正しい燃費は計算されません。その場合、給油後、**走行距離リセット** → **はい** の順にタッチして走行距離をリセットし、次回給油時に改めて給油量を入力してください。

### ワンポイント

- ・ 走行距離の表示は、0.0km から 999.9km になります。

## 7 給油量を入力し、完了 にタッチ。



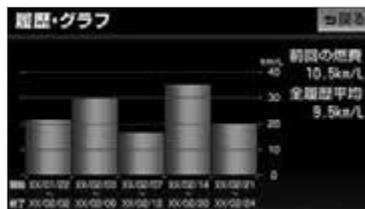
- ・ 間違えたとき  
→ **修正** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 入力できる給油量は、最大 99.9L、最小 0.1L です。

## 履歴とグラフの表示

平均燃費や燃費の履歴を表示させることができます。



**MENU** (画面外) → **情報** →  
**エコナビ情報** → **燃費履歴** →  
燃費履歴画面

## 1 履歴・グラフ にタッチ。



- 前回の燃費と全履歴の平均燃費が数値で表示されます。
- 過去5回分の燃費がグラフで表示されません。

### ワンポイント

- ・ グラフの表示は、最大 40km/L になります。
- ・ 数値の表示は、最大 99.9km/L、最小 0.1km/L になります。

## 履歴の編集

計算された燃費は、履歴に最大 100 件まで保存されます。過去の燃費の確認や給油量、走行距離などの修正をすることができます。

**MENU** (画面外) → **情報** →  
**エコナビ情報** → **燃費履歴** →  
 燃費履歴画面

- 1 **履歴一覧** にタッチ。
- 2 編集したい履歴 (期間) を選択する。



- 3 修正・入力をする。
  - ・ 前の履歴 (期間) を表示したいとき  
→ **前へ** にタッチ。
  - ・ 次の履歴 (期間) を表示したいとき  
→ **次へ** にタッチ。
- 修正・入力方法については次のページをご覧ください。

項目	ページ
開始日の編集	169
終了日の編集	169
走行距離の編集	169
給油量の編集	173

### ワンポイント

- ・ 入力できる給油量は、最大 99.9L、最小 0.1L です。
- ・ 入力できる走行距離は、0.0km から 999.9km です。

## 履歴の削除

履歴が 100 件をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な履歴を選択して消去することもできます。

**MENU** (画面外) → **情報** →  
**エコナビ情報** → **燃費履歴** →  
 燃費履歴画面

- 1 **履歴一覧** にタッチ。
- 2 削除したい履歴 (期間) を選択する。



- ・ 全ての履歴を消去したいとき  
→ **全消去** にタッチ。
- 3 **本履歴を削除** にタッチ。
  - 4 **はい** にタッチ。



## ルート案内時の燃費設定

燃費履歴を参考に燃費を設定すると、5ルート同時表示画面のルートの中で最もエコなルートにアイコンを表示することができます。また、全行程一覧表画面にはルートごとにエコ度を3段階で表示することができます。(→121)

### 5ルート同時表示画面



エコアイコン

### 全行程一覧表示画面

検索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間	エコ度
一般道	514km	511km	13500円	6時間50分	🌿
有料道路	514km	511km	13500円	6時間50分	🌿
一般道	539km	74km	16時間49分	🌿	
有料道路	497km	195km	5300円	12時間57分	🌿
有料道路	549km	342km	13450円	7時間18分	🌿

エコ度

## 燃費を手動で設定する

履歴・グラフ(→174)に表示されている平均燃費などを参考に手動で設定することができます。

MENU (画面外) → **情報** → **エコナビ情報** → エコナビ情報画面

## 1 **燃費設定** にタッチ。

## 2 燃費を設定し、**完了** にタッチ。



- ・ 燃費を上げたいとき  
→ **▶** にタッチ。
- ・ 燃費を下げたいとき  
→ **◀** にタッチ。

### 📖 ワンポイント

- ・ フェリー航路は、燃料消費量の対象になりません。
- ・ 入力できる燃費設定は、0.1km/L ~ 99.9km/L の範囲です。

## エコ情報の表示

運転内容をエコの観点で評価した結果やアドバイスを表示することができます。

## エコ運転評価の表示

全体のドライブ時間のうち、エコ運転ができた時間の割合を計算し、評価結果を表示します。

### 🔍 チェック

- ・ エコ運転の評価期間は、1日です。日付が変わった時点でリセットされます。リセットされた評価は最大10日間(当日含む)、履歴情報を確認することができます。(→177)

## ■最新評価の表示

地図表示中 → **表示変更** → **地図表示** →  
地図表示画面

### 1 **地図&エコ情報** にタッチ。



- エコ運転評価は 5 段階で表示されます。
- 評価に合わせて、エコ運転に関するアドバイスが表示されます。

#### 📖 ワンポイント

- ・ 評価を行うのに十分な走行時間が経過していない場合は、「判定中」というメッセージが表示されます。

## ■評価履歴の表示

**MENU** (画面外) → **情報** →  
**エコナビ情報** → エコナビ情報画面

### 1 **エコ運転評価履歴** にタッチ。



- ・ 評価履歴を消去したいとき  
→ **履歴消去** にタッチ。

## エコドライブインフォメーションの設定

エコな運転に役立つアドバイスを音声で案内させることができます。

### <エコドライブインフォメーション音声の例>

- 気持ちにゆとりを持った運転がエコドライブに繋がります。
- エアコンの設定温度を控えめにする事で燃費がよくなります。
- 空ぶかしを行うと多くの燃料を浪費します。

エコドライブインフォメーションをする／しないを設定できます。(→ 166)

#### 📖 ワンポイント

- ・ エコドライブインフォメーションの音声は一般的なものであり、運転環境やご使用の車により該当しないことがあります。
- ・ ハートフル音声 (→ 96) とエコドライブインフォメーションの音声重複した場合、ハートフル音声優先されます。その場合、エコドライブインフォメーションは、次回エンジンスイッチを ACC、または ON にしたときに発話されます。
- ・ エコドライブインフォメーションは、約 1 週間に 1 回のペースで案内されます。

## 精度と誤差

### 測位精度について

GPS 衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

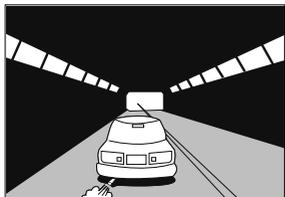
### GPS 衛星の電波の性質と受信状態について

GPS アンテナと GPS 衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには 3 個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所では GPS による測位ができなくなることがあります。さらに、GPS アンテナの上または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

#### チェック

- ・ GPS 衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもその時の位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- ・ GPS 衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

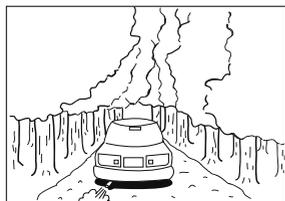
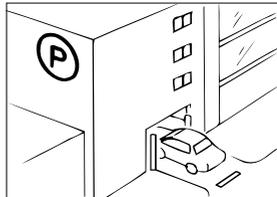
トンネルの中



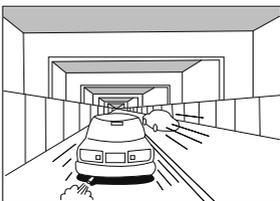
高層ビルなどの障害物で  
周囲を囲まれたところ



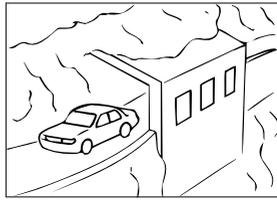
建物の中や地下、屋内駐車場



樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門



## 現在地表示の誤差について

本機は現在地を測位するために、GPS 衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

### チェック

- ・ 実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。

## タイヤによる誤差について

本機では自転車の移動した距離をスピードセンサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているため、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。（距離補正係数の設定を変えて調整できます。）

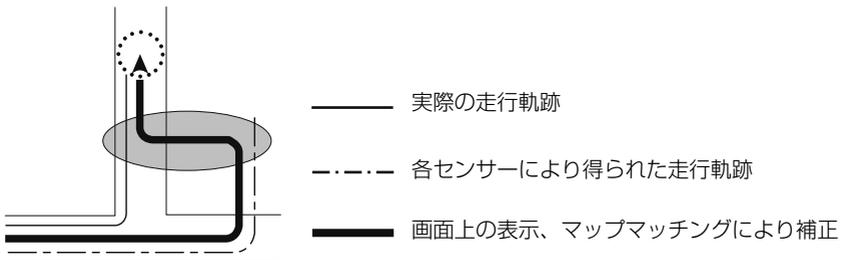
## マップマッチングによる自転車位置検出の補正について

マップマッチングとは、GPS などで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせ得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。

しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。

また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自転車マークがずれる場合があります。



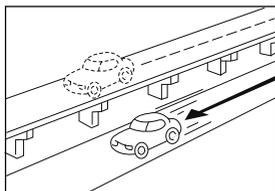
### ワンポイント

- ・ 本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、お車を動かすと、自転車マークが実際と異なる動きをする場合があります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

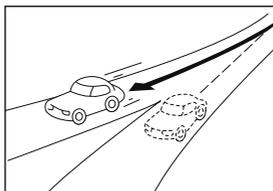


## 現在地表示、ルート案内の精度について

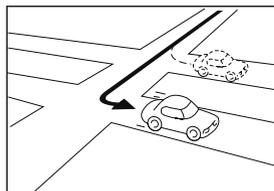
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われな場合があります。



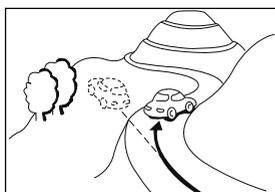
並走している道路に現在地が表示される。



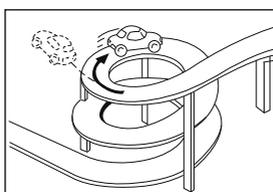
角度の小さなY字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



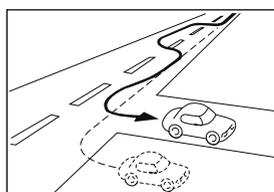
右左折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



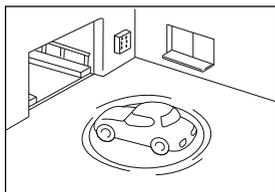
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



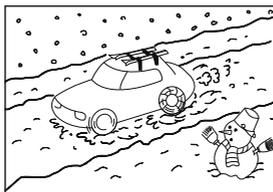
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



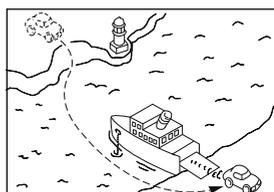
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



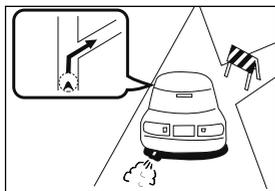
駐車場のターンテーブルなどで、ACC OFFの状態で旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



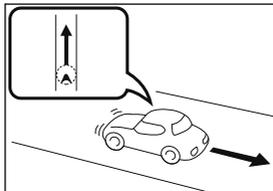
雪道などの滑りやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装着して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



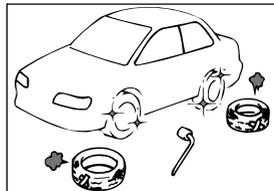
フェリーなど、自転車走行以外で移動したとき、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路(進入禁止など)を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。



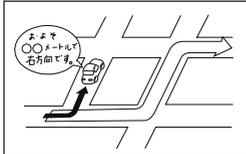
タイヤを交換した場合、自転車マークがずれて表示される。



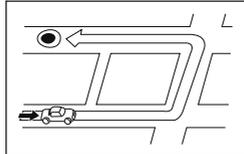
## 道路、地名データについて

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

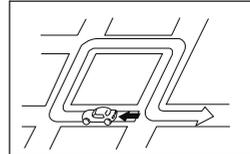
## ルート案内について



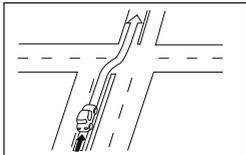
案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤ってでる場合があります。



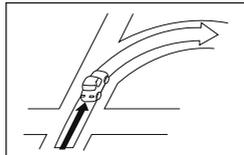
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



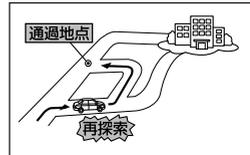
Uターンするルートをお案内する場合があります。



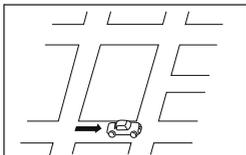
直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。(交差点の形状がわかりにくい場合など)



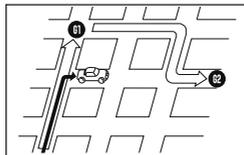
交差点で曲がるのに案内のない場合があります。



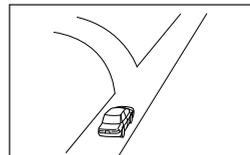
通過地点を通らずに目的地に向かうとき、再探索すると通過地点へもどるルートが出る場合があります。



ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。



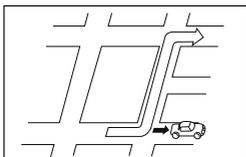
複数目的地の場合、次の目的地を通らずに、再探索するともどるルートになります。



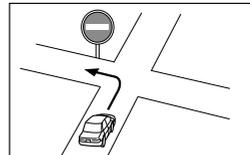
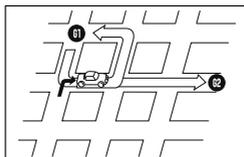
方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。



ルート探索完了



再探索



実際の交通規則にしたがって運転してください。



- 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- 自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地・通過道路として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- 有料優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。  
同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。  
(「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです。)



### 地図データについて

道路・地名・施設情報・料金は地図データ作成後、変更されることがありますので、現場の状況と異なることがあります。※

なお、この GPS ボイスナビゲーションシステムの「地図」は国土交通省 国土地理院発行の地形図、および地勢図をもとに、一般財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社 ゼンリンの地図情報を付加して、アイシン・エイ・ダブリュ 株式会社と株式会社 トヨタマップマスターが製作したものです。

※最新の地図データに更新されるかたは、「地図更新について」(→226)をご覧ください。

### ワンポイント

- ・ 地図の作成に当たり、できる限り正確なものを提供できるよう道路の改良、新規開通などの情報収集や現地調査などを行っております。しかしながら、道路・地名・施設情報・料金などは日々刻々と変化しており、その性質上、道路の抜け、道路形状・道路名称・施設名称・料金の間違いなどを完全にゼロにすることはできません。この点に留意してご利用ください。
- ・ 幅が3m未滿の区間を含む道路は、原則として地図データに収録されていません。道路工事や最新の測量により、幅が3m未滿の区間を含むと判定された道路は、地図データベースの更新時に削除されることがあります。

### 地図データの情報を見るには

地図 SD カードに収録されているデータベースなどの情報は、使用データ画面で確認できます。

MENU (画面外) → 設定・編集 → 地図更新 → 地図更新画面



1 **使用データ** にタッチ。

- ・ **更新記録** にタッチすると、最後に差分更新を実施した日が確認できます。



## 地図データベースについて

いかなる形式においても、著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図、5 万分の 1 地形図、2 万 5 千分の 1 地形図、1 万分の 1 地形図及び数値地図 50m メッシュ（標高）を使用しました。（測量法 第 30 条に基づく成果使用承認 平 23 情使 第 456-002 号）

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法 第 44 条に基づく成果使用承認 06-052T）

©2007 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

©アイシン・エイ・ダブリュ（株） & ZENRIN CO.,LTD. & （株）トヨタマップマスター & （株）昭文社

### 交通規制データの出典について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

### 道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

### 交通事故多発地点について

この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

### 渋滞考慮探索及び周辺迂回路探索について

株式会社 昭文社提供データ、並びに JARTIC/VICS の情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が作成したデータを使用しています。

### 統計交通情報について

統計交通情報データは、JARTIC / VICS 及び独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

### ボトルネック踏み切りデータについて

この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを基に作成しました。



**スマート IC (ETC 専用) について**

スマート IC は ETC 専用のインターチェンジのため、実際の走行の際には ETC を使用できる状態でなければご利用頂けません。また、スマート IC は乗降方向（上り下り）や時間帯、車種が限定される箇所がありますので、必ず現場の交通規制標識・標示等にしがってください。

**道路交通情報データについて**

道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICIS センター）の技術が用いられています。

**高速道路料金データについて**

使用している高速道路・都市高速の料金データは、2011 年 11 月現在のものです。（一部新設道路を除く）

**個人宅電話番号・名称データについて**

この地図に使用している個人宅電話番号・名称データは日本ソフト販売株式会社の「Bellemax<sup>®</sup>」（発行年月：2010 年 9 月～2011 年 9 月）のデータを使用しています。



## 地図のスケール表示について

地図左上に表示される **100m** の  の長さが約 100m であり、表示されている地図が 1/1 万縮尺であることを示しています。



- ・ 地図の縮尺の切り替えについて  
→「地図縮尺の切り替え」(→ 73)

スケール表示	縮 尺
<b>25m</b>	1/2500
<b>50m</b>	1/5 千
<b>100m</b>	1/1 万
<b>200m</b>	1/2 万
<b>400m</b>	1/4 万
<b>800m</b>	1/8 万
<b>1.6k</b>	1/16 万
<b>3k</b>	1/32 万
<b>7k</b>	1/64 万
<b>13k</b>	1/128 万
<b>26k</b>	1/256 万
<b>50k</b>	1/512 万
<b>100k</b>	1/1024 万
<b>200k</b>	1/2048 万

## ワンポイント

- ・ 25m スケール図は市街図表示 (→ 80) に切り替えたとき、表示することができません。



## VICS・交通情報の表示

### VICS・交通情報の表示

地図上に VICS・交通情報（VICS 記号・表示）を表示することができます。（→ 205）

#### チェック

- VICS 情報が表示されているときは、シティドライブモード、高速路線マップ、都市高マップにも VICS 情報を表示させることができます。

### ■VICS・交通情報の表示例

通常の地図



シティドライブモード



都市高マップ



高速路線マップ



	渋滞情報の表示例		
	渋滞	混雑	空き道
現況情報	(赤色)	(橙色)	(水色)
統計情報	(赤色)	(橙色)	(水色)

VICS・交通情報には、現況情報と統計情報があります。

#### ■現況情報

現況情報は次の情報です。

#### <現況 VICS 情報>

VICS センターから提供される現況の情報

#### ■統計情報

過去の交通情報を統計処理した情報です。

- この情報は、地図データに収録されています。現況情報が受信できないときでも、日時・時間帯に応じた情報を表示できます。

## ワンポイント

- ・ 現況情報は、1.6km スケール図より詳細な地図で表示することができます。VICS 記号によっては、1.6km スケール図では表示できない記号もあります。
- ・ 統計情報は、800m スケール図より詳細な地図で表示することができます。
- ・ 現況情報と統計情報を同時に表示する設定にしている場合は、現況情報を優先して表示します。
- ・ 現況交通情報・統計情報は表示されない地点があります。また、地図差分更新(→226)などにより今まで表示されていた地点でも、表示されなくなることがあります。
- ・ 提供される現況交通情報・統計情報は、実際の交通状況と異なる場合がありますので、あくまでも参考としてください。
- ・ 表示する地図の種類によっては、VICS・交通情報を表示させることができない場合があります。
- ・ VICS マークによっては、200m スケール図以下の詳細な地図で表示するマークもあります。

## タイムスタンプについて



タイムスタンプ

タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制音声案内を出力することができます。(→190)

## 時刻表示について

- 現況情報が提供された時刻を示しています。(現況情報が受信された時刻ではありません。)
- 現況情報が継続して受信されないと、約 30 分後に自動的に消去され、**---:---** の表示になります。現況情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が**---:---** になります。
- エンジンスイッチをACCまたはONにした直後など、情報が受信されるまでは、**---:---** の表示になります。

## 色について

目的地案内中で現在地がルート上にあるとき、ルート上(約10km以内)に現況情報があると色がかわります。

- 赤色 ( **8:00** ) …… 渋滞情報
- 橙色 ( **8:00** ) …… 混雑情報
- 黄色 ( **8:00** ) …… 交通規制情報

## 文字表示について

現況 VICS 情報を受信すると「VICS」、現況交通情報を受信すると「交通情報」と表示します。

- 現況 VICS 情報・現況交通情報の両方が受信されていないときは、「交通情報」が灰色になります。
- 3km スケール図より広域な地図では「交通情報」と表示します。
- エンジンスイッチをACCまたはONにした直後など、現況情報が受信されるまでは「交通情報」と表示します。

## ワンポイント

- ・ 現況 VICS 情報と現況交通情報を同時に表示できるときは、「VICS」と表示します。

## VICS 記号の内容の表示

- 1 規制情報の記号、または駐車場情報の記号にタッチ。



### ワンポイント

- ・ VICS 記号によっては、内容が表示されない VICS 記号もあります。

## VICS・交通情報の表示設定

### VICS・交通情報の表示

地図表示中 → **表示変更** → 表示変更画面

- 1 **VICS・交通情報** にタッチ。



- 2 VICS・交通情報を表示する道路を選択する。

- **全て** …… 高速道路・一般道路に表示
  - **高速道のみ** …… 高速道路のみに表示
  - **一般道のみ** ※ …… 一般道路のみに表示
- ※シティドライブモード(→91)では、「一般道のみ」に設定しているときでも、VICS・交通情報を表示できます。
- VICS・交通情報を表示したときは、タイムスタンプが表示されます。

## VICS・交通情報表示の消去

地図表示中 → **表示変更** → **VICS・交通情報** → VICS・交通情報画面

- 1 **非表示** にタッチ。



- タイムスタンプも表示されなくなります。

## 表示する VICS・交通情報の選択

地図表示中 → **表示変更** → **VICS・交通情報** → VICS・交通情報画面

- 1 **表示設定** にタッチ。



- 2 表示する VICS・交通情報を選択し、**完了** にタッチ。

- **渋滞・混雑** ※ …… 渋滞・混雑している道路の表示
- **空き道** ※ …… 空いている道路の表示
- **規制情報** …… 事象・規制がある道路の表示
- **駐車場** …… 駐車場情報の表示

※渋滞・混雑、空き道は統計情報を表示することができます。また、現況情報と統計情報を同時に表示することもできます。ただし、同じ地点に両方の情報があるときは、現況情報を優先して表示します。

- 作動表示灯が点灯している項目が表示されます。



## VICS・交通情報の活用

### 渋滞・規制音声案内

目的地案内中で、現在地がルート上にあるとき、ルート上（約10km以内）の現況情報を音声案内させることができます。

次のようなときに、音声案内が出力されます。

#### ■ 音声案内の例

##### < VICS 表示がある地点 >

「およそ1km先 渋滞があります」

##### < VICS 記号のある地点 >

「およそ5km先 電気工事のため車線規制中です」

音声案内はあくまでも参考としてください。

渋滞・規制音声自動発声の出力する／しないを設定できます。（→ 166）

#### ワンポイント

- ・ 音声案内の例は一般的なものであり、状況などにより異なった音声案内が出力されることがあります。
- ・ 自車位置が正確に特定できないときなどに、音声案内が出力されなかったり、まれに遅れたり、誤った音声案内が出力されることがあります。

### 渋滞・規制音声案内の再出力

一度出力された渋滞・規制音声案内を再度出力させることができます。

地図表示中

#### 1 タイムスタンプにタッチ。



タイムスタンプ

- 一度音声案内が出力されるとタイムスタンプがタッチスイッチになり操作することができます。

#### ワンポイント

- ・ VICS 渋滞・規制音声自動発声を「しない」に設定していても、タイムスタンプがタッチスイッチになっていれば、タッチすると渋滞・規制音声案内を出力させることができます。



## VICS 図形情報・文字情報の表示

**MENU** (画面外) → **情報** → 情報画面

### 1 **VICS** にタッチ。



※装備の有無により、実際の画面と異なる場合があります。

### 2 **FM 図形** または **FM 文字** にタッチ。

### 3 情報の番号 ( **1** ・ **2** ・ **3** … ) にタッチ。

- ・ 文字情報または図形情報に切り替えるとき  
→ **文字** または **図形** にタッチ。

### 4 **▲** または **▼** または **自動送り** にタッチ。

- 前回情報を表示させたときに「自動送り」を選択していると、情報を表示すると同時に自動送りが開始されます。
- 情報のページを送るとき  
→ **▲** または **▼** にタッチ。
- **自動送り** にタッチすると、情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。走行中は自動送りできません。
  - ・ 情報の自動送りを中止するとき  
→ **停止** にタッチ。
  - ・ 自動送りに **▲** または **▼** にタッチして、情報を送ったときは、自動送りは中止されます。
  - ・ 文字情報または図形情報に切り替えるとき  
→ **文字** または **図形** にタッチ。

- ・ **目次** にタッチすると、手順 **3** の画面が表示されます。

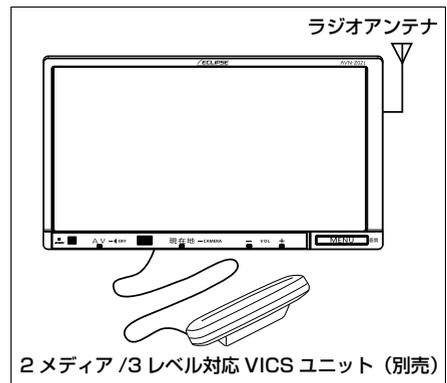
## 2メディア/3レベル対応 VICS ユニットについて

内蔵の FM 多重機能とは別に、別売の 2メディア/3レベル対応 VICS ユニートを接続した場合は、FM 多重放送に加え電波・光ビーコンの受信が可能になります。

- ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮した経路探索が可能になります。
- ビーコンからの割り込み情報を受信できます。

### ■ 2メディア/3レベル対応 VICS ユニットの構成

VICS の電波/光ビーコンを受信するシステム



GPS ボイスナビゲーション

## 割込情報（ビーコン即時案内）の表示

別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを装着したとき

ビーコン\*からの現況VICS情報が受信されたとき、VICS文字情報または図形情報を自動的に表示させることができます。

\*ビーコンを受信するには別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットが必要です。

### ワンポイント

- ・ビーコンユニットを装着していない場合でも、緊急情報が受信されたときは、割込情報が表示されます。

### 割込情報の表示例



### 割込情報を切り替えるとき

#### 1 ▲ または ▼ にタッチ。

- ・文字情報または図形情報に切り替えるとき

→ **文字** または **図形** にタッチ。

- ・**表示消** にタッチする、または約15秒以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。

表示時間は調整することができます。  
(→ 193)

### ワンポイント

- ・表示させている画面により、割込情報が表示されないことがあります。

## 割込情報の呼び出し

割込情報の表示を「しない」に設定しているときに、受信された割込情報を表示させることができます。また、一度表示された割込情報を再度表示させることもできます。

**MENU** (画面外) → **情報** → **VICS** → VICS画面

#### 1 **割込情報** にタッチ。

### ワンポイント

- ・提供時刻より約30分以上経過した割込情報は、表示させることができません。

#### 2 ▲・▼ にタッチして、割込情報を切り替える。



\*画面は、図形情報を使用しています。文字情報を表示したときも操作方法は同じです。

- ・文字情報または図形情報に切り替えるとき  
→ **文字** または **図形** にタッチ。

### ワンポイント

- ・FM多重放送のみのVICS情報では、ビーコンからの割り込み情報の表示は行われません。
- ・ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。

## 割込情報の表示設定

別売の2メディア/3レベル対応VICS  
ユニットを装着したとき

割込情報の表示／非表示の設定、および割込情報の表示時間の調整をすることができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →

**ナビ詳細設定** → **その他** →  
ナビ詳細設定画面

- 1 VICS 割込設定の **変更する** にタッチ。



- 2 割込設定をし、**完了** にタッチ。
- 3 **完了** にタッチ。(手順 1 の画面)

### ワンポイント

- ・ FM 多重放送のみの VICS 情報では、ビーコンからの割り込み情報の表示は行われません。
- ・ ビーコンの運用時間は 24 時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。

## 自動割込の設定

自動割込のする／しないを設定できます。

- 1 各項目の **する** または **しない** にタッチ。

### ■注意警戒情報 自動割込

注意警戒情報の表示

### ■ビーコン文字情報 自動割込

文字情報の表示

### ■ビーコン図形情報 自動割込

図形情報の表示

### ワンポイント

- ・ 自動割込情報を「しない」に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報または図形情報が表示されます。

### 自動割込表示時間の調整

割込情報の表示時間を調整できます。

- 長くするとき → **▶** にタッチ。
- 短くするとき → **◀** にタッチ。

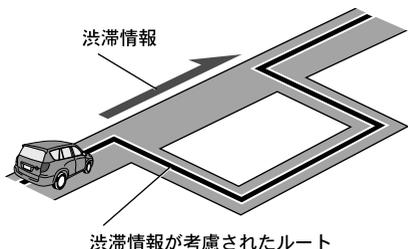


## 渋滞考慮探索

受信した VICS 情報 (→ 191)、(→ 198) や渋滞統計データなどから探索した曜日、時間帯の交通状況を考慮して、ルートを探索することができます。また、5 ルート同時表示 (→ 120) やルートの探索条件などが渋滞考慮ルートになります。

### ワンポイント

- ・ 現在地から約 10km 以内の渋滞・規制情報が考慮されます。したがって、遠方の渋滞・規制情報は考慮されません。



### 渋滞考慮探索の設定

渋滞考慮探索のする/しないを設定できます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **ルート系設定** →  
 ナビ詳細設定画面

1 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチ。



2 渋滞考慮探索の **する** または **しない** にタッチし、**完了** にタッチ。

3 **完了** にタッチ。(手順 1 の画面)

### ワンポイント

- ・ 別売の 2 メディア /3 レベル対応 VICS ユニートを接続した場合は、渋滞統計データを考慮を **する** にすると、ビーコンからの VICS 情報を受信するたびに、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルートを探索、表示させることができます。

## 新旧ルート比較表示

ビーコン\*から提供される現況情報が受信され、渋滞・規制情報が考慮されたルートが新たに見つかったとき、右画面に新ルートと元ルートの比較と分岐点までの距離を表示します。

\*ビーコンを受信するには別売の 2 メディア /3 レベル対応 VICS ユニートが必要です。



渋滞考慮探索 (→ 194) ・新旧ルート比較表示を「する」に設定したとき、新旧ルート比較表示ができます。

### <新ルートで案内するとき>

1 **新ルート** にタッチ。

- 約 10 秒以上操作しなかったときも、新ルートで案内します。

### <元ルートで案内するとき>

1 **元ルート** または **戻る** にタッチ。

### ■新旧ルート比較表示の設定

新旧ルート比較表示のする／しないを設定できます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**ナビ詳細設定** → **ルート系設定** →  
 ナビ詳細設定画面

1 渋滞考慮探索設定の **変更する** にタッチ。



2 新旧ルート比較表示の **する** または **しない** にタッチし、**完了** にタッチ。

3 **完了** にタッチ。(手順 1 の画面)

### 📖 ワンポイント

- ・新旧ルート比較表示を「しない」に設定していても、渋滞考慮探索 (→ 194) を「する」に設定して、渋滞を考慮したルートが新たに見つかったときは自動的に新しいルートで案内します。
- ・新旧ルート比較表示では、VICS・交通情報の表示設定 (→ 189) に関わらず渋滞情報が表示されます。ただし、地図の縮尺によっては表示されないことがあります。(→ 187)



# VICS 放送局の選択

## 放送局の選択

現況 VICS 情報を提供している FM 放送局を選ぶことができます。

MENU (画面外) → 情報 → VICS → VICS 画面

### 1 VICS 選局 にタッチ。

- 表示される画面は、前回選択していたモード（自動選択または手動選択）により異なります。

#### 自動選択時



#### 手動選択時



- 通常は、「オート」（自動選択）にしておいてください。「オート」で受信されないときのみ、「マニュアル」（手動選択）で放送局または放送エリアを選択してください。

## ワンポイント

- ・ 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
- ・ 通常は「オート」でご使用ください。
- ・ VICS 情報が受信できる代表的な周波数（2012年2月現在）
- ・ 北海道（旭川地区 85.8MHz）  
（函館地区 87.0MHz）  
（札幌地区 85.2MHz）  
（室蘭地区 88.0MHz）  
（釧路地区 88.5MHz）  
（帯広地区 87.5MHz）  
（北見地区 86.0MHz）
- 青森県 86.0MHz
- 岩手県 83.1MHz
- 宮城県 82.5MHz
- 茨城県 83.2MHz
- 群馬県 81.6MHz
- 千葉県 80.7MHz
- 神奈川県 81.9MHz
- 静岡県 88.8MHz
- 岐阜県 83.6MHz
- 三重県 81.8MHz
- 石川県 82.2MHz
- 福井県 83.4MHz
- 京都府 82.8MHz
- 兵庫県 86.5MHz
- 和歌山県 84.7MHz
- 広島県 88.3MHz
- 島根県 84.5MHz
- 香川県 86.0MHz
- 高知県 87.5MHz
- 福岡県 84.8MHz
- 佐賀県 81.6MHz
- 熊本県 85.4MHz
- 鹿児島県 85.6MHz
- 秋田県 86.7MHz
- 山形県 82.1MHz
- 福島県 85.3MHz
- 栃木県 80.3MHz
- 埼玉県 85.1MHz
- 東京都 82.5MHz
- 山梨県 85.6MHz
- 長野県 84.0MHz
- 愛知県 82.5MHz
- 新潟県 82.3MHz
- 富山県 81.5MHz
- 滋賀県 84.0MHz
- 大阪府 88.1MHz
- 奈良県 87.4MHz
- 岡山県 88.7MHz
- 鳥取県 85.8MHz
- 山口県 85.3MHz
- 徳島県 83.4MHz
- 愛媛県 87.7MHz
- 大分県 88.9MHz
- 長崎県 84.5MHz
- 宮崎県 86.2MHz
- 沖縄県 88.1MHz
- ・ VICS 情報のサービスエリアについては、「VICS 情報有料放送サービス契約約款」（→ 454）を参照してください。

- ・ VICS システムでは、あらかじめ地図データに情報提供される道路単位（VICS リンク）を設定しています。これは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わない場合、本機の発売から経年で VICS 地図情報（レベル 3）（渋滞や混雑の矢印など）の一部が表示されなくなることがあります。  
最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。  
情報提供サービス維持のため、変更前の VICS リンクにも変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。
- ・ VICS FM 多重放送の運用時間は 24 時間です。休止時間については、VICS FM 多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

## 自動選択

現在地がある都道府県の、VICS 提供 FM 放送局が受信され、現在地を移動すると、自動的に放送局が切り替わります。

**MENU** (画面外) → **情報** → **VICS** → **VICS 選局** → VICS 選局画面

- 1 **オート** にタッチ。

## 手動選択

### ■ エリア選択

選んだ都道府県の VICS 提供 FM 放送局が受信されます。受信状態が変わると、選んだ都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。

### ■ 周波数選択

選んだ周波数の放送局が受信されません。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

**MENU** (画面外) → **情報** → **VICS** → **VICS 選局** → VICS 選局画面

- 1 **マニュアル** にタッチ。
- 2 エリア選択時は、受信させる放送局のある都道府県名にタッチ。  
周波数選択時は、**TUNE ▲** ・ **TUNE ▼** にタッチして、放送局の周波数を選ぶ。  
● 放送局の電波が受信されると、「受信中」が表示されます。
- 3 **完了** にタッチ。

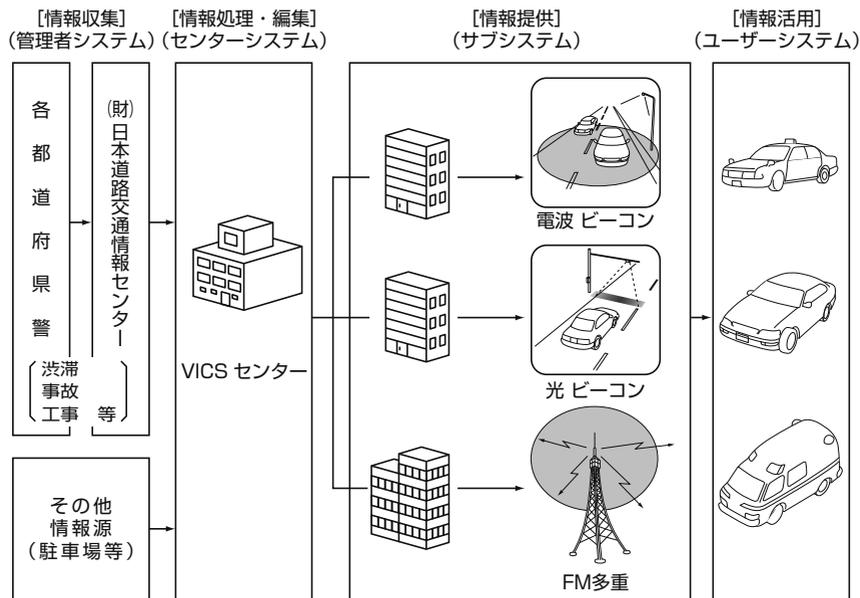


## VICS の概要

### VICS について

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICS は大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



VICS リンクデータベースの著作権は (財) 日本デジタル道路地図協会、(財) 日本交通管理技術協会が有しています。

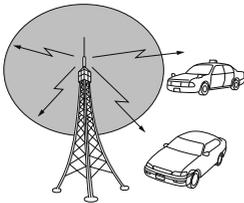
VICS および本機に付与された  のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。



## VICS のメディア概要

### FM 多重

FM 多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。本機に内蔵の FM 多重チューナーで FM 多重放送を受信することができます。VICS 情報の受信については「VICS 放送局の選択」(→ 196)を参照してください。

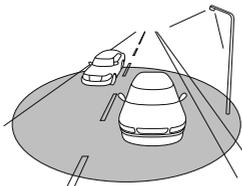


### 電波ビーコンと光ビーコン

別売の 2 メディア / 3 レベル対応 VICS ユニット※を接続することによって、電波ビーコン、光ビーコンを受信することができます。

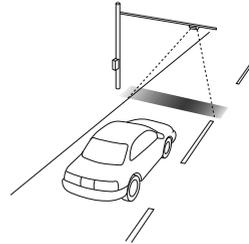
#### ■電波ビーコン

電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



#### ■光ビーコン

光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。



※別売の 2 メディア / 3 レベル対応 VICS ユニットについては、「2 メディア / 3 レベル対応 VICS ユニットについて」(→ 191)を参照してください。

### VICS 特有の事項

- 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。(提供される情報は最新でない場合があります。)
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本取扱説明書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。
- 電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい電波が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。



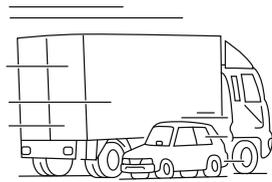
## FM 多重放送特有の事項



① 高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。

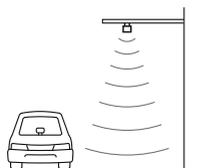


② 盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。

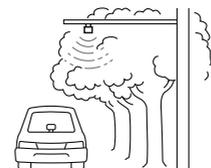


③ トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

## 電波ビーコン特有の事項



① 直線的にしか電波は届きません。



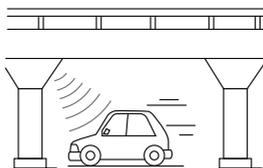
② 水に吸収される性質があるので、街路樹が繁っているとうまく受信できないことがあります。



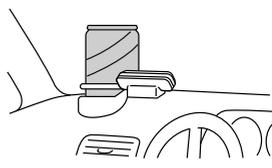
③ トンネルの中や高架道路の所では乱反射して、うまく受信できないことがあります。



④ トラックの陰に入ると、うまく受信できないことがあります。

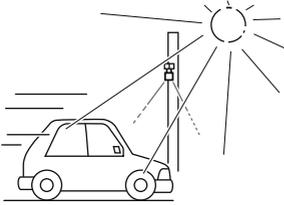


⑤ 高架道路の下で電波を受信すると誤った位置を判断することがあります。

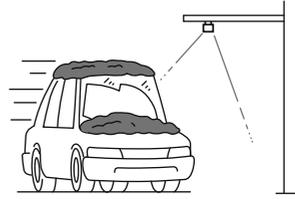


⑥ VICSのアンテナの上や近くに金属を置かないでください。

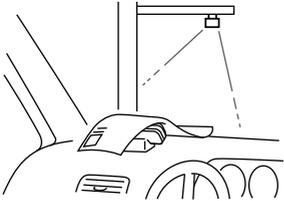
## 光ビーコン特有の事項



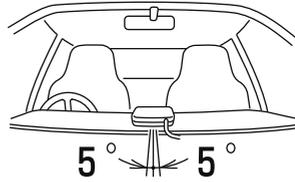
①太陽と光ビーコンからの信号が重なると、うまく受信できないことがあります。



②雪が積もっていたり、ウインドガラスが汚れていると、うまく受信できないことがあります。



③VICSのアンテナの上や近くに紙類等光を受信するのを妨げる物を置かないください。



④VICSのアンテナの取り付け方向は、±5°でセットしてください。ずれた場合は、うまく受信できないことがあります。



## VICS 情報提供内容と表示について

- VICS 情報は文字表示、簡易図形表示または地図表示から渋滞・交通規制等を表示します。
- VICSセンターからVICS情報が配信された時刻を表示します。

### レベル 1 (文字表示)



### レベル 2 (簡易図形表示)



### レベル 3 (地図表示)



### ワンポイント

- ・ 情報が受信できない場合など、VICS 情報が表示できないことがあります。
- ・ 情報提供エリアの違いなどによって情報内容が異なります。

## VICS の用語

より有効に VICS を利用していただくために、以下の用語の説明をご一読ください。

### ■緊急情報

津波情報などの緊急の伝達が必要とされる情報を受信すると、このシステムでは、ほかの情報より優先して提供・表示されます。

### ■交通情報関連の用語

- (1) 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態を示します。
- (2) 混雑：交通の流れがやや悪い状態を示します。

### ■駐車場・SA・PA 関連の用語

- (1) 空車：駐車場（SA・PA）の利用が可能な状態を示します。
- (2) 混雑：駐車場（SA・PA）において、利用率が高い状態を示します。
- (3) 満車：駐車場（SA・PA）において、ほぼ満車の状態を示します。
- (4) 不明：駐車場（SA・PA）の情報がない状態を示します。
- (5) 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態を示します。

## VICS センター著作権について

1. お客様は、共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権を財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および財団法人道路新産業開発機構が所有または管理すること、並びに共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権を財団法人道路交通情報通信システムセンターが所有または管理することに同意する。
2. お客様は、財団法人道路交通情報通信システムセンター、一般社団法人 UTMS 協会および財団法人道路新産業開発機構の共通ネットワーク仕様書の著作権その他知的所有権の保護に努める、並びに財団法人道路交通情報通信システムセンターの共通ネットワーク仕様書以外の VICS 技術情報等の著作権その他知的所有権および使用許諾権の保護に努める。



## VICS の問い合わせ先

■以下の内容は、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

- VICS 本機の調子・機能・使用方法・その他に関するもの
- VICS 情報の表示に関するもの
- VICS のサービスエリアに関するもの
- その他上記に類するもの

■以下の内容は、サービス・サポート・センターにご相談ください。

- VICS 文字情報・VICS 図形情報に関するもの
- VICS の概念・事業計画（サービスエリアの計画）に関するもの

### サービス・サポート・センター

・ 電話番号（受け付け時間…9：30～17：45、土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

0570-00-8831（全国共通）※

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

・ FAX 番号（受け付け時間…24 時間）

03-3562-1719

### ワンポイント

- ・ VICS については、以下のホームページでもご覧いただけます。  
URL: <http://www.vics.or.jp/>



## VICS 記号・表示について

表示	道路の種類
 (黒色) ※	通行止めの区間
 (赤色)	渋滞している道路
 (橙色)	混雑している道路
 (水色)	すいている道路

※夜画のときは白色で表示されます。

記号	駐車場・SA・PA 情報
 (青色)	駐車場 (空車)
 (橙色)	駐車場 (混雑)
 (赤色)	駐車場 (満車)
 (黒色)	駐車場 (不明)
 (黒色)	駐車場 (閉鎖)
 (青色)	SA・PA (空車)
 (橙色)	SA・PA (混雑)
 (赤色)	SA・PA (満車)
 (黒色)	SA・PA (不明)
 (黒色)	SA・PA (閉鎖)

記号	規制情報
	事故
	故障車
	路上障害
 (青色)	注意
 (黒色)	地震警戒宣言
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪

記号	規制情報
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入口閉鎖
	大型車両通行止め
	入口規制
	出口規制
	速度規制
	イベント

・表示される記号・表示の位置は実際と異なることがあります。また、複数のVICS・交通情報が代表して1つの記号で表示されることがあります。



## 携帯連携について

### 携帯連携とは

携帯電話で表示している地点情報を本機へ送信したり、本機で設定されている現在地や目的地の地点情報を携帯電話へ送信することができる機能です。また、Yahoo! JAPAN のサービスと連携した機能を使うために、本機と携帯電話との間で情報を通信することもできます。

#### 警告

- ・ 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

#### ワンポイント

- ・ 携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書を参照してください。
- ・ データの送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わった場合、送信が中止されます。
- ・ 地点の受信時、送信中画面が表示されているときに走行を開始すると、前の画面に戻ります。
- ・ データ送信中は、他の Bluetooth 機器の接続が切断されます。その場合、送信が終了すると、再接続されます。(機種により、再接続に時間がかかることや再接続できないことがあります。)

### 情報を携帯電話へ送信する

現在地の地点情報を本機から携帯電話へ送信することができます。目的地が設定されている場合は、目的地までのすべての地点情報を転送することができます。本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種については ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」をご確認ください。また、携帯電話の設定や利用方法(専用のアプリケーション)については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

#### ワンポイント

- ・ ハンズフリー(→387)に接続中の携帯電話のみ使用することができます。

- 1 **MENU**(画面外)を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **BTナビ** にタッチ。
- 4 **地点を送信** にタッチ。



- 5 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。
  - ・ 携帯電話の操作は、地点を送信画面が表示されているときに行います。



## 6 [送信] にタッチ。



- ・ 通信を中止したいとき  
→ **[中止]** にタッチ。
- ・ 位置情報を送信するとメッセージが表示され、現在地画面が表示されます。

### 情報を本機へ送信する

本機に登録されている携帯電話で表示している地点情報を、携帯電話から本機へ送信することができます。本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種についてはECLIPSE ホームページ「お客様サポート」をご確認ください。また、携帯電話の設定や利用方法（専用のアプリケーション）については、各携帯電話会社にお問い合わせください。

#### ワンポイント

- ・ 本機に登録、接続された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。（→ 393、394）

**MENU** (画面外) → **[情報]** → **BT ナビ** → BT ナビ画面

## 1 [地点を受信] にタッチ。



## 2 携帯電話から位置情報を送信する。



- ・ 通信を中止したいとき  
→ **[中止]** にタッチ。
- ・ 位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。（→ 110）

#### ワンポイント

- ・ 携帯電話で地図を呼び出したときに、マークが表示されないことがあります。また、マークが表示されても施設内容の表示ができないことがあります。提携駐車場の検索はできません。
- ・ 受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。
- ・ 詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。
- ・ 表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。

## Yahoo! JAPAN と連携した機能を使用する

Yahoo! JAPAN のサービスで作成したドライブルートや地点の情報を本機へ送信して、目的地の設定や地点情報の保存をしたり、本機に保存されている情報を携帯電話へ送信して、Yahoo! JAPAN のサービスで活用することができます。

本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。詳細は次のホームページを参照してください。  
路線・地図アプリ紹介ページ

- ・ <http://transit.map.yahoo.co.jp/mobile/app/info.html> (パソコン)
- ・ <http://map.mobile.yahoo.co.jp/dl> (モバイル)

※Yahoo! JAPAN のサービスや専用のアプリケーションについては予告なく変更、終了する場合があります。

なお、2012年12月20日で「ドライブルート（ドライブルートの情報を車載機へ送信する）」、「走行軌跡（車載機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話に送信し、Yahoo! JAPAN のサービスでの活用）」のサービスは終了しました。

### ワンポイント

- ・ 路線・地図アプリ紹介ページの情報料、アプリケーション使用料は無料です。
- ・ 携帯電話の通信料金は、お客様のご負担になります。

MENU (画面外) → 情報 → BTナビ → BTナビ画面

## 1 Yahoo! JAPAN と連携 にタッチ。



## 2 使用したい項目を選択する。



- 各項目については、次のページをご覧ください。

項目	ページ
アプリケーションのダウンロード	209
セキュリティの設定	209
目的地情報の受信	211
ドライブルート情報の受信	211
地点情報の受信	212
走行軌跡情報の送信	213
メモリ地点情報の送信	214
目的地履歴情報の送信	215



## アプリケーションをダウンロードする

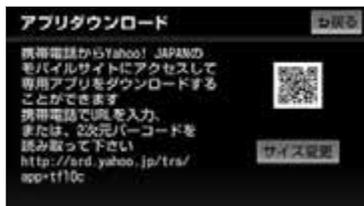
Yahoo! JAPAN のモバイルサイトにアクセスして、専用のアプリケーションをダウンロードすることができます。

**MENU** (画面外) → **情報** → **BT ナビ** → **Yahoo! JAPAN と連携** → Yahoo! JAPAN と連携画面

### 1 **アプリダウンロード** にタッチ。



### 2 携帯電話に2次元バーコードを読み込む、またはURLを入力してYahoo!JAPANのモバイルサイトにアクセスする。



- ・2次元バーコードを拡大したいとき → **サイズ変更** にタッチ。

### ワンポイント

- ・2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- ・2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- ・QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

## 本機から携帯電話へ送信時のセキュリティを設定する

本機から携帯電話へのデータ送信を制限したり、設定変更時のロックNo.を変更することができます。

### ワンポイント

- ・メモリ地点や目的地履歴などの情報は、個人情報に関わる内容であるため、第3者が情報を勝手に外部へ持ち出せないようにセキュリティを設定することができます。
- ・初期状態のロックNo.は、「0000」に設定されています。

## ■携帯電話へのデータ送信を制限する

**MENU** (画面外) → **情報** → **BT ナビ** → **Yahoo! JAPAN と連携** → Yahoo! JAPAN と連携画面

### 1 **送信セキュリティ設定** にタッチ。



- 2 **する** または **しない** を選択し、**完了** にタッチ。
- 3 ロック No. を入力し、**完了** にタッチ。



- ・間違えたとき  
→ **修正** にタッチ。
- ・メッセージが表示され、設定が変更されます。

### ■セキュリティ設定変更時のロック No. を変更する

#### チェック

- ・データ送信制限を **する** に設定している場合、ロック No. を変更することはできません。

**MENU** (画面外) → **情報** → **BTナビ** → **Yahoo! JAPAN と連携** → **送信セキュリティ設定** → 送信セキュリティ設定画面

- 1 ロック No. 変更の **変更** にタッチ。



- ・ロック No. を初期状態に戻したいとき  
→ **初期状態** → **はい** の順にタッチ。

- 2 現在のロック No. を入力し、**完了** にタッチ。



- ・間違えたとき  
→ **修正** にタッチ。

- 3 新しいロック No. を入力し、**完了** にタッチ。

- ・間違えたとき  
→ **修正** にタッチ。

- 4 **はい** にタッチ。

- ・メッセージが表示され、設定が変更されます。

- 5 **完了** にタッチ。(手順 1 の画面)

#### ワンポイント

- ・設定した暗証番号は、送信セキュリティの設定を変更するときに必要になります。設定した暗証番号を忘れたときの確認用にメモなどをしておくことをおすすめします。



## 目的地情報を本機へ送信する

目的地情報を本機へ送信し、検索された地図を表示することができます。

### ワンポイント

- ・本機に登録、接続された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。  
(→ 393、394)

MENU (画面外) → **情報** → BT ナビ →  
**Yahoo! JAPAN と連携** →  
Yahoo! JAPAN と連携画面

### 1 **目的地受信** にタッチ。



### 2 携帯電話から位置情報を送信する。



- ・通信を中止したいとき  
→ **中止** にタッチ。
- ・位置情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。  
(→ 110)

### ワンポイント

- ・表示される地図は、携帯電話で送信した位置情報とずれる場合があります。
- ・受信した地点をメモリ地点として登録する場合、コンテンツによっては著作権で保護されているため地点情報を登録することはできません。

## ドライブルートの情報を本機へ送信する

作成したドライブルートの情報を本機へ送信することができます。

### ワンポイント

- ・本機に登録、接続された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。  
(→ 393、394)

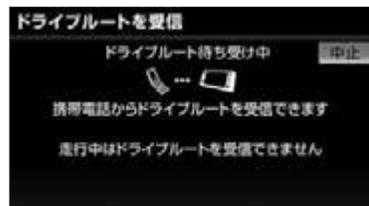
MENU (画面外) → **情報** → BT ナビ →  
**Yahoo! JAPAN と連携** →  
Yahoo! JAPAN と連携画面

### 1 **ドライブルート** にタッチ。



### 2 **新規受信** にタッチ。

### 3 携帯電話から情報を送信する。



- ・通信を中止したいとき  
→ **中止** にタッチ。
- ・位置情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。



4 希望のドライブルートを選択する。



- ・ ルート探索を開始したいとき  
→ **探索開始** にタッチ。
- ・ 選択したドライブルートを削除したいとき  
→ **消去** → **はい** の順にタッチ。
- ・ すべてのドライブルートを削除したいとき  
→ **全消去** → **はい** の順にタッチ。

ワンポイント

- ・ 本機に保存されている情報は、携帯電話から本機へ送信することに新しい情報に上書きされます。

地点情報を本機へ送信する

最大100件まで地点情報を本機へ送信することができます。

ワンポイント

- ・ 本機に登録、接続された Bluetooth 携帯電話のみ使用することができます。  
(→ 393、394)

**MENU** (画面外) → **情報** → **BTナビ** → **Yahoo! JAPANと連携** → **Yahoo! JAPANと連携画面**

1 **地点情報** にタッチ。



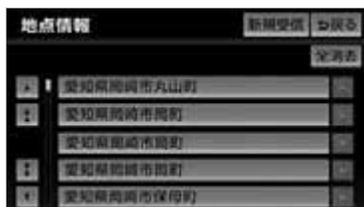
2 **新規受信** にタッチ。

3 携帯電話から情報を送信する。



- ・ 通信を中止したいとき  
→ **中止** にタッチ。
- ・ 位置情報を取得するとメッセージが表示され、リスト画面が表示されます。

4 希望の地点情報を選択。



- ・ 選択した地点の地図が表示されます。  
(→ 110)
- ・ すべての地点情報を削除したいとき  
→ **全消去** → **はい** の順にタッチ。

ワンポイント

- ・ 本機に保存されている情報は、携帯電話から本機へ送信することに新しい情報に上書きされます。

## 走行軌跡情報を携帯電話へ送信する

本機に保存されている走行軌跡の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPAN のサービスで活用することができます。

- ・ 走行軌跡とは、目的地を設定して走行したルートが保存されたものです。最大 5 件、合計 1000km までの軌跡が保存されます。
- ・ 携帯電話へ送信することができる走行軌跡は、地図画面に表示される走行した道路の軌跡 (→ 89) とは異なります。

### チェック

- ・ ハンズフリー (→ 394) に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- ・ 送信セキュリティ設定のデータ送信制限が「する」に設定されている場合、情報を送信することができません。

**MENU** (画面外) → **情報** → **BT ナビ** → **Yahoo! JAPAN と連携** → Yahoo! JAPAN と連携画面

## 1 **走行軌跡を送信** にタッチ。



## 2 希望の走行軌跡を選択する。



- ・ すべての走行軌跡を削除したいとき  
→ **全消去** → **はい** の順にタッチ。

### ワンポイント

- ・ リストに表示される走行軌跡の名称は、設定した目的地の名称です。

## 3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

- ・ 携帯電話の操作は、走行軌跡を送信画面が表示されているときに行います。

## 4 **送信** にタッチ。

- ・ 通信を中止したいとき  
→ **中止** にタッチ。
- ・ 送信が完了するとメッセージが表示されます。

## メモリ地点を携帯電話へ送信する

本機に保存されているメモリ地点の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPAN のサービスで活用することができます。

### チェック

- ・ハンズフリー (→ 394) に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- ・送信セキュリティ設定のデータ送信制限が「する」に設定されている場合、情報を送信することができません。

MENU (画面外) → 情報 → BTナビ → Yahoo! JAPAN と連携 → Yahoo! JAPAN と連携画面

## 1 **メモリ地点を送信** にタッチ。



## 2 希望のメモリ地点を選択し、**決定** にタッチ。



- ・複数のメモリ地点を同時に送信したいとき  
→ 送信するメモリ地点全てにタッチ。
- ・選択を解除したいとき  
→ 選択済みのメモリ地点にタッチ。

### ワンポイント

- ・メモリ地点のリストは並べ替えることができます。(→ 149)

## 3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

- ・携帯電話の操作は、メモリ地点を送信画面が表示されているときに行います。

## 4 **送信** にタッチ。

- ・通信を中止したいとき  
→ **中止** にタッチ。
- ・送信が完了するとメッセージが表示されます。

## 目的地履歴を携帯電話へ送信する

本機に保存されている目的地履歴の情報を携帯電話へ送信し、Yahoo! JAPANのサービスで活用することができます。

### チェック

- ・ハンズフリー（→394）に接続中の携帯電話のみ使用することができます。
- ・送信セキュリティ設定のデータ送信制限が「する」に設定されている場合、情報を送信することができません。

**MENU** (画面外) → **情報** → **BT ナビ** → **Yahoo! JAPANと連携** → Yahoo! JAPANと連携画面

## 1 **目的地履歴を送信** にタッチ。



## 2 希望の目的地履歴を選択し、**決定** にタッチ。



- ・複数の目的地履歴を同時に送信したいとき  
→送信する目的地履歴全てにタッチ。
- ・選択を解除したいとき  
→選択済みの目的地履歴にタッチ。

## 3 携帯電話を操作して、データ受信ができる状態にする。

- ・携帯電話の操作は、目的地履歴を送信画面が表示されているときに行います。

## 4 **送信** にタッチ。

- ・通信を中止したいとき  
→**中止** にタッチ。
- ・送信が完了するとメッセージが表示されます。



スマートフォンを使用して、地図の操作や、目的地の設定、オーディオ操作をすることができます。本機能を使用するためには、NaviCon または smart nAVVi Link をスマートフォンにダウンロードする必要があります。スマートフォンの設定や利用方法については、「App Store」または「Google Play」のヘルプをご覧ください。

本機に接続するスマートフォンの対応 Bluetooth 仕様および対応プロファイルについては、「本機で使用できるメディア／データについて」(→ 456) をご覧ください。



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号は、各所有権者が所有する財産です。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

### 警告

- ・ 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

### 注意

- ・ スマートフォンは車室内に放置しないでください。(炎天下など、車室内が高温となる場合があります)
- ・ スマートフォンを本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、接続状態が悪化することがあります。

### ワンポイント

- ・ スマートフォンナビ連携機能を使用するためには、スマートフォンを本機に登録する必要があります。(→ 217)
- ・ 一部機能については走行中の操作はできません。
- ・ 接続対応スマートフォンについては、ECLIPSE のホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご確認ください。
- ・ iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.



- ・ "Made for iPhone," mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPhone may affect wireless performance.

## Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。想定干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

### ワンポイント

- ・ 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- ・ 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

## スマートフォンを登録する

スマートフォンナビ連携を使用するためには、まず次の手順で本機に登録することが必要です。

- ・ Bluetooth 対応機器は、本機に最大 5 台まで登録することができます。
- ・ スマートフォン側の操作については、スマートフォンに添付の取扱説明書をご覧ください。
- ・ スマートフォンを Bluetooth オーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。（→ 343）

MENU (画面外) → **設定・編集** → Bluetooth → 設定・編集画面

### 1 **機器登録** にタッチ。



### 2 **登録** にタッチ。

- 複数のスマートフォンを使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

### 3 Bluetooth 接続画面に表示される案内にしたがって、スマートフォン本体を操作する。



- スマートフォン側の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。

・ 中止するとき → **[中止]** にタッチ。

#### 4 接続が完了したとき

→ メッセージが表示され、スマートフォンの登録が完了する。

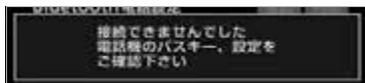
- 複数のスマートフォンを使用する場合は、スマートフォンの数だけ登録を繰り返します。
- スマートフォン連携機器登録確認のメッセージが表示されます。
  - ・ 登録するとき → **[はい]** にタッチ。
  - ・ 登録しないとき → **[いいえ]** にタッチ。
- スマートフォン連携の有効確認メッセージが表示されます。
  - ・ 有効にするとき → **[はい]** にタッチ。
  - ・ 有効にしないとき → **[いいえ]** にタッチ。
  - ・ **[はい]** にタッチしたときは、スマートフォン連携が利用できるようになります。この場合、DS モードは利用できません。

#### 知識

- ・ スマートフォンによっては、パスキーの入力が必要になります。
- ・ パスキーとは、スマートフォンを本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(→ 419)
- ・ スマートフォンの登録をすると、一番新しく登録したスマートフォンが本機で使用するスマートフォンとして選択されます。
- ・ スマートフォンの設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。スマートフォンのオートロック機能を解除してご使用ください。
- ・ Bluetooth オーディオ再生中にスマートフォンを登録する場合、Bluetooth オーディオの音声途切れることがあります。
- ・ 登録時、スマートフォン側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。その場合、スマートフォン側から Bluetooth の接続を行ってください。

#### ■ 接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



## スマートフォンを接続する

スマートフォンナビ連携（→220）を有効に設定していると、自動でBluetooth接続できます。エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしてからACCまたはONにするたびに選択されているスマートフォンと本機を自動的にBluetooth接続します。

### ワンポイント

- ・スマートフォンの機種によっては自動接続ができないことがあります。
- ・接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCまたはONにした後、初めてスマートフォンをBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されません。

## ■自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。その間に接続できなかった場合は、手動で接続します。

**MENU**（画面外）→ **設定・編集** →  
**Bluetooth** → 設定・編集画面

- 1 **スマートフォン連携接続** にタッチ。



- 2 使用するスマートフォンにタッチ。
- 3 Bluetooth接続画面が表示される案内にしたがってスマートフォン本体を操作する。



## スマートフォンナビ連携を利用する

スマートフォンナビ連携機能が利用できるように設定します。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → 設定・編集画面

### 1 **スマートフォン連携** にタッチ。

- スマートフォン連携の有効確認メッセージが表示されます。
  - ・ 有効にするとき → **はい** にタッチ。
  - ・ 有効にしないとき → **いいえ** にタッチ。
  - ・ **はい** にタッチしたときは、スマートフォンが利用できるようになります。この場合、DS モードは利用できません。
- スマートフォンナビ連携を有効にすると、メッセージが表示されます。**はい** にタッチすると、スマートフォンナビ連携が利用できます。この場合、DS モードは使用できなくなります。

## 使用するスマートフォンを選択する

スマートフォンの登録をすると、一番新しく登録したスマートフォンが本機で使用するスマートフォンとして選択されます。複数のスマートフォンを使用するときは、必要に応じてスマートフォンを選択します。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → 設定・編集画面

### 1 **スマートフォン連携接続** にタッチ。



### 2 使用するスマートフォンにタッチ。



Bluetooth マーク  
作動表示灯

- 選択中のスマートフォンは、作動表示灯が点灯します。
- Bluetooth 接続中のスマートフォンは、Bluetooth マークが表示されます。
- 他の Bluetooth 機器が接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ **はい** にタッチします。
- 接続完了のメッセージが表示されたら、スマートフォンナビ連携が使用できます。

### ワンポイント

- ・ 携帯電話や DS など他の Bluetooth 機器を2台接続している場合、スマートフォンを追加で接続することができません。接続できない場合は、一度他の Bluetooth 機器を切断してから、再度接続操作を行ってください。

## スマートフォン連携の接続確認案内を設定する

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にして、スマートフォンと自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を画面上部に表示する／しないを設定することができます。



**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** → Bluetooth 詳細設定画面

- 1 スマートフォン連携の接続確認案内の **する** にタッチ。  
・ 解除するとき → **しない** にタッチ。

## スマートフォン機器情報を表示する

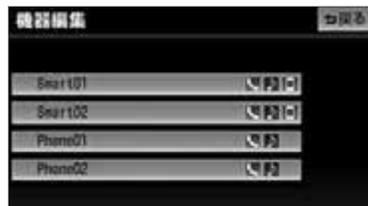
機器登録から本機に登録されているスマートフォンに関する情報の表示と設定をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

<b>機器名称</b>
本機に表示されるスマートフォンの名称です。任意の名称に変更することができます。
<b>機器アドレス</b>
機器固有のアドレスで、変更することはできません。
<b>自局電話番号</b>
スマートフォンの電話番号です。
<b>対応プロファイル</b>
スマートフォンで対応しているプロファイルで、変更することはできません。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → **機器登録** → 機器登録画面

- 1 **編集** にタッチ。
- 2 情報を表示したいスマートフォンにタッチ。



- 3 各項目を確認する。  
・ 次の操作を行うことができます。  
・ 機器名称の変更 (→ 222)



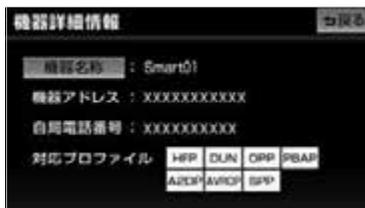
## スマートフォン機器の名称を変更する

本機に表示されるスマートフォンの名称を、任意の名称に変更することができます。

- ・本機で機器名称を変更しても、スマートフォンに登録されている機器名称は変更されません。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **機器登録** → **編集** →  
**名称変更したいスマートフォン** →  
 機器詳細情報画面

### 1 **機器名称** にタッチ。



### 2 名称を入力する。

- ・文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→40)をご覧ください。

### 3 **完了** にタッチ。

## スマートフォン機器の登録を削除する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **機器登録** → 機器登録画面

### 1 **削除** にタッチ。

- ・スマートフォンの詳細情報を確認するとき  
→ **編集** にタッチ。(→221)

### 2 削除したいスマートフォンを選択し、**削除** にタッチ。

### 3 **完了** にタッチ。

#### ■データ通信中の場合

データ通信中にスマートフォンの登録を削除すると、メッセージが表示されません。

- ・通信を終了するとき  
→ **はい** にタッチ。
- ・通信を継続するとき  
→ **いいえ** にタッチ。
- ・**いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度 **2** からやり直します。



## NaviCon アプリを起動する

### 警告

- ・ 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

- 1 スマートフォンを操作して、NaviCon アプリを起動する。



- NaviCon が起動し、本機との接続が完了すると、接続インジケータが「オンライン」と表示されるとともに、スマートフォンと本機の画面上に同じ位置の地図が表示されます。(ナビ画面の状態によって地図表示がされない場合があります。)

### ワンポイント

- ・ NaviCon 起動時の操作方法は、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

NaviCon アプリは以下からダウンロードできます。

<http://www.denso.co.jp/ja/products/aftermarket/info/navicon/index.html>



本アプリは、株式会社デンソーが提供します。

## smart nAVVi Link アプリを起動する

### 警告

- ・ 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

- 1 スマートフォンを操作して、smart nAVVi Link を起動する。



- smart nAVVi Link が起動し、本機との接続が完了すると、接続インジケータが「オンライン」と表示されます。

### ワンポイント

- ・ smart nAVVi Link 起動時の操作方法は、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

smart nAVVi Link アプリは以下からダウンロードできます。

<http://smarnavilink.com/>



本アプリは、アイシン・エイ・ダブルユ株式会社が提供します。



## アプリ連携

### アプリ連携について

#### スマートフォンナビ連携の操作について

スマートフォンを操作することによって、本機の下記操作を行うことができます。

- ・ 地図のスクロール (NaviCon)
- ・ 地図の縮尺変更 (NaviCon)
- ・ 目的地の設定 (共通)
- ・ オーディオ操作 (smart nAVVi Link)

#### 警告

- ・ 安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

#### ワンポイント

- ・ 同乗者がスマートフォンを操作する場合、スマートフォンナビ連携 (→ 219) を利用していると、走行中に専用のアプリケーションを操作することはできません。
- ・ ナビ画面の状態によっては、スマートフォンアプリと連携して動作しない場合があります。(地図表示中でない場合など)
- ・ スマートフォンの地図操作やアプリケーションの操作については、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。
- ・ スマートフォンアプリ単体に関するお問い合わせについては、各アプリ内のお問い合わせフォームからお尋ねください。

#### アプリ連携のご紹介

アプリ連携機能とは、対応の iPhone にアプリをインストールすることで、アプリを使って本機と iPhone を連携させることができる機能です。

各アプリの詳細は、以下のサイトをご確認ください。

- パソコンから確認する場合：  
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/pc/manual/index.html>
- iPhone から確認する場合：  
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/smapho/manual/index.html>



#### 対応している iPhone について

対応の iPhone 機種や OS バージョンについては、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご確認ください。



## アプリ画面を表示する

### チェック

- ・事前に「App Store」にて対応アプリをiPhoneにインストールしてください。

- 1 本機とiPhoneを接続。
  - 「iPodを接続する」(→325)を参照してください。
- 2 iPhoneでアプリを起動する。
  - 対応アプリを、最前面に表示してください。
- 3 **MENU**(画面外)を押す。
- 4  にタッチ。



- 使用するアプリによっては、全画面または2画面で表示されます。
- 対応機器が接続されていない場合は、お知らせ画面が表示されます。

### ワンポイント

- ・アプリ画面を終了する場合、**現在地**(画面外)を押します。
- ・2画面で表示されている場合、本機側での操作はできません。
- ・本機側での操作は、シングルタッチのみ対応しています。下記のような操作はできません。
  - ・フリック／ドラッグ操作
  - ・マルチタッチ操作
  - ・ダブルタップ
- ・アプリの切り替えは、iPhone側で行います。
- ・iPhone側で操作する時は、安全な場所に停車してから行ってください。

## アプリ連携案内音声を設定する

アプリ連携機能の使い方の案内を音声で確認する場合、車内のスピーカーをとおして聞こえるようにする・しないの設定をすることができます。

**MENU**(画面外) → **設定・編集** → **ナビ詳細設定** → **音声設定** → ナビ詳細設定画面

- 1 アプリ連携案内音声の **する** または **しない** にタッチし、**完了** にタッチ。



## 地図を更新する

### 差分更新（マップオンデマンド）と全更新について

地図データの更新には、「差分更新（マップオンデマンド）」と「全更新」があります。

#### <差分更新（マップオンデマンド）について>

差分更新はインターネットと地図 SD カードを使用して、部分的に地図データを更新する方法です。本機を購入後 3 年間は、インターネットにかかる実費を除いて更新にかかる費用は無料です。4 年目以降は、最新版地図ソフトを購入して全更新をすることで、さらに 2 年間サービスを利用することができます。

#### <全更新について>

全更新は、最新版地図ソフトを使用して、全国の地図データを更新する方法です。最新版地図ソフトは、販売店で購入することができます。全更新については、お買い上げの販売店にご相談ください。

### 差分更新の対象について

差分更新（マップオンデマンド）では、全都道府県の差分地図データを更新します。（全国の高速道路、有料道路施設、著名な施設（3D ランドマーク相当）も同時に更新されます。）

※市街図、音声案内データについては、更新対象外です。

### 更新方法と費用について

#### ■更新方法について

マップオンデマンドダウンロードサイト (<http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx>) より、地図データをダウンロードし、地図 SD カードに書き込みます。

1 回の更新で、全都道府県の地図データを更新することができます。

※差分更新をするには、専用のアプリケーションソフトをパソコンにインストールする必要があります。（→227）

#### ■費用とサービス期間について

本機を購入後、3 年間サービスを利用することができます。4 年目以降は、最新版地図ソフトを購入して全更新をすることで、さらに 2 年間サービスを利用することができます。

#### ■差分更新の手順について

地図データの差分更新は、以下の手順で行ってください。

- 1 地図 SD カードを本機から取り出す。（→34）
- 2 パソコンに専用アプリケーションソフト（製品同梱）をインストールする。（→227）
- 3 マップオンデマンドダウンロードサイト (<http://g-book.com/mapondemand/Top.aspx>) から地図データをパソコンにダウンロードする。
- 4 インストールした専用アプリケーションソフトを使って、地図データを地図 SD カードに書き込む。



## 5 地図 SD カードを本機へ挿入する。 (→ 32)

### ワンポイント

- ・ マップオンデマンドは、G-BOOK でおなじみの、カーナビゲーション用地図更新サービスです。
- ・ G-BOOK はトヨタ自動車株式会社が開発し、トヨタメディアサービス株式会社が運営するテレマティクスサービスです。
- ・ 全国の高速道路、有料道路、主要国道、道路、施設情報が更新対象となります。
- ・ 施設情報のうち、更新対象となるのは、立体ランドマーク相当の著名な施設に限られます。(コンビニやガソリンスタンドなどの一般施設は対象となりません)
- ・ 差分更新 (マップオンデマンド) をご利用いただくためには、パソコンでインターネットに接続が可能な環境が必要です。上記環境にないお客様につきましては、有償で差分更新データの書換サービスを承ります。
- ・ 地図更新終了日の日付の確認  
差分更新 (マップオンデマンド) は、本機を購入後 3 年間 (更新版地図ソフトをご購入いただいた場合はさらに 2 年間) をご利用いただけます。また、有償書換サービスの受付も上記期間に準じます。サービスのお申し込みには「地図更新終了日の日付」の情報が必要になりますので、本機にて「地図更新終了日の日付」をあらかじめご確認ください。(→ 183)
- ・ 有償書換サービスのお問い合わせ  
有償書換サービスに関しましては、弊社お客様相談窓口までお問い合わせください。

富士通テン株式会社  
「お客様相談窓口」



フリーダイヤル 0120-022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前10:00～12:00、午後1:00～5:00(土・日・祝日などを除く)

## 専用のアプリケーションソフトについて

専用のアプリケーションソフトをパソコンにインストールすることで、地図データの差分更新のほかに、地図リカバリー (出荷状態に戻すこと) や、本機のプログラムおよび使用中の専用アプリケーションソフトのバージョンアップ\*などができます。

\*サーバーからダウンロードします。

## 専用のアプリケーションソフトの動作環境

### <動作環境>

- OS …  
Microsoft WindowsXP(Home/Professional) / Microsoft Windows Vista(32bit/64bit) / Microsoft Windows 7(32bit/64bit)
- メモリ… 256MB 以上(OS が規定している容量以上)
- HDD… 1 ユーザーあたり約 18GB 以上の空き容量 (最大 10 ユーザーまで登録可能)

### <必要なもの>

- SDHCメモリーカードリーダー/ライター
- 地図 SD カード (製品同梱)
- DVD-ROM ドライブ
- インターネット接続可能な環境
- GAZOO の ID とパスワード\*

\*GAZOO ホームページから取得してください。(無料)

## 専用のアプリケーションソフトをインストールする

### チェック

- ・ インストールを行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてください。
- ・ インストールを実行する前に、すべてのWindows プログラムを終了してください。
- ・ 掲載している Windows の画面は、Windows XP の画面を使用しています。操作説明に使用している画面は実際の画面と異なることがあります。また、お客様が使用されている OS やアプリケーションソフトのバージョンによっても画面が異なることがあります。

※Microsoft、Windows、Windows Media は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標および商標です。

- ・ ご利用には GAZOO の ID とパスワードが必要です。GAZOO ホームページから登録して、ID とパスワードを取得してください。(無料)

### 1 専用のアプリケーションソフトのディスクを挿入する。

- ディスクを挿入しても自動的にインストールが開始されない場合は、専用のアプリケーションソフトのディスクが挿入されている DVD ドライブを選択し、「setup.exe」を実行します。
- 既に最新バージョンの専用のアプリケーションソフトがインストールされているときは、ダイアログが表示されます。「OK」をクリックするとインストールを終了します。

### 2 **次へ** をクリック。



### 3 利用規約の内容を確認したあと、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックし、**次へ** をクリック。



### 4 インストール先を選択し、**次へ** をクリック。



### 5 ショートカット作成場所をチェックして、**次へ** をクリック。



### 6 **完了** をクリック。



## 7 OK をクリック。



## 8 OK をクリック。



### ワンポイント

- ・ 最新版地図ソフトをご購入されたお客様は、同梱の専用のアプリケーションソフトのディスクを使って再度インストールを行ってください。

### 専用のアプリケーションソフトについて

専用のアプリケーションソフトの使い方については、画面のヘルプを参照してください。

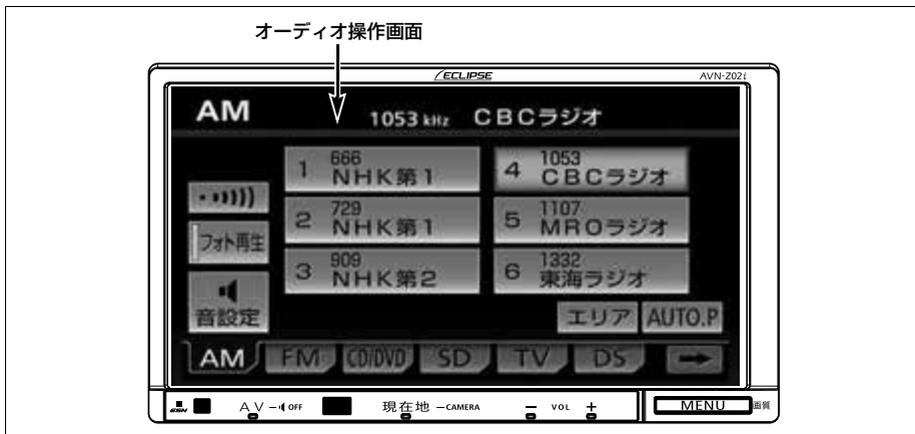
### ワンポイント

- ・ Windows Vista をご使用のお客様は、管理者権限を持つユーザーとしてログオンし、専用のアプリケーションソフトを使用してください。

# はじめに

## 基本操作

エンジンスイッチが ACC または ON のとき使用できます。



### オーディオの ON・OFF

1 **AV**(画面外) を 1 秒以上押し続ける。

- スイッチを押すごとに、オーディオの ON と OFF が切り替わります。

#### ワンポイント

- ・ オーディオを聞いているときに、車内または車の近くでデジタル式携帯電話を使用した場合、オーディオのスピーカーからノイズ(雑音)が聞こえることがありますが、故障ではありません。

### 音量を調整する

1 音量調整スイッチを押す。

- 大きくするとき → **+** (画面外) を押す。
- 小さくするとき → **-** (画面外) を押す。

### ワンポイント

- ・ 安全運転に支障がないように適度な音量でお聞きください。
- ・ 調整レベルは 0 ~ 80 です。
- ・ ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- ・ ソースを DVD プレーヤーや AUX、VTR、Bluetooth オーディオに切り替えたときに音量を調整すると、各ソースの音量レベルとして記憶させることができます。調整した音量レベルは、他のソースでは反映されません。

## 操作画面を表示する

オーディオやテレビの操作は、おもに操作画面を表示させて行います。

### 1 AV(画面外) を押す。

- 選択されているモードの操作画面が表示されます。

#### ワンポイント

- ・ 操作画面を表示したとき、約 20 秒以上操作しないと自動的に操作画面を表示する前の画面に戻りますが、自動的に画面が切り替わらないように設定することもできます。(→ 51)

## ソースの切り替え

#### チェック

- ・ ハンズフリー通話中は、ソースを切り替えることができません。

### 1 AV(画面外) を押す。

### 2 希望のソースを選択する。



- **AM** …… AM ラジオを受信する
- **FM** …… FM ラジオを受信する
- **CD/DVD** …… CD または DVD を再生する
- **SD**
  - …… 音楽用 SD メモリーカードの音楽ファイルを再生する
  - …… 本機で録音した音楽を再生する

- **TV** …… デジタルテレビを受信する
- **BT** …… Bluetooth ポータブルオーディオプレーヤーを再生する
- **AUX** …… ポータブルオーディオ機器の音楽を再生する
- **USB** …… USB メモリを再生する
- **iPod** …… iPod を再生する
- **VTR** …… VTR 機器の映像を見る
- **DS** …… DS モードを使用する

#### ワンポイント

- ・ 別売のシステムアップ製品やアクセサリの取り付けについては、販売店にご相談ください。
- ・ 次のようなときは、スイッチを操作しても選択することができません。
  - ・ メディアが挿入されていないとき (DVD プレーヤーモード、SD メモリーカードモード)
  - ・ USB メモリが「USB 接続コード」に接続されていないとき (USB モード)
  - ・ iPod が「iPod 接続コード」に接続されていないとき
- ・ **iPod** は別売の「iPod 接続コード」に iPod を接続した場合、表示されます。

## オーディオの情報を見る

ナビゲーション画面を表示したまま、聞いている曲名やアーティスト名、受信している放送局名などの情報を表示することができます。

地図表示中

- 1 **Info** にタッチ。

## 音の設定をする

- 1 **AV** (画面外) を押す。
- 2 **音設定** にタッチ。



- 3 各項目を設定する。

- 各項目については次のページをご覧ください。

項目	ページ
イコライザの設定	パラメトリックイコライザの設定 (P.EQ) 232
音場の設定	SFC (音場) の設定 234
音量バランスの設定	ダイレクトポジションの設定 236
	車種の設定 236
	FADER BALANCE の設定 236

項目	ページ
音質の詳細設定	HARMONIZER の設定 237
	E-EVOLUTION の設定 238
	LOUDNESS の設定 238
サブウーファの設定	出力方式の設定 239
	位相の切り替え 239
	サブウーファレベルの設定 240
	X-OVER (クロスオーバー) の設定 240

## パラメトリックイコライザの設定 (P.EQ)

車室内では音が乱反射し、周波数特性に特定の高低差が生まれます。パラメトリックイコライザは、中心周波数のポジションやレベル、カーブの緩急を微細に設定することができます。

各オーディオ操作画面 (→ 231) →

**音設定** → SOUND 画面

- 1 **EQ** にタッチ。
- 2 イコライザを設定する。



- イコライザカーブを選択するとき  
→「イコライザカーブの選択」(→ 233)
- イコライザカーブを調整するとき  
→「イコライザカーブの調整」(→ 233)

3 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

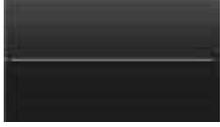
### ■イコライザカーブの選択

保存しておいたイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定することができます。

1 **EQ1** ~ **EQ5** のいずれかにタッチ。

- 選択された音質モードのイコライザカーブが表示されます。
- 音質補正をしない場合、**FLAT** にタッチします。

スイッチ	イコライザカーブ
<b>EQ1</b>	 高域を強調したパターン
<b>EQ2</b>	 低域高域を強調したパターン
<b>EQ3</b>	 低域を強調したパターン

スイッチ	イコライザカーブ
<b>EQ4</b>	 低域高域を少し強調したパターン
<b>EQ5</b>	 ボーカル帯域を強調したパターン
<b>FLAT</b>	 EQ 補正なし

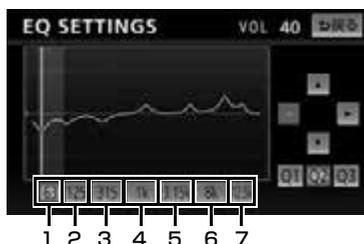


### ■イコライザカーブの調整

イコライザカーブの中心周波数、レベル、Q カーブ（帯域幅）をそれぞれ任意に調整することができます。

**SETTINGS** → EQ SETTINGS 画面

1 調整したいバンドの周波数にタッチ。



- ◀ または ▶ にタッチして、各バンドの中心周波数を変更します。

▶ : 中心周波数を高くする。

◀ : 中心周波数を低くする。

バンド	中心周波数 (Hz)
1	63 ↔ 80 ↔ 100
2	125 ↔ 160 ↔ 200
3	250 ↔ 315 ↔ 400 ↔ 500
4	630 ↔ 800 ↔ 1k ↔ 1.25k
5	1.6k ↔ 2k ↔ 2.5k ↔ 3.15k
6	4k ↔ 5k ↔ 6.3k ↔ 8k
7	10k ↔ 12.5k ↔ 16k

- 2 ▲ または ▼ にタッチして、レベルを調整する。

● ▲ : レベルを上げる。

● ▼ : レベルを下げる。

- 3 [Q1] ~ [Q3] にタッチして、Qカーブを調整する。

● [Q1] : Qカーブ (帯域幅) を広くする。

● [Q2] : [Q1] と [Q3] の中間のQカーブ (帯域幅) にする。

● [Q3] : Qカーブ (帯域幅) を狭くする。

- 4 各バンドごとに、手順 1 ~ 3 の操作を繰り返す。

- 5 設定が終わったら、[戻る] にタッチ。

● 調整したイコライザカーブを記憶するとき  
→ [EQ1] ~ [EQ5] のいずれかに “ピー” と音がするまでタッチし続ける。

## ワンポイント

- ・ 周波数レベルは -10 ~ +10 の 21 段階です。
- ・ 隣りあうバンドの中心周波数の値が近い場合、周波数レベルが -10 ~ +10 の範囲を超えた値になることがあります。
- ・ 外部入力機器 (iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR 機器など) を接続する場合、外部入力機器の EQ 設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ 設定レベルを低くしてください。

## ■イコライザカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザの調整値をメーカー調整値 (初期値) にもどすことができます。

- 1 [FLAT] を “ピーツ” と音がするまでタッチ。

● 記憶した [EQ1] ~ [EQ5] の調整値が初期値にリセットされます。

- 2 設定が終わったら、[戻る] にタッチ。

## ■SFC (音場) の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現することができます。

## チェック

- ・ SFC (音場) レベルを調整中に、別の SFC (音場) モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

各オーディオ操作画面 (→ 231) →

[音設定] → SOUND 画面

- 1 [SFC] にタッチ。



- 2 各タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。



スイッチ	音場モードの種類
<b>CONCERT</b>	コンサートホール
<b>LIVE</b>	ライブハウス
<b>CATHEDRAL</b>	残響音の多い教会
<b>STADIUM</b>	野外スタジアム
<b>CLUB</b>	ディスコ、クラブ
<b>OFF</b>	SFC OFF

- SFC (音場) の調整、記憶をするとき  
→「SFC (音場) の調整、記憶」(→ 235)
- SFC (音場) レベルをリセットするとき  
→「SFC (音場) レベルをリセットする」(→ 235)

- 3 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

#### ■SFC (音場) の調整、記憶

あらかじめ設定されている各 SFC (音場) モードをお好みのレベルに調整、記憶することができます。

- 1 お好みの音場モードで、**▲**、または **▼** にタッチ。

- 2 調整した音場モードを "ピーツ" と音がするまでタッチ。



- 3 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

#### 📖ワンポイント

- ・調整レベルは -5 ~ +5 の 11 段階です。

#### ■SFC (音場) レベルをリセットする

現在、記憶されている SFC (音場) レベルをメーカー調整値 (初期値) にもどすことができます。

- 1 **OFF** を "ピーツ" と音がするまでタッチ。

- 音場レベルが初期値にリセットされます。

- 2 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

#### 音量バランス (POSITION) の調整

前後左右の音量バランスの調整をすることができます。

各オーディオ操作画面 (→ 231) → **音設定** → SOUND 画面

#### 🔍チェック

- ・ POSITION (ポジショニングセレクター) は、FADER BALANCE (音量バランス) と同時に設定できません。

- 1 **POSITION** にタッチ。



## 2 音量バランスの各項目を調整する。



- ダイレクトポジションの設定をするとき  
→「ダイレクトポジションの設定」  
(→ 236)
- 車種の設定をするとき  
→「車種の設定」(→ 236)
- FADER BALANCE の設定をするとき  
→「FADER BALANCE の設定」(→ 236)

## 3 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

### ■ダイレクトポジションの設定

- 1 右座席、左座席、後席のいずれかにタッチして音場の中心を設定。
  - 右座席と左座席は同時に選択することができません。
  - OFF** にタッチすると、設定を解除します。

## 2 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

### ■車種の設定

車種設定をすると、車種ごとに異なる音場の歪み、スピーカーの周波数特性や音が届く時間を補正して最適な音響空間を創り出します。

- 1 ダイレクトポジションの設定をする。(→ 236)

## 2 **CAR TYPE** にタッチ。

## 3 車種およびツイーターの有無を設定。

定。



- ツイーター有りの場合は **YES**、無しの場合は **NO** に設定してください。

タッチスイッチ	モードの種類
<b>COMPACT</b>	コンパクト車
<b>SEDAN</b>	セダン
<b>WAGON</b>	ワゴン車
<b>MINI VAN S</b>	小さいミニバン
<b>MINI VAN L</b>	大きいミニバン
<b>SUV</b>	スポーツ・ユーティリティ・ビークル
<b>SMALL</b>	軽自動車
<b>OTHER</b>	その他

## 4 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

### ■FADER BALANCE の設定

#### 🔍 チェック

- ・FADER BALANCE (音量バランス) は、POSITION (ポジショニングセレクター) と同時に設定できません。

**FADER BALANCE** →  
FADER BALANCE 画面

## 1 音場の中心にしたいポイントにタッチ。



- ▲、▼、◀、▶ にタッチすると、ポイントを微調整することができます。
- ▲、▼、◀、▶ にタッチし続けると、連続的に変化しますが、センター値で停止します。再度、タッチすると微調整することができます。
- **CENTER** にタッチすると設定を解除できます。

## 2 設定が終わったら、戻る にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 調整レベルは F (フロント) 側、R (リヤ) 側、L (左) 側、R (右) 側各 15 段階です。

## 音質の詳細設定

各オーディオ操作画面 (→ 231) → **音設定** → SOUND 画面

## 1 DETAILS にタッチ。

## 2 各種設定をする。



- HARMONIZER の設定をするとき  
→「HARMONIZER の設定」(→ 237)
- E-EVOLUTION の設定をするとき  
→「E-EVOLUTION の設定」(→ 238)
- LOUDNESS の設定をするとき  
→「LOUDNESS の設定」(→ 238)

## 3 設定が終わったら、戻る にタッチ。

### ■HARMONIZER の設定

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動再生する音質補強レベルを設定することで、クリアなサウンドを楽しむことができます。

### チェック

- ・ ハーモナイザー機能は、MP3/WMA 音楽データを再生しているときおよびソースが iPod、USB メモリ、SD メモリーカード、Bluetooth オーディオのときに効果があります。

## 1 HARMONIZER の **LOW**・**Hi**・**OFF** のいずれかにタッチ。



## ■E-EVOLUTION の設定

圧縮された音楽データは、録音の条件により音量レベルが異なることがあります。音楽データの音量レベルを自動的に調整することにより、曲ごとの音量レベルの差を少なくすることができます。E-EVOLUTION は、富士通テン株式会社の商標です。

### チェック

- ・ E-EVOLUTION 機能は、MP3/WMA 音楽データを再生しているとき、およびソースが iPod、USB メモリ、SD メモリーカードのときに効果があります。

### 1 E-EVOLUTION の **[ON]** にタッチ。

- **[OFF]** にタッチすると、E-EVOLUTION の設定は解除されます。



### 2 インジケータの **[ON]**、または **[OFF]** にタッチ。

- **[ON]** に設定している場合、再生している曲の補正レベルをインジケータで表示します。(例：E-VOL+2)
- 補正レベルは -5 ~ +5 の 11 段階です。

インジケータ表示



### 3 VOL LEVEL の **[LOW]**、**[Mid]**、**[Hi]** のいずれかにタッチ。

- VOL LEVEL…  
補正する音量レベルを設定

**[LOW]** < **[Mid]** < **[Hi]**  
音量レベル小 ← ↔ 音量レベル大

### 4 PATTERN の **[1]**、**[2]**、**[3]** のいずれかにタッチ。

- PATTERN…  
補正する音量レベルを設定

**[1]** < **[2]** < **[3]**  
楽曲の音量変化にあわせて素早く補正\*1 ← ↔ 楽曲の音量変化にあわせて緩やかに補正\*2  
※1 音量変化が小さい曲向け  
※2 音量変化が大きい曲向け

### 5 設定が終わったら、**[戻る]** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ E-EVOLUTION は再生中に音量補正を行うため、楽曲や設定状況により、原曲のイメージと異なる場合があります。必要に応じて設定を調整してください。
- ・ 本機能は曲の出だしで補正レベルを算出します。レベルを算出後は音量レベルを下げる方向に補正します。
- ・ 音源や早送り／早戻しのタイミングによって、補正レベルを継続する場合があります。

## ■LOUDNESS の設定

オーディオを小音量で聞いているときなど、低音・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

### 1 LOUDNESS の **[ON]** または **[OFF]** にタッチ。

## サブウーファの設定

サブウーファを接続する場合は、別売のコードをお買い求めください。

各オーディオ操作画面 (→ 231) → **音設定** → SOUND 画面

- 1 **X-OVER** にタッチ。
- 2 サブウーファの各項目を設定する。



- 出力方式の設定をするとき  
→ 「出力方式の設定」 (→ 239)
- 位相の切り替えをするとき  
→ 「位相の切り替え」 (→ 239)
- サブウーファレベルの設定をするとき  
→ 「サブウーファレベルの設定」 (→ 240)
- X-OVER (クロスオーバー) の設定をするとき  
→ 「X-OVER (クロスオーバー) の設定」 (→ 240)

- 3 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

### ■出力方式の設定

サブウーファの出力方式を設定することができます。接続されているサブウーファの出力方式 (ステレオ、またはモノラル) に合わせてください。

- 1 WOOFER OUTPUT の **STEREO**、または **MONO** にタッチ。



- 2 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。

### ■位相の切り替え

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカーの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車室内条件により打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。

車室内条件に合わせて位相を設定することができます。

- 1 PHASE CONTROL の **NORMAL**、または **REVERSE** にタッチ。
- **NORMAL**: 各スピーカーとサブウーファの出力タイミングを同じにする
  - **REVERSE**: 各スピーカーとサブウーファの出力タイミングをずらす



- 2 設定が終わったら、**戻る** にタッチ。



## ■サブウーファレベルの設定

サブウーファの出力レベルを調整することができます。

### 1 WOOFER LEVEL の ▲、または ▼ にタッチ。



### 2 設定が終わったら、戻る にタッチ。

#### ワンポイント

- ・出力レベルは -6 ~ +6 の 13 段階です。

## ■X-OVER(クロスオーバー)の設定

X-OVER (クロスオーバー) は、フロント/リヤスピーカー (中高域) とサブウーファ (低域) の再生する周波数帯域を分割して、音のつながりを改善することができます。

### 1 FREQUENCY の ◀、または ▶ にタッチして、カットオフ周波数を選択する。

- カットオフ周波数は、63/80/100/125/160/200(Hz) の中から選択できます。



### 2 SLOPE の ◀、または ▶ にタッチして、スロープを選択する。

- スロープは PASS / 6 / 12 / 18 / 24 (dB/oct) の中から選択できます。
- 数値が大きいほど、スロープの傾きが急になり、フロント/リヤスピーカーとサブウーファとの音の混ざりが少なくなります。
- “PASS” に設定すると、効果を得ることができません。
- サブウーファが接続されていないときは、スロープを“PASS” に設定してください。“PASS” 以外に設定すると、低域音が遮断されます。



# ラジオ

## ラジオの操作

ラジオを聞いているときに、**AV** (画面外) を押すと、ラジオ操作画面が表示されます。

・ 本体 (画面外) のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



### ラジオを聞く

- 1 **AV** (画面外) を押す。
- 2 **AM** または **FM** にタッチ。

#### ワンポイント

- ・ ラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物や電車、信号機などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
- ・ 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。
- ・ ラジオアンテナがオートアンテナの場合、強制的にアンテナを下げるができます。詳しくは「ラジオアンテナの設定」(→ 59) を参照してください。

### 放送局を選ぶ

#### プリセットスイッチから選ぶ

ラジオ操作画面表示中 (→ 241)

- 1 希望の放送局が記憶されているプリセットスイッチにタッチ。
  - ・ プリセットスイッチに放送局を記憶させたいときや、記憶されている放送局を変更したいとき  
→ 「放送局を記憶する」 (→ 242)

#### 手動で選ぶ

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▲** または **▼** にタッチ。
  - 周波数を高い方へ選択するとき  
→ **▲** にタッチ。
  - 周波数を低い方へ選択するとき  
→ **▼** にタッチ。



## 自動で選ぶ

受信感度が良く、現在受信している周波数に一番近い周波数を自動で選択します。

1 **MENU** (画面外) を押す。

2 **▲** または **▼** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 周波数を高い方へ選択するとき  
→ **▲** にタッチし続ける。
- 周波数を低い方へ選択するとき  
→ **▼** にタッチし続ける。  
・途中で止めるとき → 再度スイッチにタッチ。

### ワンポイント

- ・地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で選択できないことがあります。

## 放送局を記憶する

プリセットスイッチに周波数をあらかじめ記憶させておくことにより、ワンタッチで選局することができます。

- ・自宅付近などで日頃よくお聞きになる放送局を記憶させておくに便利です。

ラジオ操作画面表示中 (→ 241)

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。(→ 241)

2 記憶させたいプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

## 自動で放送局を記憶する

自動で受信可能な周波数を、一時的にプリセットスイッチに記憶させることができます。

- ・旅先などで放送局の周波数がわからないときなどに便利です。

ラジオ操作画面表示中 (→ 241)

1 **AUTO.P** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 画面に「AUTO.P」の表示が出ます。
- 周波数の記憶操作が終了すると、“ピー”と音がして記憶した中で一番低い周波数を受信します。
- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。  
・解除するとき → 再度 **AUTO.P** にタッチ。

■ **AUTO.P** スwitchで記憶させた周波数を変更するには

1 記憶したい放送局の周波数を選択する。(→ 241)

2 変更したい周波数が記憶されているプリセットスイッチに“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- 記憶された周波数がプリセットスイッチに表示されます。

### ワンポイント

- ・自動で周波数を記憶させても、**AUTO.P** にタッチする前 (「AUTO.P」の表示が出ていないとき) に記憶させた周波数は消去されません。
- ・受信感度の良い周波数を低い順に6局まで自動的に記憶します。受信周波数が6局未満のときは、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

- ・ 地域や車の向きなどの条件により、すべての周波数の受信感度が悪い場合、自動で記憶できないことがあります。
- ・ 同じ放送局からの受信でも、 または  スイッチで選択し、記憶させた周波数と AUTO.P スイッチで記憶させた周波数は一致しないことがあります。
- ・ AUTO.P スイッチによる周波数の記憶操作を同じ場所で繰り返しても、受信感度の状態によっては、操作ごとに記憶される周波数が異なることがあります。
- ・ 受信電波の弱い地域では AUTO.P での自動受信ができないことがあります。

## エリアスイッチについて

あらかじめナビゲーションがエリアごとに記憶している放送局を表示させることができます。(GPS の自車位置情報により、今いる地域で放送されている放送局の局名と周波数がプリセットスイッチに表示されます。)

ラジオ操作画面表示中 (→ 241)

- 1  にタッチ。
  - 画面に「エリア .P」の表示が出ます。
    - ・ 解除するとき → 再度  にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- ・ プリセットスイッチにタッチし続けても、周波数を記憶させることはできません。
- ・ AM 放送の場合、昼画表示 (ライト消灯時) と夜画表示 (ライト点灯時) で、表示される周波数・放送局名が異なることがあります。

## 交通情報放送を受信する

交通情報放送を行っている地域で、あらかじめ記憶されている交通情報放送局を受信することができます。

- 1  にタッチ。
  - 解除するとき →  にタッチ。
  - あらかじめセットされている交通情報局 (1620kHz) を受信します。

## 記憶されている周波数を変更するには

- 1 AM 放送を選択する。(→ 241)
- 2 記憶したい放送局の周波数を選択する。(→ 241)
- 3  に “ピッ” と音がするまでタッチし続ける。

### ワンポイント

- ・ 交通情報を受信中、チューニングスイッチを押しても交通情報局は切り替わりません。

本機で使用できる音楽 CD については、「本機で使用できるメディア／データについて」(→ 456) をご覧ください。

CD を聞いているときに、**AV** (画面外) を押すと、CD 操作画面が表示されます。  
 ・ 本体 (画面外) のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



## CD を聞く

### ■ CD が挿入されていないとき

1 CD を挿入する。(→ 32)

### ■ CD が挿入されているとき

1 **AV** (画面外) を押す。

2 **CD/DVD** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ CD-TEXT や Gracenote 音楽認識サービスなど、タイトルや曲名などが記録されているときは、半角 25 文字、全角 12 文字まで表示されます。収録タイトル文字数の多い CD-TEXT は表示できないことがあります。
- ・ CD-R/RW の CD-TEXT は表示できない場合があります。

- ・ 再生している音楽 CD にタイトルや曲名などが収録されていなくても、地図 SD カードにある Gracenote メディアデータベースに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。
- ・ ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。
- ・ **録音開始** にタッチすると、現在再生中の CD を音楽用 SD メモリーカードに録音します。(→ 279)
- ・ CD を再生したとき、自動的に録音を開始するように設定することもできます。(→ 280)
- ・ 音楽用 SD メモリーカードへ録音中は、地図 SD カードの Gracenote メディアデータベースに収録されている情報のみ表示されます。CD-TEXT は表示されません。

## 聞きたい曲を選ぶ

### メニューバーのスイッチで選ぶ

#### チェック

- 音楽用 SD メモリーカードへ録音中は、録音が完了した曲のみ操作することができません。

- MENU** (画面外) を押す。
- ▶▶** または **◀◀** にタッチ。
  - うしろにあるとき  
→ **▶▶** にタッチ。
  - 前にあるとき  
→ **◀◀** にタッチ。

### リスト画面で選ぶ

CD 操作画面表示中 (→ 244)

- LIST** にタッチ。
- 聞きたい曲にタッチ。



録音済みアイコン

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

## 早送り、早戻しする

#### チェック

- 音楽用 SD メモリーカードへ録音中は、操作することができません。

- MENU** (画面外) を押す。
- ▶▶** または **◀◀** にタッチし続ける。
  - 早送りするとき  
→ **▶▶** にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき  
→ **◀◀** にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

## 同じ曲を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

#### チェック

- 音楽用 SD メモリーカードへ録音中は、操作することができません。

CD 操作画面表示中 (→ 244)

- RPT** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - 解除するとき → 再度 **RPT** にタッチ。



## 曲の順番をランダムに聞く

ランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

### チェック

- ・ 音楽用 SD メモリーカードへ録音中は、操作することができません。

CD 操作画面表示中（→ 244）

### 1 [RAND] にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 解除するとき → 再度 [RAND] にタッチ。

### ワンポイント

- ・ ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

## 曲を探す

全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

### チェック

- ・ 音楽用 SD メモリーカードへ録音中は、操作することができません。

CD 操作画面表示中（→ 244）

### 1 [SCAN] にタッチ。

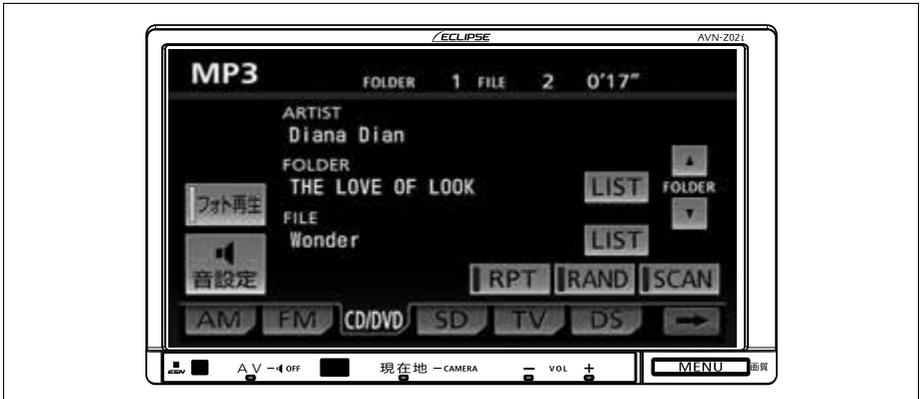
- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 希望の曲になったら、再度 [SCAN] にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

## MP3/WMA ディスクの操作

本機で利用できる MP3/WMA 音楽データについては、「本機で利用できるメディア/データについて」(→ 456) をご覧ください。

MP3/WMA ディスクを聞いているときに、**AV**(画面外) を押すと、MP3/WMA 操作画面が表示されます。

・ 本体 (画面外) のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



### MP3/WMA ディスクを聞く

■ ディスクが挿入されていないとき

1 ディスクを挿入する。(→ 32)

■ ディスクが挿入されているとき

1 **AV** (画面外) を押す。

2 **CD/DVD** にタッチ。

#### ワンポイント

・ ディスク挿入時にディスクの種類を判別しているため、再生までに時間がかかります。

### 聞きたいフォルダを選ぶ

#### 操作画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

- 1 ▲ または ▼ にタッチ。
  - うしろにあるとき
    - ➔ FOLDER の ▲ にタッチ。
  - 前にあるとき
    - ➔ FOLDER の ▼ にタッチ。



## リスト画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

- 1 FOLDER の **LIST** にタッチ。
- 2 聞きたいフォルダにタッチ。



- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

## 聞きたい曲 (ファイル) を選ぶ

## メニューバーのスイッチで選ぶ

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチ。
  - うしろにあるとき  
→ **▶▶** にタッチ。
  - 前にあるとき  
→ **◀◀** にタッチ。

## リスト画面で選ぶ

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

- 1 FILE の **LIST** にタッチ。
- 2 聞きたい曲にタッチ。



- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

## 早送り、早戻しする

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチし続ける。
  - 早送りするとき  
→ **▶▶** にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき  
→ **◀◀** にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

## 同じ曲 (ファイル) を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

- 1 **RPT** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき → 再度 **RPT** にタッチ。



## 同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

1 **[RPT]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 解除するとき → 再度 **[RPT]** にタッチ。

## フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 解除するとき → 再度 **[RAND]** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

## 全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

1 **[RAND]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 解除するとき → 再度 **[RAND]** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

## フォルダの中から曲（ファイル）を探す

選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

1 **[SCAN]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 希望の曲になったら、再度 **[SCAN]** にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。



## フォルダを探す

全フォルダの先頭の曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

MP3/WMA 操作画面表示中 (→ 247)

- 1 **[SCAN]** に “ピー” と音がするまでタッチし続ける。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 希望のフォルダになったら、再度 **[SCAN]** にタッチすると、そのフォルダの再生を続けます。
  - 全フォルダの先頭の曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。



## MP3/WMA について

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

## MP3/WMA の再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初の MP3/WMA ファイルを再生します。

ディスク内のファイルをチェックしている間、音はできません。

ファイルのチェックを早く終わらせるために MP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

### ワンポイント

- ・ MP3/WMA 以外のファイルに ".mp3"/".wma" の拡張子をつけると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに ".mp3"/".wma" の拡張子をつけしないでください。
- ・ CD-RW を消去して使用する場合、完全に消去したことを確認してから使用してください。(消去方法はライティングソフトで異なります。また、クイックおよび高速消去は使用できません。)
- ・ パケットライト記録ディスクには対応していません。(例えば、DirectCDなどで作成したディスクには対応していません。)
- ・ MP3/WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBRのFAST UP/DOWN動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)
- ・ Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

## MP3/WMA ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMA ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にある MP3/WMA ファイル、フォルダを次のように表示します。

- 1 MP3/WMA ファイルを書き込んだ順に表示
- 2 次にフォルダを書き込んだ順に表示



## DVD (DVD-Video、DVD-VR) の操作

本機で使用できる DVD については、「本機で使用できるメディア／データについて」(→ 456) をご覧ください。

### チェック

- ・ エンジンスイッチが ON または ACC で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ DVD をご覧になることができます。(走行中にソースを DVD プレーヤーに切り替えた場合、音声のみになります。)
- ・ DVD のモードによって、使える機能が異なります。

この項目では、DVD ビデオ (ビデオ方式で記録した DVD ± R/RW/R DL 含む) ・ DVD-VR (VR 方式で記録した CPRM 対応 DVD ± R/RW/R DL) の操作方法を説明しています。

DVD を操作する画面には、操作画面と各種切替画面があります。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

- ・ 本体 (画面外) のスイッチは、操作画面や各種切替画面が表示されていないときでも操作することができます。
- ・ 画面のタッチスイッチにタッチしたとき、画面に  が表示されたときは、ディスクがその操作を禁止していることを示していますので、その操作を行うことはできません。

### ワンポイント

- ・ 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。

ディスクを再生しているとき (音声のみを聞いているときを含む) に、**AV** (画面外) を押す、またはディスクの映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

**映像** または映像にタッチすると操作画面が解除されます。



**トップメニュー** ・ **メニュー** ・ **選択** は、DVD ビデオ再生時のみ表示されます。

## ■各種切替画面

操作画面で、**各種切替** にタッチすると表示されます。

**映像** または映像にタッチすると映像を全画面で表示します。

### DVD ビデオ再生時



### DVD-VR 再生時



## DVD を再生する

### ■ディスクが挿入されていないとき

1 ディスクを挿入する。(→ 32)

### ■ディスクが挿入されているとき

1 **AV**(画面外) を押す。

2 **CD/DVD** にタッチ。

ディスクを挿入する、またはディスクが挿入されているときに DVD モードにすると、次のように表示されます。

- ディスク読み込み中の画面が表示され、その後再生をはじめます。

## 📖ワンポイント

- 画面継続表示の設定を **しない** に設定した場合、DVD 操作画面を表示させてから約 20 秒以上操作をしなかったときは、DVD 操作画面は自動解除され、もとの画面に戻ります。また、**する** に設定すると、DVD 操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。(→ 51)
- 別売の後席用モニターを接続した場合、走行中でも後席で DVD をご覧になることができます。

## メニュー画面が表示されたとき

### DVD ビデオ

1 **↓**・**↑**・**←**・**→** にタッチして、メニュー項目を選択し、**決定** にタッチ。

- ディスクによっては、メニュー項目に直接タッチして選択できるものもあります。
- 選択したメニュー項目が再生されます。

### メニュー表示の画面例



- オートスタートの設定 (→ 261) がされているときは、走行を開始すると自動的に再生されます。
- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。(上の画面は一例です。)

## 📖ワンポイント

- ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容に当たって再生を行うため、操作したおりに機能しない場合があります。



## 映像を一時停止する

DVD 操作画面表示中 (→ 252)

- 1  にタッチ。  
・通常再生するとき →  にタッチ。

## 映像を止める

DVD 操作画面表示中 (→ 252)

- 1  にタッチ。  
・通常再生するとき →  にタッチ。

## 早送り、早戻しする

### 操作画面で操作する

DVD 操作画面表示中 (→ 252)

- 1  または  にタッチ。
  - 早送りするとき  
→  にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき  
→  にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

### メニューバーのスイッチで操作する

DVD ビデオ

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2  または  にタッチし続ける。
  - 早送りするとき  
→  にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき  
→  にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

## スロー再生する

DVD 操作画面表示中 (→ 252)

- 1  にタッチ。
- 2  にタッチ。
  - スイッチにタッチしている間、スロー再生されます。

## 静止画を切り替える

DVD-VR

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → 各種切替画面

- 1 **ページ送り** にタッチ。
  - タッチするごとに静止画が切り替わります。

## 見たい場所を選ぶ

### タイトルを選ぶ

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → 各種切替画面

- 1 **サーチ** にタッチ。
- 2 タイトル番号を入力する。



- ・間違えたとき → **修正** にタッチ。

- 3 **完了** にタッチ。

## CHAPTER を選ぶ

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチ。
  - うしろにあるとき
    - **▶▶** にタッチ。
  - 前にあるとき
    - **◀◀** にタッチ。

### 📖 ワンポイント

- ディスクにより、操作できなかつたり、異なる動作をすることがあります。

## プログラム (プレイリスト) を選ぶ

### DVD-VR

### 🔍 チェック

- プレイリストを切り替える場合、再生モードをプレイリストに設定します。(→ 257)

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチし続ける。
  - うしろにあるとき
    - **▶▶** にタッチし続ける。
  - 前にあるとき
    - **◀◀** にタッチし続ける。

### 📖 ワンポイント

- ディスクにより、操作できなかつたり、異なる動作をすることがあります。

## メニュー画面を操作する

### DVD ビデオ

ディスク独自のメニュー項目を操作することができます。

### DVD 操作画面表示中 (→ 252)

- 1 **メニュー** または **トップメニュー** にタッチ。
  - メニュー画面を表示中に、操作スイッチが表示されていないとき
    - **⊗ 選択** にタッチ。
- 2 **↓**・**↑**・**←**・**→** にタッチして、メニュー項目を選択し、**決定** にタッチ。
  - ディスクによっては、メニュー項目に直接タッチして選択できるものもあります。
  - 選択したメニュー項目が再生されます。

### メニュー表示の画面例



- 表示されるメニュー項目や操作方法はディスクによって異なります。再生させているディスクに添付の取扱説明書をご覧ください。(上の画面は一例です。)



## 音声を切り替える

音声が多数収録されているディスクの場合、音声を切り替えることができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → 各種切替画面

1 **音声** にタッチ。

2 **音声切替** にタッチ。

- タッチすることにより、音声言語が切り替わります。



### ワンポイント

- ・ 現在選択中の音声は DVD ビデオ再生時のみ表示されます。

## 字幕を切り替える

字幕が多数収録されているディスクの場合、字幕を切り替えることができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → 各種切替画面

1 **字幕** にタッチ。

2 **字幕切替** にタッチ。

- タッチすることにより、字幕言語が切り替わります。

- ・ **字幕消し** にタッチすると、字幕を表示させないようにすることができます。再び表示するとき

→再度 **字幕消し** にタッチ。



### ワンポイント

- ・ **字幕消し** および現在選択中の音声は DVD ビデオ再生時のみ表示されます。

## アングルを切り替える

DVD ビデオ

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、カメラアングルを切り替えることができます。複数のアングルが収録されているときは、マルチアングルマーク(→260)が表示されます。

DVD 操作画面(→252) → **各種切替** → 各種切替画面

- 1 **アングル** にタッチ。
  - 2 **アングル切替** にタッチ。
- タッチすることにより、アングルが切り替わります。



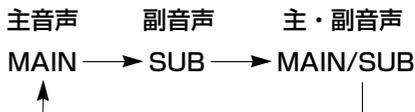
## 音声モードを切り替える

DVD-VR

音声多重で収録されているディスクの場合、主音声 / 副音声を切り替えることができます。

DVD 操作画面(→252) → **各種切替** → 各種切替画面

- 1 **MAIN/SUB** にタッチ。
- タッチすることにより、以下の順に切り替わります。



## 再生モードを切り替える

DVD-VR

ディスク内にプレイリストが作成されているときにプレイリストを再生することができます。

DVD 操作画面(→252) → **各種切替** → 各種切替画面

- 1 **再生モード** にタッチ。
  - 2 **プレイリスト** にタッチ。
- ・ プログラムを再生するとき → **プログラム** にタッチ。



### ワンポイント

- ・ ディスク内にプレイリストがないときは **再生モード** は表示されません。

## ディスクで指定された位置まで戻って見る

### DVD ビデオ

ディスクのあらかじめ決められた位置へ移動し、その位置から再生されます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → 各種切替画面

1 **リターン** にタッチ。

### ワンポイント

・ディスクにより、操作できなかつたり、異なる動作をすることがあります。

## 画面モードを切り替える

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → 各種切替画面

1 **Wide** にタッチ。

2 **Normal** ・ **Wide 1** ・ **Wide 2** のいずれかにタッチ。



3 **完了** にタッチ。

### ワンポイント

・画面の表示については「画面モードについて」(→ 48) をご覧ください。

## プレーヤーの設定をする

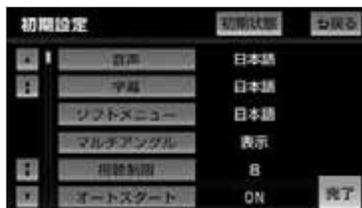
再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → 各種切替画面

1 **DVD 初期設定** にタッチ。

2 各項目を設定する。

### 初期設定画面



●各項目については次のページをご覧ください。

項目	ページ
音声言語の設定*	259
字幕言語の設定*	259
ソフトメニュー言語の設定*	260
マルチアングルマーク表示の設定*	260
視聴制限レベルの設定*	261
オートスタートの設定*	261
映像出力切替	262

\*DVD ビデオのみ

3 設定が終わったら、**完了** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ **初期状態** にタッチすると、視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。(→ 264)

## 音声言語を設定する

### DVD ビデオ

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → **DVD 初期設定** → 初期設定画面

- 1 **音声** にタッチ。
- 2 出力させる音声言語にタッチ。
- **その他** にタッチしたとき  
→「言語コードの入力」(→ 263)



- 3 **完了** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ・ ディスクに優先される音声言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「音声を切り替える」(→ 256) で言語を切り替えてください。

## 字幕言語を設定する

### DVD ビデオ

優先して表示したい字幕の言語を設定することができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → **DVD 初期設定** → 初期設定画面

- 1 **字幕** にタッチ。
- 2 表示させる字幕言語にタッチ。
- **その他** にタッチしたとき  
→「言語コードの入力」(→ 263)



- 3 **完了** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ・ ディスクに優先される字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「字幕を切り替える」(→ 256) で言語を切り替えてください。



## ソフトメニュー言語を設定する

### DVD ビデオ

ディスク独自のメニュー項目に表示される言語を設定することができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → **DVD 初期設定** → 初期設定画面

- 1 **ソフトメニュー** にタッチ。
- 2 表示させるソフトメニュー言語にタッチ。
- **その他** にタッチしたとき  
→ 「言語コードの入力」 (→ 263)



- 3 **完了** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ・ ディスクに優先されるソフトメニュー言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語のメニューに切り替わらない場合があります。

## マルチアングルマーク表示の設定をする

### DVD ビデオ

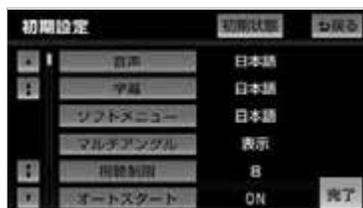
マルチアングル (→ 267) で記憶されているディスクを再生させているときに表示されるマルチアングルマークを「表示」または「非表示」に切り替えることができます。

### チェック

- ・ マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → **DVD 初期設定** → 初期設定画面

- 1 **マルチアングル** にタッチ。
- タッチするたびに **表示** ↔ **非表示** と切り替わります。



## 視聴制限レベルを設定する

### DVD ビデオ

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

### チェック

- ・ 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → **DVD 初期設定** → 初期設定画面

- 1 **視聴制限** にタッチ。
- 2 暗証番号を入力する。



- 暗証番号が未設定のとき (「----」が表示されているとき) は、入力した番号が暗証番号として登録されます。
- ・ 間違えたとき → **修正** にタッチ。

- 3 **完了** にタッチ。
- 4 設定したい視聴制限レベルにタッチ。
- 5 **完了** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**修正** に 10 回タッチすると、初期化 (暗証番号未設定の状態) することができます。
- ・ 視聴制限レベルは大きく 3 種類に分類されます。
  - レベル 1…  
子ども向けの DVD ソフトのみを再生します。(一般向けと成人向けの DVD ソフトの再生を禁止します。)
  - レベル 2～7…  
子ども向けと一般向けの DVD ソフトのみを再生します。(成人向けの DVD ソフトの再生を禁止します。)
  - レベル 8…  
全ての DVD ソフトを再生します。(初期設定)

## オートスタートの設定をする

### DVD ビデオ

メニュー画面表示中に走行を開始したとき、選択されているメニュー項目を自動的に再生するように設定することができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → **DVD 初期設定** → 初期設定画面

- 1 **オートスタート** にタッチ。
- タッチするたびに **ON** ⇄ **OFF** と切り替わります。



## ワンポイント

- ・ ディスクにより自動的に再生することができないことがあります。
- ・ 別売の後席用モニターを接続している場合、走行中にリモコンでディスクメニューを操作するときは、オートスタートを OFF にしてください。
- ・ オートスタートを ON に設定しても次のときは、本編を再生しない場合があります。
  - ・ ディスクの初期設定が「本編再生」や「再生」以外に設定されているとき
  - ・ 走行開始前に、ディスクメニューで「本編再生」や「再生」以外の項目を選択したとき

## 画面サイズを設定する

DVD の再生画面に合わせて画面サイズを切り替えることができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → **DVD 初期設定** → 初期設定画面

1 **映像出力切替** にタッチ。

- タッチするたびに **4:3 (レターボックス)** → **4:3 (パンスキャン)** → **16:9 (ワイド)** と切り替わります。



## 4:3 (レターボックス)

上下両端が黒く表示された映像です。4:3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

## 4:3 (パンスキャン)

左右両端がカットされた映像です。4:3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

## 16:9 (ワイド)

通常のワイドサイズで表示されます。4:3 のサイズで収録された DVD ソフトの場合、左右両端が黒表示、または左右に伸びて表示されます。

## ワンポイント

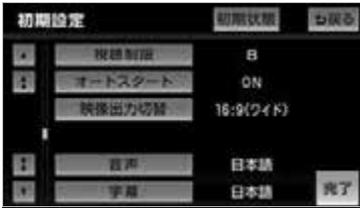
- ・ お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- ・ 後席用モニターなど別のディスプレイを接続した場合、本機 (フロント) で設定した映像出力切替のサイズにより、後席用モニターで表示されるサイズは異なります。

## 言語コードの入力

音声言語・字幕言語・ソフトメニュー言語の初期設定で、**【その他】** にタッチしたときは、言語コードを入力することにより、言語を選択することができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **【各種切替】** → **【DVD 初期設定】** → **【音声】** ( **【字幕】**、**【ソフトメニュー】** ) → **【その他】** → 言語コード入力画面

「字幕言語」のコード入力画面



1 言語コードを入力する。  
・間違えたとき → **【修正】** にタッチ。

2 **【完了】** にタッチ。

## 言語コード一覧

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0520	エストニア語	1214	リンガラ語	1911	スロバック語
0514	英語	0521	バスク語	1215	ラオス語	1912	スロベニア語
0618	フランス語	0601	ペルシア語	1220	リトアニア語	1913	サモア語
0405	ドイツ語	0609	フィンランド語	1222	ラトビア語	1914	ショナ語
0920	イタリア語	0610	フィジー語	1307	マダガスカル語	1915	ソマリ語
0519	スペイン語	0615	フェロー語	1309	マオリ語	1917	アルバニア語
1412	オランダ語	0625	フリジア語	1311	マケドニア語	1918	セルビア語
1821	ロシア語	0701	アイルランド語	1312	マラヤーラム語	1919	シスワティ語
2608	中国語	0704	スコットランドゲール語	1314	モンゴル語	1920	セストゥ語
1115	韓国語	0712	ガルシア語	1315	モルダビア語	1921	スンダ語
0512	ギリシャ語	0714	グアラニ語	1318	マラータ語	1922	スウェーデン語
0101	アフガル語	0721	グジャラート語	1319	マライ語	1923	スワヒリ語
0102	アブバジア語	0801	ハウサ語	1320	マルタ語	2001	タミル語
0106	アフラカンス語	0809	ヒンディー語	1325	ビルマ語	2005	テルグ語
0113	アムハラ語	0818	クロアチア語	1401	ナウル語	2007	タジク語
0118	アラビア語	0821	ハンガリー語	1405	ネパール語	2008	タイ語
0119	アッサム語	0825	アルメニア語	1415	ブルウェー語	2009	チグリス語
0125	アイマラ語	0901	国際語	1503	プロバンス語	2011	ツルキ語
0126	アゼルバイジャン語	0905	Interlingue	1513	オロモ語	2012	タガログ語
0201	バシキール語	0911	イヌピアック語	1518	オリヤー語	2014	セツナ語
0205	ベラルーシ語	0914	インドネシア語	1601	パンジャブ語	2015	トンガ語
0207	ブルガリア語	0919	アイスランド語	1612	ポーランド語	2018	トルコ語
0208	ビハーリー語	0923	ヘブライ語	1619	アフガニスタン語	2019	ツォンガ語
0209	ビスラマ語	1009	イディッシュ語	1620	ポルトガル語	2020	タタル語
0214	ベンガル語	1023	ジャワ語	1721	ケチュア語	2023	トウィ語
0215	チベット語	1101	グルジア語	1813	レートロマン語	2111	ウクライナ語
0218	ブルトン語	1111	カザフ語	1814	キルンディ語	2118	ウルドゥー語
0301	カタロニア語	1112	グリーンランド語	1815	ルーマニア語	2126	ウズベク語
0315	コルシカ語	1113	カンボジア語	1823	キニヤルワンダ語	2209	ベトナム語
0319	チェコ語	1114	カナダ語	1901	サンスクリット語	2215	ボラビュク語
0325	ウェールズ語	1119	カシミール語	1904	シンド語	2315	ウォルフ語
0401	デンマーク語	1121	クルド語	1907	サント語	2408	コーサ語
0426	ブータン語	1125	キルギス語	1908	セルボクロアチア語	2515	ユルバ語
0515	エスperanto語	1201	ラテン語	1909	セイロン語	2621	ズールー語



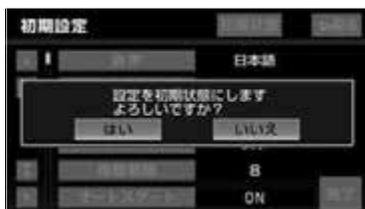
## プレーヤーの設定を初期化する

各項目の設定を初期設定の状態にもどすことができます。

DVD 操作画面 (→ 252) → **各種切替** → **DVD 初期設定** → 初期設定画面

1 **初期状態** にタッチ。

2 **はい** にタッチ。



- ・ 視聴制限以外の項目が初期設定の状態にもどります。

## 知っておいていただきたいこと

### DVD ビデオ再生中の操作について

DVD ビデオはディスクのソフト制作者の意図により、再生状態が決められていることがあります。この DVD プレーヤーでは、ソフト制作者が意図した内容にしたがって再生されるため、操作した通りに機能が働かないことがあります。必ず、再生させるディスクに添付の取扱説明書もあわせてご覧ください。

### DVD ビデオについて

#### 再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

ディスクには、表示させることができるプレーヤーの地域（国）を表す地域番号（次ページ）が表示されているものがあります。

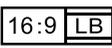
地域番号が表示されているディスクでは、その表示の中に「2」（日本を示す番号）が含まれていない、または「ALL」（全世界向け）と表示されていないディスクは、この DVD プレーヤーで再生させることができません。

このようなディスクを再生させようとしたときは、「リージョンコードエラー」というメッセージが画面に表示されます。

また、地域番号の表示がないディスクでも地域が制限されていることがありますので、その場合は、この DVD プレーヤーで再生させることができないことがあります。

#### ディスクに表示されているマークについて

ディスクやパッケージに表示されているマークには、下記のものがあります。

マーク	意味
<b>NTSC</b>	カラーテレビの方式。
	音声のトラック数。 ・ 数字が収録されている音声数。
	字幕の言語数。 ・ 数字が収録されている言語数。
	アングルの数。 ・ 数字が収録されているアングル数。
 	選択することができる画面モード。 ・ 「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面。
 	再生可能な地域番号。 ・ ALL は全世界向け、数字は地域番号。（「2」は日本を示します。）



## ディスクの構成について

ディスクに記憶されている映像や曲はいくつにも区切られています。

### 【例】

タイトル 1		タイトル 2			タイトル 3
CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 1	CHAPTER 2	CHAPTER 3	CHAPTER 1

### ■タイトル

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りの一番大きい単位。通常は、映像ソフトでは映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚（あるいは 1 曲）にあたります。それぞれのタイトルに順につけられた番号をいいます。

### ■CHAPTER

ディスクに記憶されている映像や曲の区切りで、タイトルより小さい単位。1 つのタイトルは、複数の CHAPTER で構成され、それぞれの CHAPTER に順につけられた番号をいいます。

### ワンポイント

・ディスクによっては、再生中にタイトル番号、CHAPTER 番号、再生時間が表示されないものもあります。

## DVD ビデオの用語

より正しく有効に DVD ビデオを利用していただくために、次の用語の説明をご一読ください。

### ■DVD ビデオ

動画の記憶されている DVD ビデオでは、デジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつである「MPEG2」(エムペグ 2) が採用され、映像データが平均約 1/40 に圧縮して記憶されています。また、画像の形状に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されています。音声情報は、PCM のほか、ドルビーデジタルを用いて記憶させることができ、より臨場感のある音声を楽しむことができます。

さらに、マルチアングル・マルチランゲージなどさまざまな付加機能も用意されており、より高度に楽しむことができます。

## ■視聴制限

「国ごとの規制レベルに合わせ、その国の視聴制限に対応し、ディスクの再生を制限する。」という DVD ビデオの機能の 1 つです。視聴制限は、ディスクによって異なり、全く再生されないことや、過激な場面を飛ばしたり、別の場面に差し替えて再生されることがあります。

- レベル 1…子ども向けのディスクのみを再生させることができます。  
(一般向けと成人向けのディスクを再生させることはできません。)
- レベル 2～7…子ども向けと一般向けのディスクのみを再生させることができます。  
(成人向けのディスクを再生させることはできません。)
- レベル 8…すべてのディスクを再生させることができます。

## ■マルチアングル

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ場面が視点をかえて複数のアングル(カメラの位置)で記憶させることができるため、アングルを自由に選択することができます。

## ■マルチランゲージ(多言語)

DVD ビデオの機能のひとつで、同じ映像に対して音声や字幕を複数の言語で記憶させることができるため、言語を自由に選択することができます。

## ■地域番号(リージョンコード)

DVD プレーヤーとディスクは、販売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョンコード)が設けられています。再生させるディスクに表示されている番号に、プレーヤーに設定されている地域番号が含まれていない場合は、ディスクを再生させることはできません。地域番号については、「再生可能なディスクの地域番号(リージョンコード)について」をご覧ください。(→ 265)

## ■音声について

この DVD プレーヤーでは、ディスク再生時の音声は、リニア PCM・パワード PCM・ドルビーデジタル・MPEG オーディオに対応しており、ほかのデコード方式には対応していません。

## ■ドルビーデジタル

ドルビー社が開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を最大 6ch に分解して記録、再生する(ウーハー ch は通常 0.1ch で表現するため、5.1ch) 完全ディスクリット(分割)方式です。



### ■サンプリング周波数、量子化ビット

アナログ信号をデジタル信号に変換する時、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法が取られています。

1秒間に区切る回数を表わしたのが、サンプリング周波数でその時のデータ量の大きさが量子化ビット数です。

これらの数値が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

### ■リニア PCM

音楽 CD に用いられている信号記録方式です。

音楽 CD では 44.1kHz / 16bit で記録されているのに対し、DVD ビデオでは 48kHz / 16bit ~ 96kHz / 24bit で記録されているので、音楽 CD よりも高音質の再生が可能です。



# SD メモリーカード

## お使いになる前に

### SD メモリーカードの概要

パソコンで記録した音楽ファイルや本機で記録した音楽ファイルを再生することができます。また、音楽用 SD メモリーカードを入れ替えることなく、それぞれのファイルを再生することができます。

### パソコンで記録した音楽ファイルの再生について

音楽用 SD メモリーカードに記録された音楽ファイル (MP3、WMA、AAC) を再生することができます。本機で使用する音楽用 SD メモリーカードや音楽ファイルについては、「本機で使用するメディア／データについて」(→ 456) をご覧ください。

#### ワンポイント

- ・ 本機で音楽 CD を録音すると、SD メモリーカード内に録音用フォルダ (HDA) ができます。録音用フォルダ (HDA) 内に音楽ファイルを入れると、その MP3、WMA、AAC ファイルは再生することができません。

### 本機で記録した音楽ファイルについて

本機は、音楽 CD を AAC (Advanced Audio Coding) 圧縮技術で圧縮し、音楽用 SD メモリーカードに録音することができます。CD を録音すると、「Gracenote 音楽認識サービス」により、アーティスト名やアルバム名を検索し、該当する名称のグループを自動で作成します。本機で使用する音楽用 SD メモリーカードについては、「本機で使用するメディア／データについて」(→ 456) をご覧ください。

#### ワンポイント

- ・ 音楽用 SD メモリーカードに録音することができるデータは、CD (アルバム / シングルディスク) の音楽データのみです。
- ・ SCMS (シリアルコピーマネージメントシステム) に対応しているため、次の CD からは録音できません。
  - ・ オーディオ機器を使用して録音した CD-R や CD-RW (パソコンを使用して作成、または複製した CD-R や CD-RW は、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。)
  - ・ 録音が禁止されている音楽 CD
- ・ MP3・WMA を記録した CD-R や CD-RW からは録音できません。
- ・ DTS-CD からは録音できません。
- ・ 最大 3000 個のアルバムを作成ことができ、1 つのアルバムに最大 99 曲まで録音することができます。録音可能な曲の総数は、最大 9999 曲です。ただし、録音する音楽用 SD メモリーカードの容量によっては、最大 9999 曲<sup>\*</sup>まで録音することができません。

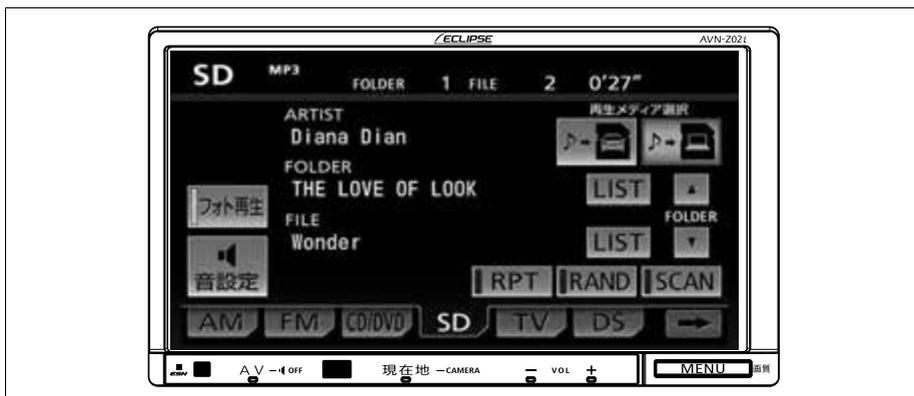
<sup>\*</sup> 録音する音楽用 SD メモリーカードの容量によっては、最大 9999 曲まで録音することができません。



## パソコンで記録した音楽ファイルを再生する

パソコンで記録した音楽用SDメモリーカード内の音楽ファイルを再生しているときに、**AV**(画面外)を押すと、音楽ファイル再生画面が表示されます。

・本体(画面外)のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



### 音楽ファイルを聞く

■音楽用SDメモリーカードが挿入されていないとき

1 音楽用SDメモリーカードを挿入する。(→32)

2 **SD** にタッチ。

3  にタッチ。

■音楽用SDメモリーカードが挿入されているとき

1 **AV**(画面外)を押す。

2 **SD** にタッチ。

3  にタッチ。

### 聞きたいフォルダを選ぶ

#### 操作画面で選ぶ

音楽ファイル再生画面表示中(→270)

1 FOLDERの  または  にタッチ。

●うしろにあるとき

→  にタッチ。

●前にあるとき

→  にタッチ。

#### リスト画面で選ぶ

音楽ファイル再生画面表示中(→270)

1 FOLDERの **LIST** にタッチ。

## 2 聞きたいフォルダにタッチ。



- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

### 聞きたい曲（ファイル）を選ぶ

#### メニューバーのスイッチで選ぶ

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチ。
  - うしろにあるとき
    - ➔ **▶▶** にタッチ。
  - 前にあるとき
    - ➔ **◀◀** にタッチ。

#### リスト画面で選ぶ

音楽ファイル再生画面表示中 (→ 270)

- 1 FILE の **LIST** にタッチ。
- 2 聞きたい曲にタッチ。



- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

### 早送り、早戻しする

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチし続ける。
  - 早送りするとき
    - ➔ **▶▶** にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき
    - ➔ **◀◀** にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

### 同じ曲（ファイル）を繰り返し聞き

選択している曲を繰り返し再生することができます。

音楽ファイル再生画面表示中 (→ 270)

- 1 **RPT** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - ➔ 再度 **RPT** にタッチ。

### 同じフォルダを繰り返し聞き

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

音楽ファイル再生画面表示中 (→ 270)

- 1 **RPT** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - ➔ 再度 **RPT** にタッチ。



## フォルダの中からランダムに 聞く

選択しているフォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

音楽ファイル再生画面表示中（→270）

- 1 **[RAND]** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **[RAND]** にタッチ。

## 全フォルダの中から ランダムに聞く

全フォルダの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

音楽ファイル再生画面表示中（→270）

- 1 **[RAND]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **[RAND]** にタッチ。

## フォルダの中から 曲（ファイル）を探す

選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

音楽ファイル再生画面表示中（→270）

- 1 **[SCAN]** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - 希望の曲になったら、再度 **[SCAN]** にタッチすると、その曲の再生を続けます。
  - 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

## フォルダを探す

全フォルダの先頭の曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

音楽ファイル再生画面表示中（→270）

- 1 **[SCAN]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - 希望のフォルダになったら、再度 **[SCAN]** にタッチすると、その曲の再生を続けます。
  - 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。



## MP3/WMA/AAC について

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

AAC (Advanced Audio Coding) は高音質・高圧縮を目的にした音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

## MP3/WMA/AAC の再生について

音楽用 SD メモリーカードに MP3/WMA/AAC 以外のファイルを保存した場合、再生するまでに時間がかかったり、MP3/WMA/AAC ファイルを表示できないことがあります。

### ワンポイント

- ・ MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけしないでください。
- ・ MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。(VBR の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。)
- ・ Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。



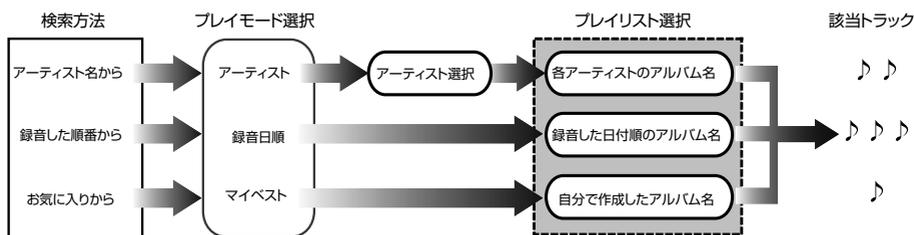
## SD メモリーカードに録音する

### データベースについて

本機は、音楽 CD（アルバム / シングルディスク）を音楽用 SD メモリーカードに録音した場合、地図 SD カードに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。（オートタイトリング機能）  
本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

### 録音した音楽の構成について

本機は、録音された音楽を 3 種類のプレイモード（再生モード）に分類し、各プレイモード内にプレイリスト（アルバム）を分けて管理することができます。聞きたい音楽は、アーティスト名や録音した順番などから絞り込んで検索することができます。



### プレイモード・プレイリストについて

録音した音楽は、アーティスト別や録音日別のグループ（プレイモード）に分けられ、各グループ内にアルバム（プレイリスト）を表示します。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
アーティスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名とアルバム名が付与された場合、プレイリストはアルバム名で表示されます。</li> <li>聞きたいアーティスト名を選択すると、表示されるアルバム名から選曲することができます。</li> </ul>
録音日順	<ul style="list-style-type: none"> <li>オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合、プレイリストはアルバム名で表示されます。</li> <li>録音された順番で表示されるアルバム名から選曲することができます。</li> </ul>
マイベスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを新規作成することができます。</li> <li>オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。</li> </ul>

## Gracenote® メディアデータベースについて

地図 SD カードに収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベースを使用しています。

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ [www.gracenote.com](http://www.gracenote.com) をご覧ください。

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ : copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。Gracenote、CDDDB、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



### ワンポイント

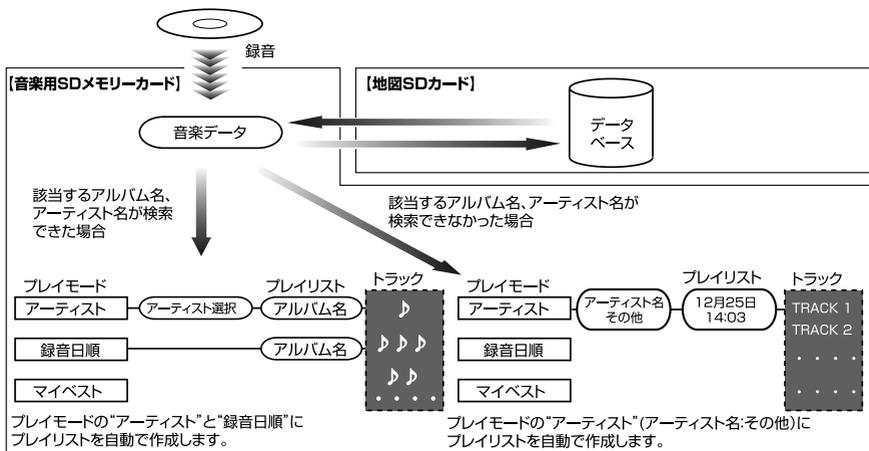
- ・ 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- ・ 「Gracenote メディアデータベース」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。
- ・ Gracenote メディアデータベースの更新については、「タイトルデータベースを更新する」(→ 281) を参照してください。



## オートタイトリング機能について

録音した音楽にアーティスト名やアルバム名などのタイトル情報を地図 SD カードに保存されたデータベースから検索して付与することで、いろいろな方法で聞きたい音楽を検索、再生することができます。

※オートタイトリング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。



## Gracenote®メディアデータベースのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする) から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」とする) を利用し、音楽 CD や楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」とする) などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」とする) から取得するとともに、取得された Gracenote データを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に Gracenote データを使用することはできません。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを非営利的かつ個人的目的のみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が本契約上の権利を Gracenote として直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenote は、将来 Gracenote が提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

copyright © 2000 to present Gracenote



## 録音について

### 録音方法について

- 本機は、音楽 CD を AAC (Advanced Audio Coding) 圧縮技術で圧縮して、音楽用 SD メモリーカードに録音することができます。
- 録音された音楽は暗号化されて音楽用 SD メモリーカードに記録されるため、パソコンや他の機器では再生できません。
- 録音したデータは、パソコンに保存することができます。保存したデータは、録音時に使用した音楽用 SD メモリーカードであれば、同じフォルダ構成で再度データを保存することができます。
- 録音中は録音された音楽を時間差で再生するため、CD 再生時と異なって聞こえることがあります。
- 録音中の再生音は、音楽用 SD メモリーカードに録音された音のため、CD 再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 録音中に他のオーディオソースに切り替えることができます。オーディオソースを切り替えても録音は継続されます。
- 録音が完了した後、車両のエンジンスイッチを OFF (LOCK) にしたり、他のオーディオに切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 音飛びなどが発生した場合、録音をやり直します。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面に  が表示されます。
- 録音の開始時や終了時は、約 5 秒間音楽が停止します。
- 音楽用 SD メモリーカードの容量がなくなった場合、録音が中止され録音途中の曲は削除されます。

### 録音についての注意

- 本機の故障や誤作動、または不具合により録音できなかった録音内容および消失した音楽データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 音楽作品は、著作権法により保護されています。したがって、本機で録音した音楽用 SD メモリーカードを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利 (店の BGM など) のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC) 等権利者に直接お尋ねください。
- 車両のエンジンスイッチを ACC にして録音する場合、エンジンスイッチを ON にすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップ CD (曲と曲の間の無音部分が無い CD) を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 一度車両のバッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約 2 分間は録音ができません。



## 録音する

### 重要

- ・ エンジンスイッチを ON にした状態で録音してください。録音中に車両のエンジンスイッチを OFF (LOCK) にしないでください。音楽用 SD メモリーカード内のデータが破損するおそれがあります。録音中にエンジンスイッチを OFF (LOCK) にする場合は、録音を停止してください。

### ワンポイント

- ・ 録音中の再生音は、音楽用 SD メモリーカードに録音された音 (AAC 圧縮技術で圧縮された音声) のため、CD 再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- ・ 全ての曲を録音したい場合は、「録音する」(→ 279) で選んで録音を **「しない」** に設定してください。

### 手動で録音する

- 1 録音設定の自動録音および選んで録音を「しない」に設定する。(→ 280)
- 2 音楽用 SD メモリーカードを挿入する。(→ 32)
- 3 録音したい CD を挿入する。(→ 32)
- 4 **AV**(画面外) を押す。
- 5 **録音開始** にタッチ。



- 再生している CD の録音を開始します。

### ワンポイント

- ・ ディスプレイが開いているときは、録音を開始することができません。

### 自動で録音する

CD を再生すると同時に、自動的に録音を開始することができます。

- 1 録音設定の自動録音を「する」に設定する。(→ 280)
- 2 音楽用 SD メモリーカードを挿入する。(→ 32)
- 3 録音したい CD を挿入する。(→ 32)
  - 再生と同時に、自動的に録音を開始します。

### 曲を選んで録音する

希望の曲だけを選んで録音することができます。

- 1 録音設定の自動録音を「しない」、選んで録音を「する」に設定する。(→ 280)
- 2 音楽用 SD メモリーカードを挿入する。(→ 32)
- 3 録音したい CD を挿入する。(→ 32)
- 4 **AV**(画面外) を押す。



## 5 **録音開始** にタッチ。



## 6 録音したい曲にタッチ。

- 走行中は曲を選択することはできません。
  - ・ リストにあるすべての曲を録音するとき
    - ➔ **全選択** にタッチ。
  - ・ 選択を解除するとき
    - ➔ 選択されている曲にタッチ。
  - ・ すべての選択を解除するとき
    - ➔ **全解除** にタッチ。

## 7 **完了** にタッチ。

- CDの再生およびCDの録音を開始します。

### ワンポイント

- ・ ディスプレイが開いているときは、録音を開始することができません。

## 録音を中止する

### 1 **AV** (画面外) を押す。

### 2 **録音停止** にタッチ。



### ワンポイント

- ・ 通常の速さで再生しながら、最大4倍の速さで録音するため、再生している曲と録音している曲は異なります。
- ・ 録音中は録音完了トラック(曲)数/録音トラック(曲)総数をインジケータで表示します。(例: ● 2 / 8)
- ・ 録音中は、**RPT**・**RAND**・**SCAN**・**LIST**の各スイッチは操作できません。また、選曲、早送り・早戻しもできません。
- ・ 選曲は、録音済みの曲に対して操作できません。

## 録音設定

CDの再生と同時に録音を開始する「自動録音」と、希望の曲を選んで録音する「選んで録音」を切り替えることができます。

### チェック

- ・ 走行中および録音中は、録音設定をすることができません。

### 1 **MENU** (画面外) を押す。

### 2 **設定・編集** にタッチ。

### 3 **オーディオ** にタッチ。



### 4 **CD⇒SD録音設定** にタッチ。

### 5 録音方法を選択する。

### 6 **完了** にタッチ。

## ■自動で録音する

- 1 自動録音の **する** にタッチ。

## ■曲を選んで録音する

- 1 自動録音の **しない** にタッチ。
- 2 選んで録音の **する** にタッチ。

## 録音したデータ容量を確認する

今までに音楽用 SD メモリーカード内に録音した曲数や、アルバム数を表示することができます。

**MENU** (画面外) → **情報** → **データ管理**  
→ データ管理画面

- 1 音楽用 SD メモリーカードを挿入する。  
(→ 32)
- 2 SD の容量の **確認** にタッチ。
  - 音楽用 SD メモリーカードの容量が表示されます。

### 📖 ワンポイント

- ・ データ管理画面の円グラフで表示される空き領域は、音楽用 SD メモリーカードの空き容量と異なることがあります。そのため、画面で空き領域が表示されていても録音できない場合や、空き領域の表示がなくても録音できる場合があります。

## タイトルデータベースを更新する

地図 SD カードに収録されている Gracenote メディアデータベースは、更新することができます。データベースの更新は、同梱のマップオンデマンド専用のアプリケーションソフトが必要になります。(→ 227)  
更新時期やデータの提供については、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(URL:<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご覧ください。

## タイトルデータベースの更新

- 1 地図 SD カードを本機から取り出す。(→ 34)
- 2 パソコンに専用アプリケーションソフト(製品同梱)をインストールする。(→ 227)
- 3 専用ダウンロードサイトから Gracenote メディアデータベースの更新用データをダウンロードする。
- 4 インストールした専用アプリケーションソフトを使って、ダウンロードした Gracenote メディアデータベースの更新用データを地図 SD カードに書き込む。
- 5 地図 SD カードを本機へ挿入する。(→ 32)



### ワンポイント

- 一度付与されたタイトル情報は、Gracernote メディアデータベースを更新後、該当するタイトル情報が保有されていても自動で変更されません。編集時に更新することができます。詳しくは、「タイトル情報を再取得する」(→ 292)

## バージョンを確認する

地図 SD カードに収録されている Gracernote メディアデータベースのバージョン情報を見ることができます。

**MENU** (画面外) → **情報** → **データ管理**  
→ データ管理画面

- バージョン情報** にタッチ。
  - データベースのバージョン情報が表示されます。

### ワンポイント

- 最大 200 個まで履歴を残すことができます。200 個を超える場合、最も古いものから順に削除されます。



## SD メモリーカードに録音した音楽を聞く

音楽用 SD メモリーカードに録音した音楽を聞いているときに、**AV** (画面外) を押すと、SD 操作画面が表示されます。

・ 本体 (画面外) のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



### SD メモリーカードに録音した音楽を聞く

■ 音楽用「SD メモリーカードが挿入されていないとき

1 音楽用 SD メモリーカードを挿入する。(→ 32)

■ 音楽用 SD メモリーカードが挿入されているとき

1 **AV** (画面外) を押す。

2 **SD** にタッチ。

3  にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 録音した CD の情報がデータベースにない場合、アーティスト名には「NO DATA」、アルバムタイトルには録音した日時、トラックタイトルには TRACK1、TRACK2 …と表示されます。
- ・ **タイトル入力** は、マイベスト (オリジナルで作成した楽曲集) を再生しているときは表示されません。また、走行中および録音中は操作できません。

### 聞きたいアルバムを選ぶ

#### 操作画面で選ぶ

SD 操作画面表示中 (→ 283)

- 1  または  にタッチ。
  - うしろにあるとき
    - ➔ ALBUM の  にタッチ。
  - 前にあるとき
    - ➔ ALBUM の  にタッチ。



## リスト画面で選ぶ

### チェック

・各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。

SD 操作画面表示中 (→ 283)

- 1 ALBUM の **選択** にタッチ。
- 2 検索したいプレイモードにタッチする。  
録音日順のリスト画面



● 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

### ■プレイモード・プレイリストについて

プレイリストはアーティストでグループ分けして表示したり、録音日順に表示することができます。また、お気に入りの楽曲集を作成しているときはマイベストから表示、選択します。

プレイモード	プレイリスト
アーティスト	<p>アーティスト 選択</p>
録音日順	
マイベスト	

**ワンポイント**

- アーティストから検索するとき、アーティスト読みが同じで違うアーティスト名が複数存在している場合、最後に録音した曲のアーティスト名が表示されます。
- マイベスト** は、オリジナルの楽曲集が作成されていないときは選べません。(→ 288)
- アルバムはリストに表示されている順に再生されます。そのためリストの表示方法( **アーティスト**、**録音日順** ) を変更すると再生順が変わります。

**聞きたい曲 (トラック) を選ぶ****メニューバーのスイッチで選ぶ**

- MENU** (画面外) を押す。
- ▶▶** または **◀◀** にタッチ。
  - うしろにあるとき
    - **▶▶** にタッチ。
  - 前にあるとき
    - **◀◀** にタッチ。

**チェック**

- ランダム再生中 (→ 286) は、ランダムに曲を切り替えます。

**リスト画面で選ぶ**

SD 操作画面表示中 (→ 283)

- TRACK の **選択** にタッチ。
- 聞きたい曲にタッチ。



音飛び録音アイコン

- 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

**ワンポイント**

- 録音中に音飛びが発生したときはそのトラックの録音をやり直しますが、再び音飛びが発生したときはそのままの状態に録音されます。音飛び状態のまま録音されたトラックには、音飛び録音アイコンが表示されます。

**早送り、早戻しする**

- MENU** (画面外) を押す。
- ▶▶** または **◀◀** にタッチし続ける。
  - 早送りするとき
    - **▶▶** にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき
    - **◀◀** にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

**同じ曲 (トラック) を繰り返し聞く**

選択している曲を繰り返し再生することができます。

SD 操作画面表示中 (→ 283)

- RPT** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - 解除するとき → 再度 **RPT** にタッチ。



## 同じアルバムを繰り返し聞く

選択しているアルバムを繰り返し再生することができます。

SD 操作画面表示中 (→ 283)

1 **[RPT]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 解除するとき → 再度 **[RPT]** にタッチ。

## アルバムの中からランダムに聞く

選択しているアルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

SD 操作画面表示中 (→ 283)

1 **[RAND]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 解除するとき → 再度 **[RAND]** にタッチ。

## 全アルバムの中からランダムに聞く

全アルバムの中からランダム（無作為）に曲を選択し再生することができます。

SD 操作画面表示中 (→ 283)

1 **[RAND]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 解除するとき → 再度 **[RAND]** にタッチ。

## アルバムの中から曲（トラック）を探す

選択しているアルバムの全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

SD 操作画面表示中 (→ 283)

1 **[SCAN]** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 希望の曲になったら、再度 **[SCAN]** にタッチすると、その曲の再生を続けます。
- 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

## アルバムを探す

全アルバムの先頭の曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

SD 操作画面表示中 (→ 283)

1 **[SCAN]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - ・ 希望のアルバムになったら、再度 **[SCAN]** にタッチすると、そのアルバムの再生を続けます。
- 全アルバムの先頭の曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。



## SDメモリーカードの編集

音楽用SDメモリーカードに録音すると、アーティスト名の情報を自動で付与しグループ分けしますが、お気に入りの楽曲集（マイベスト）を作成することもできます。また、アルバム情報の編集などを行うことができます。

### サウンドライブラリ編集メニュー画面について

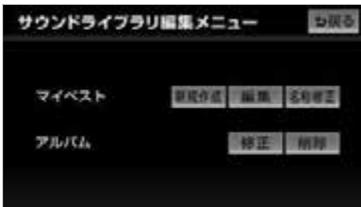
音楽用SDメモリーカードの編集をするときは、サウンドライブラリ編集メニュー画面から行います。

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **オーディオ** にタッチ。



- 4 **サウンドライブラリ編集** にタッチ。

サウンドライブラリ編集メニュー画面



サウンドライブラリ編集メニュー画面から以下のことができます。

項目	ページ
マイベストの作成	288
マイベストの編集	
・ マイベストの名称修正	289
・ トラックの追加	
・ トラックの並び替え	
・ トラックの削除	290
・ マイベストの削除	
アルバム情報の編集	291
・ アルバムタイトル、アルバム読み修正	
・ トラックタイトル、トラック読み修正	
・ アーティスト名、アーティスト読み修正	
・ タイトル情報の再取得	292
・ アルバムの削除	293
・ トラックの削除	294



#### ワンポイント

- ・ 走行中および録音中は、サウンドライブラリの編集を行うことができません。

## お気に入りの楽曲集 (マイベスト)を作成する

お気に入りの曲を集めた楽曲集(マイベスト)を作成することができます。作成した楽曲集は、プレイリストのマイベストから簡単に呼び出すことができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** →  
サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 マイベストの **新規作成** にタッチ。
- 2 マイベストの名称を入力する。



- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40)をご覧ください。
- 3 登録したい曲が含まれているアルバムのアーティストを選択する。
  - アルバムはアーティストで絞り込む他に、録音日順のリストから選択することができます。  
→ **録音日順** にタッチ。
  - 4 登録したい曲が含まれているアルバムを選択する。
  - 5 登録したい曲にタッチ。
    - ・ リストにあるすべての曲を登録するとき  
→ **全選択** にタッチ。
    - ・ 選択を解除するとき  
→ 選択されている曲にタッチ。
    - ・ すべての選択を解除するとき  
→ **全解除** にタッチ。

6 **登録** にタッチ。

- 7 **完了** にタッチ。
  - ・ 続けて曲を追加するとき  
→ **追加** にタッチ。(手順 3 へ)
  - ・ 同様の手順で追加できます。

### ワンポイント

- ・ 同じ名称は重複して登録できません。
- ・ マイベストは 999 個作成できます。また、1 つのマイベストには 99 曲まで登録できます。

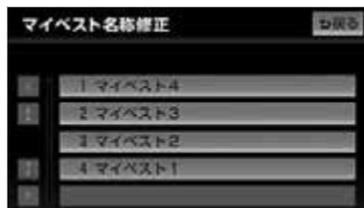
## マイベストを編集する

マイベストの名称を修正したり、曲の追加や順番の並べ替え、削除をすることができます。また、マイベスト自体を削除することができます。

## マイベストの名称を修正する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** →  
サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 マイベストの **名称修正** にタッチ。
- 2 修正したいマイベストにタッチ。



### 3 名称を入力する。

- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40)をご覧ください。

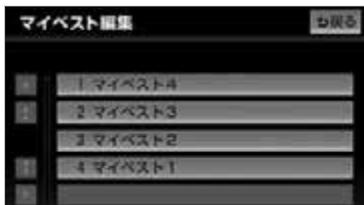
#### 📖 ワンポイント

- ・ 同じ名称は重複して登録できません。

### 曲を追加する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** →  
 サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 マイベストの **編集** にタッチ。
- 2 曲を追加したいマイベストにタッチ。



- 3 **トラックを追加** にタッチ。
- 4 追加したい曲が含まれているアルバムのアーティストを選択する。
  - アルバムはアーティストで絞り込む他に、録音日順のリストから選択することができます。
    - **録音日順** にタッチ。
- 5 追加したい曲が含まれているアルバムを選択する。
- 6 追加したい曲にタッチ。
  - ・ すべての曲を追加するとき
    - **全選択** にタッチ。
  - ・ 選択を解除するとき
    - 選択されている曲にタッチ。
  - ・ すべての選択を解除するとき
    - **全解除** にタッチ。

### 7 **登録** にタッチ。

### 8 **完了** にタッチ。

- ・ 続けて曲を追加するとき
  - **追加** にタッチ。(手順 4 へ)
- ・ 同様の手順で追加できます。

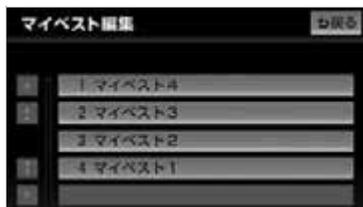
#### 📖 ワンポイント

- ・ 1つのマイベストには99曲まで登録できます。
- ・ マイベストは、プレイリストが作成されていないと選択できません。
- ・ 同じトラックを2回以上登録してもマイベストに重複して表示されません。

### 曲を並べ替える

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** →  
 サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 マイベストの **編集** にタッチ。
- 2 並べ替えをしたいマイベストにタッチ。



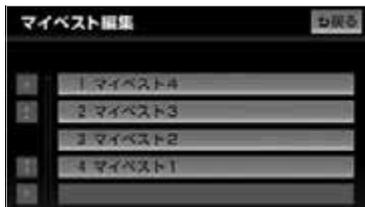
- 3 **トラックを並替** にタッチ。
- 4 移動したい曲にタッチ。
- 5 移動したい場所の **並替** にタッチ。
- 6 **完了** にタッチ。



## 曲を削除する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 マイベストの **編集** にタッチ。
- 2 消去したい曲の含まれているマイベストにタッチ。



- 3 **トラックを削除** にタッチ。
- 4 削除したい曲にタッチ。
  - ・すべての曲を削除するとき
    - ➔ **全選択** にタッチ。
  - ・選択を解除するとき
    - ➔ 選択されている曲にタッチ。
  - ・すべての選択を解除するとき
    - ➔ **全解除** にタッチ。
- 5 **削除** にタッチ。
- 6 **はい** にタッチ。

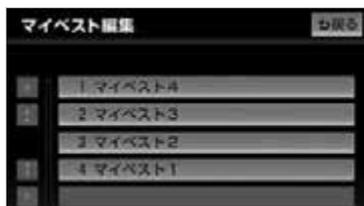
## ワンポイント

- ・消去したトラックは、マイベストから消去されますが、音楽用SDメモリーカードに保存されていますので、マイベスト以外のプレイモードから検索して再生することができます。
- ・全てのトラックを消去すると、トラックが収録されていたプレイリストもマイベストから消去されます。

## マイベストを削除する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 マイベストの **編集** にタッチ。
- 2 消去したいマイベストにタッチ。



- 3 **このマイベストを削除** にタッチ。
- 4 **はい** にタッチ。

## ワンポイント

- ・消去したプレイリストに登録されていたトラックは、マイベストから消去されますが、音楽用SDメモリーカードに保存されていますので、マイベスト以外のプレイモードから検索して再生することができます。

## アルバム情報を編集する

アルバム名やアーティスト名、トラック名などを変更することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 アルバムの **修正** にタッチ。



## 2 編集したいアルバムのアーティストを選択する。



- 録音日順のリストから選択するとき  
→ **録音日順** にタッチ。

## 3 編集したいアルバムを選択する。

再生中のアルバムの情報を編集したいときは、SD 操作画面 (→ 283) で、**タイトル入力** にタッチするとアルバム修正画面を表示することができます。( **タイトル入力** は、マイベストを再生しているときは表示されません。)

### アルバムタイトル、アルバム読みを変更する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
アルバムの **修正** → アルバムを選択 →  
アルバム修正画面

- アルバム** または **アルバム読み** にタッチ。
- アルバムまたはアルバム読みを入力する。



- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40) をご覧ください。

### ワンポイント

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

### トラックタイトル、トラック読みを変更する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
アルバムの **修正** → アルバムを選択 →  
アルバム修正画面

- トラック名を修正** にタッチ。
- 修正したいトラックにタッチ。



- トラック** または **トラック読み** にタッチ。
- トラックまたはトラック読みを入力する。

- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40) をご覧ください。

### ワンポイント

- 読みは半角カタカナのみ入力できます。

### アーティスト名、アーティスト読みを変更する

#### ■アーティスト名を変更する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
アルバムの **修正** → アルバムを選択 →  
アルバム修正画面

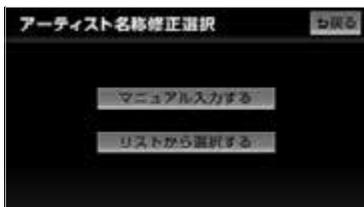
- トラック名を修正** にタッチ。



## 2 修正したいトラックにタッチ。

3 **トラックアーティスト** にタッチ。

## 4 編集方法を選択する。



<マニュアル入力するときには>

1 **マニュアル入力する** にタッチ。

## 2 アーティスト名を入力する。

- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→40)をご覧ください。

<リストから選ぶときは>

1 **リストから選択する** にタッチ。

## 2 アーティスト名にタッチ。

- リストに表示されるアーティストはすでに登録されているアーティストのみです。

## ■ アーティスト読みを変更する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
アルバムの **修正** → アルバムを選択 →  
アルバム修正画面

1 **トラック名を修正** にタッチ。

## 2 修正したいトラックにタッチ。

3 **トラックアーティスト読み** にタッチ。

## 4 アーティスト読みを入力する。



- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→40)をご覧ください。

## □ ワンポイント

- ・ 読みは半角カタカナのみ入力できます。

## ■ タイトル情報を再取得する

録音時に本機のデータベースから付与されたタイトル情報が、録音に使用したCDのタイトル情報と違っているときには、再度、データベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
アルバムの **修正** → アルバムを選択 →  
アルバム修正画面



1 **SDで検索** にタッチ。

- CD タイトル検索画面が表示されます。
- 2 複数候補があるときは、タイトルにタッチ。
  - 3 **登録** にタッチ。

## 📖 ワンポイント

- ・再生している曲の録音に使用した CD のタイトル情報とは、全く異なる候補が表示されることがあります。登録の前に、必ずタイトル情報を確認してください。

## ■ CD タイトル検索画面

CD タイトルを検索しているときに表示されます。



- 検索が終わると自動的に画面が切り替わります。
- ・ 中止するとき → **中止** にタッチ。

## アルバムを削除する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **オーディオ** → **サウンドライブラリ編集** → サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 アルバムの **削除** にタッチ。
- 2 削除したいアルバムのアーティストを選択する。



- 録音日順のリストから選択するとき → **録音日順** にタッチ。
- 3 削除したいアルバムを選択する。
  - 4 **このアルバムを削除** にタッチ。
  - 5 **はい** にタッチ。

## 📖 ワンポイント

- ・ 削除するアルバム内の曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。
- ・ 消去したアルバムは、音楽用 SD メモリーカードから消去されますので、再生することができません。



## 曲（トラック）を削除する

MENU (画面外) → **設定・編集** →  
オーディオ → **サウンドライブラリ編集** →  
サウンドライブラリ編集メニュー画面

- 1 アルバムの **削除** にタッチ。
- 2 削除したい曲の含まれているアルバムのアーティストを選択する。



- 録音日順のリストから選択するとき  
→ **録音日順** にタッチ。
- 3 削除したい曲の含まれているアルバムを選択する。
  - 4 **トラックを削除** にタッチ。
  - 5 削除したい曲にタッチ。
    - ・ すべての曲を削除するとき  
→ **全選択** にタッチ。
    - ・ 選択を解除するとき  
→ 選択されている曲にタッチ。
    - ・ すべての選択を解除するとき  
→ **全解除** にタッチ。
  - 6 **削除** にタッチ。
  - 7 **はい** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ 削除する曲がマイベストにも登録されているときは、マイベスト内の曲も同時に削除されます。
- ・ 全てのトラックを消去すると、トラックが収録されていたアルバムもプレイリストから消去されます。
- ・ 消去したトラックは、音楽用 SD メモリーカードから消去されますので、再生することができません。



## 地上デジタルテレビの操作

車両のエンジンスイッチが ACC、または ON のときで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけたときのみ地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。(走行中は音声だけになります。)

- 地上デジタルテレビ放送が表示されないとき → **AV**(画面外) を押す。(→ 302)

地上デジタルテレビの操作は、おもに操作画面と放送局リスト画面から行います。目的に応じていずれかの画面を表示して操作します。

- ・ 本体(画面外)のスイッチは、操作画面や放送局リスト画面が表示されていないときでも操作することができます。

### ワンポイント

- ・ 本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバーシ・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。

著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

### ■操作画面

地上デジタルテレビをご覧になっているとき(音声のみを聞いているときを含む)に、**AV**(画面外)を押す、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると表示されます。

**全画面** または映像にタッチすると操作画面が解除されます。



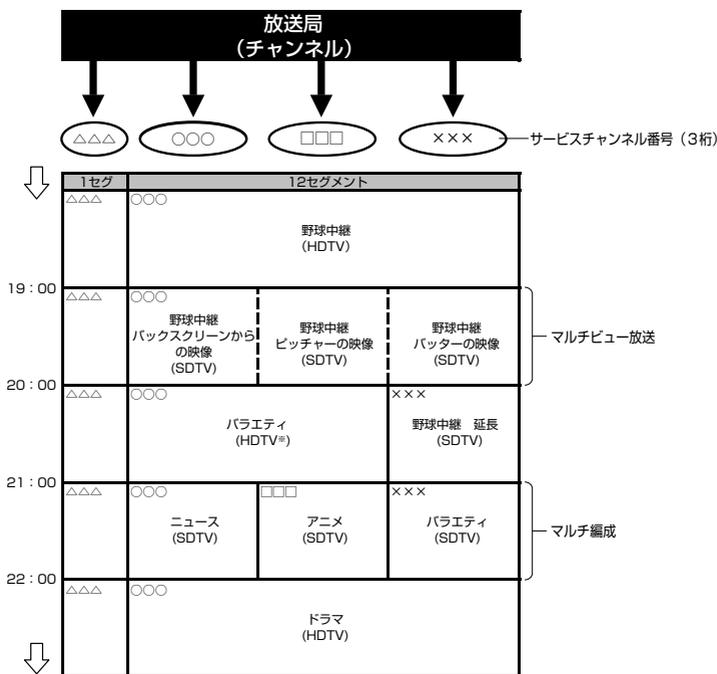
## ■地上デジタルTV 放送について

地上デジタルTV 放送は、1つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルTV 放送は12セグメントを使用した、ハイビジョン映像（HDTV）や標準映像（SDTV）の放送を指します。1セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯端末向けの放送に使用されます。

標準映像の番組は4セグメントを使用するため、最大で3つの番組を同時に提供するマルチ編成や、1つの番組で最大で3つの映像を提供するマルチビュー放送をおこなうことができます。

### チェック

- ・ 地上デジタルTV 放送を視聴するには、miniB-CAS カードが必要です。
- ・ TV 機能を初めてご使用なる際は、初回起動時の設定が必要になります。



※ 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

### ワンポイント

- ・ ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。
- ・ ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。



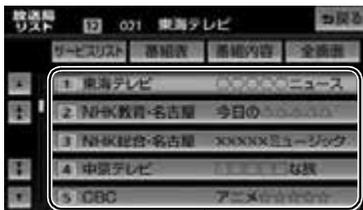
## アンテナインジケータについて

電波の受信状態を表示します。

表示	
レベル	受信不可 ← 受信状態が悪い ← → 受信状態が良い

## 放送局リスト画面

操作画面で、**放送局リスト** にタッチすると表示されます。



プリセットスイッチ

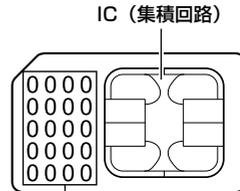
## ワンポイント

- ・ 放送局名を表示できても、放送を受信できない場合があります。
- ・ 放送を受信できても、放送局名が表示されないことがあります。

## miniB-CAS カードについて

miniB-CAS カードは、デジタル放送番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルテレビ放送を受信するときは、必ず miniB-CAS カードを本機に挿入してください。(→ 299)

- miniB-CAS カードの動作確認について  
→ 「miniB-CAS カードの動作確認をする」(→ 317)



### B-CASカード番号

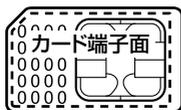
カードを運用・管理するための番号です。問い合わせの際に必要です。



## 取り扱いについての注意

より詳しい情報は、B-CAS 社のホームページ (<http://www.b-cas.co.jp>) をご覧ください。

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく挿入してください。
- miniB-CAS カードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。(ワンセグ放送は視聴することができます。)
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- カード端子面には手を触れないでください。



- カード端子面を手で触れた場合、手に付着している目に見えない異物が端子面に付着し、カードの読み取り不良が発生する恐れがあります。
- 端子面に触れてしまい、カードの読み取り不良が発生した場合には、工業用アルコール（純度の高いエタノール）を染み込ませた綿棒で、端子面全体を直線でなぞるように、まんべんなく拭き取ってください。拭き取り後も同様の症状が発生する場合には、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。

- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。

## miniB-CAS カードに関する問い合わせ

miniB-CAS カードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。miniB-CAS カードに関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

- カードの故障については、コピー制御お問い合わせセンターへお問い合わせ下さい。  
電話番号 0570-000-288  
受付時間 AM10:00 ~ PM8:00  
(年中無休)
- カードの故障や車載機の廃棄などにより miniB-CAS カードの交換、廃棄が必要になったときは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターに連絡して交換、返却の手続きをしてください。  
電話番号 0570-000-250  
受付時間 AM10:00 ~ PM8:00  
(年中無休)

## miniB-CAS カードの出し入れ

### 警告

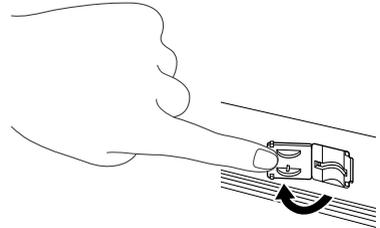
- ・ miniB-CAS カードを取り出している場合、カードを乳幼児の手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと窒息、またはけがの恐れがあります。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

### 注意

- ・ miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。故障や損傷の原因となります。
- ・ miniB-CAS カードは、“カチッ”と音がするまで差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- ・ miniB-CAS カードを抜き差しするときなどに、落として紛失しないように注意してください。
- ・ miniB-CAS カードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから miniB-CAS カードの動作確認を行ってください。
- ・ ご使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

## miniB-CAS カードの入れかた

- 1 ディスプレイを開ける。(→ 32)
- 2 カードスロットカバーを開ける。



- 3 miniB-CAS カードスロットに miniB-CAS カードを挿入する。
  - ・ miniB-CAS カードを差し込むときはカード側面を挟むように持って端子面に指が被らないように注意してください。
  - ・ miniB-CAS カードを差し込むときは、指などがディスプレイに触れないように注意してください。**CLOSE** にタッチすると、ディスプレイが閉じます。
  - ・ miniB-CAS カードは“カチッ”と音がするまで差し込んでください。



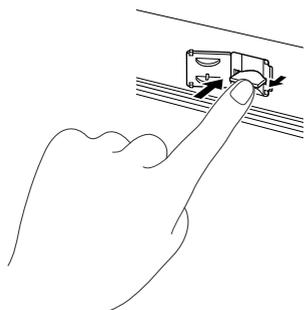
miniB-CAS カードはラベル貼付面を上、IC 側を下にしてください。



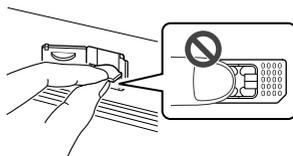
- 4** カードスロットカバーとディスプレイを閉じる。(→ 32)
- ・ カードスロットカバーを確実に閉じた後でディスプレイを閉じてください。
  - ・ miniB-CAS カードを挿入した後、正常に動作しているか必ず確認してください。(→ 317)

### miniB-CAS カードの取り出しかた

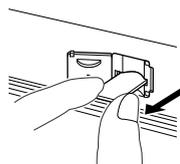
- 1** ディスプレイを開ける。(→ 32)
- 2** カードスロットカバーを開ける。
- 3** カードロックを解除する。



- 4** miniB-CASカードを半分までつまみ出す。
- ・ miniB-CAS カードを摘むときは、端子面に指が被らないように注意してください。
  - ・ miniB-CAS カードを取り出すときは、指などがディスプレイに触れないよう注意してください。**CLOSE** にタッチすると、ディスプレイが閉じます。



- 5** miniB-CAS カードを引き出す。
- ・ miniB-CAS カードは水平方向に引き出してください。
  - ・ miniB-CAS カードを取り出すときは、カード側面を挟むように持って端子面に指が被らないように注意してください。



- 6** カードスロットカバーとディスプレイを閉じる。(→ 32)
- ・ カードスロットカバーを確実に閉じた後でディスプレイを閉じてください。



## 初回起動時の設定

地上デジタルテレビの機能を初めて使用する場合は、プリセットスイッチにチャンネルを記憶します。

1 **AV**(画面外) を押す。

2 **TV** にタッチ。



3 **開始** にタッチ。

4 郵便番号を入力し、**次へ** にタッチ。



間違えたとき

→ **修正** にタッチ。

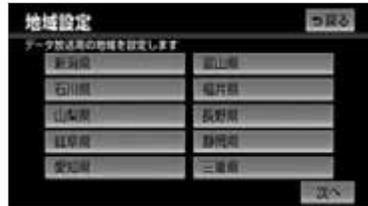
5 地域を選択する。



● 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの方

→ **沖縄地方・その他** にタッチ。

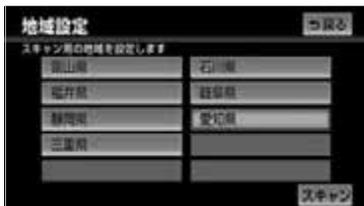
6 都道府県を選択し、**次へ** にタッチ。



7 地域を選択する。



- 8 都道府県を選択し、**スキャン** にタッチ。



- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。



- 受信を中止したいとき  
→ **キャンセル** にタッチ。

- 9 **OK** にタッチ。

- 最大 36 局まで受信し、受信した放送局のうち 12 局がプリセットスイッチに表示されます。

- 10 **完了** にタッチ。

#### ワンポイント

- プリセットスイッチに表示されなかった放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの内容を変更することができます。(→ 316)
- 受信する地域により、放送局を表示するまで約 5 分程度かかる場合があります。
- 引越しなどでお住まいの地域や都道府県が変わった場合は、再度設定することができます。(→ 316)

## 地上デジタルテレビを見る

### チェック

- ご購入後、はじめてお使いになる、または個人情報削除を行った後は、「初回起動時の設定」(→ 301) が必要になります。

- 1 **AV** (画面外) を押す。

- 2 **TV** にタッチ。



## 📖 ワンポイント

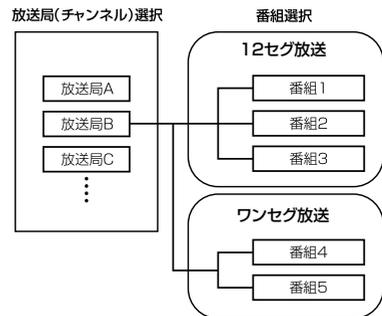
- ・ 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルTV放送をご覧になることができます。
- ・ 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- ・ 本機での地上デジタルテレビ放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を次に説明します。
  - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - ・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなる場合があります。
  - ・ トンネル内にはいたり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - ・ 一部の地域において、テレビやラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
- ・ ハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像です。
- ・ 地上デジタルテレビ放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC5.1ch放送）を放送していることがあります。本機はAAC5.1ch放送には対応していません。AAC5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
- ・ 双方向通信に対応していません。
- ・ 別売の後席用モニターを接続している場合、走行中でも後席で地上デジタルテレビ放送をご覧になることができます。

- ・ 画面継続表示の設定を **「しない」** に設定した場合、TV 操作画面を表示させてから約 20 秒以上操作をしなかったときは、TV 操作画面は自動解除され、もとの画面に戻ります。また、**「する」** に設定すると、TV 操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。（→51）

## チャンネルを選ぶ

### 地上デジタルTV放送のチャンネル構成について

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルで同じ番組を放送している場合があります。ワンセグ放送についても、1つのチャンネルで複数の番組を放送している場合があります。



## プリセットスイッチから選ぶ

デジタルテレビ操作画面または放送局リスト画面表示中 (→ 295、297)

- 希望のチャンネルが記憶されているプリセットスイッチにタッチ。
  - プリセットスイッチにチャンネルを記憶させたいときや、記憶されているチャンネルを変更したいとき  
→「プリセットスイッチの内容を変更する」(→ 316)

## 手動で選ぶ

- MENU** (画面外) を押す。
- ▲** または **▼** にタッチ。
  - チャンネルを大きい方へ選択するとき  
→ **▲** にタッチ。
  - チャンネルを小さい方へ選択するとき  
→ **▼** にタッチ。

## 放送局リストから選ぶ

放送局リスト画面表示中 (→ 297)

- 見たい放送局名を選択し、**全画面** にタッチ。



裏番組表

- 裏番組表：放送局名と並んで現在放送中の番組名が表示されます。

## 番組を選ぶ

### デジタルテレビ操作画面から選ぶ

受信しているチャンネル内で番組を切り替えます。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)

- サービス切替** にタッチ。
  - タッチするごとに番組が切り替わります。

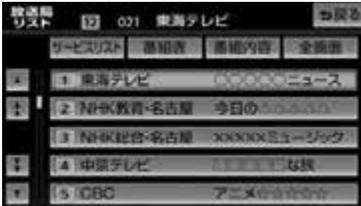
### ワンポイント

- 番組の切り替えが可能な場合、デジタルテレビ操作画面に、サービス数および視聴中のサービス番号が表示されます。

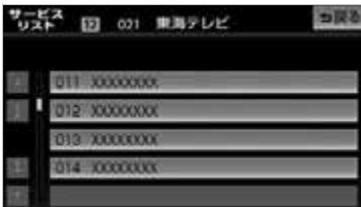
## サービスリスト画面から選ぶ

放送局リスト画面表示中 (→ 297)

- 1 見たい放送局を選択し、**サービスリスト** にタッチ。



- 2 見たい番組を選択する。



### ワンポイント

- 受信モードが自動切替に設定されている場合、通常の地上デジタルテレビ放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルテレビ放送にもどります。(→ 306)
- 地上デジタルテレビ放送では 1 つのチャンネル(放送局)で複数の番組(サービス)を同時に放送することができます。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- プリセットモード (→ 305) を **エリア** に設定している場合、放送局リストに裏番組表は表示されません。

## プリセットモードを切り替える

プリセットモードには、ホーム、トラベル、エリアの3種類があり、それぞれのプリセットモードごとにチャンネルを記憶/表示することができます。

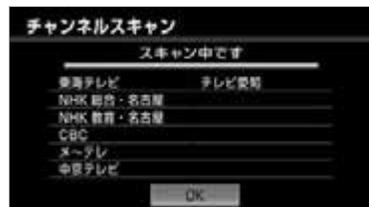
- デジタルテレビ操作画面に選択したプリセットモード名が表示されます。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)

- 1 **設定** にタッチ。
- 2 プリセットモードを選択する。



- **トラベル** 選択後に選局を始めたとき  
→ “ピーッ” と音がするまで **スキャン** にタッチし続ける。



- 選局完了後、**OK** にタッチすると、プリセットスイッチにチャンネルが記憶されます。



## ホーム

ホームプリセットで記憶したチャンネル(→301、314)が表示されます。普段ご覧になるときは、このモードを使用します。

## トラベル

旅先などでこのモードを使用すると、ホームとは別にプリセットスイッチにチャンネルを記憶することができます。自宅周辺に帰ってきたときは、ホームに戻すことができます。

## エリア

自分がいる地域の放送局が分からなくなったとき、このモードを使用すると、その地域で放送されているチャンネルがプリセットスイッチに表示されます。

## テレビ放送の受信方法を設定する

地上デジタルテレビ放送の受信方法を周囲の環境に合わせて設定することができます。

デジタルテレビ操作画面表示中(→295)

- 1 **設定** にタッチ。
- 2 希望の受信方法を選択する。



## 自動切替

通常の地上デジタルテレビ放送(12セグ)が周囲の環境により受信できなくなると、自動でワンセグ放送の受信に切り替わります。通常の地上デジタルテレビ放送(12セグ)が受信可能になると、自動でもとに戻ります。

## ワンセグ

周囲の環境に関係なく、常にワンセグ放送のみ受信します。

## 地上D

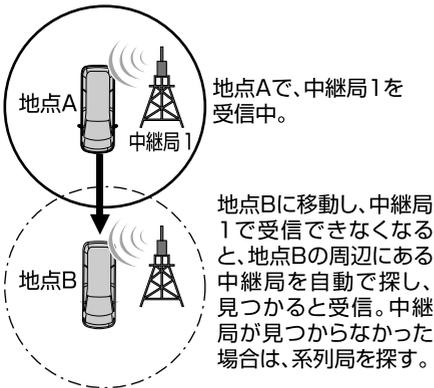
周囲の環境に関係なく、常に通常の地上デジタルテレビ放送(12セグ)のみ受信します。

## ワンポイント

- ・ワンセグ放送を受信しているときは、画面左上に「ワンセグ」と表示されます。
- ・自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ・自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ・ワンセグ放送を実施していない放送局をご覧になっている場合、受信方法を自動切替にしても、ワンセグ放送に切り替わりません。
- ・放送局によっては、ワンセグ放送と地上デジタルTV放送で番組内容が異なることがあります。その場合は、見たい番組の受信モードに切り替えてください。

## 放送局（系列局／中継局） サーチを設定する（ネット ワークフォロー）

現在受信しているチャンネルが受信できなくなった場合、その系列局や中継局を自動で探し受信できるように設定することができます。



### ワンポイント

- 放送局のサーチ中は、映像および音声が出力されず、「放送局サーチ中です」のメッセージが表示されます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 295）

- 設定** にタッチ。
- 設定方法を選択する。



### 系列局 + 中継局

受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。中継局が見つからなかった場合は、系列局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。

### 中継局

受信していたエリアから外れた場合、その地点の周辺にある中継局を探します。受信するとプリセットスイッチにチャンネルが更新されます。

### OFF

放送局のサーチを行いません。

### ワンポイント

- 放送局のサーチ中、別売の後席用モニターに異なる映像が表示される場合がありますが、故障ではありません。
- プリセットモードで「エリア」を選択（→ 305）しているときは、放送局サーチでチャンネルが切り替わってもプリセットスイッチは更新されません。
- 系列局を受信した場合、切り替わった番組がご覧になっていた番組と異なることがあります。



## EPG（電子番組表）を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で番組をさがすことができます。

放送局リスト画面表示中（→ 297）

- 1 **番組表** にタッチ。
  - 番組表画面が表示されます。

### 見たい番組を探す（別の番組表に切り替える）

表示している番組表を別の番組表に切り替えることができます。

時間  
切り替え  
スイッチ

チャンネル  
切り替え  
スイッチ

日付  
切り替え  
スイッチ



- 最大 3 放送局の番組表が表示されません。

### ワンポイント

- ・ EPGは、地上デジタルTV放送で現在から最大 8 日分、ワンセグ放送で最大 10 番組分表示することができます。
- ・ 番組表に表示される内容と実際の放送が異なる場合があります。
- ・ 現在の時刻より前の時間や日付の番組表は見ることはできません。

## 日付を切り替える

放送局リスト画面表示中（→ 297） → **番組表** → 番組表画面

- 1 日付切り替えスイッチの **▶** または **◀** にタッチ。
  - 翌日の番組表を表示するとき → **▶** にタッチ。
  - 前日の番組表を表示するとき → **◀** にタッチ。

## 時間を切り替える

放送局リスト画面表示中（→ 297） → **番組表** → 番組表画面

- 1 時間切り替えスイッチの **▲** または **▼** にタッチ。
  - 前の時間に切り替えるとき → **▲** にタッチ。
  - 後の時間に切り替えるとき → **▼** にタッチ。

## チャンネルを切り替える

放送局リスト画面表示中（→ 297） → **番組表** → 番組表画面

- 1 チャンネル切り替えスイッチの **▶** または **◀** にタッチ。
  - プリセットスイッチの番号が大きい方へ切り替えるとき → **▶** にタッチ。
  - プリセットスイッチの番号が小さい方へ切り替えるとき → **◀** にタッチ。

## 番組表をリスト表示する

- 該当の放送局の番組表をリスト表示する

放送局リスト画面表示中 (→ 297) →

**番組表** → 番組表画面

- 1  にタッチ。



- 該当の放送局の番組表がリスト表示されます。



- 全ての番組表をリスト表示する

放送局リスト画面表示中 (→ 297) →

**番組表** → 番組表画面

- 番組表の1時間枠内で3番組以上の番組がある場合、全ての番組表をリスト表示することができます。

- 1  マークが表示されている番組を選択する。



- 全ての番組表がリスト表示されます。



## 番組内容を見る

番組表画面表示中 (→ 308、309)

- 1 情報が見たい番組を選択する。
- 番組内容画面が表示されます。



## 番組を見る

番組内容画面表示中 (→ 309)

- 1 **チャンネル切替** にタッチ。

- 番組内容画面で表示されている番組の映像に切り替える。

## データ放送を見る

データ放送とはデジタルテレビ映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。受信するデータ放送により、番組の内容と関係ないニュースや天気、交通情報などの独立した情報や番組に連動した情報を見ることができます。



**チェック**

- ・データ放送を受信可能な場合、**[d]** マークが表示されます。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)

1 **[d操作]** にタッチ。

2 **[d]** にタッチ。



- データ放送画面が表示されます。

**ワンポイント**

- ・ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。
- ・データ放送を受信可能な場合、デジタルテレビ操作画面に「d」が表示されます。

**データ放送を操作する**

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

**ワンポイント**

- ・データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。
- ・データ放送の内容により、入力する文字の種類は限定されることがあります。(カナのみなど)
- ・データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組があります。本機にはデジタルテレビ放送用の通信機能がないため、双方向通信に対応していません。
- ・番組によっては、独自の画面キーボードを表示します。その場合は、画面にしたがって操作してください。

**データ放送操作画面を表示する**

データ放送を操作するときは、データ放送操作画面を表示して行います。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)

1 **[d操作]** にタッチ。



- データ放送操作画面が表示されます。
  - ・スイッチを消すとき
    - ➔ **[ボタン消]** にタッチ。
  - ・データ放送画面を解除するとき
    - ➔ **[d]** にタッチ。

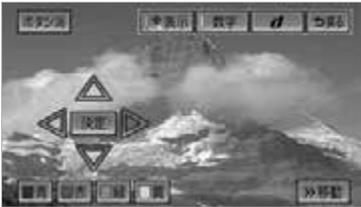
オーディオ&ビデオ

## 色ボタン、カーソルで操作する

データ放送を操作するとき、色ボタンとカーソルを使用します。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)  
→ **d 操作** → **d** → データ放送画面

- 1 **表示** にタッチ。
- 2 色ボタンまたはカーソルにタッチ。



- カーソルを操作して選択するとき
  - **決定** にタッチ。
  - ・ 色ボタン・カーソルの表示位置を左に移動したいとき
    - **左移動** にタッチ。
  - ・ 色ボタン・カーソルの表示位置を右に移動したいとき
    - **右移動** にタッチ。

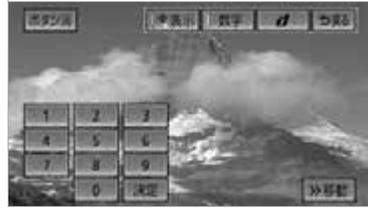
## 10 キー (テンキー) で操作する

数字を入力するときを使用します。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)  
→ **d 操作** → **d** → データ放送画面

- 1 **数字** にタッチ。

- 2 数字を入力し、**決定** にタッチ。



- ・ 10 キーの表示位置を左に移動したいとき
  - **左移動** にタッチ。
- ・ 10 キーの表示位置を右に移動したいとき
  - **右移動** にタッチ。

## 画面を戻す

データ放送画面を戻したいときに使用します。

データ放送操作画面表示中 (→ 310)

- 1 **戻る** にタッチ。



## 画面表示・音声を切り替える

ご覧になっている番組が提供している映像や音声などをお好みに合わせて切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)

- 1 **設定** にタッチ。
- 2 各種切替の **設定する** にタッチ。

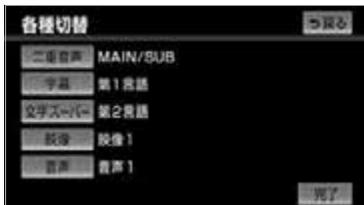


## 映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供するマルチビュー放送をおこなっている場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)  
→ **設定** → 各種切替の **設定する** → 各種切替画面

- 1 **映像** にタッチ。



- タッチすることにより、映像が切り替わります。

## ワンポイント

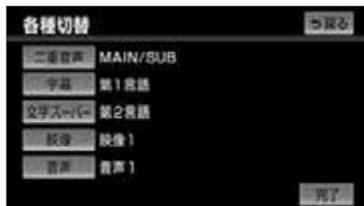
- 映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

## 音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)  
→ **設定** → 各種切替の **設定する** → 各種切替画面

- 1 **音声** にタッチ。



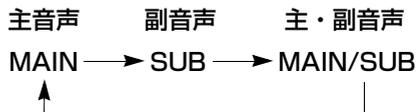
- タッチすることにより、音声切り替わります。

## 音声多重放送の音声モードを切り替える

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)

- 1 **設定** にタッチ。
- 2 各種切替の **設定する** にタッチ。
- 3 **二重音声** にタッチ。

- タッチすることにより、以下の順に切り替わります。



- 4 **完了** にタッチ。

## ワンポイント

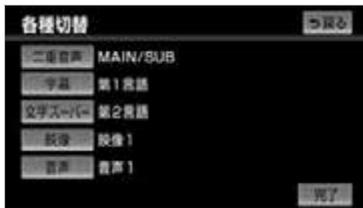
- 副音声または主・副音声を選択している場合、受信状態によって主音声・副音声がいまばんに切り替わることがあります。

## 字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語）を提供している場合、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 295）  
→ **設定** → 各種切替の **設定する** → 各種切替画面

### 1 **字幕** にタッチ。



- タッチすることにより、字幕が以下の順に切り替わります。

字幕 OFF → 第 1 言語 → 第 2 言語

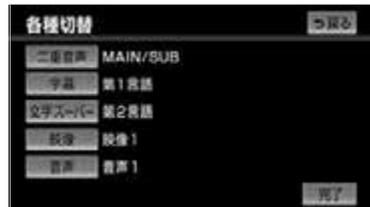


## 文字スーパーを切り替える

ご覧になっている番組が文字スーパーを提供している場合、お好みに合わせて表示言語を切り替えることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中（→ 295）  
→ **設定** → 各種切替の **設定する** → 各種切替画面

### 1 **文字スーパー** にタッチ。



- タッチすることにより、文字スーパーが以下の順に切り替わります。

字幕 OFF → 第 1 言語 → 第 2 言語



## 緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS:Emergency Warning System) は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

### ワンポイント

- ・ 以下の場合は、緊急警報放送の内容を表示することができません。
  - ・ 交差点拡大図を表示しているとき
  - ・ カメラ映像を表示しているとき
  - ・ ハンズフリー着信時や通話中のとき
  - ・ デジタル TV でホームプリセット設定をしていないとき
  - ・ ディスプレイがオープン状態のとき

## 初期設定をする

各種機能設定やメールの閲覧などを行うことができます。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)

## 1 **設定** にタッチ。

## 2 初期設定の **設定する** にタッチ。



- 初期設定画面が表示されます。初期設定画面から以下の項目を設定することができます。

項目	ページ
ホームプリセットの設定	314
居住地域の登録	316
メールの閲覧	317
miniB-CAS カードの情報の閲覧	317
miniB-CAS カードの動作テスト	317

## ホームプリセットの設定

ご使用になる地域で受信できる放送局 (チャンネル) を自動で受信して、プリセットスイッチに記憶させることができます。ホームプリセットの設定には、新たに記憶させる初期スキャンと、現在記憶されているプリセットスイッチに新たに受信できる放送局 (チャンネル) を追加させる追加スキャンの 2 種類があります。

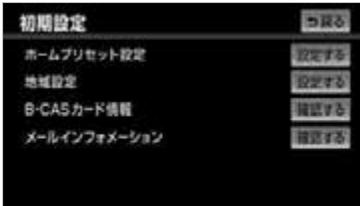
### ワンポイント

- ・ 最大 36 局まで受信し、受信した放送局のうち 12 局がプリセットスイッチに表示されます。

## ■初期スキャンをする

デジタルテレビ操作画面表示中(→295)  
→**設定**→初期設定の**設定する**→  
初期設定画面

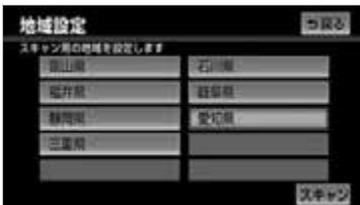
- 1 ホームプリセット設定の**設定する**にタッチ。



- 2 **初期スキャン**にタッチ。



- 3 地域を選択する。
  - 4 都道府県を選択し、**スキャン**にタッチ。
- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。



- 受信を中止したいとき  
→ **キャンセル**にタッチ。

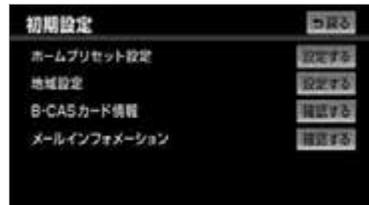
- 5 **OK**にタッチ。

- 6 **完了**にタッチ。(手順2の画面)

## ■追加スキャンをする

デジタルテレビ操作画面表示中(→295)  
→**設定**→初期設定の**設定する**→  
初期設定画面

- 1 ホームプリセット設定の**設定する**にタッチ。



- 2 **追加スキャン**に“ピッ”と音がするまでタッチし続ける。
- ホームプリセット設定画面が表示され、自動で放送局の受信が始まります。
  - 受信を中止したいとき  
→ **キャンセル**にタッチ。

- 3 **OK**にタッチ。

- 4 **完了**にタッチ。

## 📖ワンポイント

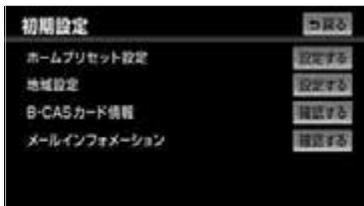
- プリセットスイッチに表示されていない放送局を記憶したい、またはプリセットスイッチの順番を変更したい場合は、プリセットスイッチの変更(→316)が必要です。



## ■プリセットスイッチの内容を変更する

デジタルテレビ操作画面表示中(→295)  
→**設定**→初期設定の**設定する**→  
初期設定画面

- 1 ホームプリセット設定の**設定する**にタッチ。



- 2 変更したいプリセットスイッチを選択する。



- 3 記憶したい放送局を選択し、**完了**にタッチ。

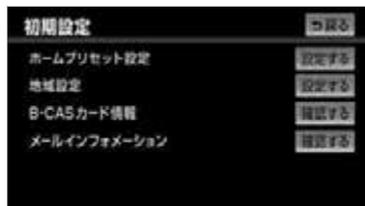
- 後ろの放送局を選択するとき  
→ **▶** にタッチ。
- 前の放送局を選択するとき  
→ **◀** にタッチ。

## ■居住地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。引越したときは必ず設定してください。

デジタルテレビ操作画面表示中(→295)  
→**設定**→初期設定の**設定する**→  
初期設定画面

- 1 地域設定の**設定する**にタッチ。



- 2 郵便番号を入力し、**次へ**にタッチ。  
・間違えたとき  
→ **修正**にタッチ。

- 3 地域を選択する。

- 東京都島部(伊豆・小笠原諸島)と鹿児島県島部(南西諸島の鹿児島県域)にお住まいの方  
→ **沖縄地方・その他**にタッチ。

- 4 都道府県を選択し、**完了**にタッチ。

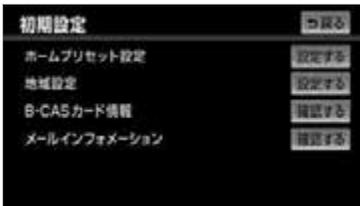


## 受信したメールを見る

放送局から受信したメールを見ることができます。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)  
→ **設定** → 初期設定の **設定する** →  
初期設定画面

- 1 メールインフォメーションの **確認する** にタッチ。



- 2 見たいメールを選択する。



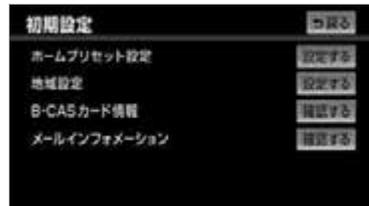
- メール詳細画面が表示されます。

## miniB-CAS カードの情報を見る

本機に挿入されている miniB-CAS カードの情報を確認します。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)  
→ **設定** → 初期設定の **設定する** →  
初期設定画面

- 1 B-CAS カード情報の **確認する** にタッチ。



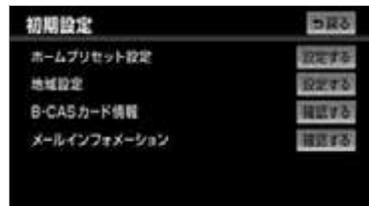
- B-CAS カード情報画面が表示されます。

## miniB-CAS カードの動作確認をする

本機に挿入されている miniB-CAS カードの動作確認をします。

デジタルテレビ操作画面表示中 (→ 295)  
→ **設定** → 初期設定の **設定する** →  
初期設定画面

- 1 B-CAS カード情報の **確認する** にタッチ。

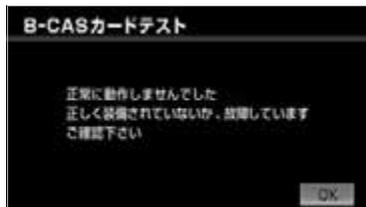


- 2 **B-CAS カードテスト** にタッチ。



### 3 **OK** にタッチ。

<異常時の画面>



#### ワンポイント

- ・ テストで異常を検出した場合、miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
- ・ miniB-CAS カードが差し込まれていなかったり、異なるカードが差し込まれていたりする場合は、カードID は表示されません。



## AUX の操作

市販のポータブルオーディオなどを本機の AUX 入力 (RCA) 端子に接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を本機で再生することができます。

**チェック**

- ・ポータブルオーディオを接続する場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- ・本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえお使いください。



## ポータブルオーディオをお使いになる前に

### 警告

- ・ 接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRS エアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRS エアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

SRS エアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。



- ・ ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。



## ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

### ⚠ 重要

- ・ 接続コードの端子に手を引っ掛けたりしないよう注意してください。

### 🔍 チェック

- ・ ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- ・ オーディオのソースが AUX 以外になっている、または OFF になっていることを確認してください。

- 1 接続コードをポータブルオーディオに接続する。（取りはずす）

### 📖 ワンポイント

- ・ 運転中は、ポータブルオーディオの接続・取りはずしをしないでください。

## ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

- 1 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生する。
- 2 **AV**（画面外）を押す。
- 3 **AUX** にタッチ。
  - ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。



### 📖 ワンポイント

- ・ 運転中は、ポータブルオーディオの操作をしないでください。
- ・ 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意下さい。
- ・ オーディオのソースが AUX のときに音量を調整すると、AUX 用の音量レベルとして記憶させることができます。
- ・ ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。お車に装着されているシガライタソケットやアクセサリソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

## ポータブルオーディオを終わる

- 1 **AV**（画面外）を 1 秒以上押す。
  - AUX を終了してもポータブルオーディオは、再生を続けます。（音声は出力されません。）
  - 再度、**AV**（画面外）を 1 秒以上押すと再生音が出力されます。



## VTR の操作

市販の VTR 機器を本機の VTR 入力 (RCA) 端子に接続すると、ビデオをご覧になります。

 チェック

- ・ VTR 機器を接続する場合は、別売の「拡張配線コード」をお買い求めください。
- ・ iPod を接続する場合は、別売の「iPod 接続コード」をお買い求めください。
- ・ 本機で使用できる iPod については、「本機で使用できるメディア／データについて」(→ 456) をご覧ください。
- ・ エンジンスイッチが ON または ACC で、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にソースを VTR に切り替えた場合、音声のみになります。)

VTR 機器を再生しているときに、**AV**(画面外) を押す、または映像をご覧になっているときに画面にタッチすると、VTR 操作画面が表示されます。

**映像** または映像にタッチすると操作画面が解除されます。



## VTR を再生する

- 1 **AV**(画面外) を押す。
- 2 **VTR** にタッチ。

### ワンポイント

- ・画面継続表示の設定を **しない** に設定した場合、VTR 操作画面を表示させてから約 20 秒以上操作をしなかったときは、VTR 操作画面は自動解除され、もとの画面に戻ります。また、**する** に設定すると、VTR 操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。(→ 51)
- ・接続する VTR 機器や再生するメディアによっては、映像が正しく表示されなかったり、音声が聞き取りにくくなったりする場合があります。
- ・別売の後席モニターを接続している場合、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。
- ・接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

## 音声の出力方法を切り替える

VTR 操作画面表示中 (→ 322)

- 1 **アナログ** または **USB** にタッチ。
  - **アナログ** → VTR 入力端子 (RCA) から入力された音声を出力します。
  - **USB** → USB から入力された音声を出力します。

### ワンポイント

- ・スマートフォンの動画を再生する場合は、**USB** にタッチし、音声の出力方法を切り替えてください。

## 画面モードを切り替える

VTR 操作画面表示中 (→ 322)

- 1 **Wide** にタッチ。
- 2 **Normal** ・ **Wide 1** ・ **Wide 2** のいずれかにタッチ。



- 3 **完了** にタッチ。

### ワンポイント

- ・お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。



## iPod の操作

本機で使用できる iPod については、「本機で使用できるメディア／データについて」(→ 456) をご覧ください。

エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。

iPod を再生しているときに、**AV**(画面外) を押すと、iPod 操作画面が表示されま

す。

・ 本体(画面外)のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

### チェック

- ・ iPod を接続する場合は、別売の「iPod 接続コード」をお買い求めください。
- ・ 走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

### ■ iPod 操作画面



※画面は、iPod Audio を使用しています。

※操作画面は、装備の有無などにより、実際の画面と異なることがあります。

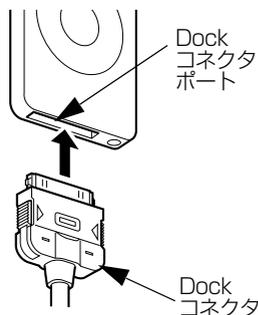
★印はシステムアップ製品(別売)です。

## iPod を接続する

### チェック

- ・ iPod に接続されているアクセサリはすべて取りはずしてください。
- ・ ご使用になる iPod および接続コードの適合については、ECLIPSE ホームページを確認してください。

### 1 iPod と接続コードの Dock コネクタを接続する。



### ワンポイント

- ・ iPod を接続すると、**USB** が **iPod** にかわります。

## iPod を取りはずす

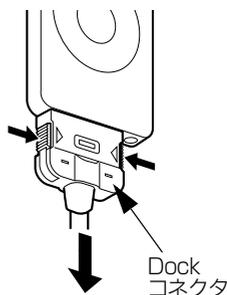
### 重要

- ・ 本機で iPod を使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- ・ iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。その場合、弊社は補償することができません。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。また、車を離れるときは、車内に放置しないでください。
- ・ iPod 本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、音楽の再生中は、iPod 保護のため、iPod から Dock コネクタを取りはずさないでください。

### チェック

- ・ エンジンスイッチを OFF (LOCK) にする、またはソースを iPod 以外に切り替えてください。

### 1 Dock コネクタを矢印の方向に押しながら、取りはずす。



### ワンポイント

- ・ 本機と iPod を接続しても、ソースは自動で iPod に切り替わりません。
- ・ iPod を本機に接続すると iPod に“ECLIPSE”が表示されます。また、“ECLIPSE”が表示されている間は iPod による操作をすることができません。
- ・ iPod の電源を OFF にしたまま接続すると、“ECLIPSE”が表示されず“充電済”マークが表示されることがあります。この場合、iPod のいずれかのボタンを押すと、“ECLIPSE”が表示されます。
- ・ ご使用になる iPod によっては接続中に“ECLIPSE”が表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- ・ エンジンスイッチが ACC または ON になっている場合、接続した iPod のバッテリーが充電されます。ただし、電池残量により iPod が起動するまでに時間がかかる場合があります。
- ・ 本機に iPod を接続すると、本機で表示されるリストの順番や表示項目が iPod と異なることがあります。
- ・ iPod が操作不能になった場合は、iPod の接続をはずし、iPod をリセットしてから再度接続してください。iPod のリセット方法については、iPod の取扱説明書を参照してください。

- ・ 正しく動作しない場合、iPod の接続をはずし、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にして、再度エンジンスイッチを ON、または ACC にした後、iPod 本体をリセットしてから再度接続してください。
- ・ iPod が接続されている状態で、他ソースより iPod ソースに切り替えたとき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。
- ・ iPod 本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、再生中は、iPod 保護のため、iPod を取りはずさないでください。
- ・ 別売の後席用モニターを接続している場合、走行中でも後席で iPod video をご覧になることができます。
- ・ iPod に収録されているファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ・ アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、半角で最大 31 文字、全角で最大 15 文字まで表示することができます。（名称によっては、表示できない場合があります。）
- ・ エンジンスイッチを OFF (LOCK) にした後は、必ず iPod を取りはずしてください。iPod を接続したままにすると、iPod の電源が切れず、iPod のバッテリーを消費する場合があります。

## 再生する

- 1 iPod を本機に接続した状態で、**AV**(画面外)を押す。
- 2 iPod にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 再生中の曲にジャケット写真データが収録されている場合、ジャケット写真を表示します。複数のジャケット写真データが収録されている場合は、先頭に収録されている画像のみ表示します。
- ・ ジャケット写真データによっては、表示されない場合があります。

## プレイモードを選ぶ

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

iPod Audio 再生時

- 1 **MUSIC MENU** にタッチ。
- 2 リスト画面でプレイモードを選択する。



## プレイモードスイッチを並び替える

MUSIC MENU 画面に表示されるプレイモードスイッチを並び替えることができます。よく使用するプレイモードを 1 ページ目に並び替えると便利です。

iPod 操作画面 (→ 324) → **MUSIC MENU** → タブ設定画面

- 1 **タブ設定** にタッチ。
- 2 1 ページ目に表示したいモード 4 つを選択し、**完了** にタッチ。



iPod Video 再生時

- 1 **VIDEO MENU** にタッチ。
- 2 リスト画面でプレイモードを選択する。



## ワンポイント

- ・ 選択した 4 つの選曲モードおよび選択していない選曲モードは、MUSIC MENU 画面の各ページに PLAYLISTS → ARTISTS → ALBUMS → SONGS → PODCASTS → GENRES → COMPOSERS の順番で表示されます。

## 再生したいファイルを選ぶ

### 操作画面で選ぶ

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

- 1 **▶▶** または **◀◀** にタッチ。
  - うしろにあるとき → **▶▶** にタッチ。
  - 前にあるとき → **◀◀** にタッチ。

### メニューバーのスイッチで選ぶ

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチ。
  - うしろにあるとき → **▶▶** にタッチ。
  - 前にあるとき → **◀◀** にタッチ。

## リスト画面で選ぶ

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

- 1 **TRACK LIST** にタッチ。
- 2 聞きたい曲、または見たいファイルにタッチ。

iPod Audio 再生時



iPod Video 再生時



- ・ 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

## プレイモード内のリストで選ぶ

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

- 1 リスト切り替えスイッチの **▼** または **▲** にタッチ。



リスト切り替えスイッチ

### ワンポイント

- ・ iPod Audio 再生時にプレイモードで SONGS が選択されている場合は、操作することができません。

## 一時停止をする

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

- 1 **⏸** にタッチ。
  - ・ 通常再生するとき  
→ **▶** にタッチ。

## 早送り、早戻しする

### 操作画面で操作する

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

- 1 **⏩** または **⏪** にタッチし続ける。
  - 早送りするとき  
→ **⏩** にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき  
→ **⏪** にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。



メニューバーのスイッチで操作する

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチし続ける。
  - 早送りするとき
    - **▶▶** にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき
    - **◀◀** にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

同じファイルを繰り返し再生する

選択しているファイルを繰り返し再生することができます。

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

- 1 **RPT** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **RPT** にタッチ。

#### ワンポイント

- ・ 本機で **RPT** を設定した状態で iPod を取りはずした場合、iPod はリピート再生の設定に切り替わります。

プレイモードのリストの中からランダムに再生する

選択しているプレイモードのリストの中からランダム (無作為) にファイルを選択し再生することができます。

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

- 1 **SHUFFLE** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **SHUFFLE** にタッチ。

#### ワンポイント

- ・ 本機で **SHUFFLE** を設定した状態で iPod を取りはずした場合、iPod はシャッフル再生の設定に切り替わります。

全リストの中からランダムに再生する

全リストの中からランダム (無作為) にリストを選択し再生することができます。

iPod 操作画面表示中 (→ 324)

- 1 **SHUFFLE** に “ピッ” と音がするまでタッチし続ける。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **SHUFFLE** にタッチ。

#### ワンポイント

- ・ 接続した iPod の状態によっては、異なる動作をすることがあります。
- ・ 本機で **SHUFFLE** を設定した状態で iPod を取りはずした場合、iPod はシャッフル再生の設定に切り替わります。



## USB の操作

USB メモリを接続すると、収録されている MP3/WMA/AAC ファイルを再生することができます。また、リストからの選曲やランダム再生の切り替えなどを本機で操作することができます。本機で使用できる USB メモリ、USB メモリに記録できる音楽データについては、「本機で使用できるメディア/データについて」(→456)をご覧ください。

エンジンスイッチが ACC または ON のときに使用することができます。

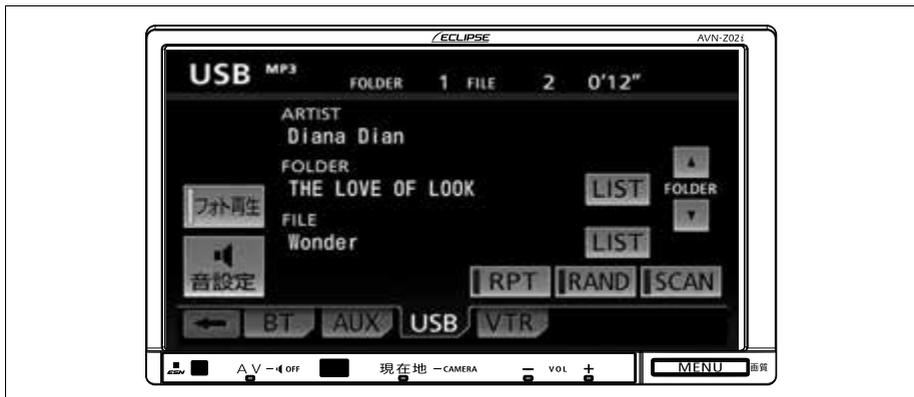
USB メモリを再生しているときに、**AV** (画面外) を押すと、USB 操作画面が表示されます。

・ 本体 (画面外) のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。

### チェック

・ 走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

### ■USB 操作画面



※ 操作画面は、装備の有無などにより、実際の画面と異なることがあります。

### 再生する

- 1 USB メモリを接続する。(→36)
- 2 **AV** (画面外) を押す。
- 3 **USB** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ 本機と USB メモリを接続しても、自動で USB モードに切り替わりません。
- ・ 本機に USB メモリを接続すると、本機で表示されるリストの順番が USB メモリと異なることがあります。
- ・ USB モード中に USB 端子を抜いたり、接続する機器を抜き差ししたりすると、雑音が出る場合があります。
- ・ USB メモリが接続されている状態で、他モードより USB メモリモードに切り替えたととき、前回、最後に再生していた曲から再生されます。

## 聞きたいフォルダを選ぶ

### 操作画面で選ぶ

USB 操作画面表示中 (→ 330)

- 1 FOLDER の  または  にタッチ。
  - うしろにあるとき  
→  にタッチ。
  - 前にあるとき  
→  にタッチ。

## リストから選ぶ

USB 操作画面表示中 (→ 330)

- 1 FOLDER の **LIST** にタッチ。
- 2 聞きたいフォルダにタッチ。



- ・ 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

## 聞きたい曲 (ファイル) を選ぶ

### メニューバーのスイッチで選ぶ

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2  または  にタッチ。
  - うしろにあるとき  
→  にタッチ。
  - 前にあるとき  
→  にタッチ。



## リストから選ぶ

USB 操作画面表示中 (→ 330)

- 1 FILE の **[LIST]** にタッチ。
- 2 聞きたい曲にタッチ。



- ・ 走行中はリスト表示を切り替えることはできません。

## 早送り、早戻しする

- 1 **[MENU]** (画面外) を押す。
- 2 **[▶▶]** または **[◀◀]** に“ピツ”と音がするまでタッチし続ける。
  - 早送りするとき
    - **[▶▶]** にタッチし続ける
  - 早戻しするとき
    - **[◀◀]** にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

## 同じ曲 (ファイル) を繰り返し聞く

選択している曲を繰り返し再生することができます。

USB 操作画面表示中 (→ 330)

- 1 **[RPT]** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **[RPT]** にタッチ。

## 同じフォルダを繰り返し聞く

選択しているフォルダを繰り返し再生することができます。

USB 操作画面表示中 (→ 330)

- 1 **[RPT]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **[RPT]** にタッチ。

## フォルダの中からランダムに聞く

選択しているフォルダの中からランダム (無作為) に曲を選択し再生することができます。

USB 操作画面表示中 (→ 330)

- 1 **[RAND]** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **[RAND]** にタッチ。

## 全フォルダの中からランダムに聞く

全フォルダの中からランダム (無作為) に曲を選択し再生することができます。

USB 操作画面表示中 (→ 330)

- 1 **[RAND]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
    - ・ 解除するとき
      - 再度 **[RAND]** にタッチ。

## フォルダの中から曲（ファイル）を探す

選択しているフォルダの全曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

USB 操作画面表示中（→ 330）

- 1 **[SCAN]** にタッチ。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - 希望の曲になったら、再度 **[SCAN]** にタッチすると、その曲の再生を続けます。
  - 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

## フォルダを探す

全フォルダの先頭の曲の始めの部分を約 10 秒間次々に再生することができます。

USB 操作画面表示中（→ 330）

- 1 **[SCAN]** に“ピー”と音がするまでタッチし続ける。
  - スイッチの作動表示灯が点灯します。
  - 希望の曲になったら、再度 **[SCAN]** にタッチすると、その曲の再生を続けます。
  - 全曲の再生が終わったら、自動的に解除されます。

## MP3/WMA/AAC について

MP3 (MPEG Audio LAYER3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

AAC (Advanced Audio Coding) は高音質・高圧縮を目的にした音声圧縮フォーマットです。

MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

## MP3/WMA/AAC の再生について

MP3/WMA/AAC ファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初の MP3/WMA/AAC ファイルを再生します。ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。ファイルのチェックを早く終わらせるために MP3/WMA/AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

### ワンポイント

- ・ MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3” / “.wma” / “.m4a”の拡張子をつけると、MP3/WMA/AAC ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3/WMA/AAC 以外のファイルに“.mp3” / “.wma” / “.m4a”の拡張子をつけしないでください。
- ・ MP3/WMA/AAC ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。
- ※ VBR (可変ビットレート) の FAST UP/DOWN 動作をすると、演奏時間が一致しないことがあります。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

## MP3/WMA ファイルの作り 方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

### インターネット上の MP3/WMA 音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な MP3/WMA 音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

### 音楽 CD から MP3/WMA ファ イルに変換する場合

パソコンと市販の MP3/WMA エンコーダ（変換）ソフトを用意します。（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります。）パソコンの CD-ROM ドライブに音楽 CD を入れ、MP3/WMA エンコーダソフトの手順に従って音楽 CD の曲を圧縮変換すると、MP3/WMA 形式の音楽データファイルができます。

### ワンポイント

- ・ 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHz のサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- ・ CD-R、CD-RW はディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ・ MP3/WMA は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

### CD-R/RW に書き込む場合

MP3/WMA ファイルをパソコンに接続されている CD-R/RW ドライブを介して CD-R/RW に書き込みます。この時、ライティングソフトで ISO9660 レベル 1 またはレベル 2、ROMEO、JOLIET という記録フォーマットに設定して書き込みます。

### ワンポイント

- ・ ディスクに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- ・ 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Media は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。



## はじめに

### Bluetooth® オーディオとは

動作確認済の Bluetooth 対応機器\*を本機に接続することで、Bluetooth 対応機器を直接操作することなく使用できます。

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

※本機で Bluetooth 無線技術を搭載した機器をご使用になる場合は、その機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題が無いことを確認のうえお使いください。動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSE ホームページを確認してください。

本機で使用できる Bluetooth 対応機器の対応 Bluetooth 仕様および対応プロファイルについては「本機で使用できるメディア/データについて」(→ 456)をご確認ください。ただし、Bluetooth 対応機器の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号は、各所有権者が所有する財産です。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

### 警告

- ・ 安全のため、運転者は運転中に Bluetooth 対応機器本体の操作をしないでください。

### 注意

- ・ Bluetooth 対応機器は車室内に放置しないでください。  
炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- ・ Bluetooth 対応機器を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。
- ・ 本機で Bluetooth オーディオを使用しているときに Bluetooth 対応機器のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。

### ワンポイント

- ・ 他の無線機器と同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- ・ Bluetooth 接続により、Bluetooth 対応機器の電池が早く消耗します。



## 各種表示について

### 電池残量表示

Bluetooth 対応機器の電池残量の目安を表示します。ただし、データの転送中は表示されません。

- ・ 接続した機器によっては、電池残量の表示ができませんことがあります。
- ・ 電池残量表示は Bluetooth 対応機器の表示と一致しないことがあります。

電池残量表示



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

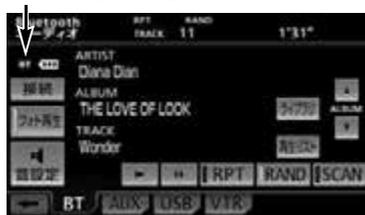
表示				
残量	無	少	←→	多

- ・ 外部電源が接続されているときは残量表示は で表示されます。

## Bluetooth® 接続状態表示

Bluetooth 対応機器の Bluetooth 接続状態を表示します。

Bluetooth 接続状態表示



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

表示	接続状態
	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態でご使用ください。
	この状態では再生時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、Bluetooth 対応機器を移動してご使用ください。
	本機と Bluetooth 対応機器が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と Bluetooth 対応機器を接続するか、表示が消える距離まで本機と Bluetooth 対応機器を近づけてください。



### 📖 ワンポイント

- Bluetooth 通信用のアンテナがディスプレイ内に内蔵されています。  
次のような場所や状態で Bluetooth 対応機器を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。
  - ディスプレイから隠れる場所にあるとき（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
  - 金属製のものに接したり、覆われているとき
- Bluetooth 対応機器を使用するときは、青色の表示が出るように、Bluetooth 対応機器の場所を移動させてください。
- Bluetooth 対応機器を接続しても充電されません。

### Bluetooth® 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記 3 種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。

変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。

想定干渉距離は 10m 以下です。

この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

### 📖 ワンポイント

- 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。  
シールをはがさないでください。
- 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。



## 他の Bluetooth 機器と同時に使用するとき

- 他の Bluetooth 機器を同時に使用するときは、次のようになります。
  - ・ Bluetooth 対応機器の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ・ Bluetooth 対応機器の再生音声にノイズが発生することがあります。
  - ・ ポータブル機の動作が遅くなる場合があります。
- 再生中にハンズフリーで使用する携帯電話の選択を変更した場合、再生音声が途切れることがあります。
- ハンズフリーの電話帳データ転送中は、Bluetooth 対応機器の接続が切断されます。  
この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時に接続できない場合があります。

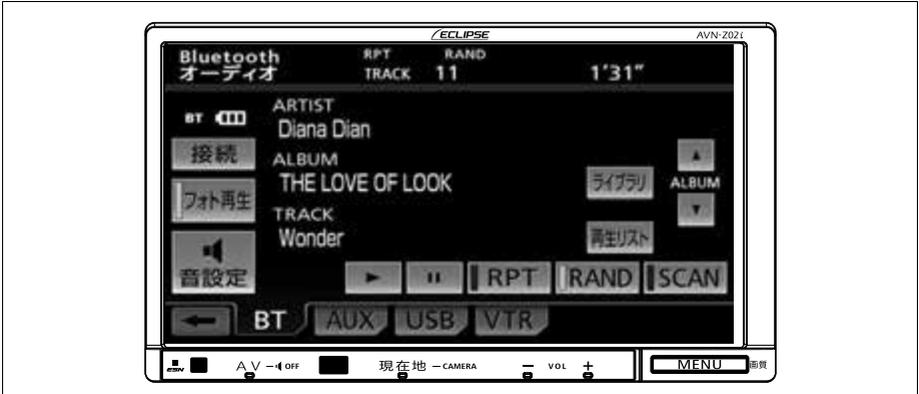


## Bluetooth® オーディオの操作

Bluetooth 対応機器を接続したときに、接続した機器を再生することができます。Bluetooth オーディオを使用するためには、まず本機に Bluetooth 対応機器を登録することが必要です。(→ 343)

Bluetooth オーディオモードを選択しているときに、**AV** (画面外) を押すと、Bluetooth オーディオ操作画面が表示されます。

・ 本体 (画面外) のスイッチは、操作画面が表示されていないときでも操作することができます。



※操作画面は、装備の有無などにより、実際の画面と異なることがあります。

### ■操作画面について

接続した機器によっては、アーティスト名、アルバム名、トラック名、電池残量などの表示や ALBUM の ▲・▼ などのスイッチが表示されない画面が表示されることがあります。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

### Bluetooth® オーディオを聞

<

- 1 本機に Bluetooth 対応機器を登録する。(→ 343)
- 2 本機と Bluetooth 対応機器を接続する。(→ 344)
- 3 **AV** (画面外) を押す。
- 4 **BT** にタッチ。



## ワンポイント

- ・接続した Bluetooth 対応機器によっては、次のような場合があります。
  - ・自動で再生を開始しない。(この場合、機器本体を操作すると再生が開始できることがあります。)
  - ・本機で操作できない。
  - ・動作や音量が異なる。
  - ・本機と Bluetooth 対応機器で曲情報や時間表示などの表示が異なる。
  - ・再生を停止すると、接続が切断される。この場合、手動で接続してください。(→ 346)
- ・また、本機との接続状態によっては、本機で操作できない場合があります。そのときは、接続状態表示が良好であることを確認してから再度操作してください。(→ 336)
- ・Bluetooth 対応機器機器に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ・アーティスト名や曲名(トラック名称)などは、以下のように表示することができます。
 

アーティスト名：  
半角で最大 25 文字、全角で 12 文字まで  
アルバム名および曲名：  
半角で最大 25 文字、全角で 12 文字まで

ただし、文字や接続している Bluetooth 対応機器によっては、上記のように表示されない場合や文字が表示されない場合があります。
- ・Bluetooth 対応機器によっては、機能に対応していないため、スイッチにタッチしても操作できない場合があります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。
- ・オーディオのソースが Bluetooth オーディオのときに音量を調整すると、Bluetooth オーディオ用の音量レベルとして記憶させることができます。

## 一時停止する

## Bluetooth 対応機器接続時

Bluetooth オーディオ操作画面表示中  
(→ 339)

- 1  にタッチ。
  - ・通常再生するとき →  にタッチ。

## ワンポイント

- ・接続した機器によっては、一時停止時に  にタッチすることで、再生する場合があります。また、再生中に  にタッチすることで、一時停止する場合があります。

## 聞きたいアルバムを選ぶ

## Bluetooth 対応機器接続時

この機能は、AVRCP Version 1.3 以上でアルバム操作に対応したポータブルオーディオのみ表示・操作できません。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中  
(→ 339)

- 1  または  にタッチ。
  - うしろにあるとき  
→ ALBUM の  にタッチ。
  - 前にあるとき  
→ ALBUM の  にタッチ。

## ワンポイント

- ・接続した機器によっては機能に対応していないため、スイッチが表示されない場合があります。

## 聞きたい曲を選ぶ

Bluetooth 対応機器接続時

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチ。
  - うしろにあるとき  
→ **▶▶** にタッチ。
  - 前にあるとき  
→ **◀◀** にタッチ。

## 早送り、早戻しする

Bluetooth 対応機器接続時

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **▶▶** または **◀◀** にタッチし続ける。
  - 早送りするとき  
→ **▶▶** にタッチし続ける。
  - 早戻しするとき  
→ **◀◀** にタッチし続ける。
  - 希望の位置で手を離すと、その位置から再生されます。

### ワンポイント

- ・ 接続した機器によっては、手を離れたあとも早送り、早戻しが継続される場合があります。この場合、再度 **▶▶** または **◀◀** にタッチすることで、再生が再開されます。

## 同じ曲を繰り返し聞く

Bluetooth 対応機器接続時

選択している曲を繰り返し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中  
(→ 339)

- 1 **RPT** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。  
・ 解除するとき → 再度 **RPT** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ Bluetooth 対応機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能を使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

## 曲の順番をランダムに聞く

Bluetooth 対応機器接続時

ランダム (無作為) に曲を選択し再生することができます。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中  
(→ 339)

- 1 **RAND** にタッチ。

- スイッチの作動表示灯が点灯します。  
・ 解除するとき → 再度 **RAND** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。
- ・ Bluetooth 対応機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能を使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。



## ライブラリから曲を選ぶ

### Bluetooth 対応機器接続時

Bluetooth 対応機器に収録されているフォルダや曲の一覧を表示して、聞きたい曲を選ぶことができます。この機能は、AVRCP Ver. 1.4 に対応した Bluetooth 対応機器のみ表示・操作できます。

### Bluetooth オーディオ操作画面表示中 (→ 339)

- 1 **ライブラリ** にタッチ。
- 2 曲一覧が表示されるまでフォルダ、または曲にタッチ。



- フォルダのリストには、 マークが表示されます。
- フォルダにタッチすると、1 階層下のフォルダ、または曲の一覧を表示することができます。
  - ・ 1 階層上のフォルダに戻るとき → **戻る** にタッチ。
  - ・ 操作画面に戻るとき → **TOP** にタッチ。

- 3 聞きたい曲にタッチ。



## ワンポイント

- ・ Bluetooth 対応機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能を使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

## 再生リストから曲を選ぶ

### Bluetooth 対応機器接続時

再生中のフォルダ内の曲を一覧から選ぶことができます。この機能は、AVRCP Ver. 1.4 に対応した Bluetooth 対応機器のみ表示・操作できます。

### Bluetooth オーディオ操作画面表示中 (→ 339)

- 1 **再生リスト** にタッチ。
- 2 聞きたい曲にタッチ。



- ・ 操作画面に戻るとき → **TOP** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ Bluetooth 対応機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能を使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

# Bluetooth® オーディオの設定

## Bluetooth® 対応機器を登録する

Bluetooth オーディオを使用するためには、まず次の手順で本機に Bluetooth 対応機器を登録することが必要です。

- Bluetooth 対応機器は、本機に最大 5 台まで登録することができます。
- Bluetooth 対応機器の登録はカンタン初期設定からも行うことができます。(→ 49)
- Bluetooth 対応機器の Bluetooth 待ち受けを ON にするなど本機と接続できる状態にします。
- Bluetooth 対応機器側の操作については、Bluetooth 対応機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → 設定・編集画面

### 1 **機器登録** にタッチ。



### 2 **登録** にタッチ。

- 複数の Bluetooth 対応機器を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

### 3 Bluetooth 接続画面に表示される案内にしたがって、Bluetooth 対応機器本体を操作する。



- Bluetooth 対応機器の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。
- 中止するとき → **中止** にタッチ。

### 4 接続が完了したとき

→ メッセージが表示され、Bluetooth 対応機器の登録が完了する。

- 複数の Bluetooth 対応機器を使用する場合は、Bluetooth 対応機器の数だけ登録を繰り返します。
- スマートフォンナビ連携機器登録確認のメッセージが表示されます。(→ 217)

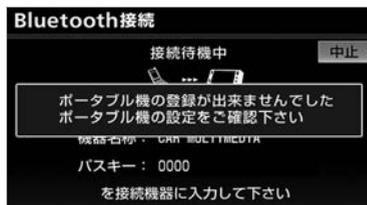
### ■ Bluetooth® 対応機器でパスキー入力できないとき

- 操作スイッチがないなど、パスキーを入力することのできない Bluetooth 対応機器の場合は、あらかじめ本機のパスキーを Bluetooth 対応機器のパスキーに変更して、登録をやり直してください。
- パスキーの変更について  
→ 「本機の **Bluetooth®** 設定を変更する」 (→ 349)
- Bluetooth 対応機器のパスキーについては、Bluetooth 対応機器に添付の取扱説明書をご確認ください。



## ■登録失敗画面が表示されたとき

「登録が出来ませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。



### ワンポイント

- Bluetooth 対応機器によっては、パスキーの入力が必要になります。
- パスキーとは、Bluetooth 対応機器を本機に登録する際のパスワードです。任意の数字に変更することもできます。(→ 349)
- Bluetooth 対応機器を登録すると、最後に登録した Bluetooth 対応機器が使用する Bluetooth 対応機器として選択されます。複数登録している場合は、使用する Bluetooth 対応機器を選択 (→ 347) することができます。
- Bluetooth 対応機器を 5 台登録していると、それ以上登録することができません。Bluetooth 対応機器の登録を削除してください。「Bluetooth® 対応機器の登録を削除する」(→ 350)
- 登録操作と接続操作が分かれている Bluetooth 対応機器の場合、パスキー入力後に Bluetooth 対応機器からの接続操作が必要になる場合があります。

## Bluetooth® 対応機器を接続する

Bluetooth 対応機器の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

- Bluetooth 対応機器側の操作については、Bluetooth 対応機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

### 自動で接続する

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC、または ON にするたびに、本機は登録 (選択) した Bluetooth 対応機器と自動的に Bluetooth 接続します。

### チェック

- Bluetooth 対応機器の Bluetooth 接続方法が「**ポータブル機器から接続**」(→ 349) に設定されている場合は、自動接続を設定することができません。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** → Bluetooth 詳細設定画面

## 1 自動ポータブル機接続の **する** にタッチ。



- 解除するとき → **しない** にタッチ。

## 2 **完了** にタッチ。

- 通常は自動接続「する」の状態で使用してください。
- Bluetooth 対応機器は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

### ■ Bluetooth® 接続確認表示

Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。使用するときには、この表示をご確認ください。



- ・ Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。(→ 336)

### 📖 ワンポイント

- ・ 「接続方法を変更する」(→ 349) で「ポータブル機から接続」に設定している場合は、自動 Bluetooth 接続の設定はできません。
- ・ 接続完了の表示は、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC、または ON にした後、初めて Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
- ・ Bluetooth 対応機器の機種によっては、次のような場合があります。
  - ・ 自動接続しない。  
この場合、手動で接続してください。(→ 346)
  - ・ エンジンスイッチが ACC、または ON のときに表示部の照明がついたままになる。  
この場合、Bluetooth 対応機器本体で照明を OFF に設定してください。(設定については、Bluetooth 対応機器に添付の取扱説明書をご覧ください。)
  - ・ 「外部からの接続」、「Bluetooth 対応機器からの接続」などの切り替え設定がある場合があります。Bluetooth 対応機器の設定をご確認ください。



## ■自動接続できなかった場合

自動接続動作は約 60 秒行います。その間に接続できなかった場合は、手で接続操作を行ってください。(→ 346)

## ■手動で接続する

自動接続が失敗したときや自動接続 OFF 状態にしているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

Bluetooth オーディオ操作画面表示中 (→ 339)

- 1 Bluetooth 対応機器を Bluetooth 接続可能な状態にする。
- 2 **接続** にタッチ。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- Bluetooth 接続状態表示を確認します。良好な状態であれば使用できます。

### ワンポイント

- ・ Bluetooth 対応機器の状態によっては、一度で接続できないことがあります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

## ■Bluetooth® 対応機器から接続するとき

Bluetooth 対応機器側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき (→ 349) は、Bluetooth 対応機器を操作して接続します。



- ・ Bluetooth 対応機器側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。
- ・ 中止するとき → **中止** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 携帯電話や DS など他の Bluetooth 機器を 2 台接続している場合、Bluetooth 対応機器を追加で接続することができません。接続できない場合は、一度他の Bluetooth 機器を切断してから、再度接続操作を行ってください。

## ■Bluetooth® 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC、または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

### ワンポイント

- ・ 再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ 346) Bluetooth 対応機器の機種によっては、自動的に再接続しない場合があります。

## ■ Bluetooth® 接続が意図的に切断された場合

Bluetooth 対応機器側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。

この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手で再接続する	346
改めて Bluetooth 対応機器を選択する	347

## 使用する Bluetooth® 対応機器を選択する

一番新しく登録した Bluetooth 対応機器が本機で使用する機器として選択されます。

複数の Bluetooth 対応機器を使用するときは、必要に応じて機器を選択します。

- Bluetooth 対応機器の登録について  
→ 「Bluetooth® 対応機器を登録する」  
(→ 343)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → 設定・編集画面

## 1 **ポータブル機接続** にタッチ。



## 2 Bluetooth 対応機器を Bluetooth 接続可能状態にする。

## 3 使用する Bluetooth 対応機器を選択する。

作動表示灯



- 選択中の Bluetooth 対応機器は、作動表示灯が点灯します。
- Bluetooth 接続中の Bluetooth 対応機器は、Bluetooth マークが表示されます。
- Bluetooth 接続中の Bluetooth 対応機器がある場合は、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。

## ワンポイント

- Bluetooth 対応機器は本機に最大 5 台まで登録することができますが本機で利用できるのは Bluetooth 対応機器接続で選択された Bluetooth 対応機器のみです。
- 携帯電話や DS など他の Bluetooth 機器を 2 台接続している場合、Bluetooth 対応機器を追加で接続することができません。接続できない場合は、一度他の Bluetooth 機器を切断してから、再度接続操作を行ってください。



■ Bluetooth® 対応機器から接続するとき

Bluetooth 対応機器側から Bluetooth 接続をするように設定しているとき (→ 349) は、Bluetooth 対応機器を操作して接続します。



- Bluetooth 対応機器側の接続操作は、必ずこの Bluetooth オーディオ接続中画面を表示させて行ってください。  
・ 中止するとき → **[中止]** にタッチ。

■ Bluetooth® 対応機器の詳細情報を表示する

本機に登録されている Bluetooth 対応機器に関する情報の表示と機器名称を変更することができます。

情報は、次の項目が表示されます。

機器名称	本機に表示される Bluetooth 対応機器の名称です。任意の名称に変更することができます。
機器アドレス	機器固有のアドレスで、変更することはできません。
自局電話番号	携帯電話の電話番号です。
対応プロファイル	Bluetooth 対応機器で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

**MENU** (画面外) → **[設定・編集]** → **Bluetooth** → **[機器登録]** → 機器登録画面

- 1 **[編集]** にタッチ。
- 2 詳細情報を表示したい Bluetooth 対応機器を選択しタッチ。
- 3 各項目を確認する。



- この画面で、次の変更を行うことができます。

項目	ページ
機器名称の変更	348
接続方法の変更	349

- 4 確認および変更が終わったら、**[戻る]** にタッチ。

■ Bluetooth® 対応機器の名称を変更する

本機に表示される Bluetooth 対応機器の名称を、任意の名称に変更することができます。

- ・ 本機で機器名称を変更しても、Bluetooth 対応機器に登録されている機器名称は変更されません。

**MENU** (画面外) → **[設定・編集]** → **Bluetooth** → **[機器登録]** → **[編集]** → **[名称変更したい Bluetooth 対応機器]** → 機器詳細情報画面

## 1 **機器名称** にタッチ。



## 2 名称を入力する。

- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40) をご覧ください。

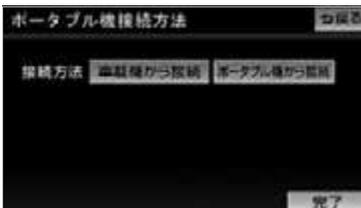
### 接続方法を変更する

本機に Bluetooth 対応機器を接続するときの方法を選択することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → **ポータブル機接続** → ポータブル機接続画面

## 1 接続方法を変更したいポータブル機の **接続方法** にタッチ。

## 2 **車載機から接続** または **ポータブル機から接続** にタッチ。



## 3 **完了** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 接続する Bluetooth 対応機器により、「車載機から接続」か「ポータブル機から接続」で、接続方法を選択する必要があります。接続方法については Bluetooth 対応機器に添付の取扱説明書をご覧ください。
- ・ 接続方法を「ポータブル機から接続」に設定した場合、「自動で接続する」(→ 344) で「する」にしているても自動接続は行いません。

### 本機の Bluetooth® 設定を変更する

Bluetooth 設定は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

機器名称	Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
パスキー	Bluetooth 対応機器を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまう場合に参考にすることができます。



機器名称またはパスキーを変更したいときは、次の手順で行ってください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** →  
 Bluetooth 詳細設定画面

- 1 機器名称またはパスキーの **変更** にタッチ。



- この画面で Bluetooth 設定情報が確認できます。

- 2 各項目を変更する。

#### ■ 機器名称

機器名称を入力する。

- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40) をご覧ください。

#### ■ パスキー

4～8桁の範囲で任意の数字を入力し、

**完了** にタッチ。

- ・ 修正するとき → **修正** にタッチ。

- 3 設定が終わったら、**完了** にタッチ。

#### 📖 ワンポイント

- ・ 機器名称を変更した場合、ハンズフリーの Bluetooth 設定の機器名称も同時に変更されます。

### Bluetooth® 設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** →  
 Bluetooth 詳細設定画面

- 1 **初期状態** にタッチ。



### Bluetooth® 対応機器の登録を削除する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **機器登録** → 機器登録画面

- 1 **削除** にタッチ。



- 2 削除する Bluetooth 対応機器を選択し、**完了** にタッチ。

- 3 **はい** にタッチ。

- 削除する Bluetooth 対応機器が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。



# マルチウィンドウ

## マルチウィンドウ機能

### マルチウィンドウについて

ナビゲーションの画面とオーディオの操作画面を左右に分割して同時に表示することができます。

#### チェック

- マルチウィンドウ画面を表示できるオーディオソースは以下です。
  - DVD
  - デジタルテレビ
  - iPod video (別売)
  - VTR (別売)
- マルチウィンドウ画面を表示中は、地図向きの切り替えや、地図の移動(スライド/タッチスクロール/ワンタッチスクロール)は操作できません。



●ナビゲーション画面+ DVD 画面

### マルチウィンドウ画面の表示

- 各オーディオ操作画面で、**マルチW** にタッチ。
  - 今、お使いになっているソースのマルチウィンドウ画面を表示します。



### マルチウィンドウ画面の操作

#### 画面サイズの調整

映像が表示されるソースでは、マルチウィンドウの画面サイズ(右画面)を切り替えることができます。

#### 画面の比率を切り替える

- 1 **<** にタッチ。
  - 30 : 70 の割合の画面に切り替わります。
  - >** にタッチすると、50 : 50 の画面にもどります。



## ■全画面に切り替える

- 1 **全画面** にタッチ。
- **マルチ W** が表示されているときに **マルチ W** にタッチすると、マルチウィンドウ画面にもどります。



## ■オーディオ画面の操作

マルチウィンドウ画面を表示中に、一部のオーディオ機能进行操作することができます。

- 1 ▲ または ▼ にタッチ。
- タッチスイッチが表示されないオーディオソースについては、各オーディオソースの操作ページを参照してください。

### ワンポイント

- ・マルチウィンドウ機能使用中は、DVDのダイレクトタッチ機能を使用することができません。



# デジタルフォトフレーム

## デジタルフォトフレームの操作

### デジタルフォトフレームについて

デジタルフォトフレームとは、USBメモリまたはSDメモリーカードに記録されている写真を本機で表示する機能です。本機で使用できるUSBメモリやSDメモリーカード、画像データについては、「本機で使用できるメディア／データについて」(→456)をご覧ください。

#### ワンポイント

- 最大読み込み数を超えた分のフォルダやファイルは再生されません。また、一覧(→355)にも表示されません。

### 写真を見る

#### チェック

- 以下のときは、写真の表示を終了します。
  - オーディオモードをデジタルテレビ、DVD、VTRまたは、iPod videoに切り替えたとき
  - 録音を開始したとき
  - 後席ディスプレイ接続(→356)を「なし」に設定し、走行中に画面を操作したとき
  - 後席ディスプレイ接続(→356)を「あり」に設定し、メディアの参照フォルダを変更したとき
- 作動表示灯が表示されている場合、**フォト再生**にタッチすると写真の表示が終了できます。作動表示灯は、後席ディスプレイ接続(→356)を「あり」に設定しているときに表示されます。
- デジタルフォトフレームを再生中に走行を開始した場合、地図画面へ切り替ります。
- 曲(ファイル)と写真データの両方が記録されたUSBメモリ、またはSDメモリーカードで曲(ファイル)を再生している場合、デジタルフォトフレームは再生されません。

- 本機で写真を表示する場合、実際のサイズと異なって表示されることがあります。
- 別売の後席用モニターを接続している場合、デジタルフォトフレームを後席用モニターで表示することができます。
- 後席ディスプレイ接続の設定を**あり**にしている場合(→356)、**フォト再生**の作動表示灯が点灯し、走行中でも、後席用モニターでデジタルフォトフレームを再生することができます。作動表示灯が点灯しているときに**フォト再生**にタッチすると、再生を終了します。

### USBメモリに記録した写真を見る

- 1 USBメモリを接続する。(→36)
- 2 読み込みメディアを「USB」に設定する。(→355)
- 3 **AV**(画面外)を押す。
- 4 **フォト再生**にタッチ。



- 写真が表示されます。

#### ワンポイント

- USBメモリに収録されている曲(ファイル)を再生している場合は、表示できません。



## SDメモリーカードに記録した写真を見る

- 1 SDメモリーカードを、音楽用SDメモリーカード挿入口に挿入する。(→32)
- 2 読み込みメディアを「SD」に設定する。(→355)
- 3 **AV**(画面外)を押す。
- 4 **フォト再生** にタッチ。



- 写真が表示されます。

### ワンポイント

- ・ SDメモリーカードに録音されている曲(ファイル)を再生している場合は、表示できません。
- ・ 後席ディスプレイ接続(→356)を「あり」に設定し、サウンドライブラリ編集メニュー画面(→287)を表示させると写真の表示を終了します。

## 写真を選ぶ

写真表示中(→353)

- 1 写真の左半分、または右半分のエリアにタッチ。
  - 前の写真に切り替えるとき  
→ 左半分のエリアにタッチ。
  - 後の写真に切り替えるとき  
→ 右半分のエリアにタッチ。

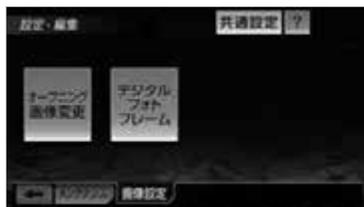
### ワンポイント

- ・ 写真は、スライドショー再生中(→354)にも切り替えることができます。

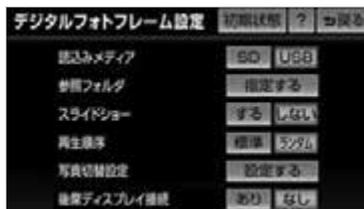
## デジタルフォトフレームの設定

画像データの読み込み方法やスライドショーの表示方法を設定することができます。

- 1 **MENU**(画面外)を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **画像設定** にタッチ。
- 4 **デジタルフォトフレーム** にタッチ。



- 5 各項目を設定する。



- 次の項目を設定することができます。

項目	ページ
読み込みメディアの設定	355
参照フォルダの指定	355
スライドショーの設定	355
再生順序の設定	355
写真切替の設定	355
後席ディスプレイ接続の設定	356

- ・ 初期設定の状態にもどすとき  
→ **初期状態** にタッチ。

## 読み込みメディアの設定

写真を表示するとき、優先的に読み込み対象とするメディアを設定します。

- 1 読み込みメディアの **[SD]** または **[USB]** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 選択できるメディアが 1 種類の場合は、自動的にそのメディアが選択されます。
- ・ 両方のメディアが選択可能なときに選択されている方のメディアを取り外した場合、残されたメディアが自動的に選択されます。

## 参照フォルダの設定

メディアの中から表示対象とするフォルダを指定することができます。

- 1 参照フォルダの **[指定する]** にタッチ。
- 読み込み対象のメディアに収録されている表示可能なフォルダの一覧が表示されます。
- 2 表示対象とするフォルダを選択する。



- ・ 全てのフォルダを選択するとき  
→ **[全選択]** にタッチ。
- ・ 選択を解除するとき  
→ 選択済みのフォルダにタッチ。
- ・ 全ての選択を解除するとき  
→ **[全解除]** にタッチ。

## スライドショーの設定

読み込んだ画像データをスライドショーで表示する／しないを設定することができます。

- 1 スライドショーの **[する]** または **[しない]** にタッチ。

## 再生順序の設定

写真を表示する順番を設定することができます。

- 1 再生順序の **[標準]** または **[ランダム]** にタッチ。

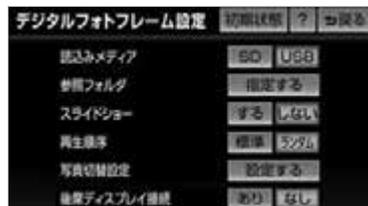
### ワンポイント

- ・ 表示対象とするフォルダが指定されている(→ 355) ときに **[ランダム]** を選択した場合、対象となるフォルダ内の写真をランダムに表示します。

## 写真切替の設定

表示する写真を切り替えるときの表現やスライドショー表示時の再生時間を設定することができます。

- 1 写真切替設定の **[設定する]** にタッチ。
- 写真切替設定画面が表示されます。



## ■再生時間を設定する

スライドショー表示の際に1つの写真を表示する時間を設定することができます。

### 1 再生時間を選択する。

## ■切替効果を設定する

表示する写真を切り替えるときの表現を6種類から選択することができます。

### 1 切替効果を選択する。

- **ランダム** を選択すると、5種類の効果がランダムに使用されます。

## ■後席ディスプレイ接続の設定

別売の後席用モニターの接続状態を選択することで、走行中の表示方法を変更することができます。

### 1 後席ディスプレイ接続の **あり** または **なし** にタッチ。

- **あり** …… 走行中も後席用モニターで写真の表示を継続する。本機には地図画面が表示される。
- **なし** …… 走行中は写真の表示を一時停止する。本機には地図画面、後席用モニターには黒画が表示される。

### 📖ワンポイント

- ・ 設定が実際の接続状態と異なっていると、写真を表示できない場合があります。後席用モニターの接続状態に合わせて正しく設定してください。
- ・ 後席ディスプレイ接続の設定にかかわらず、停車中は後席用モニターに写真が表示されます。

# リモコンの操作 ★

## リモコンについて

別売のリモコンをご利用いただくことで、地図画面やオーディオ・ビジュアルの主要機能进行操作することが出来ます。

### ⚠ 警告

- ・ 走行中のリモコン操作は大変危険ですので、運転者は絶対に操作しないでください。

### ⚠ 注意

- ・ リモコンを落としたり、水をかけたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・ リモコンをダッシュボードの上やエアコン吹き出し口のそばなど温度が高くなる場所に置かないでください。変形や故障の原因となります。

### 🔍 チェック

- ・ 対応の車載機については、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご覧ください。

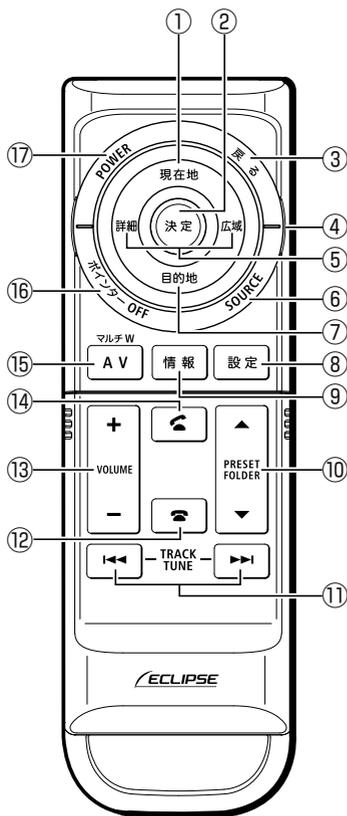
### 📖 ワンポイント

- ・ 送信部を受光ユニットに向けてご使用ください。
- ・ 直射日光などの強い光が受光ユニットに入ると、リモコンの操作を受け付けないことがあります。
- ・ 汚れは乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、布に水でうすめた中性洗剤をつけて拭き取ってください。アルコールやシンナーなどでは拭かないで下さい。塗装がはがれることがあります。
- ・ リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出してください。

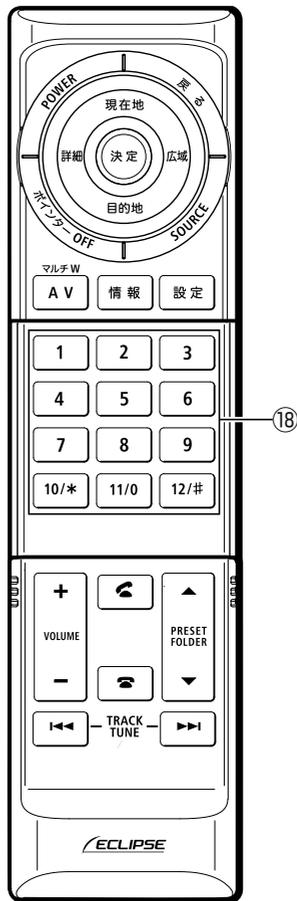


## リモコンの使い方

本リモコンは、タッチパネルタイプ AVN の専用リモコンです。

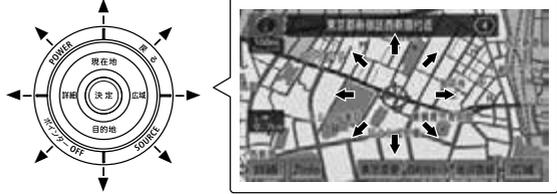


<通常時>



<スライドオープン時>

## ボタン名と機能

No.	ボタン名	機能
①	現在地ボタン	ナビゲーション画面 / 現在地を表示します。 別売のフロントカメラ装着時は、音が鳴るまで押すと、フロントカメラ映像が表示されます。
②	決定ボタン	ポインター非表示時にポインターを表示し、ポインター表示中に画面上のスイッチを選択し決定します。
③	戻るボタン	一つ前の画面に戻ることや選択した内容を解除することができます。
④	十字キー	地図スクロールやポインターを移動させます。 カーソルの移動の例：ポインターや地図を8方向へ移動させる場合 
⑤	詳細 / 広域ボタン	ナビゲーション画面で地図縮尺を切り替えます。ボタンを押し続けると、縮尺を連続して切り替えます。
⑥	SOURCE ボタン	ボタンを押すごとにオーディオモードを切り替えます。 FM → (CD) → (DVD) → (SD リッピング※ <sup>1</sup> ) → (SD 音楽再生※ <sup>2</sup> ) → TV → DS → Bluetooth オーディオ → (AUX) → (iPod) → (USB) → VTR → AM → FM に戻ります。 (オーディオモードは、機種、システムによって異なります。)
⑦	目的地ボタン	ナビゲーションで目的地を設定します。
⑧	設定ボタン	ナビやオーディオなどの設定、画質の調整、画面を消すなどの操作をすることができます。
⑨	情報ボタン	各情報機能やハンズフリー機能を使用することができます。 また、音楽用 SD メモリーカードに CD の音楽データを録音するときに、録音開始や停止をすることができます。

※1 本機で録音した音楽を再生します。

※2 パソコンで記録した音楽ファイルを再生します。



No.	ボタン名	機能		
⑩	PRESET FOLDER ボタン	ラジオ、デジタル TV モード時		
		プリセットスイッチに記録した放送局を切り替えます。		
		MP3/WMA、USB モード時	フォルダを切り替えます。	
		iPod モード時	リストを切り替えます。	
⑪	TRACK TUNE ボタン	SD メモリーカード、Bluetooth オーディオモード時		
		アルバムを切り替えます。		
		短押し	ラジオ、デジタル TV モード時	放送局の周波数を選局します。
			CD、MP3/WMA、SD メモリーカード、Bluetooth オーディオ、iPod、USB モード時	曲を選曲します。
		DVD モード時	チャプターの選択をします。	
長押し	ラジオモード時	受信中の周波数に1番近い放送局を自動で選局します。		
	CD、MP3/WMA、SD メモリーカード、Bluetooth オーディオ、iPod、USB モード時	曲の早送り/早戻しをします。		
⑫	オンフックボタン	ハンズフリーの発信を中断させる、応答を保留にする、着信拒否する、通話を終了することができます。		
⑬	VOLUME ボタン	オーディオやハンズフリー機能を使用しているときの受話音や着信音の音量を調整します。		
⑭	オフフックボタン	ハンズフリーの発信をする、着信を受ける、応答保留を解除することができます。		
⑮	AV/ マルチ W ボタン	オーディオメニュー画面を呼び出します。デジタル TV、DVD、iPod video、VTR モード時はマルチウィンドウと全画面を切り替えます。		
⑯	ポインター OFF ボタン	表示中のポインターを消去します。		
⑰	POWER ボタン	オーディオの電源を入れることや切ることができます。		
⑱	10 キー入力 ボタン	ナビゲーション画面	電話番号、マップコード、郵便番号を入力します。	
		ラジオ、デジタル TV モード時	プリセットスイッチに記録した放送局を選択します。	



## リモコンの作動条件について

No.	ボタン名	オーディオ・ビジュアル画面以外の画面を表示しているとき		オーディオ・ビジュアル画面を表示しているとき		赤外線通信中
		オーディオ ON	オーディオ OFF	オーディオ ON	オーディオ OFF	
①	現在地ボタン	○	○	○	○	○※4
②	決定ボタン	○	○	○	○	○
③	戻るボタン※1	○	○	○	○	×
④	十字キー	○	○	×	×	○
⑤	詳細/広域ボタン	○	○	×	×	×
⑥	SOURCEボタン	○	×	○	×	×
⑦	目的地ボタン	○	○	○	○	○※4
⑧	設定ボタン	○	○	○	○	○※4
⑨	情報ボタン	○	○	○	○	○※4
⑩	PRESET FOLDER ボタン	○	×	○	×	×
⑪	TRACK TUNE ボタン	○	×	○	×	×
⑫	オンフックボタン※2	○	○	○	○	○※4
⑬	VOLUME ボタン	○	×	○	×	×
⑭	オフフックボタン※2	○	○	○	○	○※4
⑮	AV/ マルチ W ボタン	○	○	○	×	○※4
⑯	ポインター OFF ボタン	○	○	○	○	○
⑰	POWER ボタン	○	○	○	○	○※4
⑱	10 キー入力ボタン	○	○	○※3	×	×

○：操作可能 ×：操作不可

※1 画面に **戻る** が表示されているときに操作することができます。

※2 ハンズフリー機能使用時に操作することができます。

※3 ラジオ、デジタル TV モード時に操作することができます。

※4 ボタン操作で赤外線通信を中断します。



## リモコンの電池のセット方法

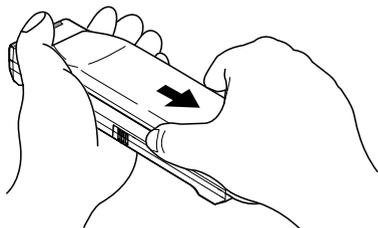
### 警告

- ・ 事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。  
万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

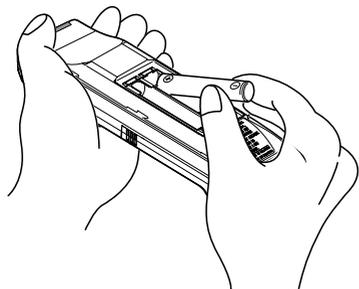
### ワンポイント

- ・ 電池は単4形（付属品）を2個お使いください。
- ・ 電池の+と-を間違わないように注意してください。
- ・ 万一、電池の液もれがおこったときは、電池収納部についた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

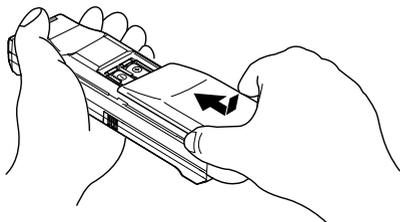
- 1 リモコンの裏ボタンを矢印の方向にスライドする。



- 2 付属の電池2個をそれぞれ電池収納部の表示どおりに入れる。



- 3 裏ボタンを矢印の方向にスライドして戻す。



## DS モードについて

同梱のニンテンドー DS ソフト「クルマで DS」を本機に接続して、ニンテンドー DS と連動したゲームをお楽しみいただけます。

ゲームの内容や操作方法については、DS ソフトの取扱説明書をご覧ください。

## 警告

- ・ 安全のため、運転手は走行中に DS を操作しないでください。
- ・ 走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。また、運転中の操作は処罰の対象になります。
- ・ 運転手が DS を操作する時は車を安全な場所に停車させてから操作してください。その際は禁止された場所に駐停車しないでください。
- ・ 安全のため、車を乗り降りする時は DS の電源を切るか、DS を閉じてください。また、まわりに注意して乗り降りしてください。
- ・ 万一、ゲームが運転の妨げになる場合は、ゲームを停止する、または安全な場所にいったん停車してナビの音量を下げてください。DS を閉じるとゲームを停止することができます。
- ・ 夜間の車内などでは、DS の画面が明るく感じる場合がありますので、輝度を調整してください。
- ・ 乗物酔いの際は使用を中止してください。

DS 本体、または DS ソフトを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

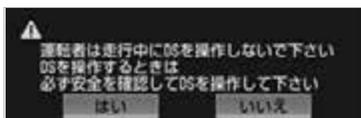
## DS を登録する

DS モードを使用するためには、はじめに DS ソフトを本機に登録する必要があります。

- 1 **AV**(画面外) を押す。
- 2 **DS** にタッチ。
- 3 DS 未登録画面で **登録** にタッチ。



- 4 **はい** にタッチ。



- **はい** にタッチすると、メッセージの内容に同意されたものとみなし、本機能を使用することができます。
- スマートフォンナビ連携を有効にしていると、DS モードは使用できません。(→ 220)
- すでに他の機器を接続している場合、携帯電話または Bluetooth 対応機器の接続を切断する必要があります。画面の指示にしたがって、機器を切断してください。
- 本機がデータ通信中に DS を登録すると、メッセージが表示されます。**OK** にタッチして通信終了後に再度登録してください。



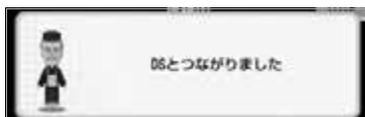
## 5 登録待ち受け画面で DS ソフトの説明にしたがって、DS 本体を操作する。



- DS 本体に複数の機器アドレスが表示されている場合、本機の画面に表示されている機器アドレスを選択してください。
- DS の登録操作は、必ずこの登録待ち受け画面を表示させてから行ってください。
  - ・ 中止するとき
    - **中止** にタッチ。

## 6 接続が完了したとき

- メッセージが表示され、DS の音声が車のスピーカーから出力されたら接続完了。



### ■ 接続失敗画面が表示されたとき

「DS の接続に失敗しました」のメッセージが表示されたときは、もう一度はじめてからやり直してください。

### ワンポイント

- ・ DS の接続に失敗したときは、手順 **5** の登録待ち受け画面が表示されていることを確認し、もう一度 DS の登録操作を行ってください。
- ・ DS ソフトがすでに登録されていると、別の DS ソフトを登録することができません。別の DS ソフトを使用するときは、DS ソフトの登録を削除してから DS ソフトを登録し直してください。登録の削除については、「DS の登録を削除する」(→ 366) をご覧ください。

## DS を接続する

ゲームをはじめするには、本機と DS 本体を操作して DS を接続してください。ゲームを中断したり、他のオーディオモードに切り替ええると、DS との接続が切断されます。ゲームを再開するときは、再度接続してください。

### 1 **AV** (画面外) を押す。

### 2 **DS** にタッチ。

### 3 DS 未接続画面で **接続** にタッチ。



- スマートフォンナビ連携を有効にしていると、DS モードは使用できません。(→ 220)
- すでに他の機器を接続している場合、携帯電話またはポータブル機の接続を切断しなければならない場合があります。画面の指示にしたがって、機器を切断してください。

- 本機がデータ通信中に DS を接続すると、メッセージが表示されます。「OK」にタッチして通信終了後に再度接続してください。

#### 4 接続待ち受け画面で DS ソフトの説明にしたがって、DS 本体を操作する。



- 中止するとき  
→ 「中止」にタッチ。

#### 5 接続が完了したとき

- メッセージが表示され、DS の音声が車のスピーカーから出力されたら接続完了。



#### DS 接続済み画面



#### ■接続失敗画面が表示されたとき

「DS の接続に失敗しました」のメッセージが表示されたときは、もう一度はじめてやり直してください。

#### DS 未接続画面



#### 📖ワンポイント

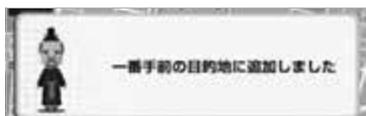
- ・ 本機に登録している DS ソフトのみ接続することができます。別の DS ソフトを使用するときは、DS ソフトの登録を削除してから DS ソフトを登録し直してください。登録の削除については、「DS で目的地を設定する」(→ 366) をご覧ください。
- ・ DS を使用中に他の Bluetooth 機器を使用する場合、確認のメッセージが表示されます。DS との通信を切断してよければ、「はい」にタッチします。

#### ■DS の自動接続

エンジンスイッチを OFF (LOCK) にする前に DS モードを使用していた場合、再度エンジンスイッチを ACC、または ON にして DS 本体で接続操作をすると、本機を操作することなく自動で接続されます。

## DS で目的地を設定する

DS を使って目的地や経由地を設定することができます。設定すると、本機にメッセージが表示されます。



- 目的地や経由地に設定するとき  
→ **[案内開始]** にタッチ。

## DS との通信を切断する

- 1 **AV** (画面外) を押す。
- 2 **DS** にタッチ。

- 3 DS 接続済み画面で **[切断]** にタッチ、またはオーディオモードを切り替える。



## DS の登録を削除する

登録した DS を削除することができます。別の DS ソフトを使用するときは、今使用している DS ソフトの登録を削除してから DS ソフトを登録し直してください。登録については、「DS を登録する」(→ 363) をご覧ください。

- 1 **AV** (画面外) を押す。
- 2 **DS** にタッチ。
- 3 **[設定]** にタッチ。

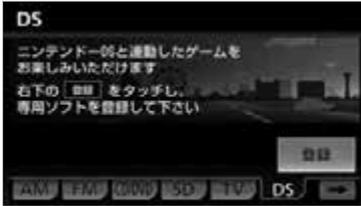


- 4 **[削除]** にタッチ。



## 5 **はい** にタッチ。

- DS を使用しているときは、確認のメッセージが表示されます。DS の登録を削除してよければ、**はい** にタッチします。
- DS の登録が削除されると、DS 未登録画面が表示されます。



### 📖 ワンポイント

- ・ DS の登録を削除しても、DS ソフトに登録されている本機の情報は削除されません。

ニンテンドー DS・ディーエス／DS は任天堂の登録商標または商標です。

DS モードに含まれるコンテンツの一部の著作権は、任天堂株式会社に帰属します。



### 情報画面の表示



- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **情報** にタッチ。

※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

情報画面から次の操作を行うことができます。

表示順序／ 項目 (タッチスイッチ)		機能	ページ
1	販売店デモ <sup>*1</sup>	販売店専用の機能	—
2	SYSTEM CHECK	車速パルス、GPS 信号の受信感度、距離補正の学習状態などの表示	369
3	VICS	VICS 図形情報、文字情報の表示	191
		割込情報の表示 <sup>*2</sup>	192
		VICS 提供放送局の選択	196
4	エコナビ情報	エコナビ情報画面の表示	173
5	電話	交通・ナビ関連情報の表示	370
		ハンズフリー画面の表示	400
6	カレンダー	カレンダーの表示	371
7	データ管理	SD メモリーカード容量の確認	281
		バージョン情報の表示	282
8	ETC <sup>*3</sup>	ETC 画面の表示	382

※1 販売店専用の機能です。販売店以外では使用しないでください。ナビゲーションなどの操作をする場合は、必ず **デモ OFF** にタッチして販売店デモ機能を OFF にしてください。走行中は表示されません。

※2 別売の 2 メディア / 3 レベル対応 VICS ユニートを装着したときに操作することができます。

※3 別売のナビゲーション対応の ETC 車載器を取りつけたときのみ表示されます。ETC 車載器を取りつけていないときは、表示順序が繰り上がって表示されます。

# SYSTEM CHECK 機能

## SYSTEM CHECK 画面の表示

SYSTEM CHECK 機能は、車速パルス、GPS 信号の受信感度、距離補正の学習状態の表示やパーキングおよびリバース信号の接続を確認することができます。

**MENU** (画面外) → **情報** → 情報画面

SYSTEM CHECK			
GPS受信個数	10個	ETCユニット	なし
GPS測位レベル	3D測位	VICSユニット	なし
車速パルス	なし	バックカメラ	あり
パーキング信号	なし	フロントカメラ	あり
リバース信号	あり	推定速度	52km/h
距離補正学習状態 ■■■■■			

- 1 **SYSTEM CHECK** にタッチ。  
 ● 各項目は、下記の内容を表しています。表示が実際の状態と異なる場合は販売店にお問い合わせください。

項目		内容
GPS 受信個数		電波を受信している GPS 衛星の個数
GPS 測位レベル	3D 測位	3D 測位状態
	2D 測位	2D 測位状態
車速パルス	あり	走行している状態
	なし	停車している状態
パーキング信号	あり	パーキングブレーキがかかっている状態
	なし	パーキングブレーキがかかっていない状態
リバース信号	あり	バックギアにシフトしている状態
	なし	バックギア以外にシフトしている状態
距離補正学習状態		距離の補正を自動で行っているとき (→ 161) の学習度合い
ETC ユニット	あり	ETC ユニットが接続されている状態
	なし	ETC ユニットが接続されていない状態
VICS ユニット	あり	VICS ユニットが接続されている状態
	なし	VICS ユニットが接続されていない状態
バックカメラ	あり	バックアイカメラが接続されている状態
	なし	バックアイカメラが接続されていない状態
フロントカメラ	あり	フロントアイカメラが接続されている状態
	なし	フロントアイカメラが接続されていない状態
推定速度		速度の表示

※ナビゲーションの取り付けが正しく行われていないと、正確な情報を表示することができません。

## 交通・ナビ関連情報

### 交通・ナビ関連情報の表示

JAF や道路交通情報センターなどの電話番号を表示することができます。また、登録されているメモリ地点(→148)や設定されている目的地(→114)に電話番号が入力されている場合は、その地点の電話番号を表示することができます。

**MENU** (画面外) → **情報** → 情報画面

1 **電話** にタッチ。

2 **交通・ナビ** にタッチ。



3 項目にタッチ。

- 目的地が 1 カ所のみ設定されているとき  
→ **目的地** にタッチすると、名称と電話番号を表示する。

4 選択した項目により、次のいずれかの操作をする。

■ **JAF** または **道路交通情報センター** を選択したとき

1 都道府県名 → 施設名称の順にタッチ。

■ **メモリ地点** を選択したとき

- 1 メモリ地点にタッチ。
- 地図を表示するとき  
→ **地図** にタッチ。
  - リストの並べ方をかえるとき  
→ 「設定・編集画面からの修正方法」(→149) 手順 **2** へ。

■ **目的地** を選択したとき

目的地が複数設定されているとき

1 目的地にタッチ。

#### ワンポイント

- **電話** にタッチすると、呼び出した電話番号に電話をかけることができます。(→404)
- メモリ地点に電話番号が入力されていないときは、リストを表示しますが電話番号を検索することはできません。
- 目的地に電話番号情報がないときは、タッチスイッチを表示しますが電話番号を検索することはできません。

## カレンダー機能

### カレンダー画面

カレンダーを表示することができます。また、GPS (→ 178) の時刻情報 (GPS 時計) を利用して、日時を表示します。

**MENU** (画面外) → **情報** → 情報画面

- 1 **カレンダー** にタッチ。
- 2 カレンダー画面が表示される。



- ・ **▲月** または **▼月** にタッチすると、月が切り替わります。
- ・ **▲年** または **▼年** にタッチすると、年が切り替わります。
- ・ 月または年を切り替えたときに **今月** にタッチすると、今月のカレンダーを表示します。

#### ワンポイント

- ・ GPS からの時刻情報を受信しているときは、「GPS」が表示されます。

## バックアイカメラの操作

別売のバックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映すことができます。また、俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合、カメラ映像の視点を切り替えることができます。

### ⚠ 注意

- ・ バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた映像です。また、車種により見え方が異なります。十分にご注意ください。

### ⚠ 重要

- ・ 高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

### 📖 ワンポイント

- ・ バックアイカメラを過信しないでください。
- ・ バックアイカメラは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- ・ 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- ・ モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- ・ 以下のような状況では使用しないでください。
  - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・ 坂道など平坦でない道路
  - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ・ ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ・ カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- ・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・ カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・ カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・ カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ・ 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・ カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- ・ 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ・ 写真は一例です。ディスプレイに写る範囲は車種によって異なります。
- ・ バックギアにシフトした瞬間は、一端白画面になりますが、その後次第に安定します。
- ・ 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出る場合があります。

★印はシステムアップ製品（別売）です。

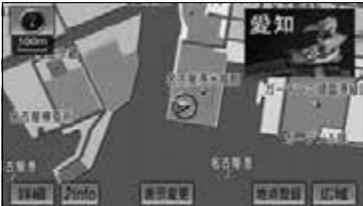


- ・ 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCD の特性によるものです。
- ・ 50Hz 電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- ・ バックアイカメラのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

## バックアイカメラの映像を映す

### 1 バックギアにシフト。

- バックアイカメラの画面に切り替わりません。
- バックギア以外にシフトするとナビゲーション画面にもどります。

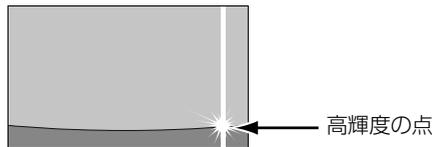


### ワンポイント

- ・ 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ・ カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ・ 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。

- ・ 画面の明るさ・コントラストを調整することができます。「画質の調整」(→ 45)
- ・ 次のようなときは、画面が見つらなくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・ 暗いところ。(夜間など)
  - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。(雨天時など)
  - ・ カメラ付近に異物(泥など)がついたとき。
  - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
  - ・ 高輝度の点(車体に反射した太陽等)がカメラに映ると、CCD カメラ特有のスミア現象\*が発生することがあります。

### <画面の状況>



※スミア現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

## ガイド線の設定・調整

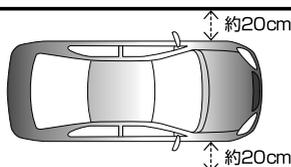
### 警告

- ・ 車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジンを切ってください。
- ・ ガイド線を調整するときは、安全な場所に停車してください。

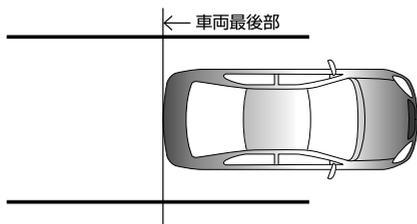
**チェック**

- ・ガイド線を表示する場合は、必ず車両に合わせた調整をしてください。
- ・俯瞰機能付きバックアイカメラを接続している場合、ガイド線の設定は通常モード、または俯瞰（ふかん）モードのどちらかに合わせた設定になります。ガイド線の設定をしていないモードを表示するときは、ガイド線の表示を解除してください。（→ 375）

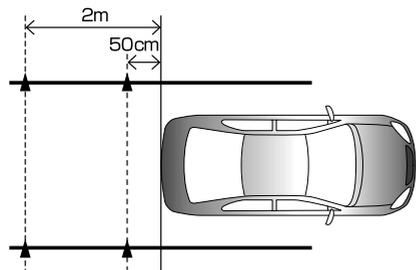
1 車両の幅+両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつける。



2 車両を約 2.5m 直進させ、車両最後に直線の目印をつける。



3 車両最後部から 50cm および 2m 離れた左右 4カ所をマーキングする。



4 **MENU**（画面外）を押す。

5 **設定・編集** にタッチ。

6 **運転支援** にタッチ。

7 **カメラ設定** にタッチ。

8 バックガイドカメラ線表示の **調整** にタッチ。

9 **ポイント切換** にタッチ。

- ・選択する （ポイント）は、**ポイント切換** にタッチするごとに切り替わります。
- ・選択した （ポイント）が緑色になります。

10 調整する （ポイント）にタッチ。



11 **↓**、**↑**、**←**、**→** にタッチし、マーキングした 4 点と合わせ、**完了** にタッチ。

- ・矢印（**↓**、**↑**、**←**、**→**）を約 1 秒押すと、連続してポイントが移動します。

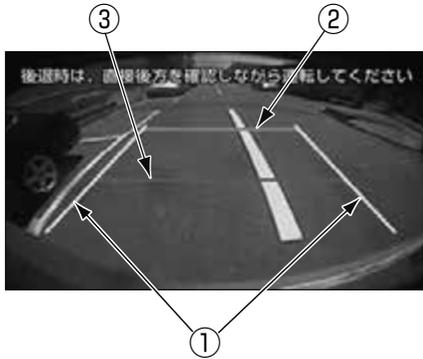
**ワンポイント**

- ・ **初期値** にタッチした後、**はい** にタッチすると初期設定にもどります。
- ・ポイント調整時、各ポイントの最大調整可能範囲にすると、矢印の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

## 画面の見方について

カメラの位置や表示ガイド線の位置により、車と立体物の距離が異なります。

## ガイド線の見方



- ①黄色  
車幅+約 20cm の目安を示します。
- ②橙色  
車両後端より約 2m の位置を示します。
- ③赤色  
車両後端より約 50cm の位置を示します。

## ガイド線の表示／解除

- 1 バックアイカメラの映像を表示中に、**MENU**（画面外）を 1 秒以上押す。
  - 2 **ガイド ON**（**ガイド OFF**）にタッチ。
- ガイド線を表示するには **ガイド ON** にタッチします。ガイド線の表示を解除するには **ガイド OFF** にタッチします。



## 視点の切り替え

※別売の俯瞰機能付きバックアイカメラを装着している場合のみ操作することができます。

ディスプレイに表示する映像を、上から見た俯瞰（ふかん）モードに切り替えることができます。

### ● 通常モード

車両後方を全体的に映す映像です。主に車両後方を全体的に確認したいときにご利用ください。

### ● 俯瞰（ふかん）モード

車両上方から真下方向を映す映像です。主に車両後方の段差、縁石、車両輪止めなどを確認したいときにご利用ください。



● 通常モード



● 俯瞰（ふかん）モード

## バックアイカメラの初期設定をする

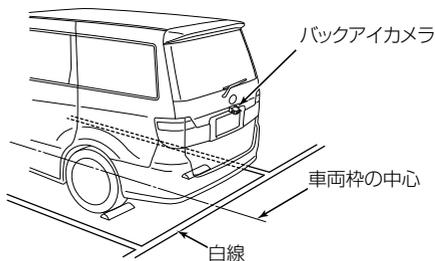
### ⚠ 注意

- ・ 初期設定するときには、安全な場所に停車してください。

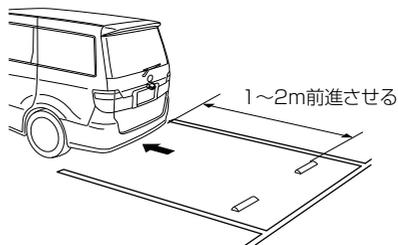
### 🔍 チェック

- ・ バックアイカメラの初期設定は必ず駐車車両枠（白線など）と車両輪止めのある駐車場で行ってください。

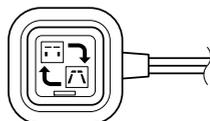
### 1 駐車車両枠（白線）の中央に車両を止める。



### 2 車両を1～2m前進させる。



### 3 カメラ映像を表示させているときに、画像切り替えスイッチを5秒以上押す。



#### 4 画像切り替えスイッチを押して、視点の高さを切り替える。

- 画像切り替えスイッチを押すごとに、視点の高さが切り替わります。



#### 5 画像切り替えスイッチを 3 秒以上押す。

#### 6 画像切り替えスイッチを押して、角度を切り替える。

- 画像切り替えスイッチを押すごとに、角度が切り替わります。
- 駐車車両枠などが平行に見える画面をおすすめします。



#### 7 画像切り替えスイッチを 3 秒以上押す。

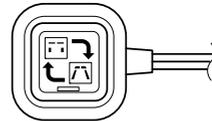
- 設定が完了し、カメラの映像が表示されません。

#### ワンポイント

- ・ 設定中にバックギア以外にシフトすると、設定が保存されません。
- ・ 設定できる角度は 6 段階です。

### 視点を切り替える

- 1 カメラ映像を表示させているときに、画像切り替えスイッチを押す。
- 画像切り替えスイッチを押すごとに、通常モードと俯瞰（ふかん）モードが切り替わります。



## フロントアイカメラの操作

別売のフロントアイカメラを装着した場合、本機のディスプレイに自動、または手動で、車両の左右の映像を映すことができます。

- 見通しの悪い交差点やＴ字路等でも、車両先端部に取り付けられたカメラで状況を容易に確認でき、安全な運転をサポートします。

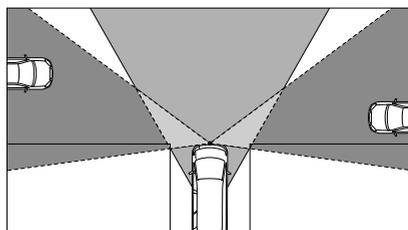
### フロントアイカメラの映像について

フロントアイカメラの映像は下記の方法で表示することができます。

- 低速走行時にスイッチ操作で表示する
- 高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示する



●フロントアイカメラの映像



- 運転手からの視野範囲
- フロントアイカメラによる視野範囲  
(視野範囲は車両、取り付け位置によって異なります)

### ワンポイント

- ・ 高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。
- ・ フロントアイカメラを過信しないでください。
- ・ 本機（フロントアイカメラ）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- ・ 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- ・ 必ず、前方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・ フロントアイカメラで映し出す範囲は限られていますので、ディスプレイだけを見ながら移動することは絶対にしないでください。前方および周囲の安全を十分確認してください。
- ・ 以下のような状況では使用しないでください。
  - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
  - ・ 坂道など平坦でない道路
- ・ 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ・ カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- ・ カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。

- ・カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。
- ・レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- ・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、フロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- ・太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ・太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- ・フロントアイカメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。
- ・フロントアイカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD 素子）を使用したカメラの場合、カメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。
- ・長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCD の特性によるものです。
- ・50Hz 電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きますが故障ではありません。
- ・湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見つらなくなることがあります。
- ・夜間または暗所ではフロントアイカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- ・カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。



## フロントアイカメラ映像の切り替え

低速走行時に手動、または自動で表示することができます。自動表示モードでは減速度や状況に応じて最適な速度でフロントアイカメラ映像を表示します。

フロントアイカメラ映像の表示、解除の条件は下記の通りです。

表示モード	表示 / 解除条件
自動表示モード	15km/h 以上から 13km/h 以下になったとき映像を表示。 10km/h 未満から 10km/h 以上になったとき映像を解除。
手動表示モード	<b>現在地</b> (画面外) を長押しすると映像を表示。再度押すと映像を解除 (15km/h 以上で強制解除)。

### ワンポイント

- ・バックアイカメラ映像の表示中は、フロントアイカメラ映像を表示することができません。

## 手動で表示する

- 1 **現在地** (画面外) を長押しする。
  - 押すたびに、ナビゲーションとフロントアイカメラの画面が切り替わります。

### ワンポイント

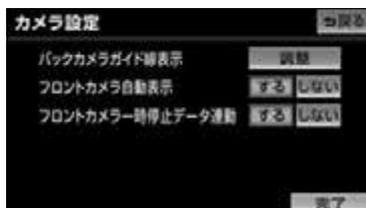
- ・ 高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。

## 自動で表示する

高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示することができます。見通しの悪い交差点や、駐車場の出入り口など、低速になると自動でカメラ映像を表示するので便利です。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **運転支援** → 運転支援画面

- 1 **カメラ設定** にタッチ。
- 2 フロントカメラ自動表示の **する**、または **しない** にタッチし、**完了** にタッチ。



### ワンポイント

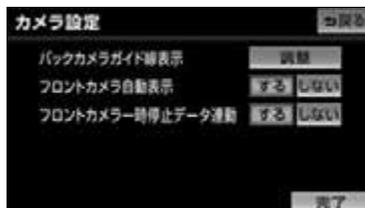
- ・ 高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。
- ・ フロントカメラ一時停止データ連動を **する** (→ 380) に設定すると、収録された地点で低速走行した場合のみ自動でカメラ映像に切り替わります。

## フロントカメラ一時停止データ連動を設定する

地図 SD カードに収録されている一時停止場所の地点情報をもとに、フロントアイカメラの映像を自動で表示させることができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **運転支援** → 運転支援画面

- 1 **カメラ設定** にタッチ。
- 2 フロントカメラ一時停止データ連動の **する** にタッチし、**完了** にタッチ。
  - 設定を解除するときは、**しない** にタッチします。



## ETC システムについて

別売のナビゲーション対応の ETC 車載器を取りつけたときに使用することができます。

また、ETC カード有効期限案内対応の ETC 車載器を接続している場合、ETC カードの有効期限が当月、または切れている場合に音声と画面表示で案内します。(→ 384)

### チェック

- ETC 車載器の取り扱い、ご利用の方法は、ETC 車載器の取扱説明書をお読みください。

### 車両情報などを ETC 車載器に登録する (セットアップ)

ETC 車載器のご利用には、取り付けられる車両情報などを ETC 車載器に登録する「セットアップ」が必要になります。

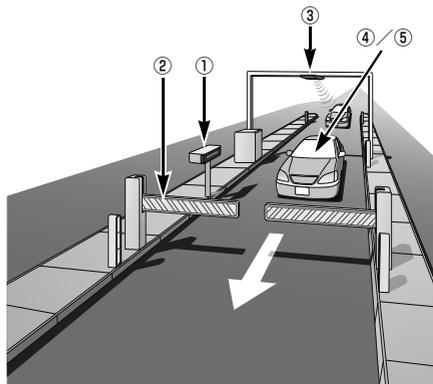
また、車両を変更する場合には、新しい車両の情報などを ETC 車載器に登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、ETC 車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

### ETC カードを入手する

ETC 車載器のご利用には、ETC 車載器に挿入して使用する ETC カードが必要となります。クレジット会社が発行する ETC カードを利用する場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、各 ETC カード発行会社へお問い合わせください。

## ETC システムについて

ETC (Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。路側無線装置と ETC 車載器との間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



①	路側表示器	料金所の ETC レーンに設置されています。進入車両に対し、通行の可否などのメッセージが表示されます。
②	発進制御装置 (開閉バー)	料金精算を確実にするために、料金所の ETC レーンに必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。

## ETC 画面の使い方

③	路側無線装置	料金所の ETC レーンに設置されています。料金精算のため、車両の ETC 車載器との通信を行うためのアンテナです。
④	ETC 車載器	車両に装着されています。ETC カードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
⑤	ETC カード※	ETC 車載器に挿入します。IC チップを搭載した、ETC 車載器用カードのことです。ETC カードでは、この IC チップに料金精算に必要なデータが保持されています。

※ETC カードには有効期限があります。あらかじめ ETC カードの有効期限をご確認ください。

## ETC 画面の表示

**MENU** (画面外) → **情報** → 情報画面

1 **ETC** にタッチ。

## 2 ETC 画面が表示される。

ETC カードメッセージ



## ETC カードメッセージ

現在の ETC 車載器の状態が表示されます。

メッセージ	状態
ETC カード確認中	ETC カードを読み込んでいます。
ETC カード挿入済み	ETC カードが挿入されていることを確認しました。
システム異常	ETC システムに何らかの異常が発生しています。 (ETC アンテナはずれ検知含む)
ETC カード異常	ETC カードを読み込むことができませんでした。
ETC カード未挿入	ETC カードが挿入されていません。

メッセージ	状態
未セットアップ	ETC 車載器がセットアップされていません。
セットアップ完了	ETC 車載器がセットアップされました。

### ワンポイント

- 統一エラーコードについては「ETC 統一エラーコード一覧」(→ 430) を参照してください。(エラーコードは、最後に発生したコードを保持表示しています。)

## ETC 割込表示

有料道路にある ETC ゲートを通ったときや、エラーが発生したときに表示されます。

### 割込表示



### ワンポイント

- 通知設定画面の ETC 割込表示 (→ 386) を「しない」に設定しても、ナビ詳細設定の料金案内 (→ 165) を「する」に設定してあると、料金所手前での料金案内は実施されてしまいます。
- 表示される通行料金は道路事業者の割り引きなどにより実際と異なる場合があります。また、他のナビ案内などと重なったときは、通行料金の割込表示・音声は行われな場合があります。

## ETC マーク表示

ETC カードを挿入すると、情報画面・BT ナビ画面に ETC マークが表示されます。

### ETC マーク表示



### ワンポイント

- ETC マーク表示は、ETC ゲートを通過できることを表してはなりません。また、有効期限切れのカードを挿入しても表示されません。

## 走行中の表示

### 重要

- ETC レーンに進入する場合は、発進制御装置 (開閉バー) の手前で十分止まれる速度まで減速し、開閉バーが開いて安全であることを確認してから通過してください。万一、開閉バーが開かないときには衝突するおそれがあります。また、前走車がいる場合は、前走車が急停車しても十分止まることができる車間距離を確保してください。万一、前走車が急停車したときに追突するおそれがあります。
- 走行中は、交通事故防止のため ETC 車載器から ETC カードの抜き差しをしないでください。
- 走行中に ETC 車載器から ETC カードの抜き差しを行うと ETC カード内のデータが破損する恐れがあります。



### ワンポイント

- ETC レーン通過時には ETC レーン周辺に表示されている案内表示板や標識などにしたがって走行してください。
- ETC レーンを通行する場合は、路側表示器の表示にしたがって走行してください。路側表示器に停止の表示があった場合は車を停止し、係員の指示にしたがってください。
- ETC ユニットの用いたサービス（スマート IC など）があります。サービス提供者から案内される利用方法をご確認ください。
- ETC カードは必ず、入口料金所で使用した ETC カードを使用して出口料金所を通過してください。他の ETC カードに差し替えると入口料金所情報が ETC カードに保持されていないため、出口料金所を通過できなくなります。
- 出口に ETC レーンが無い場合は、係員に ETC カードを渡し精算処理を行ってください。
- ETC レーンを通過しても本機が無反応だった場合は、通信が正常に行われておりません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。
- ETC を利用するには、ETC カードを ETC 車載器に差し込んでおく必要があります。ETC カードが差し込まれていない状態では ETC を利用できません。

### ワンポイント

- 走行中、ETC ゲートを通過する手前で、ETC ゲートの通行の可否を音声と画面表示で案内します。
  - センターからの情報がない場合は通行可の案内は行われません。
- 予告アンテナおよび経路チェックアンテナを通過したときも料金所・検札所の ETC レーンを通過した場合と同様の表示になります。
- 予告アンテナを通過したときにエラーが表示された場合は、その先の料金所では ETC を利用できません。ETC 混在レーンまたは一般レーンへ進入し、係員の指示にしたがってください。なお、予告アンテナが設置されていない料金所もあります。
- 払い戻しアンテナを通過したときに払い戻しを受ける場合も、精算用の ETC レーンを通過した場合と同様の表示になります。
- ETC の利用料金は路側表示器に表示される場合があります。
- ETC の利用料金および利用履歴は、クレジットカード会社から発行される利用明細にてご確認ください。
- エラーコードについては「ETC 統一エラーコード一覧」(→ 430) を参照してください。

### ETC カードの有効期限案内について

#### ETC カード有効期限案内対応の ETC 車載器を接続している場合

ETC カードの有効期限が当月、または切れている場合、音声と画面表示で案内されます。

ETC カードを挿入する、または挿入した状態で車両のエンジンスイッチを ACC、または ON にすると、「ETC カードの有効期限が切れています」などと案内されます。

**⚠ 注意**

- ・ 本機能は、ETC カードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETC を使用する前は、必ず ETC カードに記載されている有効期限を確認してください。

**📖 ワンポイント**

- ・ ETC カードの有効期限は、ETC 音声案内が **「しない」** に設定されている場合も案内されます。(→ 386)

**■ ETC カード有効期限案内対応の ETC 車載器を接続していない場合****⚠ 注意**

- ・ ETC カードの有効期限が切れている場合でも、音声および画面表示で案内されません。有効期限は、事前に確認してください。有効期限切れの ETC カードでは、開閉バーが開かず、ETC レーンが通行できません。

**履歴表示****⚠ 重要**

- ・ 走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。

**🔍 チェック**

- ・ 利用履歴の確認は利用料金支払に使用した ETC カードを ETC 車載器に差し込んでいないとできません。

**MENU** (画面外) → **情報** → **ETC** → ETC 画面

**1** **履歴情報表示** にタッチ。**2** 履歴表示を切り替える。

- ・ **最新** … 最新の履歴にもどる
- ・ **詳細** … 利用区間を表示する

履歴	利用日	料金
最新	20xx年 12月 27日	10000円
	20xx年 12月 24日	2400円
	20xx年 12月 22日	900円
	20xx年 12月 20日	12300円
	20xx年 12月 13日	700円

**📖 ワンポイント**

- ・ ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側アンテナとの通信ができないことがあります。
- ・ 表示させることができる履歴は、最大 100 件までです。100 件を超えた場合、古い履歴から自動的に消去されます。手動による履歴の消去はできません。

**統一エラーコードの表示**

最後に発生した統一エラーコードが確認できます。

**MENU** (画面外) → **情報** → **ETC** → ETC 画面

**1** エラー発生時、**登録情報表示** にタッチ。**📖 ワンポイント**

- ・ 統一エラーコードについては「ETC 統一エラーコード一覧」(→ 430) を参照してください。(エラーコードは、最後に発生したコードを保持表示しています。)



## ETC 登録情報の表示

お客様の車の ETC 車載器に登録された情報が表示されます。

**MENU** (画面外) → **情報** → ( **情報** )  
→ **ETC** → ETC 画面

- 1 **登録情報表示** にタッチ。  
 ● エラー発生時は最後に発生した統一エラーコード (→ 430) も表示されます。

### ワンポイント

- ・ ETC 登録情報画面のセットアップカード情報有効年月日は、現在使用されていないため表示されません。
- ・ 統一エラーコードについては「ETC 統一エラーコード一覧」(→ 430) を参照してください。

## ETC の通知設定

- 1 **MENU** (画面外) を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **ETC** にタッチ。
- 4 **通知設定** にタッチ。



- 5 各項目の **する** または **しない** にタッチし、**完了** にタッチ。

次の設定を変更することができます。

<b>■ ETC 割込表示</b>
「ETC 割込表示」(→ 383)
<b>■ ETC 音声案内</b>
ETC システムを利用するときに、音声を出力する。
<b>■ ACC オン時警告表示</b>
エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを画面に表示して警告する。
<b>■ ACC オン時警告音声案内</b>
エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC にしてから約 20 秒以上経過したとき、カードの差し忘れなどを音声で警告する。
<b>■ カード抜き忘れ警告</b>
ETC カードが挿入されている状態で、エンジンスイッチを ACC から OFF (LOCK) にしたとき、お客様の車の ETC 車載器から警告音 (ブザー音) の出力、または音声の出力のいずれかで警告する。

### ワンポイント

- ・ ハートフル音声と ETC 音声案内が重複することがあります。ETC 音声案内を優先して聞く場合、ハートフル音声を「しない」に設定します。(→ 96) ハートフル音声を優先して聞く場合、ETC 音声案内を「しない」に設定します。

## ハンズフリーについて

### ハンズフリーとは

動作確認済の Bluetooth 携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機に接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。

※本機で動作確認済みの機種については、ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>)をご確認ください。なお、動作確認は、一定の条件下で確認したものです。そのため、携帯電話の仕様変更などにより、動作確認済機種でも、確認内容が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

本機で使用できる携帯電話の対応 Bluetooth 仕様および対応プロファイルについては「本機で使用できるメディア/データについて」(→ 456)をご覧ください。ただし、携帯電話の機種により、一部機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。



Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通テン株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号は、各所有権者が所有する財産です。

本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

### ⚠ 警告

- ・ハンズフリー機能を使用する場合、安全のため、運転者は走行中に電話機の Bluetooth 接続や、携帯電話本体のご使用はさけてください。
- ・運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受け取ってください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

### ⚠ 注意

- ・携帯電話は車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

## Bluetooth® 携帯電話について

Bluetooth 携帯電話は、本機と携帯電話との間の通信を無線 (Bluetooth) を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話では、ハンズフリーを利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth 携帯電話では、どこにも接続することなく、ハンズフリーを利用することができます。

例えば、ポケットやカバンに携帯電話をいれたままでも、そのままの状態ですぐハンズフリーをご利用いただけます。



Bluetooth携帯電話

※本機では、有線 (ケーブル) 接続の携帯電話はご利用になれません。

## 注意

- Bluetooth 携帯電話を本機に近づけて使用しないでください。近づけすぎると、音質が劣化したり、接続状態が悪化することがあります。

## ワンポイント

- Bluetooth 携帯電話と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。
- Bluetooth 携帯電話は、Bluetooth 接続により、携帯電話の電池が早く消耗します。

## ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリーを使用することができません。

- 通話エリア外するとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- データ通信中など、携帯電話が使用中のとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が本機と Bluetooth 接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源が OFF のとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- 本機側でデータ通信や電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき (切り替え中は本機の Bluetooth 接続状態表示が表示されません。)
- その他、携帯電話自体が使えないとき

**ワンポイント**

- ・ 割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。
- ・ 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 接続中に表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF にしてください。（設定については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。）
- ・ 携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- ・ 通話中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。
- ・ 携帯電話の割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。

**マイクについて**

通話時に、音声入力マイクを使用します。

**音声について**

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、運転席側スピーカーから出力されます。ただし、状況によっては、他のスピーカーから出力されることがあります。

**ワンポイント**

- ・ 通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声は相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。（故障ではありません。）
- ・ 受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、音声が大きくはっきりとお話しください。
- ・ 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
  - ・ 悪路走行時
  - ・ 高速走行時
  - ・ 窓を開けているとき
  - ・ エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - ・ エアコンのファンの音が大きいとき
  - ・ 携帯電話をマイクに近づけたとき
- ・ 使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- ・ 他の Bluetooth 対応機器（Bluetooth 対応機器、DS、スマートフォン）が同時に接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

## 各種表示について

### 受信レベル表示

電波の受信レベルの目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- ・「圏外」の表示が出ているときは、サービスエリア外または電波の届かない場所にあります。この場合は、携帯電話本体も使用できません。「圏外」の表示が消えるところまで移動してください。
- ・受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- ・機種によっては、受信レベルの表示ができませんことがあります。
- ・「未接続」の表示が出ているときは、携帯電話が本機に接続されていません。ハンズフリーを利用する場合は、Bluetooth 接続してからご利用ください。

受信レベル表示



表示	圏外	▽	▽	▽	▽
レベル	圏外	弱	←	→	強

### 電池残量表示

携帯電話の電池残量の目安を表示します。ただし、データ通信中および電話帳データの転送中は表示されません。

- ・電池残量表示は携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。
- ・携帯電話を充電中は、電池残量が最大で表示されます。
- ・本機には携帯電話の充電機能はありません。

電池残量表示



表示					
残量	無	少	←	→	多

### Bluetooth® 接続状態表示

携帯電話の Bluetooth 接続状態を表示します。

Bluetooth 接続状態表示



表示	接続状態
 (青色)	Bluetooth 接続の状態が良好であることを示しています。この状態で携帯電話をご使用ください。
 (黄色)	この状態では通話時に音質が劣化することがあります。表示が青色になる位置まで、携帯電話を移動してご使用ください。
 (灰色)	本機と携帯電話が接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機と携帯電話を接続するか、表示が消える距離まで本機と携帯電話を近づけてください。

### 📖 ワンポイント

- Bluetooth 通信用のアンテナがディスプレイ内に内蔵されています。  
次のような場所や状態で Bluetooth 携帯電話を使用すると、Bluetooth 接続状態表示が黄色になることや、Bluetooth 接続ができないことがあります。この場合、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
    - 携帯電話がディスプレイから隠れる場所にあるとき  
(携帯電話がシートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど)
    - 携帯電話が金属製のものに接したり、覆われているとき
- Bluetooth 携帯電話を使用するときは、青色の表示が出るように、携帯電話の場所を移動させてください。
- 携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的に Bluetooth 接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

## お車を手放すとき

ハンズフリーを使用すると、多数の個人情報が登録されます。

**お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ 56)**

なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどすことはできません。

間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

ハンズフリーでは、次の情報が初期化されます。

- 電話帳データ
- 発信履歴および着信履歴
- ワンタッチダイヤル
- Bluetooth 電話機の登録情報
- ロック No.
- ハンズフリー関連の設定・編集項目

## Bluetooth® 機器使用上の 注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します）

この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。

この機器の使用周波数帯は 2.4GHz 帯です。

変調方式として FH-SS 変調方式を採用しています。

想定干渉距離は 10m 以下です。この機器は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。

### ワンポイント

- ・ 本製品は、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- ・ 本製品を分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

## 他の Bluetooth® 機器と同時使用时

- 他の Bluetooth 機器を同時に使用するときは、次のようになります。
  - ・ 携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ・ ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
  - ・ ハンズフリーの動作が遅くなる場合があります。
- 他の Bluetooth 機器を使用中にハンズフリーで使用する携帯電話の選択を変更した場合、他の Bluetooth 機器の音声途切れることがあります。
- 電話帳データ転送中は、他の Bluetooth 機器の接続が切断されます。

この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- 本機で携帯電話を利用する際には、必ず動作確認済携帯電話を ECLIPSE ホームページ「お客様サポート」(<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) をご確認ください。

# ハンズフリーの基本操作

## ハンズフリーの準備をする

### ハンズフリーの準備をする

ここでは、ハンズフリーを使用するための基本的な操作について説明しています。

初めてハンズフリーを使われる方やすぐにハンズフリーを使いたいという方は、まずこの章をご覧の上、操作してください。

ハンズフリーを使用する前に、まず使用する携帯電話を設定します。

### 携帯電話を登録する

Bluetooth 携帯電話を使用するためには、まず次の手順で本機に登録をすることが必要です。携帯電話の登録はカンタン初期設定 (→ 49) から行うことができます。

- Bluetooth 対応機器は、本機に最大 5 台まで登録することができます。
- 携帯電話の Bluetooth 待ち受けを ON にするなど本機と接続できる状態にします。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- 携帯電話を Bluetooth オーディオとしても使用したい場合は、同時に登録できます。(→ 343)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → 設定・編集画面

### 1 **機器登録** にタッチ。



### 2 **登録** にタッチ。

- 複数の携帯電話を使用する場合は、メッセージが表示されることがあります。画面の案内にしたがって操作してください。

### 3 Bluetooth 接続画面に表示される案内にしたがって、携帯電話本体を操作する。



- 携帯電話側の登録操作は、必ずこの Bluetooth 接続画面を表示させて行ってください。
  - 中止するとき → **中止** にタッチ。

### 4 接続が完了したとき

→ メッセージが表示され、携帯電話の登録が完了する。

- 複数の携帯電話を使用する場合は、携帯電話の数だけ登録を繰り返します。
- スマートフォンナビ連携機器登録確認のメッセージが表示されます。(→ 217)

### ■ 接続失敗画面が表示されたとき

「接続できませんでした」のメッセージが表示されたときは、画面の案内にしたがってやり直してください。

### ワンポイント

- ・ 携帯電話によっては、パスキーの入力が必要になります。
- ・ パスキーとは、Bluetooth 携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することもできます。(→ 418)
- ・ 携帯電話を登録すると、最後に登録した携帯電話が使用する携帯電話として選択されます。複数登録している場合は、使用する携帯電話を選択することができます。(→ 410)
- ・ Bluetooth 対応機器を 5 台登録していると、それ以上登録することができません。携帯電話の登録を削除してください。「Bluetooth<sup>®</sup> 電話機の登録を 削除する」(→ 418)
- ・ 携帯電話の設定によっては、接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- ・ HFP に対応していない携帯電話は、本機に登録できません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP、PBAP のみのサービスは利用できません。
- ・ 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- ・ 他の Bluetooth 機器を使用中に携帯電話を登録する場合、他の Bluetooth 機器の音声が届かなくなることがあります。
- ・ 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機側の登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側から Bluetooth の接続を行ってください。

### 携帯電話を接続する

Bluetooth 携帯電話の本機への接続は、自動と手動の 2 通りの方法があります。

- ・ 携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。

### ワンポイント

- ・ 他の Bluetooth 機器を使用中に接続動作を行った場合、音声が届かなくなることがあります。
- ・ 他の Bluetooth 機器の操作後に携帯電話の接続を行った場合、接続できないことがあります。また、携帯電話の接続動作中に他の Bluetooth 機器の操作を行った場合、接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動で接続を行ってください。(→ 395)

### 携帯電話を自動で接続する

Bluetooth 詳細設定の自動電話機接続 (→ 419) を「する」に設定すると、自動で Bluetooth 接続できます。

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

## Bluetooth® 接続確認表示

Bluetooth 詳細設定の電話機の接続確認案内 (→ 420) で「する」を選択しているときは、Bluetooth 接続されると、接続完了の表示が画面上部に表示されます。

ハンズフリーを使用するときは、この表示をご確認ください。



- Bluetooth 接続状態表示でも確認できます。(→ 390)

### ワンポイント

- 接続完了の表示は、エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にした後、初めて携帯電話と Bluetooth 接続完了したときに 1 回のみ表示されます。
- 携帯電話の機種によっては、エンジンスイッチが ACC または ON のときに表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明を OFF に設定してください。(設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。)

## 自動接続できなかった場合

自動接続は約 60 秒行います。自動接続を開始して約 15 秒経過した時点で接続完了していない場合「携帯電話が接続できませんでした。携帯電話を忘れていませんか?」というメッセージが表示され、同内容の音声案内が流れます。60 秒以内に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。

(→ 395)

### ワンポイント

- 携帯電話の接続状況により、携帯電話が車内にある場合でも「携帯電話を忘れていませんか?」というメッセージが表示されることがあります。

## 携帯電話を手動で接続する

携帯電話の自動接続が失敗したときや電話機詳細設定の自動電話機接続 (→ 394) を「しない」に設定しているときに Bluetooth 接続するときは、手動で Bluetooth 接続操作をします。

ダイヤル画面表示中 (→ 400)

- 携帯電話を Bluetooth 接続可能な状態にする。
- ハンズフリー** にタッチ。



- 接続中は作動表示灯が点灯します。

### 3 Bluetooth 接続画面が表示される。



- ・ 中止するとき → **中止** にタッチ。

### 4 再びダイヤル画面が表示されたら、Bluetooth 接続状態表示を確認する。

- 良好な状態であれば携帯電話が使用できます。
- ・ 切断するとき
  - 再度 **ハンズフリー** にタッチ。

#### ワンポイント

- ・ Bluetooth 接続失敗の表示がされてもその後 Bluetooth 接続できれば、Bluetooth 接続完了の表示が 1 回のみ表示されます。
- ・ 携帯電話の状態によっては、一度で接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。
- ・ Bluetooth オーディオ機器や DS など他の Bluetooth 機器を 2 台接続している場合、携帯電話を追加で接続することができません。接続できない場合は、一度他の Bluetooth 機器を切断してから、再度接続操作を行ってください。

### Bluetooth® 接続の再接続について

エンジンスイッチが ACC または ON のときに、一度接続が成立した Bluetooth 接続が Bluetooth ネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、再接続処理を一定時間、自動的に行います。この場合、接続完了しても表示はありません。

#### ワンポイント

- ・ 再接続処理は一定時間行われます。その間に接続できなかった場合は、手動で接続操作を行ってください。(→ 395)

### Bluetooth® 接続が意図的に切断された場合

携帯電話側から Bluetooth 接続を OFF にするなど、一度接続が成立した Bluetooth 接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

項目	ページ
手動で接続する	395
改めて携帯電話を選択する	410

## 電話をかける

### ダイヤル発信する

ここでは、基本操作としてダイヤル発信を説明します。  
電話番号を入力して電話をかけることができます。

- ダイヤル画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーがトーンダウンして、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。
- その他の電話のかけ方について  
→「電話をかける」(→ 400)

### ワンポイント

- ハンズフリーを使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録して Bluetooth 接続しないとハンズフリーが使用できません。ハンズフリーを使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(→ 393)
- 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。  
携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、携帯電話でのハンズフリーはご使用になれません。
- ハンズフリー** の作動表示灯が点灯していない場合は、ハンズフリーはご使用になれません。
- 走行中は安全のため画面に電話番号などが表示されず、一部の操作ができなくなります。ただし、電話帳に登録されている電話番号のときは、電話帳に登録されている名称が表示されます。
- 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

- 1 停車中、**MENU** (画面外) を押す。
- 2 **情報** にタッチ。
- 3 **電話** にタッチ。



※装備の有無により、実際の画面と異なることがあります。

- 携帯電話が登録されていないときはメッセージが表示されます。  
**はい** にタッチすると、携帯電話の登録(→ 393)を開始します。
- 4 電話番号を入力する。
    - 最後の 1 桁を消去するとき  
→ **修正** にタッチ。
    - 最後の 1 桁から続けて消去するとき  
→ **修正** にタッチし続ける。
  - 5 **電話** にタッチ。
  - 6 発信できたとき  
→ 発信中画面が表示される。
  - 発信音が出力された後、呼出音が出力されず。
  - 7 相手が電話に出たとき  
→ 通話中画面が表示され、通話を開始する。

## 電話を受ける

### ワンポイント

- ・ 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
  - ・ 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
  - ・ 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
  - ・ 通信事業者のサービスにより発信中画面で 10 キー入力する必要がある場合、10 キー入力をしてもしートン信号を送れないことがあります。10 キー入力については、「通話中に 10 キー入力する」(→ 399) をご覧ください。
- ・ 他の Bluetooth 機器を使用中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

### 電話を切る

- 1 次のいずれかの操作をする。
    - ➔ 発信中または通話中画面で  にタッチ。
    - ➔ 携帯電話本体で電話を切る。
- 電話が切れると発信画面にもどります。

### 電話を受ける

- ・ ここでは、全画面表示の場合で説明していません。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。(→ 408)

- 1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知する。



- 2  にタッチして、電話を受け取る。

### ワンポイント

- ・ 着信中に地図画面など他の画面を表示することができます。情報・BTナビ画面(情報)(→ 368)で、**電話** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- ・ 着信時、一時的に“通知不可”と表示される場合がありますが、故障ではありません。
- ・ 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート(消音)します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- ・ 携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
 

携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

  - ・ ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
  - ・ 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。

- ・ 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
- ・ 着信音については、
  - ①車両のスピーカーから聞こえる
  - ②携帯電話から聞こえる
  - ③両方から聞こえる
 など、機種によって異なります。また、着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、本機に登録されている着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。
- ・ 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
- ・ 携帯電話を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
- ・ 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
- ・ ハンズフリー設定画面で自動着信応答を「する」に設定しておく、自動で電話を受けることができます。（→ 423）
- ・ 他の Bluetooth 機器を使用中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

## 自動で電話を受ける

自動着信応答の設定により、自動で電話を受けることができます。（→ 423）

## 通話中に操作する

### 通話中に 10 キー入力する

通話中に 10 キー入力が必要な場合は、10 キーを表示させます。

- ・ ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→ 408）

#### ハンズフリー通話中

- 1 **トーン** にタッチ。



- 2 スイッチにタッチして入力する。
  - ・  にタッチすると、電話が切れます。

#### ワンポイント

- ・ 走行中は 10 キーがトーンダウンし、操作できません。

### 通話を終了する

- ・ ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。（→ 408）

- 1 次のいずれかの操作をする。
  - 通話中画面で  にタッチする。
  - 携帯電話本体で電話を切る。

# ハンズフリーの便利な使い方

## 電話をかける

### 電話をかける

ここでは、ダイヤル発信以外の電話のかけ方について説明します。

### ダイヤル画面を表示する

- 1 停車中、**MENU**(画面外)を押す。
- 2 **情報**にタッチ。
- 3 **電話**にタッチ。
  - 走行中に操作すると、ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

#### ダイヤル画面



この画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

ダイヤル発信 → 397	電話番号を入力して電話をかける
電話帳発信 → 401	本機の電話帳から電話をかける
履歴発信 → 401	発信履歴または着信履歴から電話をかける
ワンタッチ発信 → 403	ワンタッチダイヤルから電話をかける

その他、次の方法で電話をかけることもできます。

ナビからの発信 → 404	ナビのデータから電話をかける
携帯電話本体からの発信 → 404	携帯電話本体から電話をかける

### ワンポイント

- ・ ハンズフリーで使用する携帯電話でデータ通信中に電話をかけようとした場合は、メッセージが表示されます。データ通信を終了しても良い場合は、**はい**にタッチしてください。データ通信を終了したくない場合は、**いいえ**にタッチし、データ通信が終了してから、再度電話をかけてください。
- ・ **ハンズフリー**の作動表示灯が点灯していない場合は、ハンズフリーはご使用になれません。

## 電話帳発信する

あらかじめ電話番号を本機の電話帳に登録しておくことにより (→412)、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

### チェック

- ・ 接続中の携帯電話から転送した電話帳データ (→412) から、電話帳発信することができます。

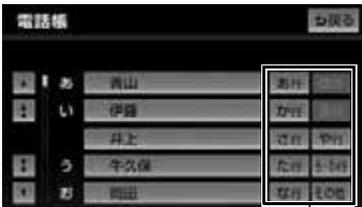
ダイヤル画面表示中 (→400)

### 1 **電話帳** にタッチ。

- 電話帳データが登録されていないときはメッセージが表示されます。

**はい** にタッチすると、電話帳編集画面 (→415) が表示されます。

### 2 希望の通話相手にタッチ。



ショートカットスイッチ

- ・ 次のいずれかにタッチすると、ショートカットスイッチが切り替わります。

**その他** ……英数字ショートカット

**50音** ……50音ショートカット

- ・ 英数字ショートカットを表示しているときは、アルファベットのショートカットスイッチのみ任意のアルファベットが選択できます。

(例) **ABC** に2回タッチすると、Bで始まるデータのリストが先頭に表示されます。

### 3 電話番号が複数登録してあるときは、希望の電話番号にタッチ。

### 4 にタッチ。

## 履歴発信する

発信履歴または着信履歴に登録されている電話番号を呼び出して、電話をかけることができます。

- ・ 過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。
- ・ それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。

ダイヤル画面表示中 (→400)

### 1 **履歴** にタッチ。



## 2 必要に応じて、**発信履歴** または **着信履歴** にタッチ。

### 発信履歴画面

発信履歴	発信履歴	発信履歴
01	伊藤	01月19日19:48
02	中村	01月19日19:47
03	渡辺	01月19日19:46
04	山田	01月19日19:44
05	田中	01月19日19:43

### 着信履歴画面

着信履歴	着信履歴	着信履歴
01	伊藤	01月22日10:55
02	伊藤	01月22日10:48
03	伊藤	01月22日10:43
04	伊藤	01月22日10:35
05	伊藤	01月22日10:32

着信拒否アイコン

不在着信アイコン

### ワンポイント

- 着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。

## 3 希望の通話相手にタッチ。

## 4 にタッチ。

### ワンポイント

- 発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 最大 5 件まで登録されます。登録可能件数を超えると、最も古い発信履歴から自動的に削除されます。
  - 本機の電話帳またはナビに登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。名称読みのみ登録されているときは、名称読みが発信履歴に登録されます。
  - 同一電話番号に発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
- 着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
  - 本機の電話帳に登録してある電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。名称読みのみ登録されているときは、名称読みが着信履歴に登録されます。
  - 同一電話番号から着信した場合は、すべて着信履歴に登録されます。
  - 不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
  - 相手先電話番号の情報が無い場合は、「通知不可」と着信履歴に登録されます。

## 履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータは、それぞれ全削除できます。

ダイヤル画面 (→ 400) → **履歴** →  
**発信履歴** または **着信履歴** →  
 発信履歴画面または着信履歴画面

### 1 **全削除** にタッチ。



### 2 **はい** にタッチ。

#### 📖 ワンポイント

- お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→ 56)

## ワンタッチ発信する

電話帳に登録してある任意の電話番号をワンタッチダイヤルとして登録しておくことにより (→ 416)、簡単な操作で電話をかけることができます。

- ワンタッチ発信は走行中でも使用することができます。

ダイヤル画面表示中 (→ 400)

### 1 **ワンタッチダイヤル** にタッチ。

### 2 希望の電話番号にタッチ。



- 選択した電話番号に発信されます。
- ページを切り替えるとき  
 → **ワンタッチ 1** ・ **ワンタッチ 2** ・  
**ワンタッチ 3** のいずれかにタッチ。

#### ■ 走行中に電話をかける場合

走行中にダイヤル画面 (→ 400) を呼び出すと、ワンタッチダイヤル画面になり、ワンタッチで発信することができます。

#### 📖 ワンポイント

- 走行中にワンタッチ発信する場合、タッチスイッチに電話番号は表示されません。

## ナビから発信する

ナビ画面で  が表示されているときは、ナビに登録されているデータの電話番号に電話をかけることができます。

- 1  が表示されている画面を表示する。



- 2  にタッチ。

### ■ダイヤル画面の「交通・ナビ」の使い方

ダイヤル画面で「交通・ナビ」にタッチすると、ナビの交通・ナビ関連画面が表示され、ここからも電話をかけることができます。(→ 370)



## 携帯電話本体から発信する

本機に Bluetooth 接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

### ▲ 警告

- ・ 運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

### ■ハンズフリー画面を表示する

携帯電話本体から発信しても、Bluetooth 接続中であれば、情報画面(→ 368)で「電話」にタッチすると、ハンズフリー画面を表示することができます。

- 「通話転送」以外のスイッチは、操作できません。
  - ・ タッチスイッチを使用したいとき
    - ➔ 通話転送の操作をする。(→ 407)

### 📖 ワンポイント

- ・ 携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
  - ・ 携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
  - ・ 単独で通話中の携帯電話が本機に接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
- ・ 携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

## 電話を受ける

### 着信中画面で操作する

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

- ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、相手の名称や電話番号は表示されません。(→ 408)

### 電話を保留する（応答保留）

- 1 着信中、 にタッチ。



- 2 応答保留を解除して通話するとき

→  にタッチ。

- ・ 応答保留中に音量を調整するとき  
→ **小** または **大** にタッチ。
- ・ 応答保留中に電話を切るとき  
→  にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- ・ 携帯電話の機種によっては、本機側の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- ・ Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。

### ■通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、応答保留中でも **通話転送** にタッチすると、通話を転送できます。(→ 407)

### 着信音量を調整する

- 1 着信中、**小** または **大** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、選択している音以外の着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。

### 着信拒否する

着信中画面で、着信拒否できます。

- ・ 携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。

- 1  にタッチし続ける。
- 着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

## 通話中に操作する

### 通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 送話音のミュート
- 通話の転送

通話中画面



- ・ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、「簡易画面で操作する」(→408)をご覧ください。
- ・通話中はオーディオ機能を使うことができません。

### ワンポイント

- ・通話中に地図画面など他の画面を表示することができます。情報・BTナビ画面(情報)(→368)で、「電話」にタッチすると、もとの画面にもどります。
- ・画面に表示される通話時間は、通話時間の目安を表示します。そのため、携帯電話の表示と一致しないことがあります。
- ・単独で通話中の携帯電話が本機に接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのまま通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。

- ・ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF(LOCK)にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。

なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACC、またはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。(→407)

### 受話音量を調整する

- 1 通話中、**小** または **大** にタッチ。

### 送話音量を調整する

通話相手に聞こえる音量を調整することができます。

- 1 **送話音量** にタッチ。
- 2 **小** または **大** にタッチして調整し、**完了** にタッチ。

## 送話音をミュート（消音）する

お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。  
（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）

- 1 通話中、**ミュート** にタッチ。



作動表示灯

- ミュート状態のときは、作動表示灯が点灯します。
  - ・ ミュートを解除するとき
    - ➔ 再度 **ミュート** にタッチ。

### ワンポイント

- ・ 携帯電話の機種により、送話音をミュート（消音）できない場合があります。

## 通話を転送する

Bluetooth 携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。  
ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

### ■画面で操作する

- 1 通話中画面または応答保留中画面で、**通話転送** にタッチ。
  - 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

### ワンポイント

- ・ 画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声聞こえなくなることがあります。

### ■携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。  
・ 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチでの操作ができます。

携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

## ハンズフリーの設定

### 設定・編集画面を表示する

### 簡易画面で操作する

状況に応じて次のような画面が表示され、電話がつながっていることをお知らせします。

画面に電話番号および名称は表示されませんが、通常通り操作することができます。

- ・電話が切れる、または電話を切ると、簡易画面は解除されます。

#### ■簡易画面

電話詳細設定の着信割り込み表示(→424)で「簡易」を選択しているときに表示されます。



#### ■TEL 音声画面

電話がつながっているときにオーディオ画面に切り替えようとした場合に表示されます。



### 設定・編集画面を表示する

設定・編集画面から、ハンズフリーの各種設定をすることができます。お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

- 1 **MENU**(画面外) を押す。
- 2 **設定・編集** にタッチ。
- 3 **電話** にタッチ。

- 設定・編集画面で、次の項目の設定ができます。

#### 設定・編集画面



音量設定 ..... → 409

ハンズフリー各音の音量調整・設定

電話帳編集 ..... → 412

電話帳の転送・登録・編集・削除  
ワンタッチダイヤルの登録・削除

電話詳細設定 ..... → 421

セキュリティの設定  
自動着信応答の設定  
着信割り込み表示の設定

## 音量の設定をする

### 音量の設定をする

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ 設定・編集画面

#### 1 **音量設定** にタッチ。



#### 2 各設定をする。

- 音量設定画面から、次の項目を設定できます。

項目	ページ
音量調整	409
高速時の自動音量切替	409
音量設定の初期化	409

#### 3 設定が終わったら、**完了** にタッチ。

### 音量の設定をする

#### 1 各音量の **小** または **大** にタッチして調整する。

受話音量	通話相手の音声の音量を調整する。
着信音量	着信音の音量を調整する。
送話音量	通話相手に聞こえる音量を調整する。

### ワンポイント

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音量は、着信中画面でも調整できます。
- 送話音量は、通話中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。

### ■ステアリングスイッチで音量を調整する

お車がステアリングスイッチ設定車の場合、ステアリングスイッチでも、音量を調整することができます。操作方法の詳細は、「ステアリングスイッチを設定する」(→61) と、「オーディオ・ハンズフリー機能共通の操作」(→63) をご覧ください。

### ■高速走行時の自動音量切替を設定する

高速時の自動音量切替を ON にすると、車速が約 80km/h 以上になると、設定した音量が自動的に 1 段階上がるようにすることができます。(車速が約 70km/h 以下になると、もとの音量に復帰します。)

#### 1 **高速時の自動音量切替** にタッチし、ON (自動で上がる) と OFF (上がらない) を切り替える。

- ON にしたときは、作動表示灯が点灯します。

### ■設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

#### 1 音量設定画面で、**初期状態** にタッチ。

## 携帯電話を選択する

### 使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が本機で使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を使用するときは、必要に応じて携帯電話を選択します。

- ・ 携帯電話の登録について  
→「携帯電話を登録する」(→ 393)
- ・ Bluetooth 対応機器は本機に最大 5 台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機接続で選択された携帯電話のみです。

#### チェック

- ・ 携帯電話の Bluetooth 待ち受けを ON にするなど本機と接続できる状態にします。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → 設定・編集画面

### 1 **電話機接続** にタッチ。



### 2 携帯電話を Bluetooth 接続可能状態にする。

### 3 使用する携帯電話にタッチ。

作動表示灯



- 選択中の携帯電話は、作動表示灯が点灯します。
- Bluetooth 接続中の携帯電話は、Bluetooth マークが表示されます。
- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**はい** にタッチします。
- 設定・編集画面が表示されたら、携帯電話が使用できます。

#### ワンポイント

- ・ Bluetooth オーディオ再生中に電話機選択をした場合、音声が入切れることがあります。
- ・ Bluetooth オーディオ機器や DS など他の Bluetooth 機器を 2 台接続している場合、携帯電話を追加で接続することができません。接続できない場合は、一度他の Bluetooth 機器を切断してから、再度接続操作を行ってください。

#### データ通信中の場合

データ通信中に電話機選択をすると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき  
→ **はい** にタッチ。
- 通信を継続するとき  
→ **いいえ** にタッチ。



- ・ **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度手順 **3** からやり直します。

## 携帯電話の情報を表示する

機器登録画面では、本機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定をすることができます。

情報は、次の項目が表示されます。

<b>機器名称</b>
本機に表示される携帯電話の名称です。任意の名称に変更することができます。
<b>機器アドレス</b>
機器固有のアドレスで、変更することはできません。
<b>自局電話番号</b>
携帯電話の電話番号です。
<b>対応プロファイル</b>
携帯電話で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → **機器登録** → 機器登録画面

- 1 **編集** にタッチ。
- 2 情報を表示したい携帯電話を選択する。



## 3 各項目を確認する。

- この画面で、次の操作を行うことができます。
  - ・ 機器名称の変更 (→ 411)

### ワンポイント

- ・ **初期状態** にタッチすると、ハンズフリー設定の項目が初期設定の状態にもどります。

## 携帯電話の名称を変更する

本機に表示される携帯電話の名称を、任意の名称に変更することができます。

- ・ 本機で機器名称を変更しても、携帯電話に登録されている機器名称は変更されません。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → **機器登録** → **編集** → **(名称変更したい電話機)** → 機器詳細情報画面

- 1 **機器名称** にタッチ。



- 2 機器名称を入力する。

- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40)をご覧ください。

- 3 **完了** にタッチ。

## 電話帳を編集する

### 電話帳について

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。  
..... → 412
  - 本機の電話帳に新規登録する。  
..... → 415
  - 発信履歴または着信履歴から登録する。..... → 415
- また、登録したデータは、本機で編集することができます。

- ・ 電話帳は携帯電話ごとに1つずつ登録でき、最大5つの携帯電話すべて合わせて1000名分のデータを登録することができます。
- ・ この電話帳は、1名につき最大3件の電話番号が登録できます。

### ワンポイント

- ・ 低温時は、登録、編集または転送した電話帳データが保存されないことがあります。

### 電話帳を編集する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ 設定・編集画面

#### 1 **電話帳編集** にタッチ。



#### 2 電話帳の編集をする。

- 電話帳編集画面から、次の項目を編集できます。

機能	ページ
電話帳データの転送	412
電話帳データの新規追加	415
電話帳データの修正	416
電話帳データの削除	416
ワンタッチダイヤルの登録	416
ワンタッチダイヤルの削除	417

#### 3 編集が終わったら、**完了** にタッチ。

### 携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

- 転送するときには、バッテリー上がり防止のため、エンジンをかけた状態で行ってください。
- この機能は、OPP と PBAP のどちらかに対応している携帯電話で使用することができます。また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話に添付の取扱説明書を合わせてご覧ください。
- PBAP のみに対応している携帯電話では、追加・修正をすることができません。追加・修正が必要な場合は、携帯電話側で追加・修正後転送してください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話帳編集** → 電話帳編集画面

## 1 **電話帳転送** にタッチ。

- PBAP に対応していない携帯電話の場合、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。
    - ・ 電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択します。
- 追加** …… 現在のデータに追加する
- 上書き** …… 現在のデータを上書きする



- ・ 携帯電話側の転送操作は、必ず上の画面を表示させた状態で行ってください。
- ・ 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままお待ちください。
- ・ 中止するとき
  - **中止** にタッチ。
- PBAP に対応している携帯電話の場合、**電話帳転送** にタッチすると電話帳転送が行われます。
  - ・ 中止するとき
    - **中止** にタッチ。

## 2 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示され、電話帳編集画面にもどる。

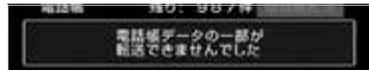
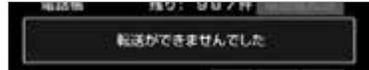
### ■データ通信中の場合

データ通信中に電話帳転送をすると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき
  - **はい** にタッチ。
- 通信を継続するとき
  - **いいえ** にタッチ。
  - ・ **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後にやり直します。

### ■転送失敗画面が表示されたとき

転送失敗のメッセージが表示されたときは、転送操作を最初からやり直してください。



## ワンポイント

- ・ 電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
  - ・ 携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 4 件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
  - ・ 電話番号と同時に名称・名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
  - ・ 通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。(携帯電話の仕様により可能な場合もあります。)
  - ・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
  - ・ 本機の電話帳で表示されるアイコンは、転送元の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。
  - ・ 電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。
- ・ 一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
  - ・ 転送にかかる時間は、転送する電話番号の件数や電話帳データの容量により異なります。データによっては、数 10 分かかる場合があります。
  - ・ 電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができません。この場合、電話帳データ転送は継続されます。
  - ・ 電話帳データ転送中は、次のように対応します。
    - ・ 電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
    - ・ 電話帳データ転送中に発信操作をした場合、転送を継続して発信を中止します。
    - ・ 電話帳データ転送中にエンジンスイッチを OFF (LOCK) にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。
  - ・ 次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
    - ・ 本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
    - ・ 何らかの原因で転送が中断されたとき
  - ・ 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
  - ・ 電話帳データ転送中は、Bluetooth オーディオの接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。(機種によっては、再接続できないことがあります。)

## 電話帳に新規データを追加する

本機の電話帳に直接データを入力して電話帳を作ることができます。電話帳には、1名のデータにつき、次の項目が登録できます。

- 名称、名称読み、電話番号（最大3件）、電話番号アイコン（各電話番号にそれぞれ1つ）

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話帳編集** → 電話帳編集画面

### 1 **新規追加** にタッチ。



### 2 各項目を編集する。

- 名称・名称読みの編集 (→ 415)
- 電話番号の編集 (→ 415)

### 3 編集が終わったら、**完了** にタッチ。

- 履歴内容画面 (→ 401) から、電話帳編集画面を呼び出して新規データを追加することができます。

### **新規登録** にタッチ。



- PBAPに対応している携帯電話の電話帳は、新規データを追加することができません。

## 名称、名称読みの編集をする

名称、名称読みは省略することができますが、その場合、電話帳画面には電話番号が表示されます。

### 1 編集する項目(**名称**、**名称読み**)にタッチ。



### 2 文字を入力する。

- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40)をご覧ください。

## 電話番号を編集する

電話番号は、電話番号1～3にそれぞれ1件ずつ登録でき、1名につき最大3件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

### 1 **電話番号1**、**電話番号2** または **電話番号3** にタッチ。

### 2 電話番号を入力し、**完了** にタッチ。



### 3 登録したいアイコンにタッチ。

## 電話帳のデータを修正する

登録済みの電話帳データを修正することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話帳編集** → 電話帳編集画面

1 **修正** にタッチ。

## 2 修正したいデータにタッチ。

## 3 各項目のスイッチにタッチして編集する。(→415)

4 **完了** にタッチ。

## ワンポイント

- ・ PBAP に対応している携帯電話の電話帳は、電話帳データを修正することができません。

## 電話帳のデータを削除する

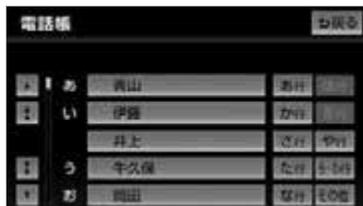
電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

## ワンポイント

- ・ お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。(→56)

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話帳編集** → 電話帳編集画面

- 1 電話帳の **削除** にタッチ。
  - 電話帳のデータをすべて削除するとき  
→ **全削除** → **はい** にタッチ。
- 2 削除したいデータを選択しタッチ。

3 **はい** にタッチ。

## ワンタッチダイヤルを登録する

電話帳に登録してある任意の電話番号を、最大 17 件までワンタッチダイヤルに登録することができます。

1 ページ目の 6 件目には、自動的に最新の発信履歴 (リダイヤル) が登録されます。

ワンタッチダイヤルは走行中でも使用できるため、よく利用する電話番号を登録しておくとう便利です。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話帳編集** → 電話帳編集画面

1 **登録** にタッチ。

## 2 登録したいデータにタッチ。

## 3 登録したい電話番号にタッチ。

## 4 登録したいスイッチにタッチ。

- ページを切り替えるとき
  - **ワンタッチ 1** ・ **ワンタッチ 2** ・ **ワンタッチ 3** のいずれかにタッチ。

## 5 登録済みのスイッチを選択したとき

- 置き換えてもよいときは **はい** にタッチ。

**ワンタッチダイヤルを削除する**

ワンタッチダイヤルの01～17は、個別に選択して削除できます。全削除すると、17件すべてが削除できます。

**ワンポイント**

- ・ ワンタッチダイヤル01～17は、対応する電話帳のデータが削除されると、同時に削除されます。
- ・ ワンタッチダイヤルのリダイヤルは、発信履歴をすべて削除した場合に削除されません。

**ワンタッチダイヤルを個別に削除する**

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話帳編集** → 電話帳編集画面

1 ワンタッチダイヤルの **削除** にタッチ。

- すべてのワンタッチダイヤルを削除するとき
  - **全削除** → **はい** にタッチ。



## 2 削除したいワンタッチダイヤルにタッチ。

3 **はい** にタッチ。

## Bluetooth® の設定をする

### Bluetooth® の設定について

ここでは、Bluetooth の各種設定に関する説明をしています。

項目	ページ
携帯電話の登録・削除	418
電話機接続	410
ポータブル機接続	344
スマートフォン連携接続	220
本機の Bluetooth 設定の変更	418

### 携帯電話を登録する

「携帯電話を登録する」(→ 393) をご覧ください。

### Bluetooth® 電話機の登録を削除する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **Bluetooth** → **機器登録** → 機器登録画面

#### 1 **削除** にタッチ。

- 携帯電話の詳細情報を確認するとき  
→ **編集** にタッチ。(→ 411)

#### 2 削除したい携帯電話を選択し、**完了** にタッチ。

#### 3 **はい** にタッチ。

#### ■データ通信中の場合

データ通信中に携帯電話の登録を削除すると、メッセージが表示されます。

- 通信を終了するとき  
→ **はい** にタッチ。
- 通信を継続するとき  
→ **いいえ** にタッチ。

- **いいえ** にタッチした場合は、データ通信終了後、再度手順 **2** からやり直します。

### 本機の Bluetooth® 設定を変更する

Bluetooth 詳細設定画面は、本機に関する Bluetooth 設定情報の表示と設定の変更をすることができます。

- Bluetooth 詳細設定画面で、次の情報を確認できます。

<b>機器名称</b>
Bluetooth ネットワーク内での本機の名称です。任意の名称に変更することができます。
<b>パスキー</b>
携帯電話を本機に登録する際のパスワードです。4～8桁の任意の数字に変更することができます。
<b>機器アドレス</b>
本機に登録されている機器固有のアドレスで、変更することはできません。機器名称やパスキーを他の Bluetooth 機器と同じにしてしまい、ネットワーク内での本機の区別がつけられなくなってしまった場合に参考にすることができます。
<b>対応プロファイル</b>
本機で対応しているプロファイルで、変更することはできません。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** →  
 Bluetooth 詳細設定画面

## 1 各項目の設定を変更、確認する。



- この画面で、次の項目を確認、変更することができます。
  - ・ 自動電話機接続の設定 (→ 419)
  - ・ 自動ポータブル機接続の設定 (→ 344)
  - ・ 機器名称の変更 (→ 419)
  - ・ パスキーの変更 (→ 419)
  - ・ 機器アドレスの確認 (→ 348)
  - ・ 対応プロファイルの確認 (→ 348)
  - ・ 電話機の接続確認案内の設定 (→ 420)
  - ・ スマートフォンナビ連携の接続確認案内の設定 (→ 221)

## 本機の名称を変更する

Bluetooth ネットワーク内での本機の名称を、任意の名称に変更することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** →  
 Bluetooth 詳細設定画面

- 1 機器名称の **変更** にタッチ。
  - 2 機器名称を入力し、**完了** にタッチ。
- 文字の入力方法については「入力画面の各スイッチの使い方」(→ 40) をご覧ください。

## ワンポイント

- ・ 機器名称を変更した場合、Bluetooth オーディオ設定の機器名称 (→ 349) も同時に変更されます。パスキーについては、それぞれ別の数字を設定することができます。

## パスキーを変更する

パスキーは 4 ~ 8 桁の任意の数字に変更することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** →  
 Bluetooth 詳細設定画面

- 1 パスキーの **変更** にタッチ。
  - 2 4 ~ 8 桁の範囲で任意の数字を入力し、**完了** にタッチ。
- 間違えたとき  
 → **修正** にタッチ。

## 自動で電話機を接続する

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にするたびに、選択した携帯電話と自動的に Bluetooth 接続します。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** →  
 Bluetooth 詳細設定画面

- 1 自動電話機接続の **する** にタッチし、**完了** にタッチ。
- 通常はこの状態で使用してください。
  - 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。
  - 解除するとき → **しない** にタッチ。

## 電話機の接続確認を案内する

エンジンスイッチを OFF (LOCK) から ACC または ON にして、携帯電話と自動的に Bluetooth 接続したときに、接続確認の表示を画面上部に案内するかしないかを選択できます。

Bluetooth 接続確認案内



MENU (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** →  
 Bluetooth 詳細設定画面

1 電話機の接続確認案内の **する** にタッチし、**完了** にタッチ。

● 解除するとき → **しない** にタッチ。

## 本機の Bluetooth® 情報を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

MENU (画面外) → **設定・編集** →  
**Bluetooth** → **Bluetooth 詳細設定** →  
 Bluetooth 詳細設定画面

1 **初期状態** にタッチ。



## ハンズフリーの詳細設定をする

### 電話詳細設定画面を表示する

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ 設定・編集画面

#### 1 **電話詳細設定** にタッチ。



#### 2 各設定をする。

- 電話詳細設定画面から、次の項目を設定できます。

項目	ページ
セキュリティ	421
自動着信応答	423
着信割り込み表示	424
電話詳細設定の初期化	424

#### 3 セキュリティ以外の項目の設定を変更したときは、**完了** にタッチ。

### セキュリティの設定をする

セキュリティを設定すると、電話帳に関するハンズフリーの一部機能を使用できなくなることができます。ホテルで車を預けるときのなど、他人に登録してあるデータを見られたくないときにご利用になると便利です。

- ・セキュリティの設定および解除をするには、ロック No. の入力が必要です。セキュリティを使用するときは、必ずロック No. を変更してからご使用ください。

#### ⚠ 注意

- ・ロック No. を変更するときは、ロック No. を忘れないように管理してください。ロック No. を忘れると、販売店でも解除ができません。万一ロック No. を忘れてしまった場合は、電話帳ロック設定の初期化を行ってください。(→ 423) ただし、初期化を行うと、電話帳データや発信履歴および着信履歴も削除されます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話詳細設定** → 電話詳細設定画面

#### 1 セキュリティの **設定する** にタッチ。



## 2 各設定をする。

- セキュリティ設定画面から、次の項目を設定できます。

項目	ページ
ロック No. の変更	422
電話帳・発着信履歴制限	422
セキュリティ設定の初期化	423

### ロック No. を変更する

セキュリティの設定および解除をするには、ロック No. の入力が必要です。ロック No. は 4 桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。セキュリティを使用するときは、必ずロック No. を変更してからご使用ください。

- ・ロック No. を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話詳細設定** → **設定する** →  
セキュリティ設定画面

### 1 ロック No. 変更の **変更** にタッチ。



### 2 現在のロック No. を入力し、**完了** にタッチ。

- ・間違えたとき → **修正** にタッチ。

### 3 新しいロック No. を入力し、**完了** にタッチ。

### 4 **はい** にタッチ。

## 5 **完了** にタッチ。

### 電話帳・発着信履歴制限をする

電話帳・発着信履歴制限を設定すると、次の機能を使用できなくなることができます。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・登録・修正・削除、電話帳発信
- ワンタッチダイヤル画面の表示、ワンタッチダイヤルの登録・削除、ワンタッチダイヤル発信
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- ロック No. の変更

- この機能を設定すると、走行中でもワンタッチ発信ができなくなります。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話詳細設定** → **設定する** →  
セキュリティ設定画面

### 1 電話帳・発着信履歴制限の **する** にタッチし、**完了** にタッチ。



### 2 設定を変更したとき

- ロック No. を入力し、**完了** にタッチ。

## ■設定を解除する

電話帳・発着信履歴制限の **しない** にタッチし、設定するときと同じ操作をする。

## セキュリティ設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

※ 初期状態にもどすと、すべての電話帳データも削除されます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話詳細設定** → **設定する** →  
セキュリティ設定画面

- 1 **初期状態** にタッチ。



- 2 **はい** にタッチ。
- 3 **完了** にタッチ。

## 自動着信応答

自動着信応答を設定しておくで、電話がかかってきたときに、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

**MENU** (画面外) → **設定・編集** → **電話**  
→ **電話詳細設定** → 電話詳細設定画面

- 1 自動着信応答の **する** にタッチ。
- 2 **-** または **+** にタッチして、自動着信応答するまでの待ち時間を 1 ~ 60 秒の間で設定する。



・ 解除するとき → **しない** にタッチ。

## 着信割り込み表示

ハンズフリー以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を選択できます。

### 簡易表示



MENU (画面外) → 設定・編集 → 電話  
→ 電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 着信割り込み表示の **全画面** または **簡易** にタッチし、**完了** にタッチ。

- **全画面** : 着信中、通話中および応答保留中に各画面が表示され、タッチスイッチで操作ができます。
- **簡易** : 着信中、通話中および応答保留中に、電話番号および名称を表示しない簡易画面が表示されます。全画面同様、タッチスイッチで操作することができます。

## 電話詳細設定を初期化する

各設定を初期設定の状態にもどすことができます。

MENU (画面外) → 設定・編集 → 電話  
→ 電話詳細設定 → 電話詳細設定画面

1 **初期状態** にタッチ。



知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

共通操作関係

メッセージ	原因	処置
セキュリティコードの認証エラーです 取扱説明書に記載している方法で解除キーを入力して下さい <input type="button" value="OK"/>	ESN のロックを解除するときに、誤った暗証番号を 5 回入力したため。	2 次元バーコードからシリアル No. (8 桁) と前回のキー No. (6 桁) を送信してください。ロックを解除するキーが返信されます。 2 次元バーコードが読み取れない場合は、アドレスに送信してください。 アドレスは、製品に同梱されている「取扱説明書」の 53 ページを参照してください。



## ナビゲーション関係

メッセージ	原因	処置
施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません ※	施設（施設ランドマーク）表示中に 800m スケール図より広域な地図にしたため。	800m スケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（→ 73）
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（→ 83）
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（→ 83）
自宅が登録されていません。 自宅登録を行いますか？ <b>はい</b> <b>いいえ</b>	自宅が登録されていないときに、 <b>自宅に戻る</b> にタッチしたため。	<b>はい</b> にタッチするとメモリ地点登録画面を表示します。（→ 148） <b>いいえ</b> にタッチするともとの画面にもどります。
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、 <b>自宅周辺</b> にタッチしたため。（目的地を追加する場合）	自宅を登録してからお使いください。（→ 148）
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ周辺 <b>1</b> ~ <b>5</b> 、特別メモリに行く <b>1</b> ~ <b>5</b> 、または <b>特別メモリ周辺</b> にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（→ 148）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。

※ナビ詳細設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。



メッセージ	原因	処置
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が登録されていないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。(→ 98)
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800m スケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。(ワンタッチメモリ地点登録のときを除く)	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図(800m スケール図以下)で行ってください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	<b>はい</b> にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 <b>いいえ</b> にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	<b>はい</b> にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 <b>いいえ</b> にタッチしてください。
目的地が遠すぎます 直線距離 5000km 以内に目的地の変更をお願いします	直線距離 5000km をこえる目的地を設定したため。	目的地は、直線距離 5000km 以内に設定してください。
これ以上設定できません 消去してからお使い下さい	目的地を設定した数が 5 カ所のときに、さらに設定(追加)しようとしたため。	不要な目的地を消去してから設定(追加)してください。(→ 141)
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
都市高マップは 200m 図より詳細な地図では表示できません*	都市高マップ表示中に 200m スケール図より詳細な地図にしたため。	200m ~ 1.6km スケール図の縮尺に地図を切り替えてください。(→ 73)
都市高マップは 1.6km 図より広域な地図では表示できません*	都市高マップ表示中に 1.6km スケール図より広域な地図にしたため。	200m ~ 1.6km スケール図の縮尺に地図を切り替えてください。(→ 73)

\*ナビ詳細設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。

メッセージ	原因	処置
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。(→ 148)
これ以上登録できません 消去してお使い下さい	メモリ地点や迂回メモリ地点を登録した数が限界数のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。(→ 154)
地点情報の受信に失敗しました	地点情報を受信(送信)するときに、地点を受信(送信)画面を表示させて操作していないため。	地点を受信(送信)画面を表示させて操作してください。
	携帯電話が Bluetooth 接続されていないため。	携帯電話を Bluetooth 接続してください。(→ 394)
	Bluetooth 通信の電波状態が不安定のため。	電波状態がよくなったことを確認して、再度送信してください。
送信された情報は利用できません	携帯電話から送信したデータと、Yahoo! JAPAN と連携画面で選択した項目が違うため。	送信するデータと Yahoo! JAPAN と連携画面で選択する項目を同じにしてください。
目的地情報(ドライブルート/地点情報)の受信に失敗しました	携帯電話が Bluetooth 接続されていないため。	携帯電話を Bluetooth 接続してください。(→ 394)
	Bluetooth 通信の電波状態が不安定のため。	電波状態がよくなったことを確認して、再度送信してください。
VICS 文字(図形)情報を受信中です しばらくお待ち下さい	VICS メニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局しなおしてください。(→ 196)
VICS・交通情報は 1.6km 図より広域の地図には表示されません*	VICS 表示中に 1.6km スケール図より広域の地図にしたため。	1.6km スケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。(→ 73)
VICS の文字(図形)情報を受信していません VICS 選局で周波数をご確認下さい	FM 多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないため。	選局しなおして VICS の情報を受信してください。(→ 196)

※ナビ詳細設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。



メッセージ	原因	処置
走行中は自動送りできません 停車してから自動送りを再開します	自動送り機能を走行中にしたため。	停車してからご使用ください。
ETCカードが挿入されていません	ETCカードが挿入されていないため。	ETCカードを挿入してお使いください。
ETCカードが読めません カードをお確かめ下さい	ETCカードが正しく読めないため。	カードをお確かめの上、正しく挿入してください。
ETCゲートを通過できません	本機とETC車載器の接続に異常があるか、セットアップがされていないため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
ETCカードに書き込みできません カードをお確かめ下さい	ETCカードにデータを書き込む事ができなかったため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートとの通信に失敗しました	ETC車載器と料金所間におけるデータ通信が失敗したため。	係員の指示に従ってください。
ETCに異常が発生しました ETCはご利用できません	ETC車載器に何らかの異常があるため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
ETCゲートを通過できません 徐行して、料金所で一旦停止して下さい	路側アンテナ側から「ETC車線通行不可&徐行」の通知があった場合に表示されます。	料金所の係員の指示にしたがってください。 (末尾にエラーコードが表示されている場合は、「ETC統一エラーコード一覧」(→430)を参照してください。)
ETCゲートを通過できます 徐行して下さい	路側アンテナ側から「ETC車線通行可&徐行」の通知があった場合に表示されます。	徐行して、ETCゲートを通過してください。
ETCカードが挿入されました	ETC車載器にカードを挿入し、確認されたときに表示されます。	—



## ■ETC 統一エラーコード一覧

エラーコード	原因	処置	お問い合わせ先
01	ETC カード挿入異常	ETC カードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。	—
02	データの処理異常	「ETC カード挿入時」 挿入された ETC カードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。	お買い上げの販売店
		「ETC 利用時」 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、係員の指示にしたがってください。	
03	ETC カード異常	挿入されたカードが ETC カードであると認識できませんでした。正しい ETC カードであること、および挿入方向などをご確認の上、再度挿入してください。	ETC カード発行会社
04	ETC 車載器の故障	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
05	ETC カード情報の異常	挿入されたカードが ETC カードであると認識できませんでした。正しい ETC カードであることをご確認の上、再度挿入してください。	お買い上げの販売店
06	ETC 車載器情報の異常	ETC 車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
07	通信異常（ETC アンテナ外れ検知時含む）	ETC 車載器と料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	—
	ETC アンテナが正しく接続されていない	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店



エラーコード	原因	処置	お問い合わせ先
-	ETC が利用不可	「予告アンテナ通過時」 ETC がご利用できません。 ETC 混在車線、または一般車線に進入し、係員の指示にしたがってください。	お買い上げの販売店
		「料金所通過時」 ETC がご利用できません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。	
	ETC 車載器の未セットアップ	車両の情報などが ETC 車載器に登録されていません。ETC 車載器のセットアップ作業をご依頼ください。	お買い上げの販売店



## オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	原因	処置
ディスクをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しの場合は正しく入れてください。
ディスクが入っていません	再生可能なディスクが入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
異常検知で CD 停止中です*	なんらかの原因でプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
SD カードにアクセスできません SD カードをご確認下さい	音楽用 SD メモリーカードが差し込まれていないため。	音楽用 SD メモリーカードを差し込んでください。 (→ 32)
	音楽用 SD メモリーカードがロックされているため。	音楽用 SD メモリーカードのロックを解除してください。
録音用 SD の作成に失敗しました	音楽用 SD メモリーカードがロックされているため。	音楽用 SD メモリーカードのロックを解除してください。
この SD カードには対応していません	対応していない音楽用 SD メモリーカードを挿入したため。	本機で使用できる音楽用 SD メモリーカードを確認してください。(→ 38)
SD カードが挿入されていません	音楽用 SD メモリーカードが入っていないため。	音楽用 SD メモリーカードを入れてください。
SD カードエラーです	何らかの原因で音楽用 SD メモリーカードが読み込めないため。	音楽用 SD メモリーカードをお確かめください。
SD カードがロックされています	音楽用 SD メモリーカードの誤消去防止スイッチが LOCK 状態になっているため。	音楽用 SD メモリーカードの誤消去防止スイッチを LOCK から解除にしてください。
SD カード認証中	音楽用 SD メモリーカードの認証を処理しているため。	音楽用 SD メモリーカードの認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。

\*イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。



メッセージ	原因	処置
SD カードをお確かめ下さい	何らかの原因で音楽用 SD メモリーカードが再生できなくなったため。	しばらくしてから再度、挿入し、再生してください。
CDDB (タイトル) 検索中です 再生までしばらくお待ちください	複数の音楽 CD を録音した後、Gracenote メディア データベース未検索だったタイトルを取得するため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
SD の容量がありません 録音を停止します	録音中に音楽用 SD メモリーカードの容量が一杯になったため。	音楽用 SD メモリーカード内の音楽データを削除する、または容量に余裕のある音楽用 SD メモリーカードを使用して、再度録音してください。(→ 290)
すでに録音済の CD です	すでに録音されている音楽 CD アルバムを再度録音しようとしたため。	同じ音楽用 SD メモリーカード内ですでに録音されている音楽 CD は録音することができません。録音する場合、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(→ 290)
音飛びが発生しました 録音をもう一度行います	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
現在録音中の曲が録音完了するまで、しばらくお待ちください	録音開始後、現在再生している曲の録音が完了していないときに録音を停止すると、先頭から再び録音をやり直す必要があるため。	1 曲録音が完了するまでの間、しばらくお待ちください。
異常検知のため書き込みを中止します	タイトル更新、または更新作業が何らかの要因で異常終了したため。	再度タイトル更新、または更新操作を行ってもメッセージを表示する場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
録音禁止されているため録音をキャンセルします	録音が禁止されている CD を録音しようとしたため。	録音が禁止されている CD は録音することができません。ご了承ください。
録音アルバムが一杯なので、アルバムを削除してから録音開始して下さい	音楽用 SD メモリーカード内のアルバム数が一杯になり、これ以上、自動でアルバムを作成できないため。	アルバムを削除してから、録音を開始してください。(→ 293)



メッセージ	原因	処置
録音トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	音楽用 SD メモリーカード内の曲数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	曲を削除してから、録音を開始してください。(→ 290)
プレイリストが一杯です	音楽用 SD メモリーカード内のアルバム数が一杯になり、これ以上、新規でアルバムを作成できないため。	アルバムを削除してから、新規でアルバムを作成してください。(→ 293)
トラックが一杯です	アルバム内の曲数が一杯になり、これ以上、曲を追加できないため。	曲を削除してから、曲を追加してください。(→ 290)
録音を中止してから操作して下さい	録音中に録音した音楽の編集や、録音設定を変更しようとしたため。	録音を中止してから操作してください。(→ 280)
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオを OFF にしてください。
高温のため、録音を停止します*	本機の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のため、録音を停止します*	本機の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
接続できませんでした ポータブル機の PASS-KEY 設定をご確認下さい	本機と Bluetooth 機器のパスキーが一致しないなどの理由で登録できなかったため。	パスキーを確認のうえ、再度 Bluetooth 機器を登録してください。(→ 343)
接続できませんでした ポータブル機との設定をご確認下さい	何らかの理由で Bluetooth 機器が本機に接続できなかったため。	Bluetooth 機器の設定を確認してください。 Bluetooth 機器に添付の取扱説明書を参照してください。
ポータブル機との自動接続ができませんでした	Bluetooth 機器が本機に自動接続できなかったため。	手動で接続してください。(→ 346)
USB メモリとの通信に失敗しました ケーブルから外して再接続して下さい	USB メモリ接続コードが正しく接続されていないため。	USB メモリを再接続してください。(→ 36)

\*この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。



メッセージ	原因	処置
対応していないフォーマットのため再生できません	USB メモリに収録されている音楽ファイルが、本機に対応していない規格であるため。	再生可能な音楽データをご確認ください。(→ 461)
異常検知で USB オーディオ停止中です※ <sup>1</sup>	何らかの原因で再生が停止したため。	USB メモリを再接続してください。(→ 36)
iPod との通信に失敗しました ケーブルから外して再接続して下さい	iPod からの応答がないため。	本機との接続を確認してください。(→ 325)
再生できるデータがありません	iPod に再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod 内のデータおよび本機との接続を確認してください。(→ 325)
	対応していない DVD を入れているため。	対応している DVD を入れてください。(→ 456)
再生できるファイルがありません	CD-R/RW に再生可能な音楽データが収録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されている CD-R/RW を入れてください。
温度異常のため DVD 停止中です※ <sup>2</sup>	プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
異常検知で DVD 停止中です※ <sup>3</sup>	何らかの原因でプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
入力番号が正しくありません	DVD に対応していない言語コードを入力したため。	DVD に対応している言語コードを確認してください。
	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
放送を受信できません	地上デジタル TV 放送の受信エリア外にいるため。	地上デジタル TV 放送を受信できるエリアに移動してください。
データ放送を表示できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。

※1 再接続しても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

※3 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
データ放送を表示できませんでした	データ放送を正常に受信できなかったため。	もう一度、操作し直してください。
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、 故障しています ご確認ください	「miniB-CAS カードの動作確認をする」(→317)で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
IC カードが正常に動作しませんでした 販売店へお問い合わせ下さい **** (エラーコード)	miniB-CAS カードとの通信で異常を検出したため。カードの読み取り不良が考えられます。	miniB-CAS カードの抜き差しを行ってください。抜き差しにて読み取れない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、カードを交換してください。
	miniB-CAS カードを挿入していないため。	miniB-CAS カードを挿入してください。
	使用できない miniB-CAS カードが挿入されているため。(エラーコード：A1FF、A102)	miniB-CAS カードを確認してください。
	miniB-CAS カードを交換する必要があるため。(エラーコード：6400)	miniB-CAS カードを交換してください。
	miniB-CAS カード内のセキュリティ情報が改ざんされているおそれがあるため。(エラーコード：A104)	
	有効な条件を満たしていない miniB-CAS カードが挿入されているため。(エラーコード：EC01、EC02)	



## ハンズフリー関係

メッセージ	原因	処置
電話機選択が必要です 設定・編集の電話から設定で きます	使用する電話機が選択されて いないため。	使用する電話機を選択してく ださい。(→ 410)
Bluetooth 設定が必要です 設定・編集の電話から設定で きます	携帯電話の登録がされていな いため。	携帯電話の登録を行ってくだ さい。(→ 393)
携帯電話で通話中です ハンズフリーに切り替える場 合には通話転送スイッチを押 して下さい	ハンズフリー通話中のため。	通話を終了してからご利用く ださい。
携帯電話が接続されていませ ん	携帯電話が接続されていない ため。	携帯電話を接続してくださ い。「(携帯電話を接続する」 (→ 394)
回線が混み合っている等によ り表示できません しばらく待ってから操作して 下さい	サービスエリア圏外にあるた め。	①携帯電話について、次の 点を確認してください。 ・ 携帯電話が動作確認済 みの機種であるか。 ・ 携帯電話単体で正常動 作するか。 ・ 携帯電話の異常でない か。(携帯電話の電源 OFF、携帯電話の充電不 足、携帯電話の故障) ②携帯電話と Bluetooth 接 続ができていないか確認し てください。 ③他の携帯電話に変えて、 試してみてください。
	認証に失敗したため。	
	通信環境が悪いため。	
	携帯電話の接続状態に異常が あるため。	
時刻データが古いため使用で きません GPS を受信して下さい	GPS が受信できていないた め。	GPS が受信できる場所に移 動してください。



メッセージ	原因	処置
携帯電話をご確認下さい	携帯電話が Bluetooth 接続されていないため。	次の点を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 携帯電話と Bluetooth 接続されているか。</li> <li>・ 携帯電話が動作確認済みの機種であるか。</li> <li>・ 携帯電話の充電は十分であるか。</li> </ul>
	携帯電話に異常があるため。 (携帯電話の電源 OFF、携帯電話の充電不足、携帯電話の故障)	
	携帯電話が動作確認済みの機種でないため。	
回線が混雑しています しばらく待ってお使い下さい	発信規制中であるため。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいるため。	しばらくしてから場所を変えて、数回試してみてください。

## 故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

## 共通操作関係

症状	考えられること	処置
日中なのに画面が暗い。	夜画面になっていませんか？	昼画面に切り替えてください。(→ 47)
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？	コントラスト、明るさを調整してください。(→ 45)
画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの (例) マイナスイオン発生器 強電波を発生するもの (例) 携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。



症 状	考えられること	処 置
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。

## ナビゲーション関係

症 状	考えられること	処 置
地図が表示されない。	地図 SD カードが差し込まれていない。	地図 SD カードを差し込んでください。(→ 32)
	地図 SD カードがロックされている。	地図 SD カードのロックを解除してください。
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(→ 69)
自転車マーク  が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(→ 69)
GPS マークが表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか？	GPS マークは 3 個以上の GPS 衛星から電波を受信すると表示されます。SYSTEM CHECK 画面で GPS 受信感度をご確認ください。(→ 369) 場所を移動しても GPS 受信感度が点灯しない状態が続く場合は、お買上の販売店にご相談ください。
案内音声が出力されない。	案内中止になっていませんか？	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。(→ 122)
	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっていませんか？	音量を大きくしてください。(→ 96)



症 状	考えられること	処 置
実際の現在地と異なる場所に 自車マーク  が表示されて いる。(自車マーク  がず れている。)	GPS 衛星の状態、車両の状 態（走行場所や運転条件）な どにより、自車マーク  が ずれることがあります。ま た、新設道路など、地図デー タが実際の道路形状と異なる 道路を走行すると、自車マー ク  がずれることがありま す。	しばらく走行すると、マップ マッチングや GPS 情報が利 用されて、現在地が自動的に 修正されます。(場合によっ ては、数分程度かかることが あります。) GPS 情報が利 用されず、現在地が自動的に 修正されないときは、安全な 場所にいったん停車して、現 在地の修正を行ってくださ い。(→ 160)
距離補正画面で <b>自動補正</b> がトーンダウンしている。	ナビゲーションを取り付けた 直後ではありませんか？	取り付け直後（別のお車から の載せ換え含む）は GPS 受 信と車速信号により自動で距 離の補正をしており、 <b>自動補正</b> にタッチするこ とができません。GPS の受 信状態が良好な道路をしば らく走行してください。走行し て改善されない場合は、お買 上の販売店にご相談くださ い。
目的地設定画面・ナビメ ニュー画面の一部がトーンダ ウンしている。	走行中ではありませんか？	車を停車し、パーキングブ レーキをかけた状態で操作し てください。
50 音・住所などがトーンダ ウンしている。		
メモリ地点などトーンダ ウンしている。		
リストの中に目的の市町村名 がない。	リストを 50 音ごとにとばし て動かしていませんか？	1 項目ずつ動かしてください。 (→ 42)
地図更新画面の終了日が 「*」になっている。	サービス有効期間の設定前 であるためです。	サービス有効期間は自動で設 定されます。 サービス有効期間設定前でも 地図の更新は可能です。





症 状	考えられること	処 置
高速道路上で案内が終了してしまう。	目的地が高速道路上に設定されていませんか？	目的地が高速道路周辺の場合、目的地を設定するときに道路の種類を選択します。 (→ 114) 目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。 故障ではありませんのでそのままご使用ください。
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していますか？	FM多重選局でVICS放送を行っている局に選局してください。
	VICS表示がOFFになっていませんか？	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定が全てOFFになっていませんか？	表示情報の設定をONにしてください。
	VICSサービスエリアを外れていませんか？	VICSの提供エリアは、「VICSの問い合わせ先」(→204)を参照してください。
	地図データ情報が古い。 VICSエリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。	最新版の地図データにバージョンアップしてください。 (バージョンアップは有償です。)
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第表示されます。
	VICS放送が行われていない時間帯であるとき。	情報を受信次第表示されます。
VICS情報の表示が乱れる。	電波や光の情報がうまく受信されない。	情報を受信次第表示が更新されます。
 の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。

症 状	考えられること	処 置
ハートフル音声で今日の日付の案内をしない。	エンジンスイッチをACC、またはONにして、すぐに目的地設定などの操作をしていませんか？	しばらくの間、エンジンスイッチをACC、またはONの状態にしていると音声を発声します。
	ナビゲーション起動時に、現在地画面以外の画面が表示されていませんか？	現在地画面を表示させてください。(→69)
自宅に到着してもハートフル音声で「お疲れ様でした。」と発声しない。	各種設定の「ハートフル音声」が <b>しない</b> になっていませんか？	各種設定の「ハートフル音声」の <b>する</b> にタッチしてください。
	自宅をメモリ地点に登録していますか？	メモリ地点に自宅を登録してください。(→148)
	自宅を目的地に設定していますか？	自宅を目的地に設定してください。(→116)
	自宅周辺では案内されないことがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
設定・編集画面(ナビ)(→163)のナビ詳細設定で「車両情報設定」の <b>変更する</b> がトーンダウンしている。	目的地が設定されていませんか？	目的地を消去してください。(→141)

## オーディオ・ビジュアル関係

症 状	考えられること	処 置
音が出ない。	音量が0になっていませんか？	音量調整スイッチを押して確認してください。
片側(左右もしくは前後)のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードが正しく接続されていますか？	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右(前後)音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	お聞きの放送、ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに差込口に1枚入っていませんか？	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。





症 状	考えられること	処置
CD・DVDの再生ができない。	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。(→39)
	CD・DVDに大きなキズやソリがありませんか？	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れていませんか？	クリーニングしてください。(→36)
	CD・DVDが裏返しになっていませんか？	CD・DVDを正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないCD・DVDが差し込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください。(→456)
	自動再生されないDVDが差し込まれていませんか？	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。(→255)
DVD再生時、リヤスピーカーから台詞が出力されない。	5.1ch対応のDVDソフトを再生していませんか？ 5.1ch対応のDVDソフトの主音声(台詞)はフロントスピーカーから出力されません。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
DVD再生時、字幕/音声の切り替えができない。	ディスクメニューからの切り替え操作が必要なDVDではありませんか？	<b>字幕</b> 、 <b>音声</b> での切り替えではなく、ディスクメニューからの切り替えが必要な場合があります。ディスクメニュー操作から切り替えてください。(→255)
CDを録音できない。	録音できないCDを再生していませんか？	MP3/WMAは音楽用SDメモリーカードへの録音が出来ません。
USBメモリが正しく認識できない。	USBメモリが正しく接続されていますか？	USBメモリを取り外し再度接続してください。認識しない場合は別のUSBメモリで再度接続してください。
iPodを本機で操作できない。	iPodが正しく接続されていますか？	iPodを取り外し、iPodをリセットしてから再度接続してください。リセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。

症 状	考えられること	処置
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンを押して画面を消していませんか？	<b>現在地</b> (画面外)を押してください。(→ 69)
音声は出るが、TV 映像が出ない。(停車中)	パーキングブレーキが解除されていませんか？	パーキングブレーキを引いてください。
映像も音も出ない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない。	ポータブルオーディオの電源が入っていますか？	ポータブルオーディオの電源を入れてください。
	ポータブルオーディオが再生されていますか？	ポータブルオーディオを再生してください。
VTR 機器からの映像が映らない。音声はスピーカーから出力されない。	VTR 機器接続用コードのプラグがしっかり接続されていない。	VTR 機器接続用コードのプラグをしっかり接続してください。
TV の映像、音が出ない。	miniB-CAS カードが正しく差し込まれていますか？	miniB-CAS カードを正しく差し込んでください。(→ 299)
TV の映像が止まって音が出ない。	地上デジタル TV 放送の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
	miniB-CAS カードが正しく差し込まれていますか？	miniB-CAS カードを正しく差し込んでください。(→ 299)
地上デジタル TV 放送が受信できない。	お車が地上デジタル TV 放送を受信できない地域にありますか？	地上デジタル TV 放送を受信できる地域に移動してください。



症 状	考えられること	処置
本機に DS を登録できない。	本機に登録待ち受け画面が表示されていますか。	<b>AV</b> (画面外) → <b>DS</b> → <b>登録</b> の順にタッチしたあと、DS を操作してください。
	すでに本機に DS ソフトが登録されていますか。	DS の登録を削除してから、登録し直してください。(→ 366)
	登録可能な車載機が複数見つかることがあります。	本機に登録待ち受け画面に表示される機器アドレスを確認して、DS 側で選択してください。
本機と DS が接続されない。	本機に DS ソフトを登録しましたか。	登録してください。(→ 363)
	本機に接続待ち受け画面が表示されていますか。	<b>AV</b> (画面外) → <b>DS</b> → <b>接続</b> の順にタッチしたあと、DS を操作してください。
	別の車載機に DS を登録していませんか。	利用される車載機に登録し直してください。(→ 363)
ゲームの音声が車両のスピーカーから聞こえない。	音量が小さく (音声 OFF に) なっていませんか。	音量を大きくしてください。
	DS が接続されていますか。	本機が DS 接続済み画面であることを確認してください。(→ 364)
DS との通信が切断された。	他のモードに切り替えていませんか。	<b>AV</b> (画面外) → <b>DS</b> → <b>接続</b> の順にタッチしたあと、DS を操作してください。
	他の Bluetooth 機器を使用していると切断されることがあります。	ゲームを再開するときは、もう一度接続してください。(→ 364)
目的地や経由地が設定できない。	目的地と経由地を合わせて 5 力所設定していませんか。	設定できる目的地は最大 5 力所です。目的地を消去してから設定してください。(→ 141)
	本機に表示される画面によって目的地が設定できないことがあります。	本機に現在地画面を表示したあと、もう一度設定してください。

## アフターサービスについて

### お問い合わせに関するお知らせ

#### アフターサービスに関するお問い合わせ

販売店またはお客様相談窓口にご連絡してください。

**富士通テン株式会社**  
「お客様相談窓口」

 **フリーダイヤル 0120-022210**  
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

受付時間 午前10:00～12:00、午後1:00～5:00(土・日・祝日などを除く)

#### 製品の購入や組み合わせに関するお問い合わせ

販売店または販売会社に連絡してください。

#### ■販売会社

富士通テン東日本 (株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8 丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北海道支店	〒003-0809 札幌市白石区菊水 9 条2 丁目2番38号	(011)821-2221	北海道全域
北関東支店	〒338-0004 埼玉県さいたま市中央区本町西4丁目 18番1号	(048)859-2210	栃木、埼玉、群馬、 茨城
東北支店	〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3丁目4番18号 (タカノボル第22ビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部 (株)	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	中部、北陸地区
富士通テン西日本 (株)	〒663-8241 西宮市津門大塚町7番35号	(0798)36-7481	兵庫、大阪、京都、 滋賀、奈良、和歌山
中国支店	〒734-0044 広島市南区西霞町2番25号	(082)255-2422	中国地区
四国支店	〒760-0078 高松市今里町 1 丁目28番13号	(087)863-7020	四国地区
九州支店	〒815-0031 福岡市南区清水4丁目4番34号	(092)511-3210	九州全域、沖縄



## 修理に関するお問い合わせ

AVN の修理は、販売店にて受け付けています。

保証期間中は、保証書に記載の保証規定にもとづいて無料で修理いたします。製品に保証書を添えて申し込んでください。

- 保証期間は、同梱の保証書でご確認ください。
- 保証書は、販売店名や購入日の記載を確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間が過ぎている場合は、有料で修理をお引き受けしています。
- 出張による修理や点検は行っていません。
- 製品の機能を維持するために必要な“補修用性能部品”は、製造打ち切り後も最低 6 年間は保有しています。

### ワンポイント

- ・ 修理や点検の際にかかる AVN の取り付け／取り外し費用は、保証期間内においても基本的に有償となります。

## メールでのお問い合わせ

ECLIPSE では、メールでのお問い合わせにも対応しています。

お客様サポートページに記載されている注意事項を確認してから「お問い合わせフォーム」にアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

- URL  
<https://www.fujitsu-ten.co.jp/pif/inquiry/select/open.do>

## 故障とお考えになる前に

使用環境や設定の問題で、AVN を操作できない場合があります。また、故障ではなく製品自体の仕様である可能性も考えられます。

ECLIPSE のお客様サポートページには、よくある問い合わせ内容をまとめた「FAQ」を準備しています。修理や点検を申し込む前に、お客様サポートページの内容をご確認ください。

- URL  
<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>



## バッテリーの交換について

### バッテリー交換をする前に

お車から本機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

#### ■初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
販売店の設定	設定した販売店の情報
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
地上デジタル TV 放送	プリセットスイッチに記憶されたチャンネル
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信 / 着信履歴	記憶された発信 / 着信履歴
エコ機能	燃費の設定やこれまでの履歴
Yahoo! 連携	セキュリティの設定

#### ワンポイント

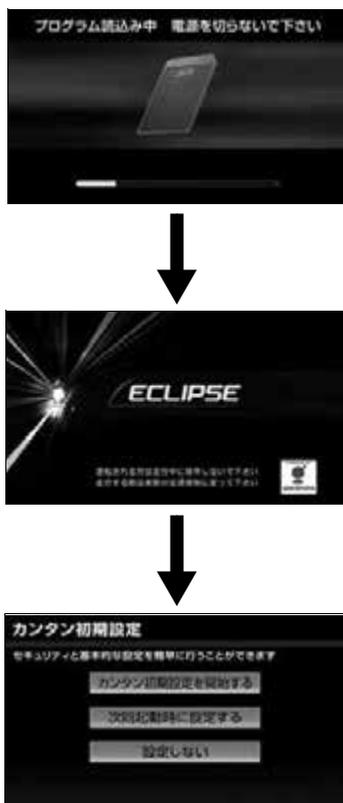
- ・一度初期化（消去）された内容（データ）は元に戻せません。ご注意ください。
- ・ESN の設定をしている場合、バッテリーの交換などをおこなうと、ESN のロックがかかります。ESN のロックを解除する方法については、「ESN のロックを解除する」（→ 52）を参照してください。



## バッテリーを交換した後に

バッテリーを交換したとき（バッテリーの ⊕ ターミナルを接続）は、車両のエンジンスイッチを ACC または ON にするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

次のように画面がかわります。



### ワンポイント

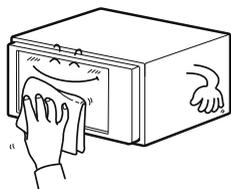
- ・セキュリティ (ESN) を設定している場合 (→ 52) や地図 SD カードが差し込まれていない場合 (→ 34) は、表示される画面は異なります。



## お手入れについて

### 本機のお手入れ

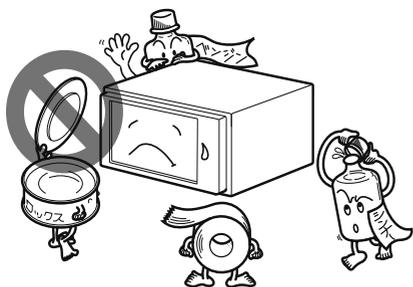
- 汚れをおとす場合、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。汚れがひどい場合、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげます。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください

化学ぞうきんをご使用の場合、その注意書に従ってください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品やツヤ出し剤は、使用しないでください。



変質したり、塗装がはげることがあります。

### アンテナのお手入れ

- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線はがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- トランクドアやバックドアを開けたときに、エレメントが車両（ボディ）に当たらないような角度にしてください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。



## 市街図収録都市リスト

- 北海道 …… 札幌市、函館市、小樽市、旭川市、室蘭市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、  
岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、  
紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、  
深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、当別町、釧路町
- 青森県 …… 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、三沢市、むつ市
- 岩手県 …… 盛岡市、宮古市、大船渡市、奥州市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、  
陸前高田市、釜石市、二戸市、滝沢村
- 宮城県 …… 仙台市、石巻市、塩竈市、大崎市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、多賀城市、  
岩沼市、七ヶ浜町、利府町
- 秋田県 …… 秋田市、能代市、横手市、大館市、由利本荘市、男鹿市、湯沢市、大仙市、鹿角市
- 山形県 …… 山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、  
天童市、東根市、尾花沢市、南陽市
- 福島県 …… 福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、南相馬市、須賀川市、喜多方市、  
相馬市、二本松市、西郷村
- 茨城県 …… 水戸市、日立市、土浦市、古河市、石岡市、筑西市、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、  
常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、取手市、坂東市、牛久市、  
つくば市、ひたちなか市、鹿嶋市、潮来市、守谷市、神栖市、つくばみらい市、  
大洗町、東海村
- 栃木県 …… 宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、  
矢板市、那須塩原市
- 群馬県 …… 前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、  
富岡市、安中市、玉村町
- 埼玉県 …… 川越市、熊谷市、川口市、行田市、秩父市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、  
東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、  
蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、  
北本市、八潮市、富士見市、ふじみ野市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、  
鶴ヶ島市、日高市、吉川市、さいたま市、三芳町、毛呂山町、越生町、滑川町、  
嵐山町、小川町、ときがわ町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀬町、  
小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町
- 千葉県 …… 千葉市、銚子市、市川市、船橋市、館山市、木更津市、松戸市、野田市、香取市、  
茂原市、成田市、佐倉市、東金市、匝瑳市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、  
市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鴨川市、鎌ヶ谷市、君津市、富津市、  
浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、山武市、  
いすみ市、酒々井町、栄町、多古町、東庄町、横芝光町、大網白里町、九十九里町、  
芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、大多喜町、昭宿町
- 東京都 …… 東京 23 区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、  
調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、  
福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、  
羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町、松原村、奥多摩町
- 神奈川県 …… 横浜市、川崎市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、  
逗子市、相模原市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、  
座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、  
松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村
- 新潟県 …… 新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、  
見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、佐渡市、上越市、阿賀野市
- 富山県 …… 富山市、高岡市、射水市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市
- 石川県 …… 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、白山市、野々市市、内灘町
- 福井県 …… 福井市、敦賀市、越前市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市
- 山梨県 …… 甲府市、富士吉田市、甲州市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、中央市

- 長野県 …… 長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、千曲市、佐久市、東御市、軽井沢町、下諏訪町
- 岐阜県 …… 岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、下呂市、岐南町、笠松町、坂祝町、富加町
- 静岡県 …… 静岡市、浜松市、沼津市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、富士市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、御前崎市、伊豆の国市、清水町
- 愛知県 …… 名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、新城市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、愛西市、清須市、北名古屋市、弥富市、あま市、みよし市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町
- 三重県 …… 津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、伊賀市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、玉城町、度会町
- 滋賀県 …… 大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、東近江市、草津市、守山市、栗東市
- 京都府 …… 京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宇治市、宮津市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、京丹後市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村
- 大阪府 …… 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、泉南市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、能勢町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村
- 兵庫県 …… 神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、西宮市、洲本市、芦屋市、伊丹市、相生市、豊岡市、加古川市、たつの市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、猪名川町、稲美町、播磨町
- 奈良県 …… 奈良市、大和高田市、大和郡山市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市
- 和歌山県 …… 和歌山市、海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、岩出市
- 鳥取県 …… 鳥取市、米子市、倉吉市、境港市
- 島根県 …… 松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市
- 岡山県 …… 岡山市、倉敷市、津山市、玉野市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、真庭市、美作市、赤磐市、浅口市、吉備中央町、和気町、早島町、里庄町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、美咲町、久米南町
- 広島県 …… 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町
- 山口県 …… 下関市、宇部市、山口市、萩市、周南市、防府市、下松市、岩国市、山陽小野田市、光市、長門市、柳井市、美祢市、和木町
- 徳島県 …… 徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市
- 香川県 …… 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市
- 愛媛県 …… 松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、伊予市
- 高知県 …… 高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、四万十市、宿毛市、土佐清水市
- 福岡県 …… 北九州市、福岡市、大牟田市、久留米市、直方市、飯塚市、田川市、柳川市、嘉麻市、朝倉市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、中間市、小郡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、糸島市、古賀市、福津市、那珂川町、宇美町、篠栗町、志免町、須惠町、新宮町、久山町、粕屋町、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、荻田町、吉富町



- 佐賀県 …… 佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市
- 長崎県 …… 長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、五島市、平戸市、松浦市、長与町、時津町、波佐見町
- 熊本県 …… 熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、天草市、山鹿市、菊池市、宇土市
- 大分県 …… 大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市
- 宮崎県 …… 宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市
- 鹿児島県 …… 鹿児島市、薩摩川内市、鹿屋市、枕崎市、いちき串木野市、阿久根市、奄美市、出水市、伊佐市、指宿市、南さつま市、霧島市、西之表市、垂水市
- 沖縄県 …… 那覇市、うるま市、宜野湾市、宮古島市、石垣市、浦添市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、南風原町



# VICS 情報有料放送サービス契約約款

## 第1章 総則

(約款の適用)

第4条 財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)、放送法(昭和25年法律第132号)第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第5条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第6条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス  
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約  
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者  
当センターとVICSサービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランプラー  
FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

## 第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス  
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス  
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス  
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

## 第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランプラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS対応FM受信機(VICS デスクランプラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき
  - (2) 加入者の所有するVICS デスクランプラーの使用が不可能となったとき
- (当センターが行う契約の解除)

第12条

- 1 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。
- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。





## 第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

## 第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条

- 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

## 第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条

- 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

### 【別表 視聴料金】

視聴料金：315円（うち消費税15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

※この契約約款は、2006年6月1日変更時のものを掲載しています。

## 本機で使用できるメディア／データについて

### メディアについて

使用できる CD や DVD、SD メモリーカードなどの仕様は、下記の通りです。

### ディスクについて

次のマークが表示されているディスクが使用できます。

#### ⚠ 重要

- ・ 本機は 8cm CD および 8cm DVD を再生することができます。故障の原因となるため、アダプター等は使用せず、そのまま差し込んでください。

	市販ディスク	記録されたディスク
CD	音楽 CD  	CD-R/RW  
DVD	DVD ビデオ  	DVD-R/RW/R DL   
		DVD+R/RW/R DL   

- "DVD Logo" is a trademark of DVD Format / Logo Licensing Corporation.
- ビデオモード（ビデオフォーマット）および VR モード（ビデオレコーディングフォーマット）で記憶された DVD ± R/RW/R DL の再生に対応しています。また、CPRM 対応の DVD-R/RW/R DL の再生にも対応しています。
- コピーコントロール CD などの正式な CD 規格に準拠していない特殊ディスクには対応していません。



- CD-R/RW、DVD ± R/RW/R DL は、記録状態、記録方法やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないディスクは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できないことがあります。
- CD-R、CD-RW は通常の音楽 CD に使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部の CD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋や傷をつけた場合、再生できないことや、音飛びすることがあります。
- 一部の CD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。
- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。



- 記録部分に透明または半透明部分がある CD、C-thru Disc は、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- スーパーオーディオ CD (SACD) はハイブリッドディスクの CD 層のみ再生できます。



- CD-EXTRA は音楽 CD として再生することができます。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTS トラックが混在した CD は正常に再生されません。
- Video-CD は再生できません。
- インクジェットプリンタでのレーベル印刷に対応しているディスクは、正常に出し入れできない場合があります。

## ■DVD ビデオについて

- NTSC カラーテレビ方式に対応しています。NTSC 方式以外のカラーテレビ方式 (PAL・SECAM) 対応のディスクは再生することができません。
- ドルビーは 2ch 対応です。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
 	12cm／片面	< MPEG 2方式 > 1層 242分
	12cm／両面	< MPEG 2方式 > 1層 266分 2層 484分
	8cm／片面	< MPEG 2方式 > 1層 41分 2層 75分
	8cm／両面	< MPEG 2方式 > 1層 82分 2層 150分

### ワンポイント

- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

## ■Dolby Digital について

Dolby Digital に対応しており、右のマークのついたディスクが使用できます。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.

Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.



## SD メモリーカードについて

次の SD メモリーカードが使用できます。

項目	音楽用		デジタル フォト フレーム用	メモリ地点の 移行用	オープニング 画像の登録用
	本機で録音	パソコンで 記録			
SD メモリー カード	使用不可	使用可能			
SDHC カード	使用可能				
容量	4GB ~ 32GB	SD メモリーカード：8MB ~ 2GB SDHC カード：4GB ~ 32GB			
SD スピード クラス	Class 4 ~ 10※1	Class 2 ~ 10※2	全 Class 対応 ※3	Class2 ~ 6※4	

※1 録音する音楽用 SD メモリーカードは、Panasonic / 東芝 / Sandisk 製の class4 ~ 10 の SD メモリーカードのご使用を推奨します。ご使用になる SD メモリーカードによっては、再生時の音飛びなどが発生する場合があります、その場合、弊社は保証することができません。

※2 パソコンで記録する音楽用 SD メモリーカードは、Panasonic / 東芝 / Sandisk 製の class2 ~ 10 の SD メモリーカードのご使用を推奨します。ご使用になる SD メモリーカードによっては、再生時の音飛びなどが発生する場合があります、その場合、弊社は保証することができません。

※3 デジタルフォトフレームに使用する SD メモリーカードは Panasonic / 東芝 / Sandisk 製の SD メモリーカード（全 class 対応）のご使用を推奨します。

※4 メモリ地点移行、オープニング画像に使用する SD メモリーカードは Panasonic 製の class2 ~ 6 の SD メモリーカードのご使用を推奨します。



- SD Logo is a trademark of SD-3C,LLC.  
miniSD Logo is a trademark of SD-3C, LLC.  
microSD Logo is a trademark of SD-4C, LLC.  
SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.  
miniSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.  
microSDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.
- マルチメディアカード（MMC）は使用できません。
- “miniSDHCカード” や “microSDHCカード” を使用する場合は、専用のアダプターをご使用ください。
- 音楽用 SD メモリーカードにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、半角 25 文字、全角 12 文字まで、アーティスト名が記録されているときは、半角 22 文字、全角 11 文字まで表示されます。



- FAT ファイルシステムのみ対応しています。NTFS ファイルシステムには対応していません。
- 転送速度が遅いなど SD スピードクラスによっては、画像の表示時間が異なったり、録音した音楽が音飛びすることがあります。

## ■SD メモリーカードのフォーマットについて

他の機器で使用した SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードを使用する場合は、次のソフトでフォーマット（初期化）してください。

フォーマット（初期化）すると、SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カード内に記録されたデータは消去されます。

次のソフトでフォーマットしていない SD メモリーカード、miniSD カード、microSD カードで、SD 規格に準拠していない場合、本機で使用できないことがあります。

- Panasonic SD-Jukebox V5 以降
- Panasonic SD メモリーカードフォーマットソフトウェア V2.0

## iPod について

ご使用になる iPod および接続コードの適合については、ECLIPSE ホームページ (<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>) を確認してください。

- 使用できるモデルに該当していても、機種やソフトウェアバージョン、個体差などにより使用できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- iPod 第4世代以前には互換性はありません。
- iPod mini、iPod shuffle、iPod photo には互換性はありません。
- iPod のソフトウェアバージョンは、iPod 本体で確認することができます。詳しくは iPod の取扱説明書をご覧ください。
- iPod のソフトウェアは、アップル社の Web サイトからバージョンアップすることができます。
- iPod の写真表示・オーディオブック機能には対応していません。
- ポッドキャスト機能に対応していますが、iPod/iPhone 本体と異なる動作になる場合があります。
- iPod および iTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.



- "Made for iPod," and "Made for iPhone," mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.



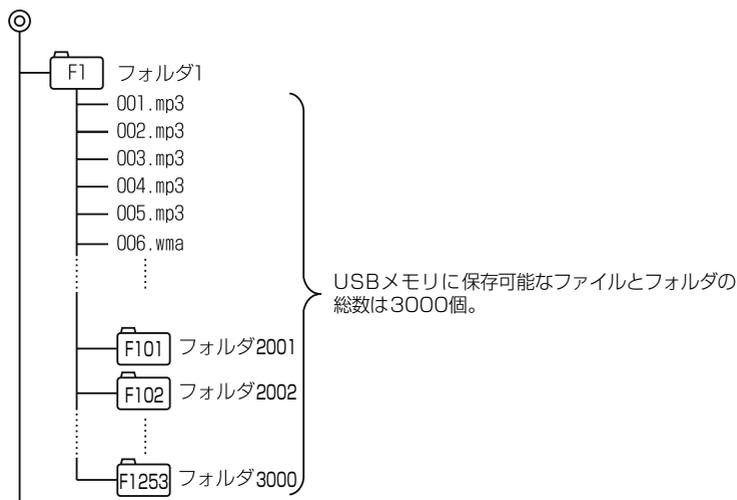
## USB メモリについて

使用できる USB メモリのフォーマット、規格ならびに制限事項は次のとおりです。

対応クラス	マスタストレージクラス (SCSI 対応)
対応 USB Ver	USB2.0、USB 1.1
最大消費電流	1A 未満
ファイルフォーマット	FAT 16/32(Windows <sup>®</sup> )
通信クラス	Mass storage class
最大フォルダ数	999 (ルート含む)
最大ファイル数	3000
アーティスト名 (最大文字数)	半角 30 文字 (全角 15 文字)
フォルダ名/ファイル名 (最大文字数)	半角 25 文字 (全角 12 文字)

- 上記フォーマット以外のファイルは正常に再生できなったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- MP3/WMA ファイルの作成例については「音楽ファイル作成例について」(→ 464)をご覧ください。

### [MP3/WMA 対応メディアの構造例]



## データの仕様について

使用できる音楽データや画像データの仕様は、次の通りです。

### MP3/WMA/AAC について

#### MP3 ファイルの規格

項目	CD-R/RW に記録する場合	SD メモリーカード / USB メモリに記録する場合
対応規格	MP3 (MPEG1 LAYER3、 MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3)	MP3 (MPEG1 AUDIO LAYER 3、MPEG2 AUDIO LAYER3、MPEG2.5 AUDIO LAYER3)
対応サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、 22.05、24、32、44.1、 48	8、11.025、12、16、 22.05、24、32、44.1、 48
対応ビットレート (kbps)	8、16、24、32、40、48、 56、64、80、96、112、 128、144、160、192、 224、256、320 ※VBR (可変ビットレート) に対応 しています。 ※フリーフォーマットには対応して いません。	8～320 ※VBR (可変ビットレート) に対応 しています。 ※フリーフォーマットには対応して いません。
対応チャンネルモード	ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル	
ID3 タグ	ID3 Ver.1.0、1.1	



## ■WMA ファイルの規格

項目	CD-R/RW に記録する場合	SD メモリーカード / USB メモリに記録する場合
対応規格	WMA Ver.9 Standard Decoder Class 3 に準拠	
対応サンプリング 周波数 (kHz)	22.05、32、44.1、48	
対応ビットレート (kbps)	20 ~ 320 ※VBR (可変ビットレート) に対応 しています。 ※2ch 再生のみ対応しています。 ※可逆圧縮 (ロスレス圧縮) には対 応していません。 ※DRM (著作権保護) には対応して いません。	20 ~ 320 ※VBR (可変ビットレート) に対応 しています。(40 ~ 95kbps) ※可逆圧縮 (ロスレス圧縮) には対 応していません。 ※DRM (著作権保護) には対応して いません。
WMA タグ	Ver.9 まで	

## ■AAC ファイルの規格

項目	SD メモリーカード /USB メモリに記録する場合
対応規格	AAC-LC (AAC Low Complexity)
対応サンプリング 周波数 (kHz)	8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48
対応ビットレート (kbps)	8 ~ 320
対応拡張子	.m4a <sup>**</sup>
対応 iTunes バージョン	iTunes 10.4 まで
AAC タグ	iTunes-TAG

※iTunes で作成された AAC ファイル (拡張子 “.m4a”) のみ再生することができます。

### ワンポイント

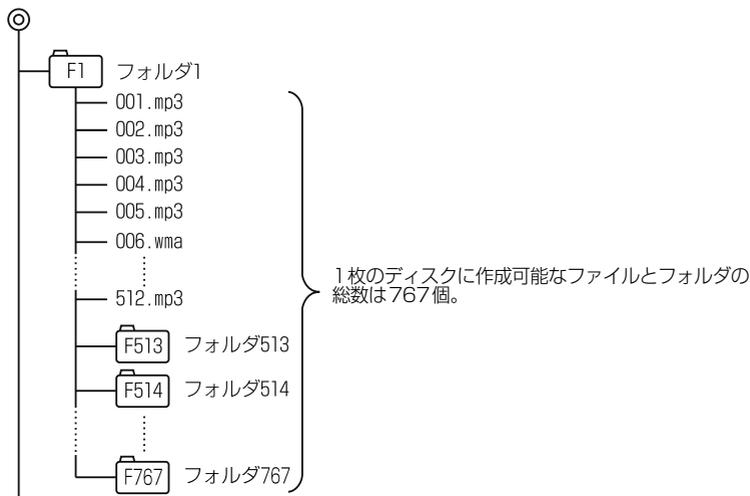
- ・MP3/WMA/AAC ファイルにフォルダ名や音楽ファイル名が記録されているときは、半角 25 文字、全角 12 文字まで、アーティスト名が記録されているときは、半角 30 文字、全角 15 文字まで表示されます。

## ■CD-R/RW に記録する場合のフォーマット

ファイルフォーマット	ISO9660: LEVEL1、LEVEL2	拡張フォーマット：ROMEO 形式、JOLIET 形式
最大フォルダ名 (最大文字数)	LEVEL1: 半角 8 文字 LEVEL2: 半角 31 文字	ROMEO 形式: 半角 64 文字 JOLIET 形式: 半角 128 文字 (“.” と 拡張子を含む)
最大ファイル名 (最大文字数)	LEVEL1: 8.3 形式 LEVEL2: 半角 31 文字	ROMEO 形式: 半角 64 文字 (“.” を含む) JOLIET 形式: 半角 128 文字
文字コード	英数字 (ASCII コード)	ROMEO 形式: 英数字 (ASCII コード) 日本語 (S-JIS コード) JOLIET 形式: 英数字 (ASCII コード) 日本語 (unicode)
書き込み方法	ディスクアットワンス、セッションアットワンス、 トラックアットワンス	
ディスクフォーマット	CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2 (Form1)	
最大ディレクトリ階層	8 階層	
最大書き込みフォルダ数	256 (ルート含む)	
最大書き込みファイル数	512	

- MP3/WMA ファイルの作成例については「音楽ファイル作成例について」(→ 464) をご覧ください。

### [MP3/WMA 対応 CD の構造例]



## ■ファイル名について

MP3/WMA/AAC と認識し再生するファイルは MP3/WMA/AAC の拡張子 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” がついたものだけです。MP3/WMA/AAC ファイルには、 “.mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子をつけて保存してください。SD メモリーカードや USB メモリに記録する場合のファイル名は、 .mp3” / “.wma” / “.m4a” の拡張子を含めて 128byte 以下で保存してください。

## ■ID3 タグ /WMA タグ /AAC タグについて

- MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。\*
- WMA ファイルには、WMA タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3 タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名を保存することができます。\*
- AAC ファイルには、AAC タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、アーティスト名を保存することができます。

\*本機で表示されるのはアーティスト名のみとなります。

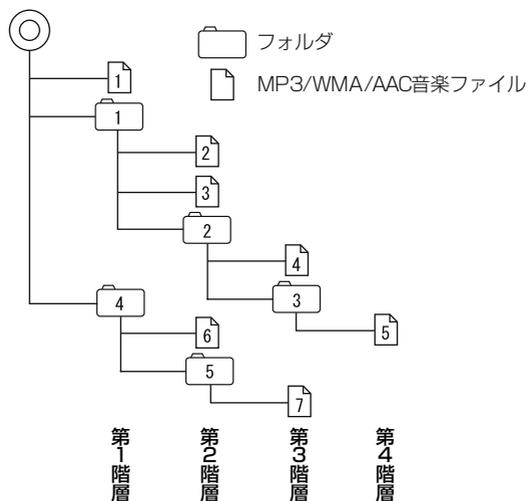
## ■マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3/WMA ファイルを追記した CD-R および CD-RW の再生が可能です。ただし、ファーストセッションのみ再生します。

## ■音楽ファイル作成例について

MP3/WMA ディスク(→ 247)、パソコンで記録した SD メモリーカード(→ 269)、USB メモリ (→ 330) の音楽ファイル作成例は次の通りです。

\*MP3/WMA/AAC ファイル作成例をもとに説明しています。



## 画像データについて

使用できる画像データは次のとおりです。

### ■ファイルやフォルダの形式

項目	オープニング画像	デジタルフォトフレーム
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000 は対応していません)	
画像容量	4MB 以下	—
画素数	最大 1000 万画素	—
画像サイズ	6656 × 3328dot 以下	5120 × 3840dot 以下
フォルダ名/ファイル名文字数	最大半角 28 文字	—
取り込み対象となる画像データ	ルートディレクトリ (最上位階層) のみ	最大 8 階層まで
最大読み込みフォルダ数	—	全体：1000
		1 フォルダあたり：512
最大読み込みファイル数	100	全体：3000
		1 フォルダあたり：1024

### ■デコード可能な画像データ (デジタルフォトフレーム)

符号化処理方式	画素サンプリング	デコード可能条件
Baseline DCT	4 : 4 : 4	32 × 32 ~ 4096 × 4096
	4 : 2 : 2	32 × 32 ~ 8192 × 8192
	回転 4 : 2 : 2	非対応
	4 : 2 : 0	32 × 32 ~ 8192 × 8192
	4 : 1 : 0	非対応
Progressive	全て	非対応



## Bluetooth® について

使用できる Bluetooth の仕様およびプロファイルは次のとおりです。

項目	Bluetooth オーディオ	ハンズフリー	スマートフォンナビ 連携
対応 Bluetooth 仕様	Bluetooth Specification Ver.1.1 以上 (Ver.2.0+EDR 以上を推奨)		
対応 Profile	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) : Ver.1.0</li> <li>・ AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) : Ver.1.0 以上 (Ver.1.4 を推奨)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HFP (Hands Free Profile) : Ver.1.0 以上</li> <li>・ OPP (Object Push Profile) : Ver.1.1</li> <li>・ DUN (Dial-up Networking Profile) : Ver.1.1</li> <li>・ PBAP (Phone Book Access Profile) : Ver.1.0</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SPP (Serial Port Profile)</li> </ul>



## 仕様について

### 本機の仕様について

#### ■GPS アンテナ

寸法	35 (W) × 14 (H) × 6.6 (D) mm (突起部を除く)
重量	約 107 (g)
電源電圧	4.7 ± 0.5V
消費電流	9mA 以上 30mA 以下

#### ■テレビ・ディスプレイ

受信チャンネル	UHF13 ～ 62 チャンネル
液晶パネル	AVN-Z02i 7型ワイド低反射パネル AVN-ZX02i 9型ワイド低反射パネル
画素数	1,152,000 個 (800 (H) × 480 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式

#### ■ラジオ・チューナー部

受信周波数	AM522 ～ 1,629kHz FM76 ～ 90MHz
実用感度	AM13dB $\mu$ V (S/N20dB) FM13dBf (S/N30dB)
周波数特性	30 ～ 15kHz (FM)

#### ■CD 部

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01% (0dB, 1kHz)
周波数特性	20Hz ～ 20kHz
S / N 比	97dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	95dB

#### ■SD メモリーカード部

高調波歪み率	0.01% (1kHz, 0dB)
周波数特性	40Hz ～ 16kHz
S / N 比	90dB (1kHz)



## ■DVD部

高調波歪み率	0.01% (1kHz、0dB)
周波数特性	20Hz ~ 20kHz
S / N 比	97dB (1kHz)

## ■共通部

高調波歪み率	0.01% (1kHz、0dB)
周波数特性	20Hz ~ 20kHz
S / N 比	96dB (1kHz)
定格出力	15W×4 (1kHz、1%4Ω) (EIAJ)
最大出力	MOS-FET 49W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω (各チャンネル)
電源電圧	DC13.2V (10.5 ~ 15.8V) アース専用
動作温度範囲	-20°C ~ +65°C
保存温度範囲	-40°C ~ +85°C
消費電流	0.5W×4 出力時 約 3.5A 最大約 13A

### AVN-Z02i

外形寸法	横幅 180mm・高さ 100mm・奥行 168.3mm
質量 (重量)	約 2.7kg

### AVN-ZX02i

外形寸法	横幅 223mm・高さ 138.5mm・奥行 168.3mm
質量 (重量)	約 3.0kg

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。



# 凡例

表示①…リアルワイドマップ画面

表示②…通常地図画面

表示①		表示②	内容	表示①		表示②	内容
			高速・都市高・有料道路				港湾
			国道				空港・飛行場
			主要地方道				学校
			県道				幼稚園
			その他の道路(巾5.5m以上)				病院・医院
			その他の道路(巾3.0m以上)				電力会社・発電所
			トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)				電話局
			私鉄				銀行・信用金庫・農協
			JR				デパートなど
			水域				ホテル・旅館など
			都道府県界				ビル
			緑地				工場
			駅舎・敷地				灯台
			踏切				神社
			ボトルネック踏切*				寺院
			官公庁				教会
			都道府県庁				霊園・墓地
			市役所・東京23区役所				城・城跡
			町村・東京以外区役所				名所・観光地など
			警察署				ゴルフ場
			消防署				スキー場
			郵便局				海水浴場
			インターチェンジ				アイススケート場
			スマートインターチェンジ				マリナー・ヨットハーバー
			サービスエリア				陸上競技場・体育館
			パーキングエリア				キャンプ場
			信号機				公園
			駐車場				温泉
			駅				山
			道の駅				その他の施設
			フェリーターミナル				

\*列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。  
表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

ご参考に



### あ

iPod	
繰り返し再生する	329
再生する	326
接続・取りはずし	325、325
全リストからランダムに再生	329
早送り、早戻し	328
プレイモードの選択	327
リストの中からランダムに再生する	329
アフターサービス	446
アプリ連携音声案内	225
安全・快適走行設定	168
案内道路情報（ルート情報）	119
案内表示設定	165

### い

ESN	
設定	51
設定の解除	54
ロックの解除	52
ETC画面の使い方	382
ETC画面の表示	382
ETCの設定（通知設定）	386
ETCマーク表示	383
エラーコードの表示	385
登録情報の表示	386
履歴表示	385
割込表示	383
ETCシステム	381
E-VOLUTION	238
一時停止案内	86
ICの指定	142
ICの解除	143

### う

迂回メモリ地点の修正	156
迂回メモリ地点の消去	156
迂回メモリ地点の登録	155

### え

AUX	319
エコ機能	173
エコ情報の表示	176
エコドライブインフォメーション	
の設定	177
燃費の計算	173

ルート案内時の燃費設定	176
SFC	234
SDメモリーカード	
SDメモリーカードについて	38
SDメモリーカードの概要	269
SDメモリーカードの出し入れ	32
データベースについて	274
SDメモリーカードの再生（本機で記録）	
アルバムの中から曲を探す	286
アルバムの中からランダムに聞く	286
アルバムを選ぶ	283
アルバムを探す	286
同じアルバムを繰り返し聞く	286
曲を選ぶ	285
繰り返し聞く	285
再生する	283
全アルバムの中からランダムに聞く	286
早送り、早戻し	285
SDメモリーカードの再生（パソコンで記録）	
同じフォルダを繰り返し聞く	271
曲（ファイル）を選ぶ	271
繰り返し聞く	271
再生する	270
全フォルダの中からランダムに聞く	272
早送り、早戻し	271
フォルダの中から曲（ファイル）を 探す	272
フォルダの中からランダムに聞く	272
フォルダを選ぶ	270
フォルダを探す	272
SDメモリーカードの編集	
アルバム情報の編集	290
アーティスト名・ アーティスト読み修正	291
アルバムタイトル・ アルバム読み修正	291
タイトル情報の再取得	292
トラックタイトル・ トラック読み修正	291
アルバムの削除	293
曲（トラック）の削除	294
マイベストの削除	290
マイベストの作成	288
マイベストの編集	288
曲の削除	290
曲の追加	289
曲の並べ替え	289
名称の修正	288
SDメモリーカードの録音	
録音する	279



曲を選んで録音する	279	音声の設定	96
自動で録音する	279	音声多重放送	
手動で選ぶ	279	デジタルテレビ	312
録音設定	280	音量設定	
録音を中止する	280	ナビゲーション	96
MP3	247	ハンズフリー	409
MP3について	251	音量調整	
同じフォルダを繰り返し聞く	249	オーディオ	230
繰り返し聞く	248	音量調整スイッチ	25
再生する	247	音量バランスの調整	235
全フォルダの中からランダムに聞く	249	オンルートスクロール	132
メディアの出し入れ	32	オンルートスクロールの設定	133
早送り、早戻し	248		
ファイルを選ぶ	248		
フォルダの中からファイルを探す	249		
フォルダの中からランダムに聞く	249		
フォルダを選ぶ	247		
フォルダを探す	250		
エリアスイッチ			
ラジオ	243		
<b>お</b>			
応答保留	405		
お車を手放すとき	391		
お手入れ	450		
アンテナのお手入れ	450		
本機のお手入れ	450		
オーディオ&ビジュアル	230		
AUX	319		
SDメモリーカード	269		
DSモード	363		
DVDプレーヤー	244		
MP3/WMA	247		
音楽CD	244		
DVD	252		
デジタルテレビ	295		
Bluetoothオーディオ	335		
iPod	324		
USBメモリ	330		
ラジオ	241		
オーディオ操作画面	230		
オーディオ操作スイッチ	25		
オーディオ電源	230		
オープニング画の設定			
カスタムへの画像の登録	58		
音質調整	232		
音声案内	122		
音声案内について	69		
音声設定	166		
<b>か</b>			
画質の調整	45		
カスタムバー	29		
学校存在案内	88		
カメラ			
バックアイカメラ	372		
フロントアイカメラ	378		
画面の調整・設定	44		
画面モードについて	48		
画面モードの切り替え			
DVD	257		
VTR	323		
画面の明るさ調整	45		
画面を消す	47		
カレンダー機能	371		
簡易画面	408		
カンタン初期設定	49		
<b>き</b>			
機器アドレス			
オーディオ	348、349		
ハンズフリー	411、418		
機器名称			
オーディオ	348、349		
ハンズフリー	411、418		
季節規制区間の迂回ルート探索	146		
季節規制区間の表示	89		
距離の補正	161		
緊急情報	203		

く

Gracenote メディアデータベース.....275  
 X-OVER (クロスオーバー) .....239

け

携帯電話の接続 .....394  
     自動接続 .....394  
     手動接続 .....395  
 携帯電話の選択 .....410  
 携帯電話の登録 .....393  
 携帯電話本体から発信 .....404  
 携帯連携 .....206  
     情報を携帯電話へ送信する .....206  
     情報を本機へ送信する .....207  
     Yahoo! JAPAN と連携した機能を  
     使用する .....208  
 県境案内 .....90  
 現在地スイッチ .....25  
 現在地の修正 .....160  
 現在地の表示 .....69

こ

交差点案内 .....124  
     交差点拡大図表示 .....125  
     ターンリスト図表示 .....127  
     レーンリスト図表示 .....124  
 交差点拡大図表示  
     拡大図表示の解除 .....127  
     交差点拡大図 .....125  
     3D 交差点拡大図表示 .....126  
     立体的な拡大図表示 .....127  
     連続車線変更案内 .....126  
 高速道路・都市高速道路表示 .....91  
 高速分岐案内 .....94  
 高速路線マップ .....92  
 都市高マップ .....95  
 シティドライブモード .....91  
 高速分岐案内画面の表示・解除 .....94  
 高速路線マップ表示・解除 .....92、93  
     縮尺の切り替え .....93  
 交通情報放送 .....243  
 交通・ナビ関連情報の表示 .....370  
 故障とお考えになる前に  
     共通操作関係 .....438  
     ナビゲーション関係 .....439  
     オーディオ・ビジュアル関係 .....442  
 個人情報の初期化 .....56

5 ルートの詳細情報 .....121  
 5 ルート表示 .....120  
 こんなメッセージが表示されたときは  
     共通操作関係 .....425  
     ナビゲーション関係 .....426  
     ETC 統一エラーコード一覧 .....430  
     オーディオ・ビジュアル関係 .....432  
     ハンズフリー関係 .....437

さ

作動条件 .....24  
 残距離表示 .....68  
 残距離表示の切り替え .....135  
 サンプリング周波数 .....267、461

し

CD .....244  
     曲を選ぶ .....245  
     曲を探す .....246  
     繰り返し聞く .....245  
     再生する .....244  
     使用できるメディア .....36  
     メディアの出し入れ .....32  
     早送り、早戻し .....245  
     ランダムに聞く .....246  
 GPS について .....178  
 GPS ボイスナビゲーション .....66  
     地図について .....183  
     地図の操作 .....69  
     地点の登録 .....148  
     VICs・交通情報 .....187  
     目的地案内 .....113  
 市街図表示・解除 .....80  
 市街図収録都市リスト .....451  
 事故多発地点案内 .....88  
 自転車マーク .....67  
 システムチェック .....369  
 シーズンレジャーランドマークの表示 .....90  
 施設で地図を呼び出す .....103  
 施設内容の表示 .....110  
     施設の表示・消去 .....82、83  
     自宅の登録・解除 .....150、150  
     自宅を目的地に設定 .....116  
 視聴制限 .....267  
 シティドライブモード  
     表示・解除 .....91、92  
 視点の調整 (パーチャタウンマップ) .....78



自動音量切替	
ナビゲーション	96
ハンズフリー	409
自動再探索	136
自動着信応答	423
自動通知（メンテナンス案内）の設定	172
自動電話機接続	419
自動表示切替設定	165
車速設定（平均車速の設定）	129
車両情報の設定	130
ジャンルで地図を呼び出す	106
周辺施設走行中呼出ジャンルの変更	84
住所で地図を呼び出す	103
渋滞・規制音声案内	190
渋滞考慮探索	194
渋滞考慮探索	194
新旧ルート比較表示	194
受話音量	409
仕様	467
情報画面	368
新旧ルート比較表示	194

## す

スイッチの表示	70
スイッチ表示設定	71
スケール表示	186
ステアリングスイッチ	61
スマートフォンナビ連携	216
スライドタッチ操作	27
3D 交差点拡大図表示	126
3D 表示・解除	77
角度の調整	78
地図の回転	79
ルート方向アップ表示	79
3D ランドマークの表示	85

## せ

精度と誤差	178
セキュリティ（ESN）の設定	51
設定・編集（ETC）	
通知設定	386
設定・編集（Bluetooth）	
機器登録	343、393
スマートフォン連携	220
スマートフォン連携接続	220
電話機接続	410
Bluetooth 詳細設定	349、418
Bluetooth 対応機器接続	347

設定・編集（運転支援）	
安全・快適走行設定	168
注意喚起設定	97
カメラ設定	373
ステアリングスイッチ設定	61
設定・編集（画像設定）	
オープニング画像変更	57
設定・編集（オーディオ）	
サウンドライブラリ編集	287
CD 録音設定	280
設定・編集（電話）	
音量設定	409
電話詳細設定	421
電話帳編集	412
Bluetooth 設定	418
設定・編集（ナビ）	
案内中止／案内再開	122
E-iSERV	59
音量設定	96
地図更新	226
ナビ詳細設定	163
メモリ地点登録編集	148、155
ルート変更	139
設定・編集（メンテナンス）	
項目設定	169
メンテナンス詳細設定	171
設備マーク表示	91
説明音声（操作説明音声）	96
全ルート図表示	117

## そ

走行軌跡の表示・消去	89
操作画面継続表示の設定	51
操作説明音声（説明音声）	96
速度超過アラーム	97
その他（ナビ詳細設定）	167
ソースの切り替え（オーディオ）	231

## た

タイトル情報の再取得	292
タイムスタンプ	188
ダイヤル画面	400
ダイヤル発信	397
WMA	247
同じフォルダを繰り返し聞く	249
繰り返し聞く	248
再生する	247
全フォルダの中からランダムに聞く	249



WMA について ..... 251  
 メディアの出し入れ ..... 32  
 早送り、早戻し ..... 248  
 ファイルを選ぶ ..... 248  
 フォルダの中からファイルを探す ..... 249  
 フォルダの中からランダムに聞く ..... 249  
 フォルダを選ぶ ..... 247  
 フォルダを探す ..... 250  
 探索条件の変更 ..... 139  
 ターンリスト図表示・解除 ..... 127、128

**ち**

地域番号（リージョンコード） ..... 267  
 近くの施設の検索 ..... 83  
     ルートを考慮したリストの表示 ..... 84  
 地上デジタルテレビ ..... 295  
 地図更新画面 ..... 183  
 地図差分更新 ..... 226  
 地図縮尺の切り替え ..... 73  
 地図データについて ..... 183  
 地図データの情報を見る ..... 183  
 地図データベースについて ..... 184  
 地図について ..... 183  
 地図の移動（スライドタッチ  
     スクロール） ..... 71  
 地図の移動（ワンタッチスクロール） ..... 71  
 地図の縮尺スケール表示 ..... 186  
 地図の操作 ..... 69  
 地図の表示 ..... 69  
 地図の表示色の切り替え ..... 79  
 地図の呼び出し方法 ..... 98  
 携帯電話 ..... 108  
 施設 ..... 103  
 ジャンル ..... 106  
 住所 ..... 103  
 電話番号 ..... 104  
 マップコード ..... 108  
 名称 ..... 100  
 履歴 ..... 109  
 Yahoo! JAPAN と連携 ..... 105  
 郵便番号 ..... 107  
 地図表示画面の設定 ..... 82  
 地図表示設定 ..... 164  
 地図向きの切り替え ..... 74  
 地点の登録 ..... 148  
 着信音量 ..... 409  
 着信拒否する ..... 405  
 着信中の操作 ..... 405  
 着信割り込み表示 ..... 424

注意地点案内 ..... 86  
 駐車  
     バックアイカメラ ..... 372

**つ**

通過道路指定の解除 ..... 145  
 通過道路の指定 ..... 144  
 通過道路の修正 ..... 145  
 通話中の操作 ..... 406  
 通話転送 ..... 407

**て**

DVD ビデオ・DVD-VR ..... 252  
 アングルの切り替え ..... 257  
     一時停止する ..... 254  
     音声の切り替え ..... 256  
     音声モードの切り替え ..... 257  
     画面モードの切り替え ..... 258  
     再生する ..... 253  
     再生モードの切り替え ..... 257  
     再生中の操作について ..... 265  
     字幕の切り替え ..... 256  
     使用できるメディア ..... 36  
 初期設定 ..... 258  
     オートスタートの設定 ..... 261  
     音声言語の設定 ..... 259  
     言語コードの入力 ..... 263  
     視聴制限レベルの設定 ..... 261  
     字幕言語の設定 ..... 259  
     設定の初期化 ..... 264  
     ソフトメニュー言語の設定 ..... 260  
     マルチアングルマーク表示の設定 ..... 260  
     スロー再生する ..... 254  
     静止画の切り替え ..... 254  
     DVD ビデオについて ..... 265  
     停止する ..... 254  
     ディスクの指定位置に戻る ..... 258  
     メディアの出し入れ ..... 32  
     早送り、早戻し ..... 254  
     見たい場所を選ぶ ..... 254  
     メニュー画面の操作 ..... 255  
 提携駐車場の検索 ..... 111  
 ディスプレイ開警告ブザー ..... 35  
 出入口 IC の指定・解除 ..... 142  
 デモンストレーション（デモ） ..... 121  
 テレビ（デジタルテレビ） ..... 295  
     アンテナインジケータについて ..... 297  
     EPG（電子番組表）を見る ..... 308



映像を切り替える.....	312	電話帳データの修正.....	416
音声を切り替える.....	312	電話帳データの新規追加.....	415
音声多重放送の音声モードを 切り替える.....	312	電話帳データの転送.....	412
緊急警報放送（EWS）について.....	314	電話帳の選択.....	401
字幕の切り替え.....	313	電話帳の編集.....	412
初回起動時の設定.....	301	電話帳発信.....	401
初期設定.....	314	電話帳編集.....	412
居住地域の設定.....	316	電話番号で地図を呼び出す.....	104
受信したメールを見る.....	317	電話を受ける.....	398
miniB-CAS カードの情報を見る.....	317	電話をかける.....	397、400
miniB-CAS カードの動作確認.....	317	携帯電話本体から発信.....	404
ホームプリセットの設定.....	314	ダイヤル発信.....	397
地上デジタルテレビを見る.....	302	電話帳発信.....	401
チャンネルを選ぶ.....	303	ナビ発信.....	404
データ放送.....	309	履歴発信.....	401
データ放送を見る.....	309	ワンタッチ発信.....	403
データ放送操作画面の表示.....	310	電話を切る.....	398、399
色ボタン、カーソルの操作.....	311	<b>と</b>	
10 キー（テンキー）の操作.....	311	統一エラーコードの表示（ETC）.....	385
画面を戻す.....	311	到着予想時刻表示.....	68、128
受信方法の設定.....	306	到着予想時刻表示の切り替え.....	135
番組を選ぶ.....	304	トーン.....	399
プリセットモード.....	305	特別メモリ地点の登録・解除.....	150
放送局（系列局／中継局）サーチ の設定.....	307	都市高マップ.....	95、165
miniB-CAS カード.....	297	ドルビーデジタル.....	267
取り扱いについて.....	298	<b>な</b>	
廃棄・交換について.....	298	ナビゲーション画面の調整.....	45
miniB-CAS カードの出し入れ.....	299	ナビゲーション画面の見方.....	67
文字スーパーの切り替え.....	313	ナビ詳細設定.....	163
デジタルフォトフレーム.....	353	案内表示設定.....	165
写真を選ぶ.....	354	音声設定.....	166
写真を見る.....	353	自動表示切替設定.....	165
デジタルフォトフレームの設定.....	354	その他.....	167
電池残量表示.....		地図表示設定.....	164
オーディオ.....	336	ルート系設定.....	166
ハンズフリー.....	390	ナビ設定の記憶・消去.....	162、163
電話機詳細情報表示.....	411	ナビ発信.....	404
電話（ハンズフリー）.....	387	<b>に</b>	
ダイヤル画面.....	397	2 画面表示（地図）.....	75
電話を受ける.....	398	右画面の設定.....	75
電話をかける.....	397、400	2 画面表示（地図 / エコ）.....	77
電話を切る.....	398		
電話を保留する.....	405		
電話機選択.....	410		
電話詳細設定.....	421		
電話帳.....	412		
電話帳・発着信履歴制限.....	422		
電話帳データの削除.....	416		

**の**

ノースアップ表示 ..... 74

**は**

パスキー  
 オーディオ ..... 349  
 ハンズフリー ..... 418  
 バックアイカメラ ..... 372  
 バーチャタウンマップ表示 ..... 78  
 バッテリーの交換 ..... 448  
 ハートフル音声 ..... 96  
 HARMONIZER ..... 237  
 ハンズフリー ..... 387  
 ハンズフリーの準備 ..... 393  
 ハンズフリーの設定 ..... 408  
 販売店デモ ..... 368  
 凡例 ..... 469

**ひ**

BEEP 音通知の設定 ..... 50  
 VICS・交通情報 ..... 187  
   渋滞・規制音声案内 ..... 190  
   渋滞考慮探索 ..... 194  
   新旧ルート比較表示 ..... 194  
   VICS 記号 ..... 205  
   VICS・交通情報の表示設定 ..... 189  
   VICS 図形情報・文字情報 ..... 191  
   放送局の選択 ..... 196  
   割込情報の表示・設定 ..... 192、193  
 Vivid View ..... 45  
 昼画表示 ..... 47  
 ヒント機能 ..... 39  
 ピンポイント検索 ..... 110

**ふ**

フェリー航路の案内 ..... 132  
 FADER BALANCE ..... 236  
 Bluetooth オーディオ ..... 335  
 Bluetooth オーディオの再生  
   アルバムを選ぶ ..... 340  
   一時停止する ..... 340  
   曲を選ぶ ..... 341  
   再生する ..... 339  
   早送り、早戻し ..... 341

Bluetooth オーディオの設定  
   本機の Bluetooth 設定を  
     初期化する ..... 350  
   本機の Bluetooth 設定を  
     変更する ..... 349  
   Bluetooth 対応機器の詳細情報を  
     表示する ..... 348  
   Bluetooth 対応機器の接続 ..... 344  
   Bluetooth 対応機器の選択 ..... 347  
   Bluetooth 対応機器の登録 ..... 343  
   Bluetooth 対応機器の登録を  
     削除する ..... 350  
 Bluetooth 携帯電話 ..... 388  
 Bluetooth 接続確認表示  
   オーディオ ..... 345  
   ハンズフリー ..... 395  
 Bluetooth 接続状態表示  
   オーディオ ..... 336  
   ハンズフリー ..... 390  
 Bluetooth 設定 ..... 418  
 フロントアイカメラ ..... 378  
 フロントワイド表示 ..... 75

**へ**

平均車速の設定（車速設定） ..... 129  
 ヘディングアップ表示 ..... 74

**ほ**

方位マーク ..... 67  
 補正が必要なとき ..... 160  
 ポータブルオーディオ詳細情報表示 ..... 348  
 ポータブルオーディオの接続 ..... 344  
   自動接続 ..... 344  
   手動接続 ..... 346  
 ポータブルオーディオの選択 ..... 347  
 ポータブルオーディオの登録 ..... 343  
 ポータブルオーディオの登録を  
   削除する ..... 350  
 本機 ..... 25  
 本機の設定 ..... 50  
   個人情報の初期化 ..... 56  
   セキュリティ (ESN) の設定 ..... 51  
   操作画面継続表示の設定 ..... 51  
   ナビ音声設定 ..... 57  
   BEEP 音通知の設定 ..... 50  
   メニューデザインの変更 ..... 57  
 本機の Bluetooth 設定変更  
   オーディオ ..... 349



ハンズフリー .....	418	メンテナンス時期の設定 .....	169
		メンテナンス詳細設定 .....	171
		メンテナンス設定の更新 .....	171、172
		メンテナンス設定の消去 .....	171、172
<b>ま</b>		<b>も</b>	
マイク .....	389	目的地案内 .....	113
マップオンデマンド (地図差分更新) .....	226	目的地案内の開始 .....	121
差分更新 .....	226	目的地案内の中止 .....	122
専用アプリケーションソフトで更新 .....	227	目的地の消去 .....	141
全更新 .....	226	目的地の設定 .....	114
地図更新画面 .....	183	目的地の追加 .....	140
マップコード .....	108	目的地の並び替え .....	140
マップコードで地図を呼び出す .....	108	目的地方向マーク .....	68
マップマッチング .....	179	目的地履歴の消去 .....	146
マルチウィンドウについて .....	351	文字入力	
画面の操作 .....	351	各スイッチの使い方 .....	40
画面の表示 .....	351	メモリ地点の名称入力 .....	151
マルチランゲージ .....	267	名称で地図を呼び出す .....	100
<b>み</b>		<b>ゆ</b>	
右画面の設定 (2画面表示時) .....	75	郵便番号で地図を呼び出す .....	107
<b>め</b>		<b>よ</b>	
名称で地図を呼び出す .....	100	呼び出した地図の操作 .....	110
メディアについて .....	456	夜画表示 .....	47
メニューデザインの変更 .....	57		
メニューバー .....	28		
メモリ地点の移行 .....	157		
登録した場所のデータを 本機に移す .....	159		
登録した場所のデータを SDメモリーカードに移す .....	157		
パスワードの設定 .....	158		
メモリ地点の修正 .....	149		
位置修正 .....	153		
自宅・特別メモリ地点に登録 .....	150		
自宅・特別メモリ地点の解除 .....	150		
電話番号入力 .....	153		
マークの変更 .....	150		
名称入力 .....	151		
名称表示 .....	152		
名称読み入力 .....	153		
メモリ地点の消去 .....	154		
メモリ地点の登録 .....	148		
メンテナンス機能 .....	169		
自動通知 (メンテナンス案内) の設定 .....	172		
メンテナンス案内 .....	170		
		<b>ら</b>	
		ラジオ .....	241
		エリアスイッチについて .....	243
		交通情報放送を聞く .....	243
		自動で放送局を記憶する .....	242
		放送局を選ぶ .....	241
		放送局を記憶する .....	242
		ラジオを聞く .....	241
		ラジオアンテナの設定 .....	59
		<b>り</b>	
		リアル交差点拡大図 .....	126、165
		リアルワイドマップ表示 .....	85
		リージョンコード (地域番号) .....	267
		リスト画面の切り替え方 .....	42
		リニアPCM .....	268
		リダイヤル .....	416
		立体的な拡大図表示 .....	127

リバースシフトアラーム.....	97
リモコンの操作.....	357
料金案内.....	130
料金所レーン案内.....	131、165
量子化ビット.....	268
履歴で地図を呼び出す.....	109
履歴の削除	
ハンズフリー.....	403
履歴発信.....	401

## る

ルート系設定.....	166
ルート情報（案内道路情報）.....	119
ルート探索.....	116
ルートの再探索.....	136
自動再探索.....	136
ルート変更.....	139
季節規制区間の迂回ルート探索.....	146
探索条件の変更.....	139
通過道路指定の解除.....	145
通過道路の指定.....	144
通過道路の修正.....	145
出入口ICの指定.....	142
IC指定の解除.....	143
目的地の消去.....	141
目的地の追加.....	140
目的地の並び替え.....	140
ルート変更画面の表示.....	139
ルートを考慮したリストの表示.....	84

## れ

レーンリスト図表示.....	124
解除.....	125
連続車線変更案内.....	126

## ろ

ロック No.	
携帯電話.....	209
ハンズフリー.....	422
録音する.....	279

## わ

割込情報（ビーコン即時案内）の表示.....	192
ワンタッチスクロール（地図の移動）.....	71
ワンタッチダイヤル.....	403
ワンタッチダイヤルの削除.....	417
ワンタッチダイヤルの登録.....	416
ワンタッチ発信.....	403



## アルファベットさくいん

## A

AUX .....	319
AV スイッチ .....	25
AAC データの仕様 .....	461

## B

BEEP 音通知の設定 .....	50
Bluetooth オーディオ .....	335
Bluetooth 携帯電話 .....	388
Bluetooth 仕様・プロファイル .....	466

## C

CD .....	244
ファイルフォーマット .....	463

## D

DS モード .....	363
DVD ビデオ .....	252
DVD-VR .....	252
DVD プレーヤー .....	244

## E

E-iSERVE .....	59
ESN (セキュリティ) .....	51
ETC システム .....	381
EPG (電子番組表) .....	308
E-VOLUTION .....	238
EWS (緊急警報放送) .....	314

## F

FADER BALANCE .....	236
---------------------	-----

## G

Gracenote メディアデータベース .....	275
GPS について .....	178
GPS ボイスナビゲーション .....	66

## H

HARMONIZER .....	237
------------------	-----

## I

iPod .....	324、459
IC の指定 .....	142
IC の解除 .....	143

## M

MENU スイッチ .....	25
miniB-CAS カード .....	297
miniB-CAS カード情報 .....	317
MP3 .....	247
データの仕様 .....	461

## S

SD メモリーカード .....	38、269、458
SFC .....	234
SYSTEM CHECK 機能 .....	369

## U

USB .....	
接続、取りはずし .....	36
USB メモリ .....	330、460

## V

VICS・交通情報 .....	187
Vivid View .....	46
VTR .....	322

## W

WMA .....	247
データの仕様 .....	461

## X

X-OVER .....	239
--------------	-----

## Y

Yahoo! JAPAN と連携 .....	208
------------------------	-----



さくいん



MEMO

---

ご参考に



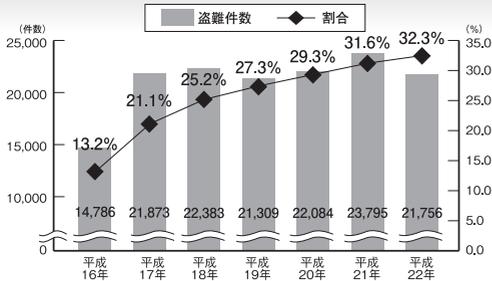
カーナビゲーションを購入された皆様に伝えたいことがあります

# 今カーナビが危ない!

全国で24分に1台のカーナビが盗難被害に遭っています。

## カーナビゲーションの盗難被害状況

部品ねらい被害におけるカーナビ盗難の件数と割合



出典:警察庁犯罪統計 平成22年は暫定値



製造番号があれば被害品の発見、返還がしやすくなります。

1 2  
3 4



製造番号が記載された保証書類は大切に保管し、WEBでユーザー登録を行いましょう。

盗難被害に遭わないように、防犯対策に気を付けましょう。



問い合わせ先

ユーザー登録に関するお問い合わせは、お買い上げになられた製品のメーカー宛にお願い致します。

警察庁・社団法人電子情報技術産業協会・社団法人日本損害保険協会

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、  
お買い求めの販売店またはお客様相談窓口までお願い致します。

## 富士通テン株式会社 「お客様相談窓口」



携帯・PHS OK

フリーダイヤル 0120-022210

携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間 午前10:00~12:00、午後1:00~5:00(土・日・祝日などを除く)

お客様サポート・製品情報や適合情報、ダウンロードサービスなどが  
ご利用になれます。

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/support/>

## 富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号  
電話 神戸(078)671-5081(代表)

©富士通テン株式会社 2014

1411(F)

